

横須賀市
次期横須賀子ども未来プラン策定に向けた
ニーズ調査
調査結果報告書
(案)

令和6年3月

横 須 賀 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	居住状況について	2
	居住地域の状況	2
2	子どもと家族の状況について	2
	(1) 就学前児童の属性	2
	(2) 小学生の属性	4
	(3) 調査回答者の状況と配偶者の有無	6
	(4) 子育てを主に行っている方	6
3	現在の子育ての環境について	8
	(1) 日常的に子育てに関わっている方・子育てに影響を与える環境	8
	(2) 子育てに関する相談者の状況	11
	(3) 子育ての不安やストレスの状況	19
	(4) 子育てを楽しんでいると感じるか	25
	(5) 子育てにとってどのような支援が有効か	28
	(6) 理想的な子どもの人数・実際の人数が少ない理由	38
4	母親、父親の就労状況について	42
	家庭状況	42
	(1) 母親の就労状況	42
	(2) 父親の就労状況	52

5	平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望について	60
	(1) 平日の定期的な教育・保育事業	60
	(2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由	68
	(3) 定期的な教育・保育事業として望むもの	78
6	地域の子育て支援事業の現状と今後の利用希望について	83
	(1) 愛らんど・わいわい広場 の利用状況	83
	(2) 今後の利用意向	86
	(3) 子育て支援事業の認知度・利用状況と今後の利用意向	87
7	土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	89
	(1) 土曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望	89
	(2) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	93
8	病児・病後児保育事業の潜在ニーズについて（平日の教育・保育を利用している方のみ）	95
	(1) 病気やケガで保育所や幼稚園などが利用できない時の対応	95
9	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	102
	(1) 不定期に利用している教育・保育事業の状況	102
10	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	107
	(1) 育児休業制度の利用状況	107
	(2) 育児休業と保育園	110
	(3) 職場復帰の状況	111
	(4) 短時間勤務制度の利用状況	117
	(5) 育児休業給付や保険料免除の認知度	119
11	放課後の過ごし方について	120
	(1) 放課後の居場所	120
	(2) 小学生の平日の放課後の状況	122
	(3) 放課後児童クラブの利用状況	131
	(4) 平日の放課後の利用希望	135
	(5) 放課後児童クラブの利用希望	150
12	子育ての環境や支援への満足度について	156
13	自由意見	161
	調査票	164
1	就学前児童	164

I 調査の概要

1 調査の目的

令和7年度から令和11年度を計画期間とする「次期横須賀子ども未来プラン」(子ども・子育て支援法第61条に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画含む)策定に向け、子ども・子育て支援に関する事業のニーズを推計するため

2 調査対象

住民基本台帳から、横須賀市内在住の就学前児童及び小学生を年齢別・地域別に無作為抽出

3 調査期間

令和5年11月1日から令和5年12月1日

4 調査方法

郵送による配布・e-kanagawa 電子申請による回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童の保護者	6,816 通	2,810 通	41.2%
小学生の保護者	6,630 通	2,827 通	42.6%

6 調査結果の表示方法

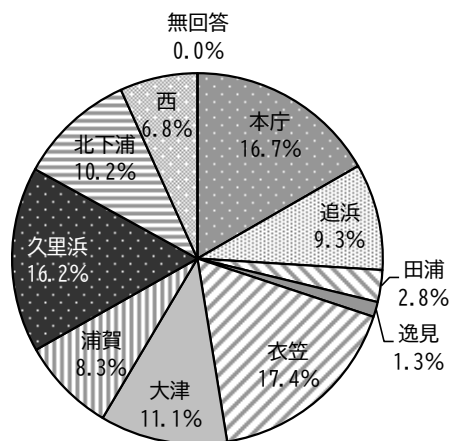
- ・回答は各質問の回答者数(N)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

II 調査結果

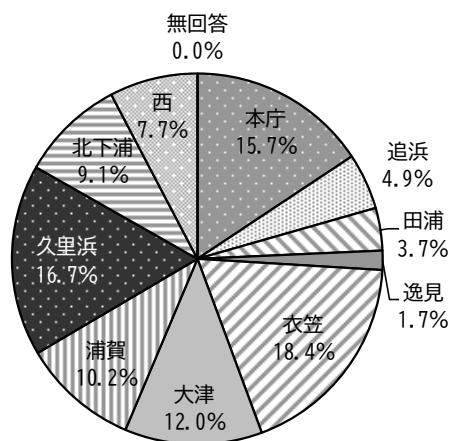
1 居住状況について 居住地域の状況

問 お住まいの地区をお選びください。【就学前児童：問1、小学生：問1】

居住地域の状況については、以下のとおり。



就学前児童
n = 2,810

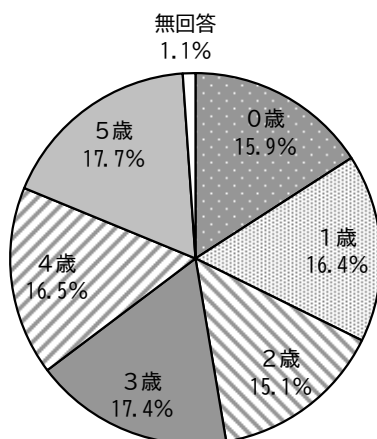


小学生
n = 2,827

2 子どもと家族の状況について (1) 就学前児童の属性

問 あて名のお子さんの生年月を教えてください。【就学前児童：問2】

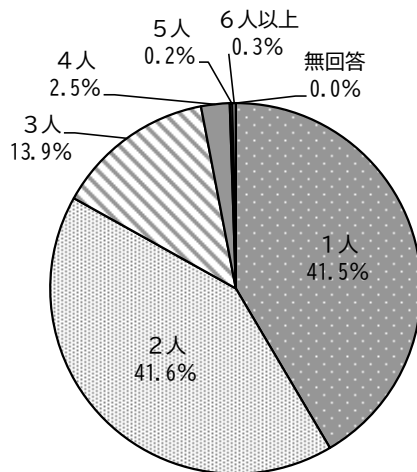
お子さんの年齢については、「5歳」が17.7%と最も高く、次いで「3歳」が17.4%、「4歳」が16.5%となっている。



就学前児童
n = 2,810

問 あて名のお子さんを含めたお子さんの人数を教えてください。【就学前児童：問3】

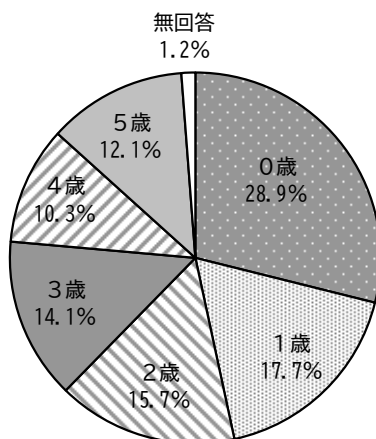
お子さんの人数については、「2人」が41.6%と最も高く、次いで「1人」が41.5%、「3人」が13.9%となっている。



就学前児童
n = 2,810

問 前問で、2人以上と回答をされた場合は、一番小さいお子さんの生年月を教えてください。【就学前児童：問3-1】

一番小さいお子さんの年齢については、「0歳」が28.9%と最も高く、次いで「1歳」が17.7%、「2歳」が15.7%となっている。

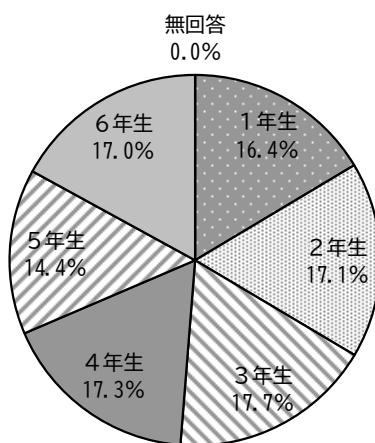


就学前児童
n = 1,643

(2) 小学生の属性

問 あて名のお子さんの学年についてお答えください。【小学生：問3】

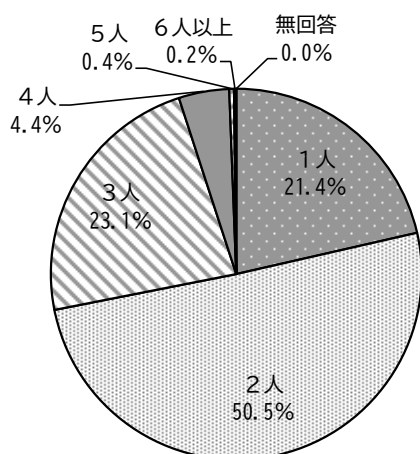
お子さんの学年については、「3年生」が17.7%と最も高く、次いで「4年生」が17.3%、「2年生」が17.1%となっている。



小学生
n = 2,827

問 あて名のお子さんを含めたお子さんの人数をお答えください。【小学生：問4】

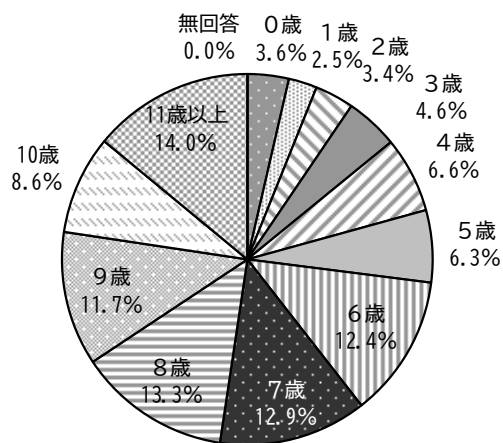
お子さんの人数については、「2人」が50.5%と最も高く、次いで「3人」が23.1%、「1人」が21.4%となっている。



小学生
n = 2,827

問 前問で、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番小さいお子さんの生年月をお答えください。【小学生：問4-1】

一番小さいお子さんの年齢については、「11歳以上」が14.0%と最も高く、次いで「8歳」が13.3%、「7歳」が12.9%となっている。

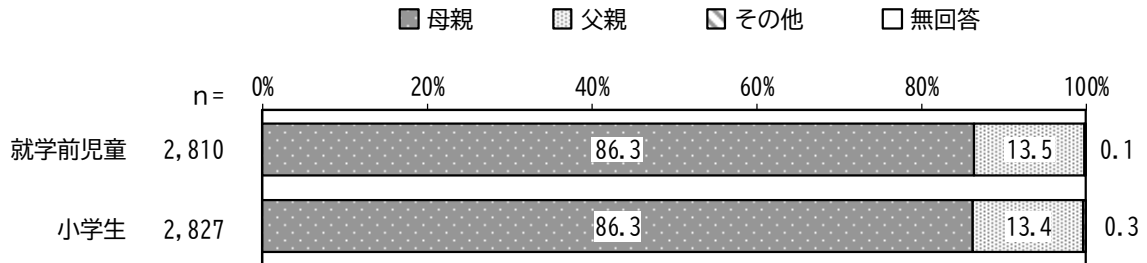


小学生
n = 2,221

(3) 調査回答者の状況と配偶者の有無

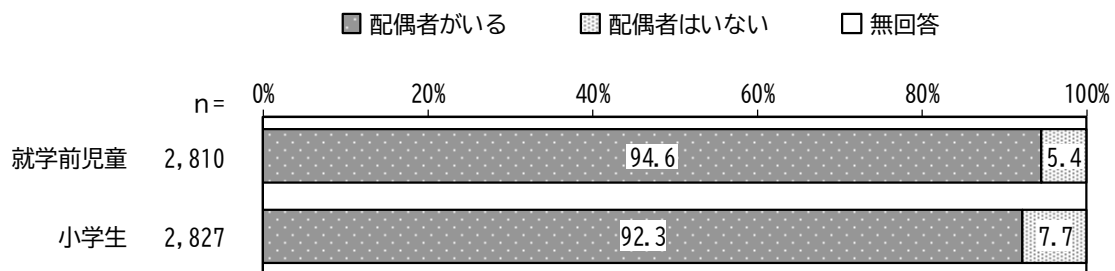
問 このアンケート調査にお答えいただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。【就学前児童：問4、小学生：問5】

回答者については、「母親」がともに80%を超えている。



問 このアンケート調査にお答えいただいている方の配偶関係についてお答えください。【就学前児童：問5、小学生：問6】

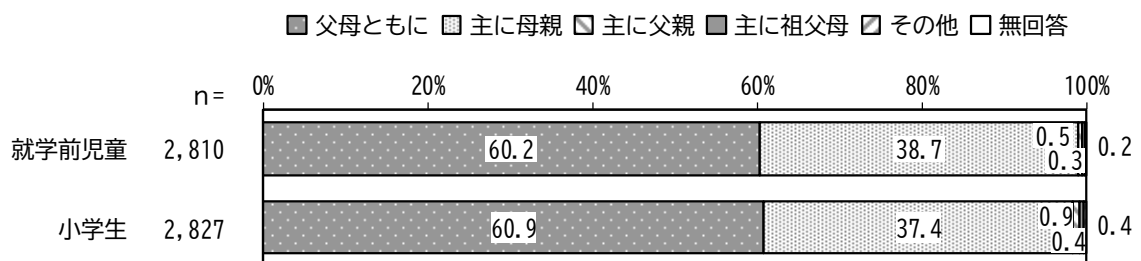
配偶者の有無については、「配偶者がいる」が就学前児童94.6%、小学生92.3%となっている。



(4) 子育てを主に行っている方

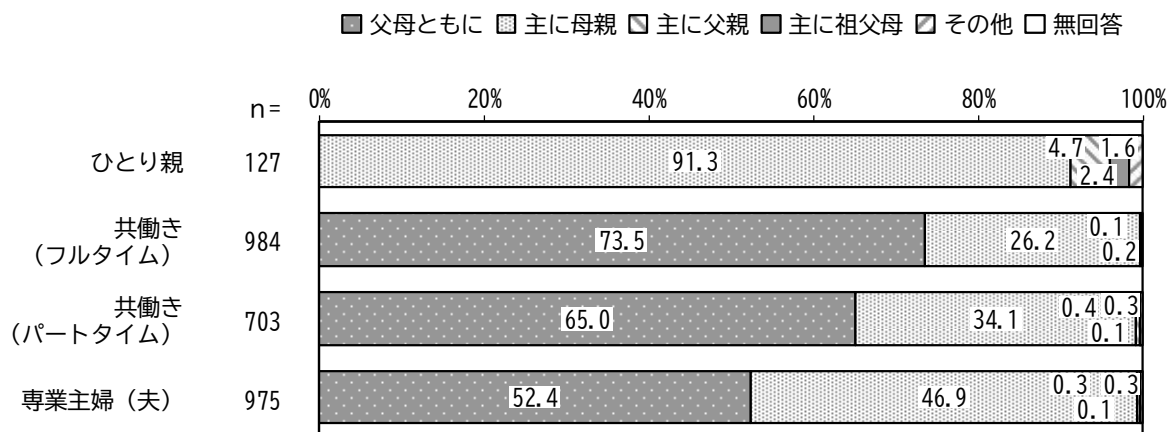
問 あて名のお子さんの子育てを主に行っている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。【就学前児童：問6、小学生：問7】

子育てを主に行っている方の状況については、就学前児童・小学生いずれも「父母ともに」が最も高く就学前児童60.2%、小学生60.9%となっている。

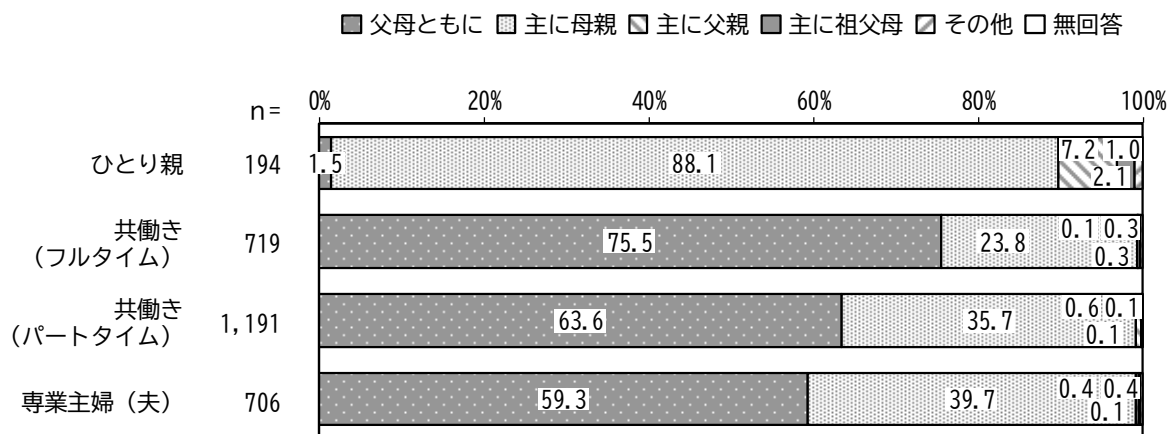


家庭類型別にみると、共働き（フルタイム）では「父母ともに」が専業主婦（夫）よりも約16～21ポイント高くなっている。

【就学前児童：家庭類型別】



【小学生：家庭類型別】

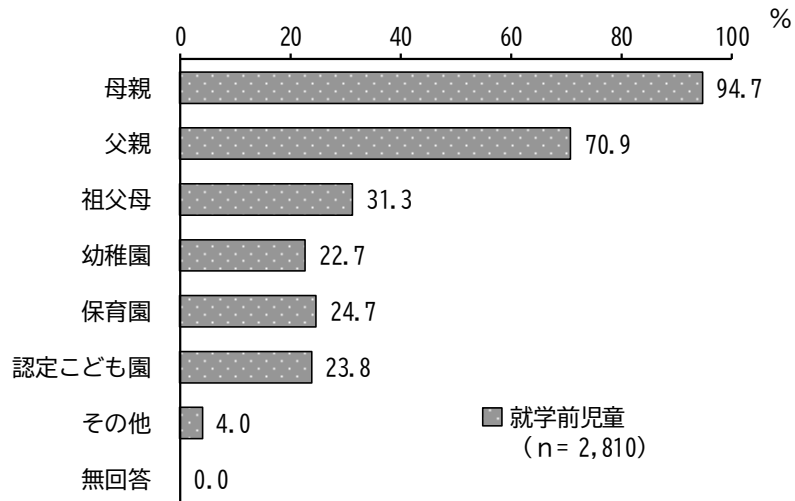


3 現在の子育ての環境について

(1) 日常的に子育てに関わっている方・子育てに影響を与える環境

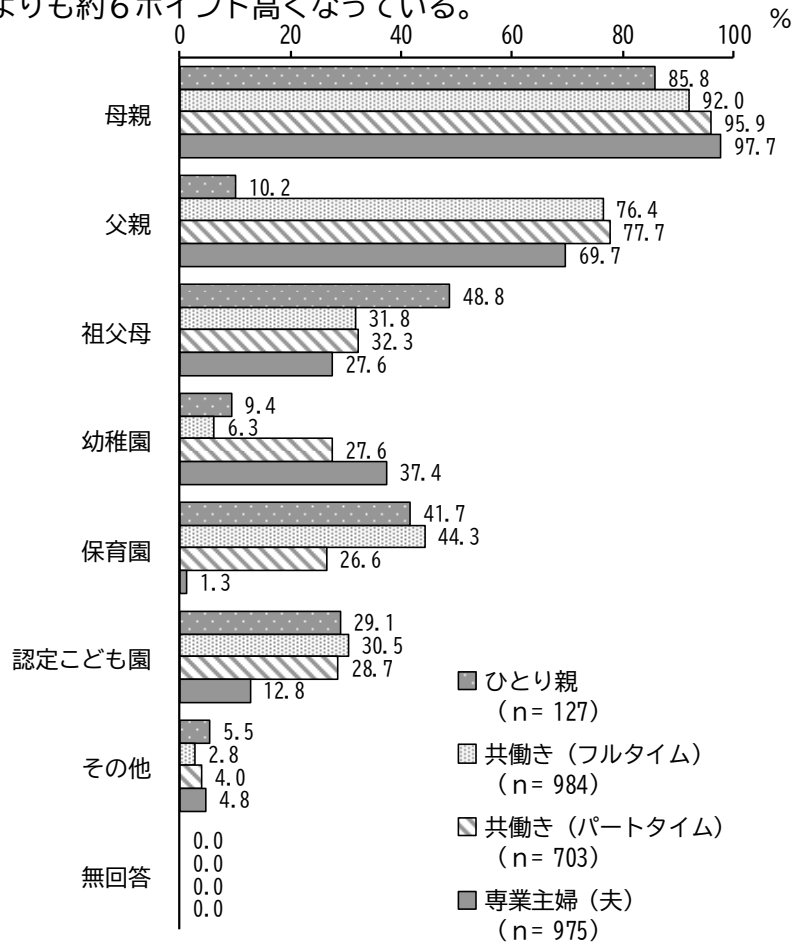
問 あて名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。
 （あてはまるものすべてを選択してください）【就学前児童：問7】

日常的に子育てに関わっている方については、「母親」の割合が94.7%と最も高く、次いで「父親」の割合が70.9%、「祖父母」の割合が31.3%となっている。



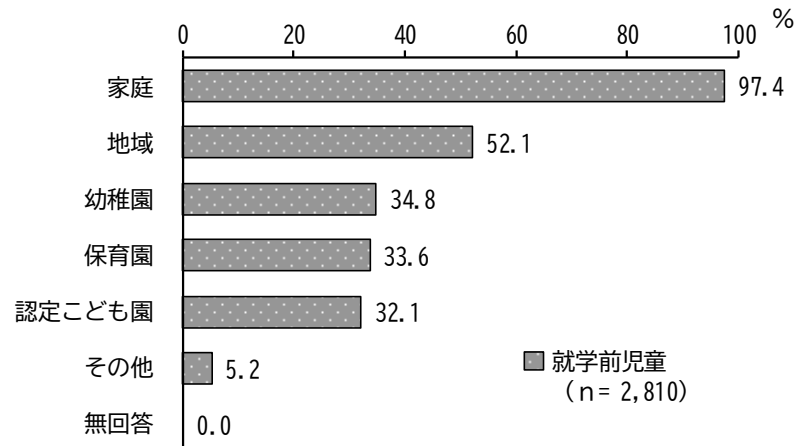
【就学前児童：家庭類型別】

日常的に子育てに関わっている方について家庭類型別にみると、共働き（フルタイム）では「父親」が専業主婦（夫）よりも約6ポイント高くなっている。



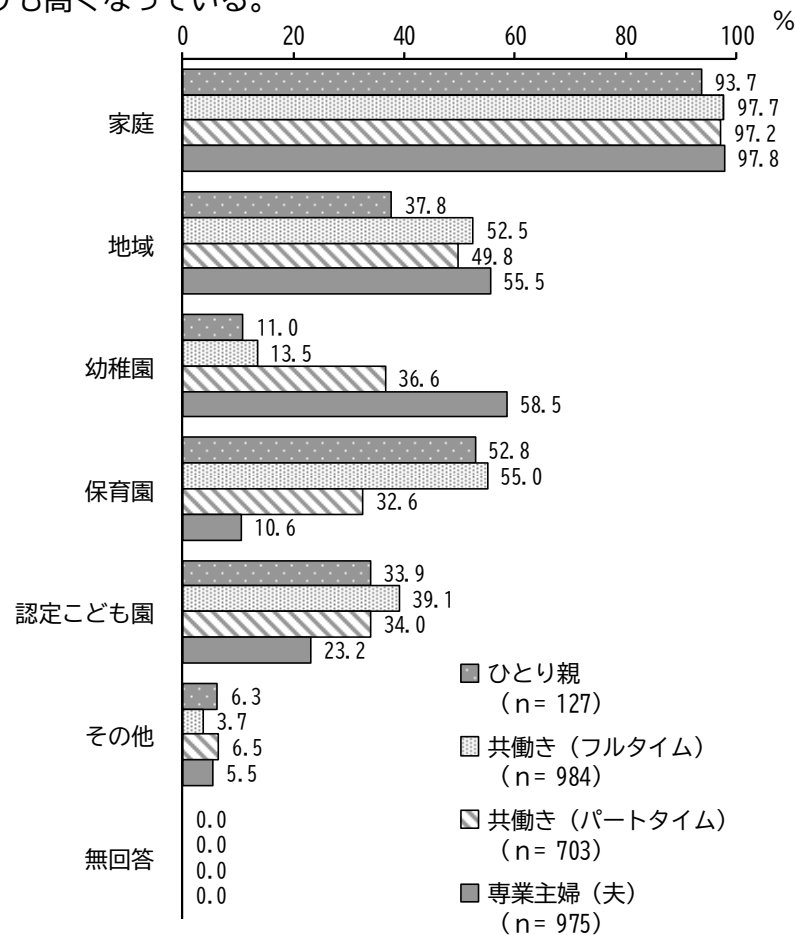
問 あて名のお子さんの子育てに、影響すると思われる環境についてお答えください。
 (あてはまるものすべてを選択してください)【就学前児童：問8】

子育てに影響を与える環境については、「家庭」の割合が97.4%と最も高く、次いで「地域」の割合が52.1%、「幼稚園」の割合が34.8%となっている。



【就学前児童：家庭類型別】

子育てに影響を与えると思う環境について家庭類型別にみると、専業主婦(夫)では「幼稚園」が他の家庭類型よりも高くなっている。



【就学前児童：行政センター別】

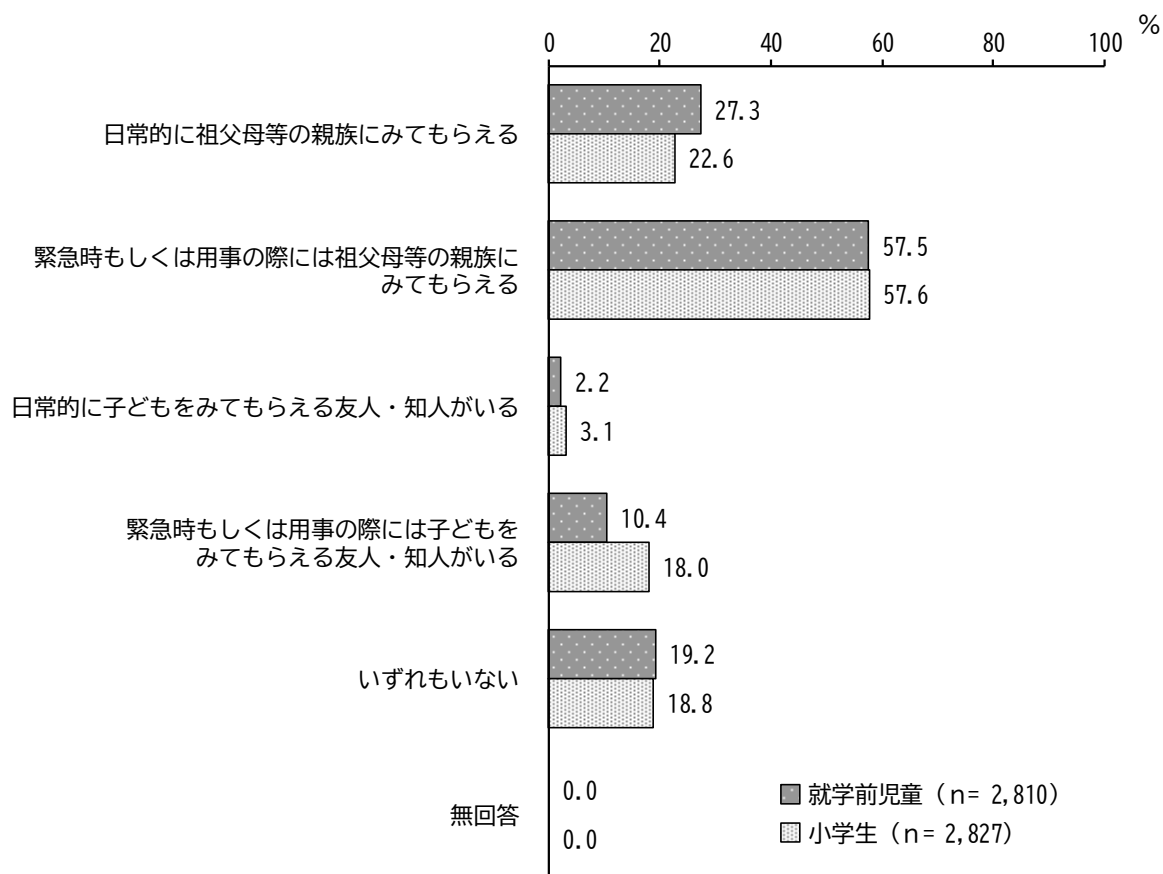
単位：%

区分	n (件)	家庭	地域	幼稚園	保育園	認定こども園	その他	無回答
全 体	2,810	97.4	52.1	34.8	33.6	32.1	5.2	—
本庁	468	96.8	54.1	31.0	30.1	35.9	6.2	—
追浜	260	96.9	58.5	32.3	53.1	22.3	5.0	—
田浦	78	98.7	56.4	33.3	41.0	28.2	6.4	—
逸見	36	94.4	47.2	50.0	47.2	13.9	—	—
衣笠	488	97.1	47.3	31.4	32.0	36.7	4.1	—
大津	313	99.0	52.7	32.3	33.9	37.4	4.8	—
浦賀	233	99.1	51.5	31.8	33.0	31.3	4.3	—
久里浜	454	96.0	52.4	40.3	34.4	23.8	4.8	—
北下浦	288	97.6	49.3	41.7	26.4	31.6	7.3	—
西	192	98.4	52.6	39.1	24.0	41.7	5.2	—

(2) 子育てに関する相談者の状況

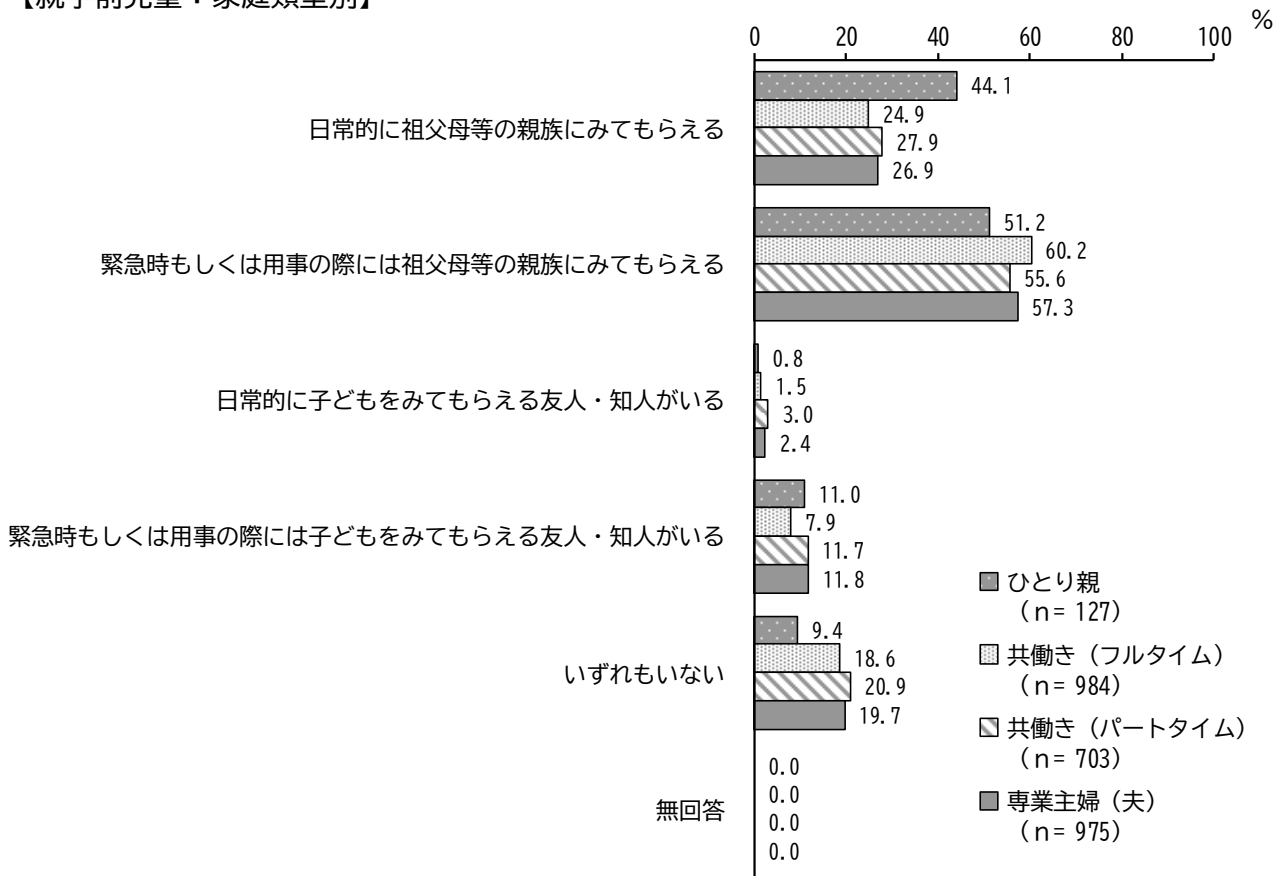
問 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
 (あてはまるものすべてを選択してください)【就学前児童：問9、小学生：問8】

親族・知人等協力者の状況については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前児童 57.5%、小学生 57.6%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前児童 27.3%、小学生 22.6%となっている。

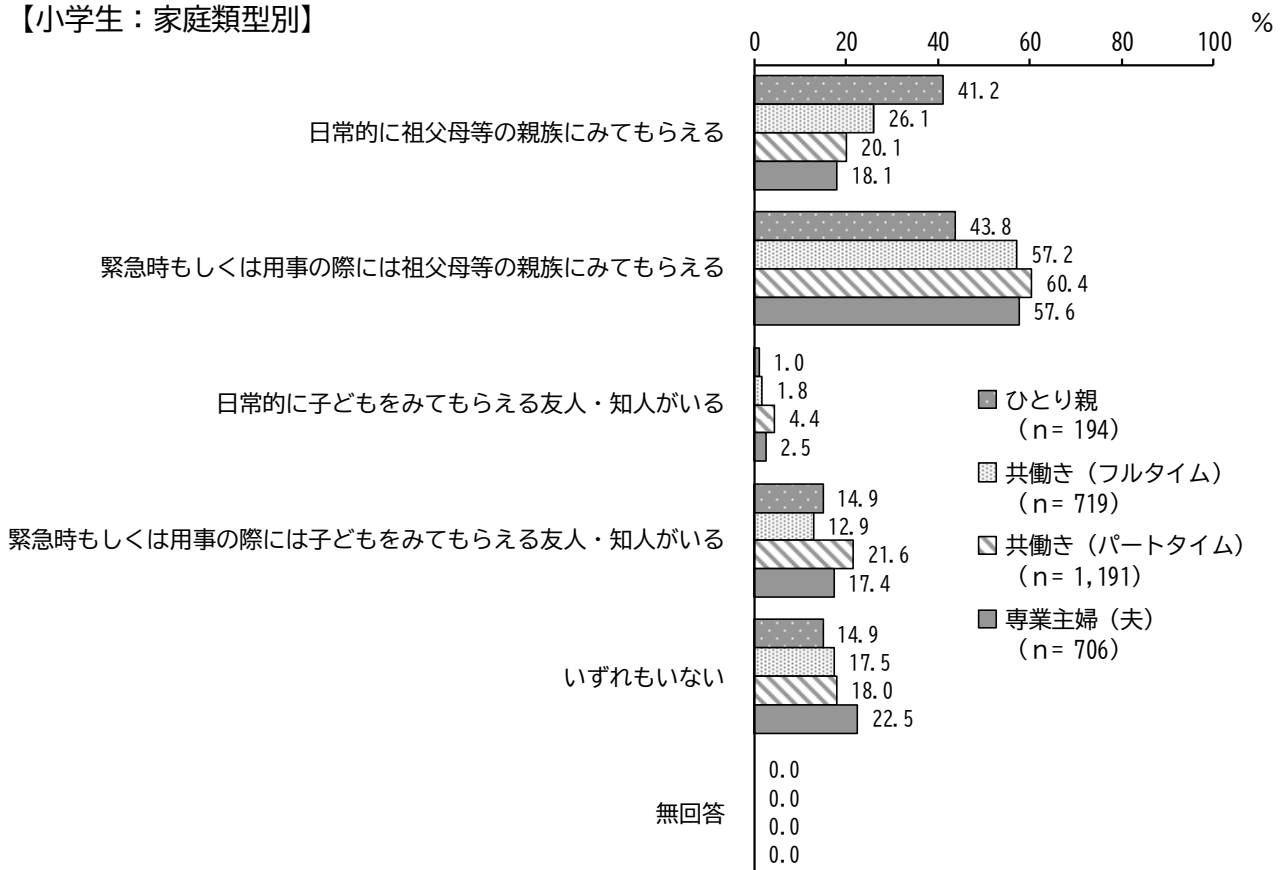


家庭類型別にみると、ひとり親では「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が他の家庭類型よりも高くなっている。

【就学前児童：家庭類型別】

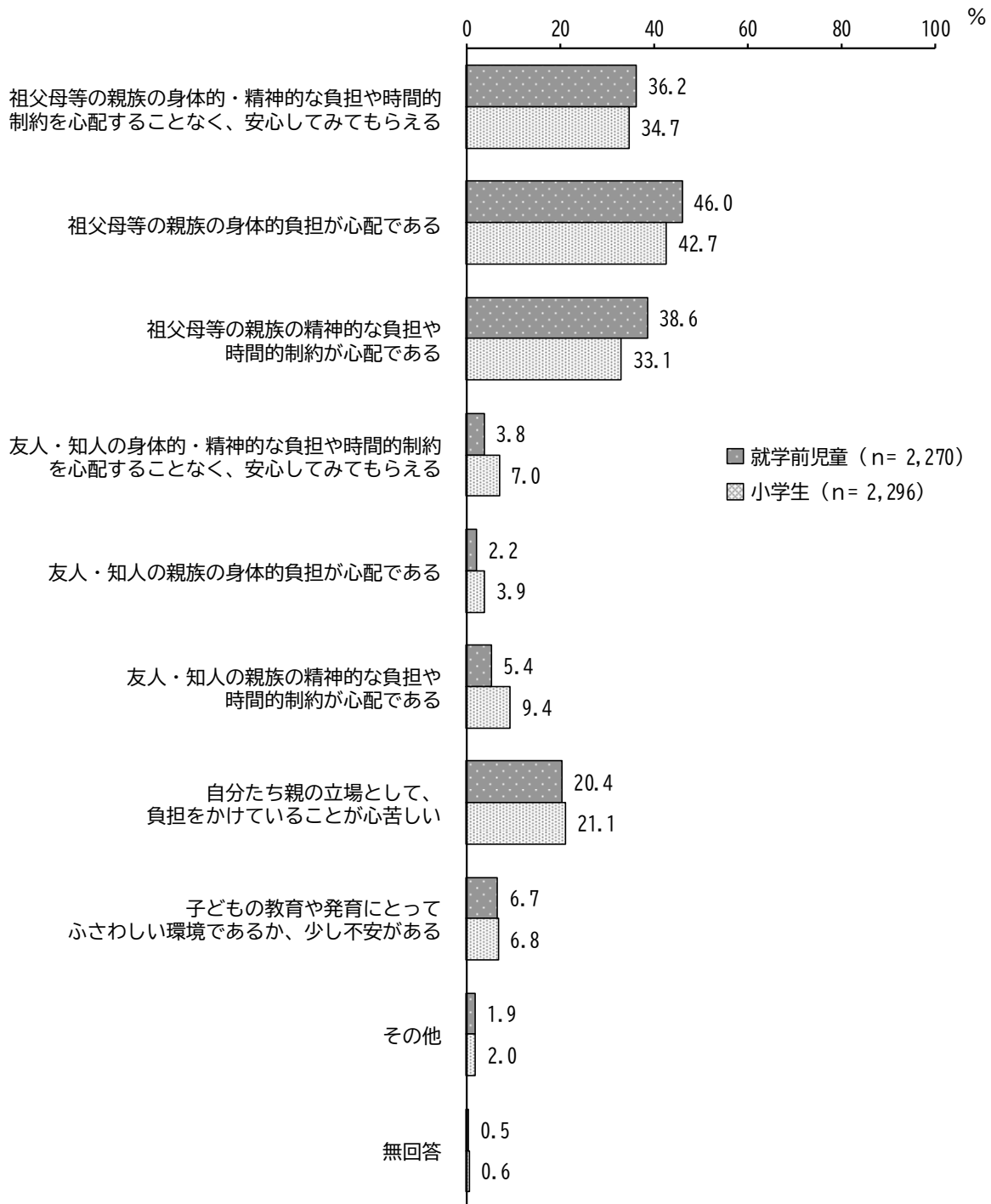


【小学生：家庭類型別】



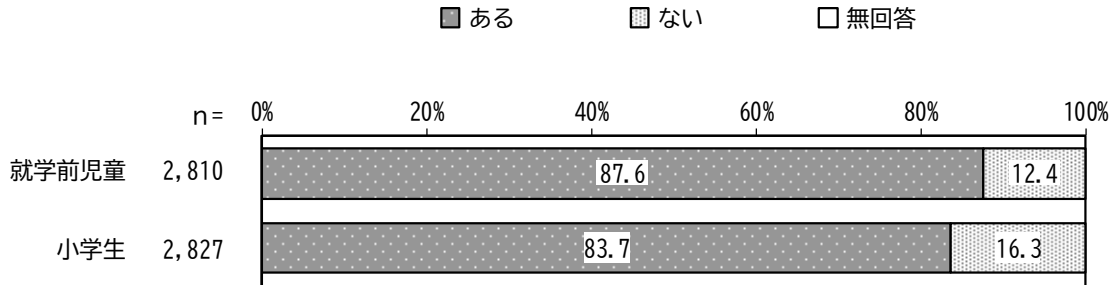
問 前問で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」～「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」（お子さんをみてもらえる親族・知人がいる）を選んだ方にうかがいます。親族や知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてを選択してください）
【就学前児童：問9-1、小学生：問8-1】

親族・知人に子どもをみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的負担が心配である」が就学前児童 46.0%、小学生 42.7%と最も高いものの、一方で、約30%が祖父母の負担を心配することなく、協力してもらっている。



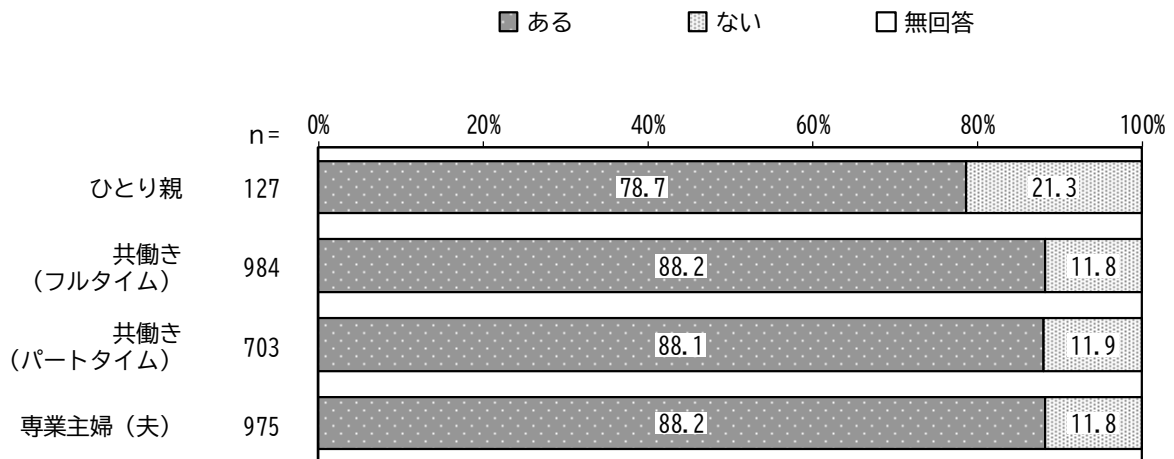
問 あて名のお子さんの子育てをするうえで、気軽に相談できる人や場所はありますか。【就学前児童：問10、小学生：問9】

気軽に相談できる人や場所の有無については、「ある」が就学前児童 87.6%、小学生 83.7%となっている。



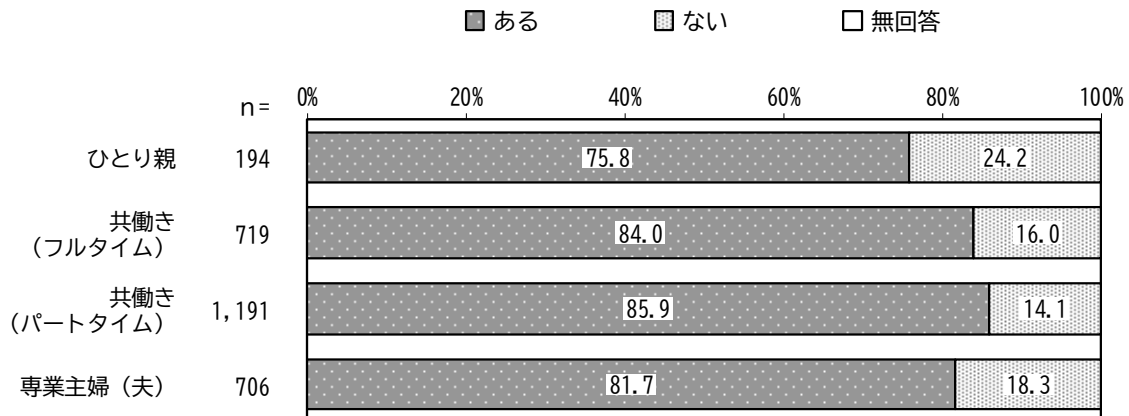
【就学前児童：家庭類型別】

家庭類型別にみると、就学前児童のひとり親では「ある」が他の家庭類型よりも約9ポイント低くなっている。



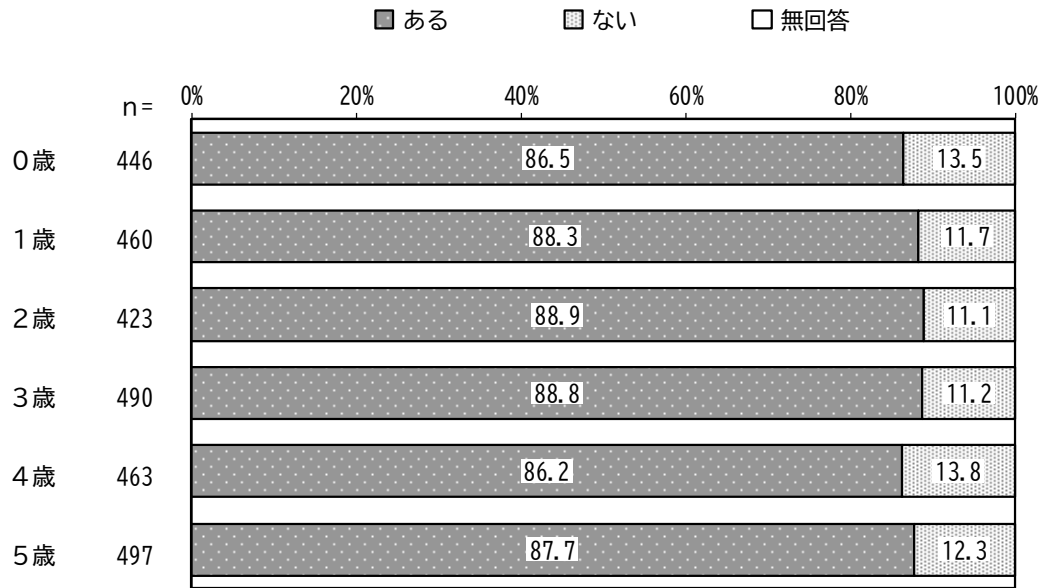
【小学生：家庭類型別】

家庭類型別にみると、小学生のひとり親では「ある」が他の家庭類型よりも約6~10ポイント低くなっている。



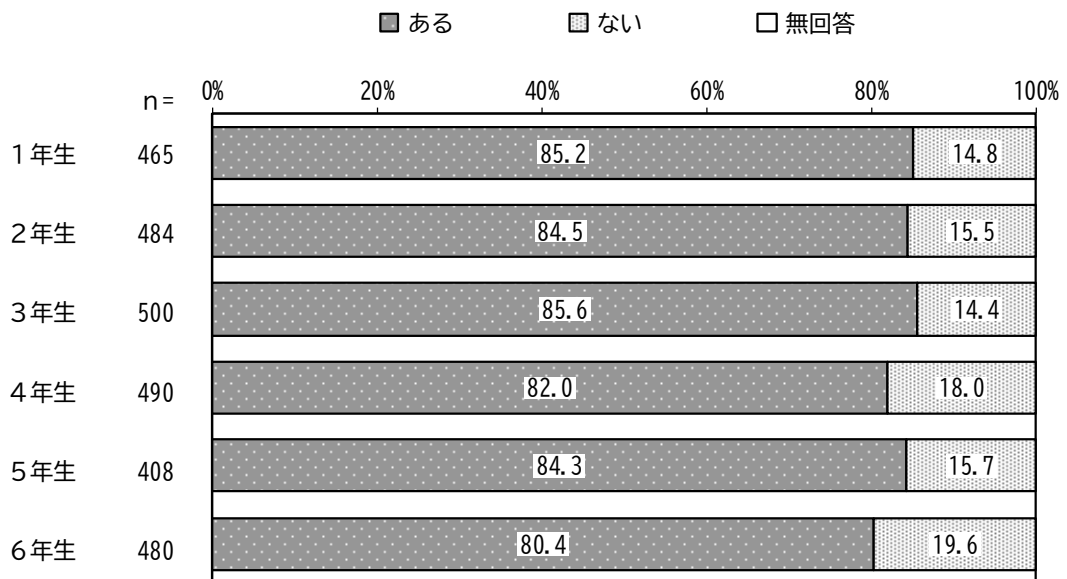
【就学前児童：年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられない。



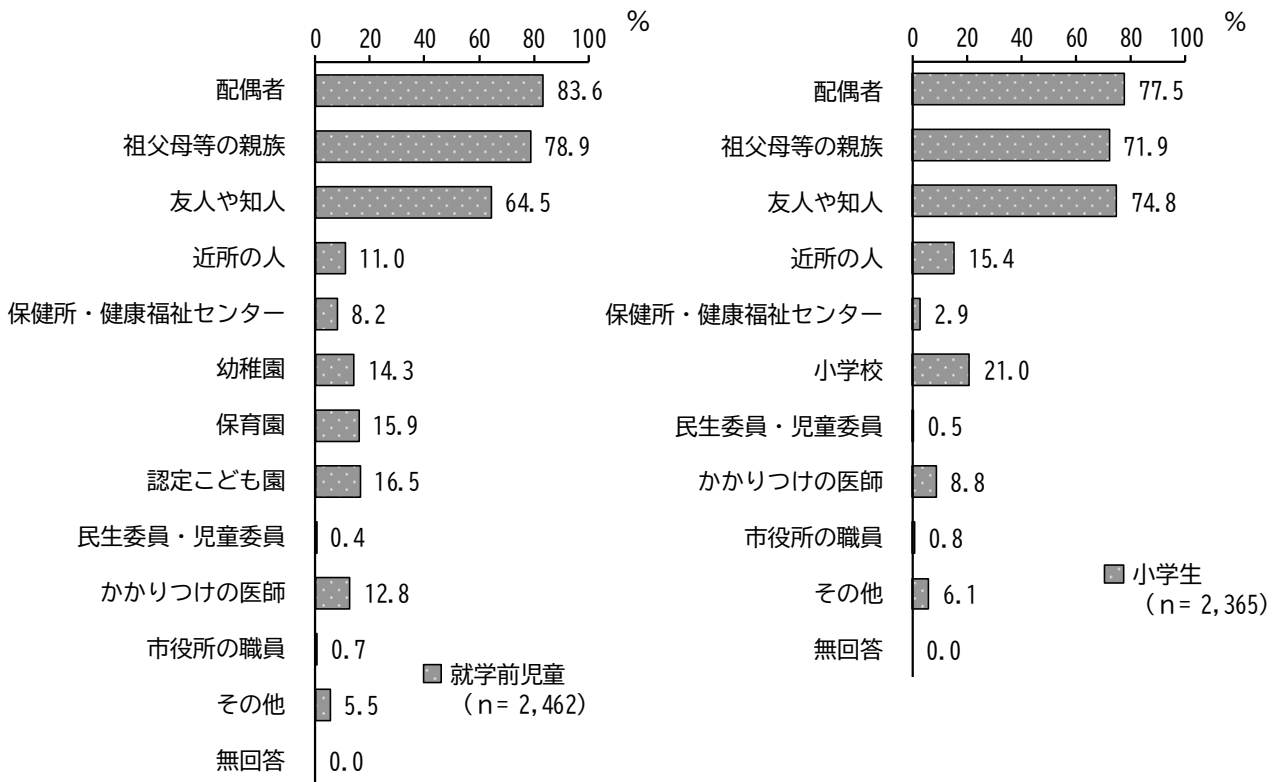
【小学生：学年別】

学年別にみると、大きな差はみられない。



問 「子育てについて気軽に相談できる人や場所はある」を選んだ方にうかがいます。
 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる人や場所についてお答えください。
 (あてはまるものすべてを選択してください。)
 【就学前：問10-1、小学生：問9-1】

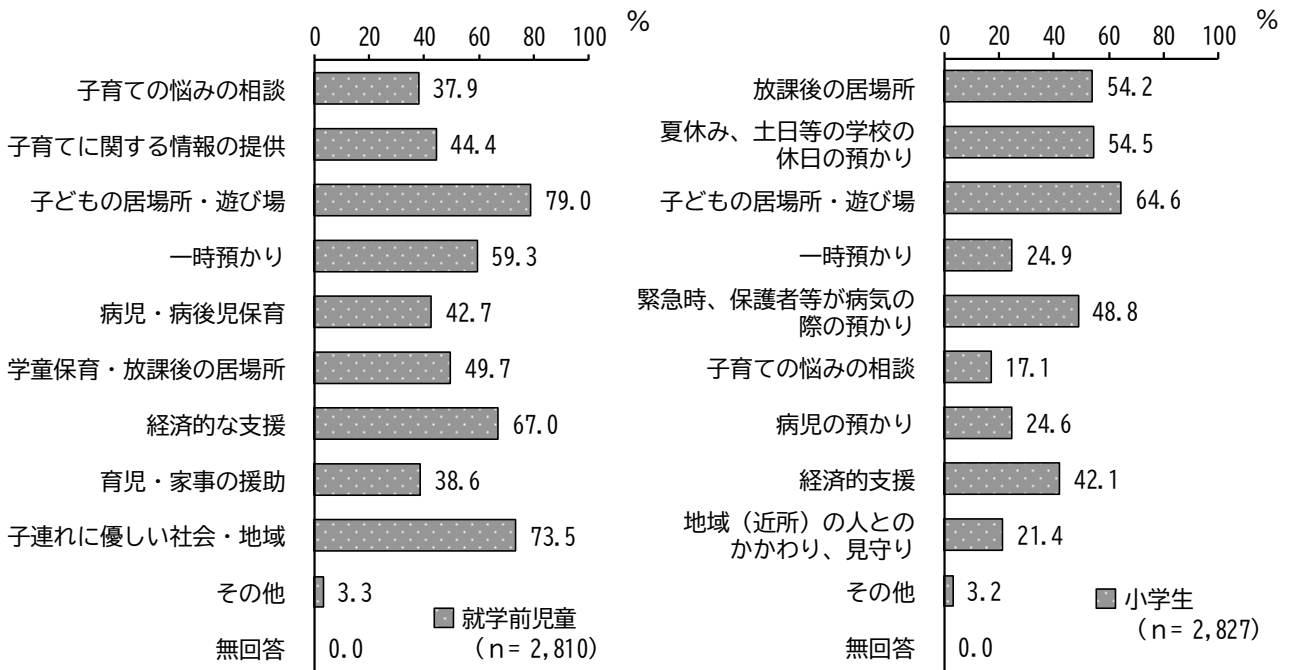
気軽に相談できる人や場所については、「配偶者」が就学前児童 83.6%、小学生 77.5%と最も高くなっている。次いで「祖父母等の親族」が就学前児童で 78.9%、「友人や知人」が小学生で 74.8%となっている。



問 子育てをするうえで、周囲（※）からどのような支援や援助があればよいと思いますか。（あてはまるものすべてを選択してください）

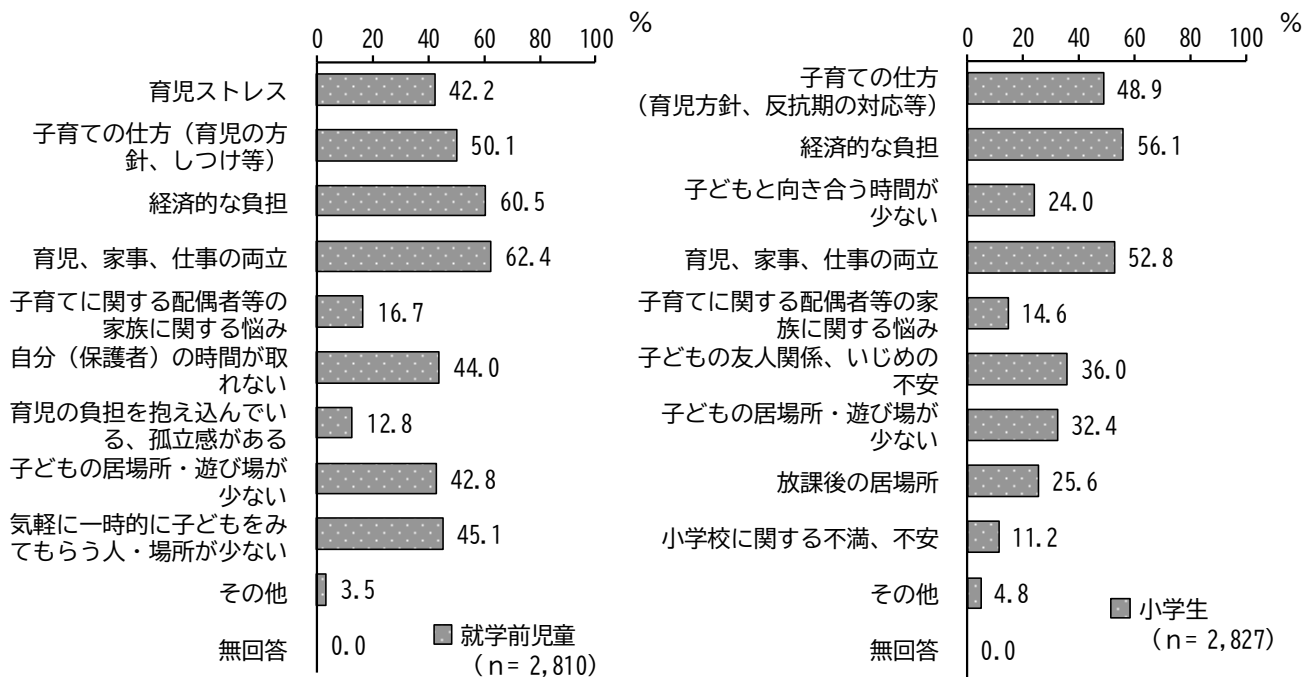
※周囲（身近な人、行政担当者など）【就学前：問 11、小学生：問 10】

子育てをするうえで、周囲から望む支援や援助について、就学前児童で「子どもの居場所・遊び場」が79.0%と最も高く、次いで「子連れに優しい社会・地域」が73.5%となっている。小学生では「子どもの居場所・遊び場」が64.6%と最も高く、次いで「夏休み、土日等の学校の休日の預かり」が54.5%となっている。



問 子育てをするうえでの悩みについて、教えてください。
 (あてはまるものすべてを選択してください)【就学前：問 12、小学生：問 11】

子育てをするうえでの悩みについては、就学前児童では「育児、家事、仕事の両立」が 62.4%と最も高く、次いで「経済的な負担」が 60.5%となっている。小学生では「経済的な負担」が 56.1%と最も高く、次いで「育児、家事、仕事の両立」が 52.8%となっている。

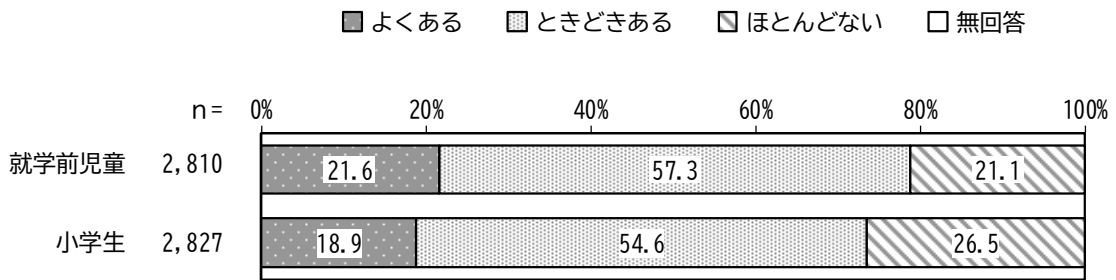


(3) 子育ての不安やストレスの状況

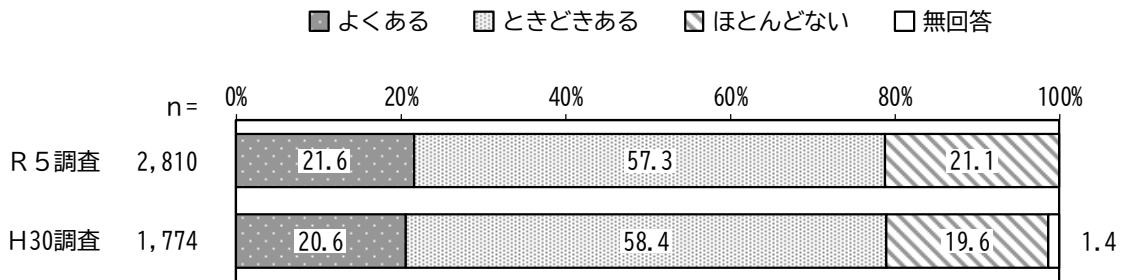
問 あて名のお子さんの子育てをするうえで、不安、ストレスを感じたことがありますか。【就学前児童：問 13、小学生：問 12】

子育ての不安やストレスについては、「よくある」と「ときどきある」の合計が就学前児童 78.9%、小学生 73.5%となっている。

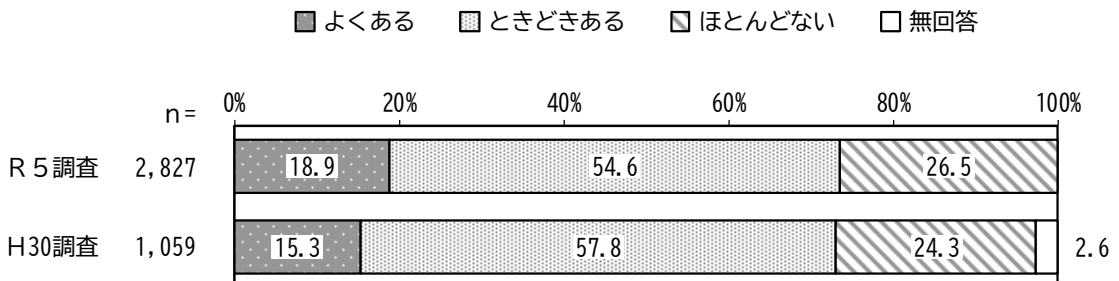
前回調査と比較すると、「ほとんどない」が就学前児童では 1.5 ポイント高くなっており、小学生では「よくある」が 3.6 ポイント高くなっている。



【就学前児童：前回比較】

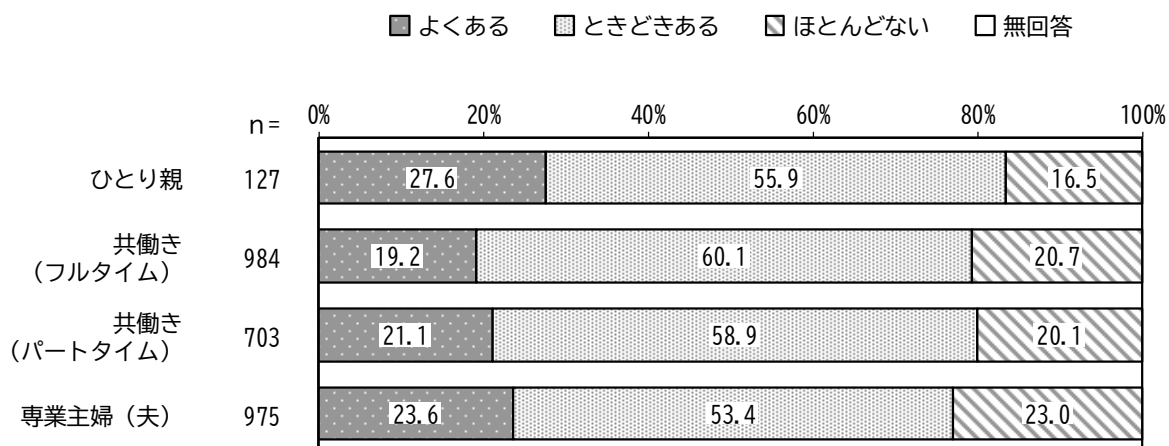


【小学生：前回比較】

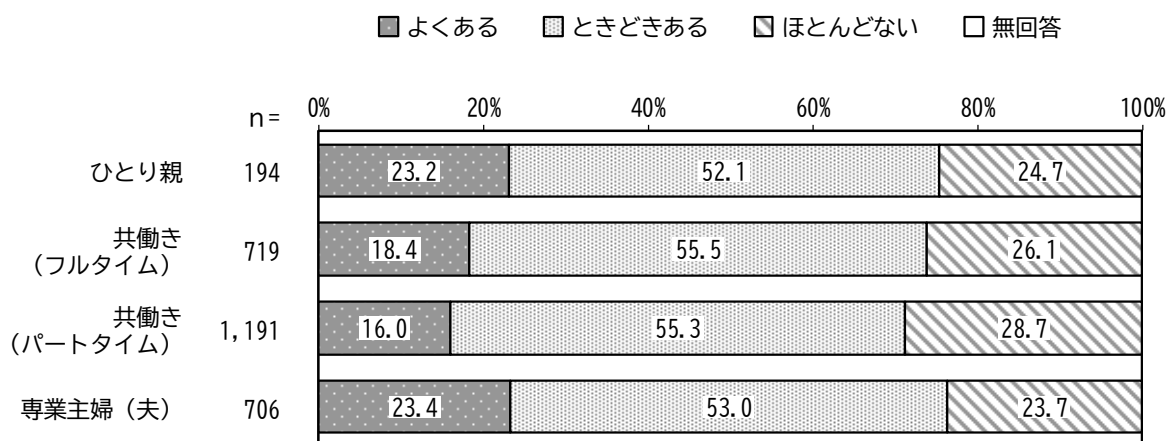


家庭類型別にみると、就学前児童のひとり親や専業主婦（夫）では「よくある」が他の家庭類型よりも約2～8ポイント高くなっている。

【就学前児童：家庭類型別】

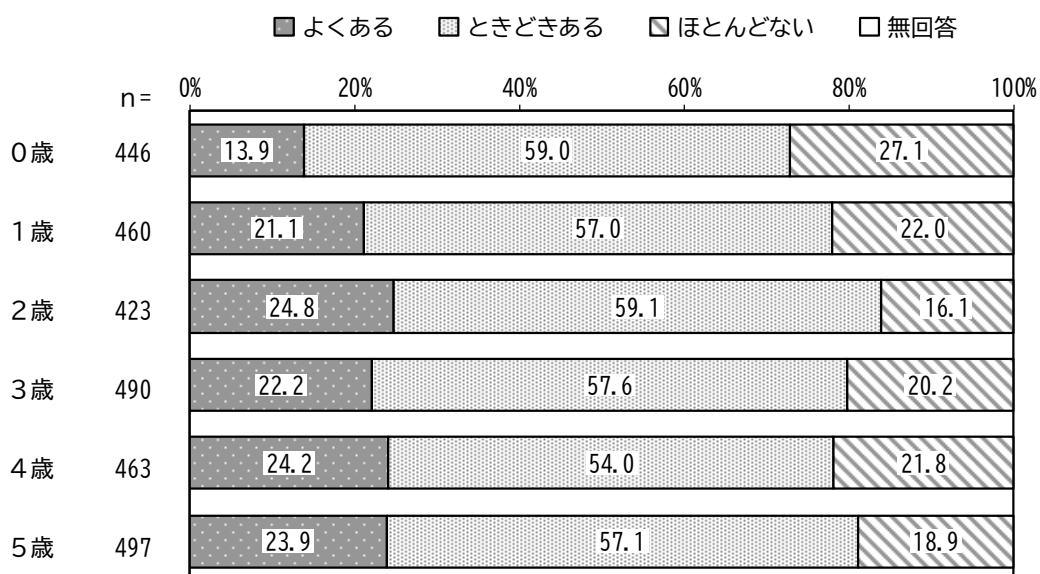


【小学生：家庭類型別】



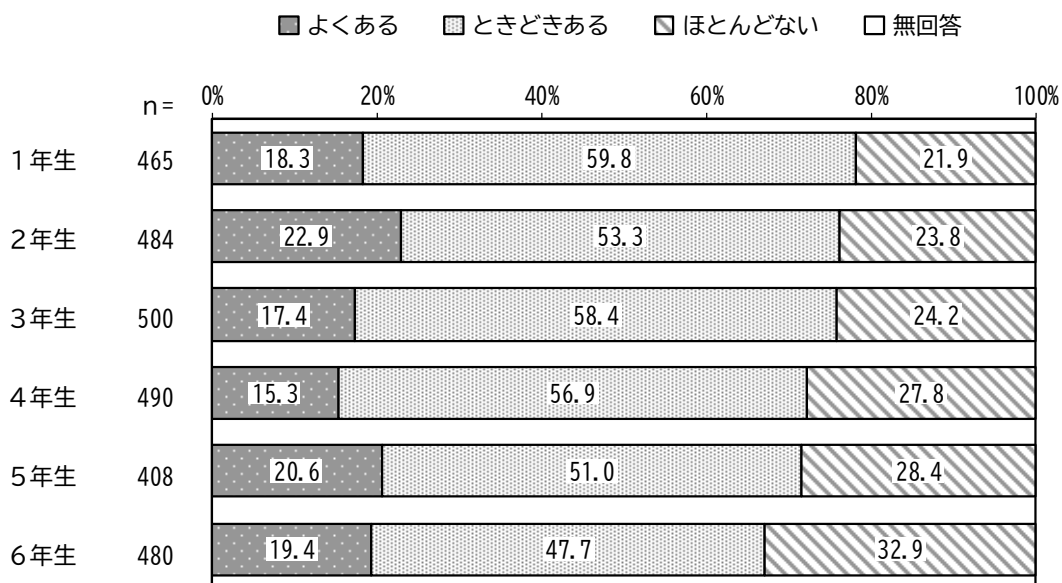
【就学前児童：年齢別】

年齢別にみると、0歳で「ほとんどない」の割合が高くなっている。

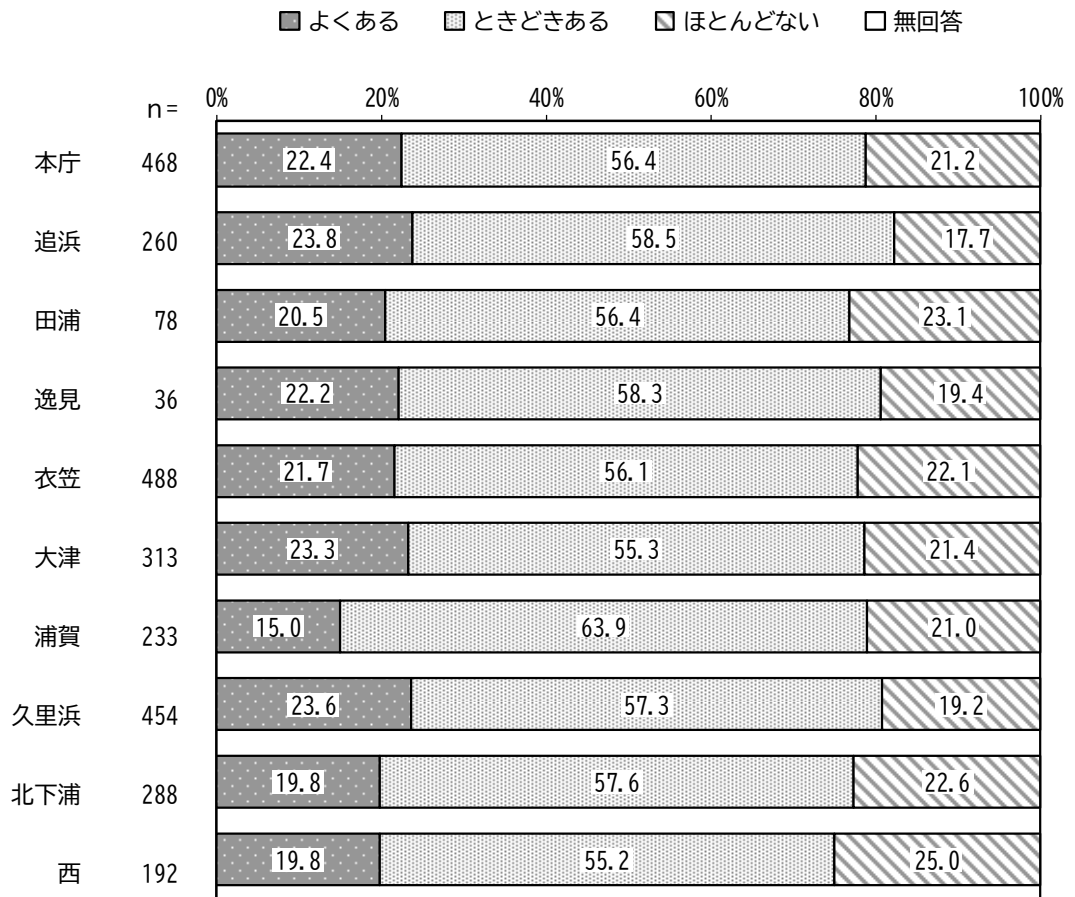


【小学生：学年別】

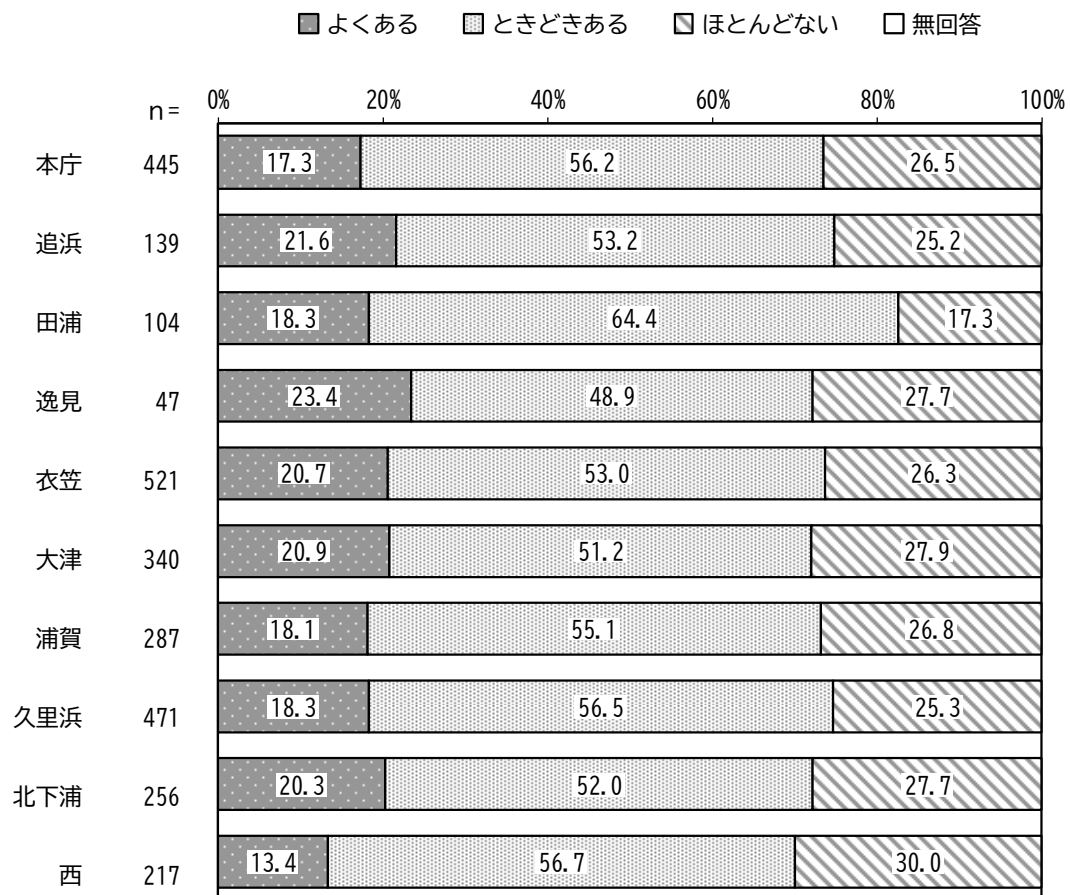
学年別にみると、6年生で「ほとんどない」の割合が高くなっている。



【就学前児童：行政センター別】



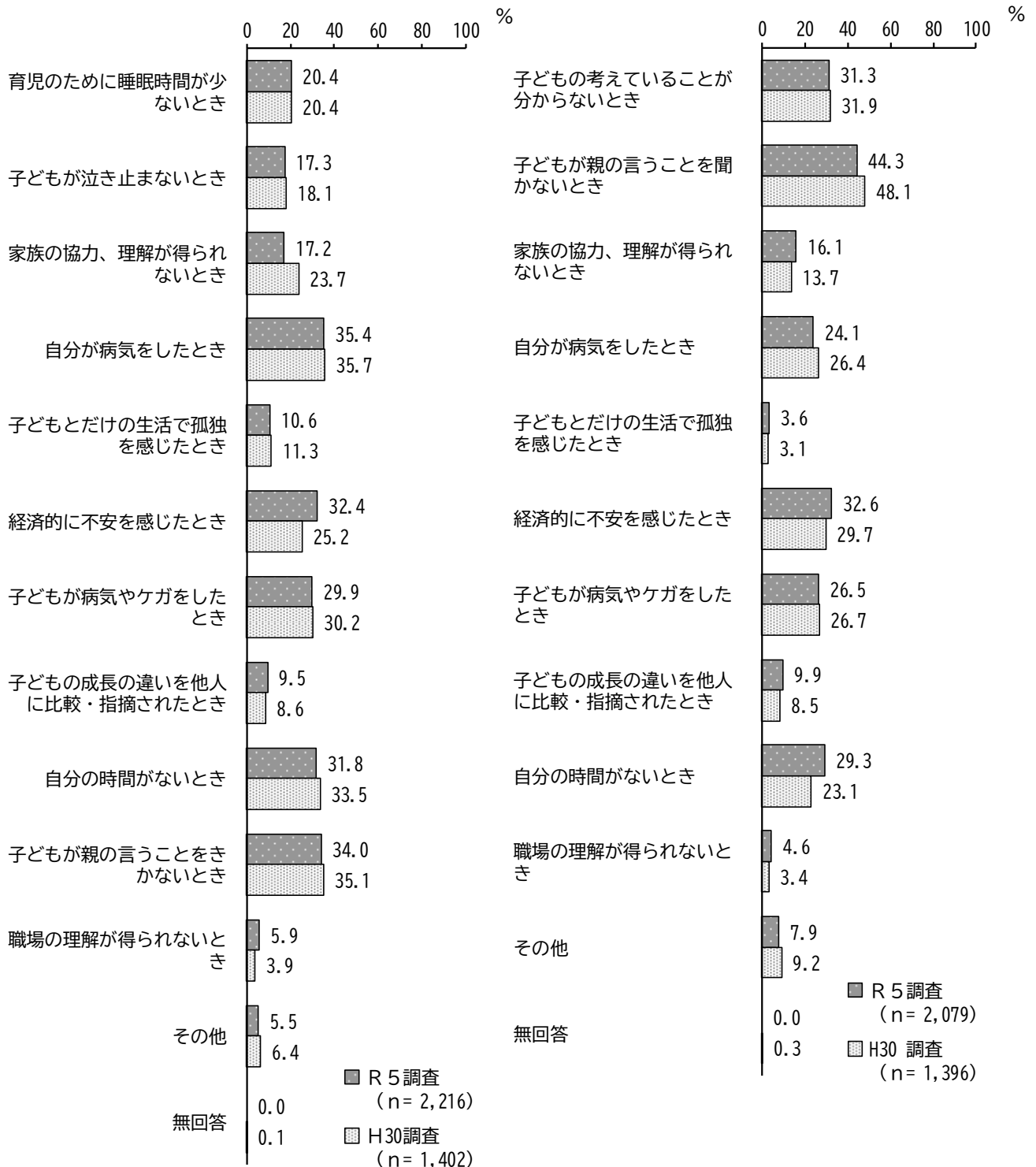
【小学生：行政センター別】



問 子育てをするうえで、不安、ストレスについて「よくある」、「ときどきある」を選んだ方にうかがいます。こういった時に不安やストレスを感じましたか。
 (3つまでお選びください)【就学前児童：問 14、小学生：問 13】

子育ての不安やストレスの原因については、就学前児童では「自分が病気をしたとき」が35.4%と最も高く、次いで「子どもが親の言うことをきかないとき」が34.0%となっている。小学生では「子どもが親の言うことを聞かないとき」が44.3%と最も高く、次いで「経済的に不安を感じたとき」が32.6%となっている。

前回調査と比較すると、就学前児童では「経済的に不安を感じたとき」が7.2ポイント高くなっており、小学生では「自分の時間がないとき」が6.2ポイント高くなっている。

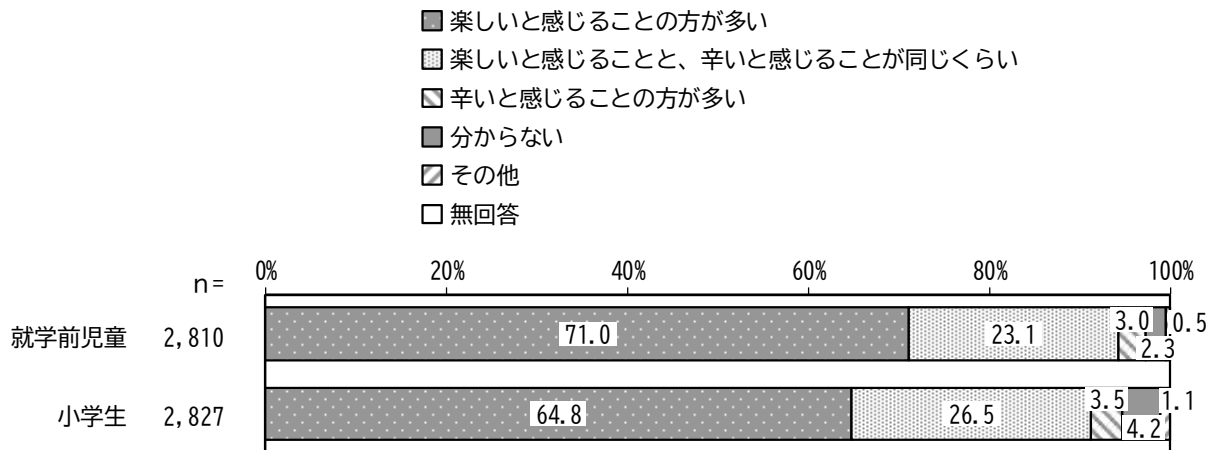


(4) 子育てを楽しいと感じるか

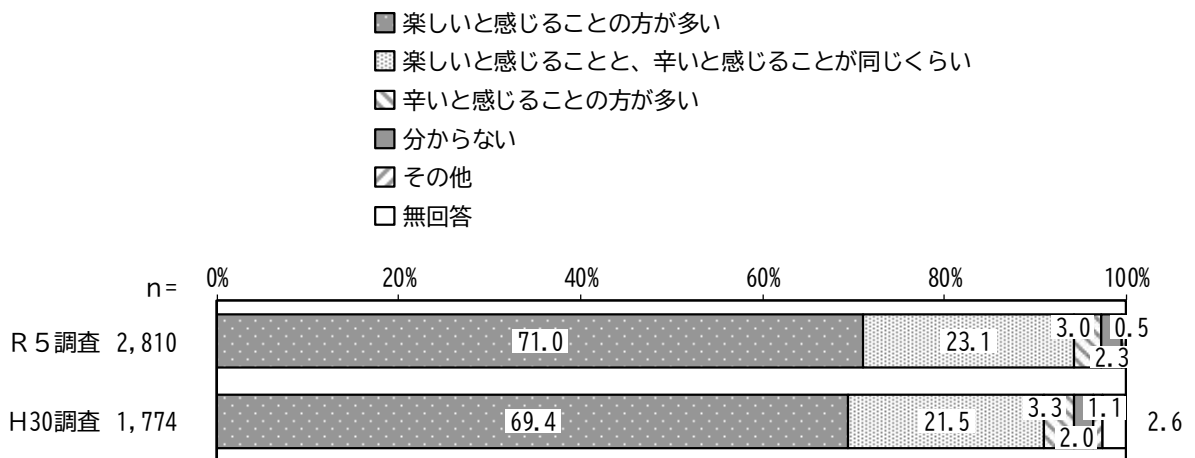
問 あなたは、子育てを楽しいと感じることが多いですか。それとも辛いと感じる事が多いですか。【就学前児童：問 15、小学生：問 14】

子育てを楽しいと感じるかについては、いずれも「楽しいと感じることの方が多い」が最も高く、就学前児童 71.0%、小学生 64.8%となっており、次いで「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい」が就学前児童 23.1%、小学生 26.5%となっている。

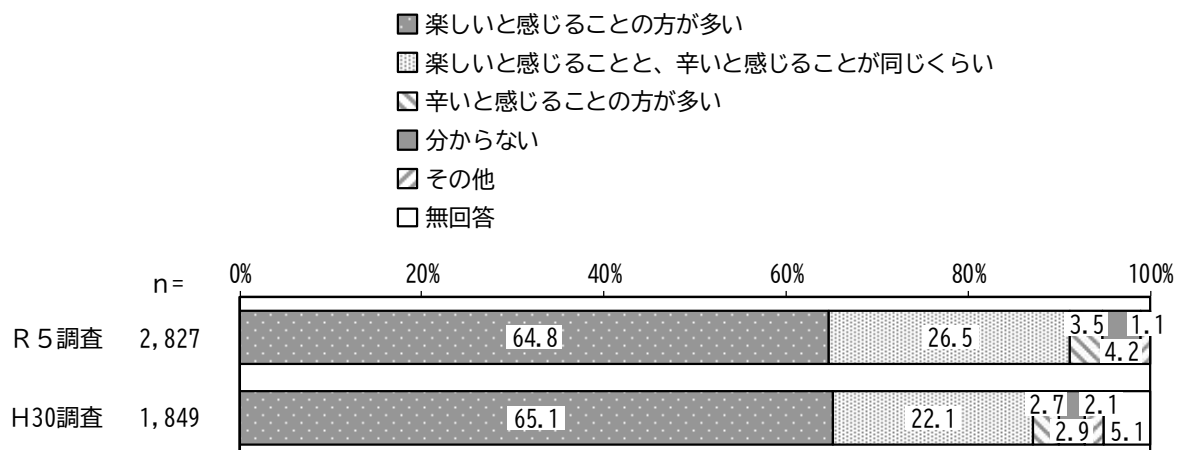
前回調査と比較すると、就学前児童では「楽しいと感じることの方が多い」が 1.6 ポイント高くなっており、小学生ではあまり差はみられない。



【就学前児童：前回比較】

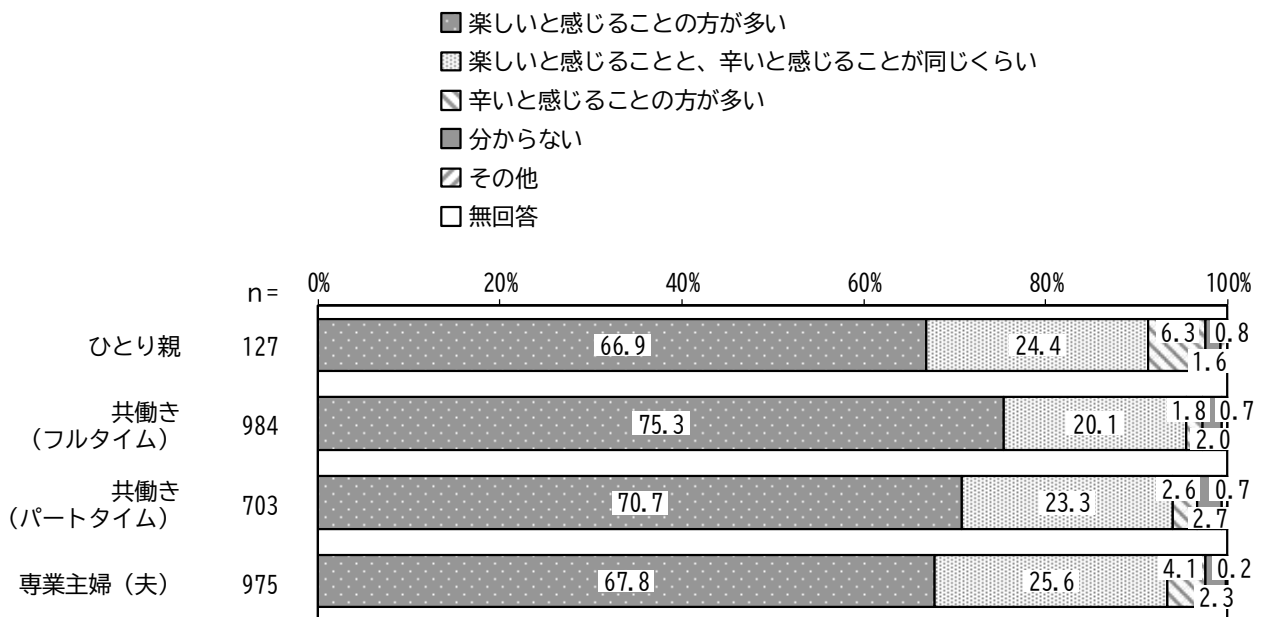


【小学生：前回比較】

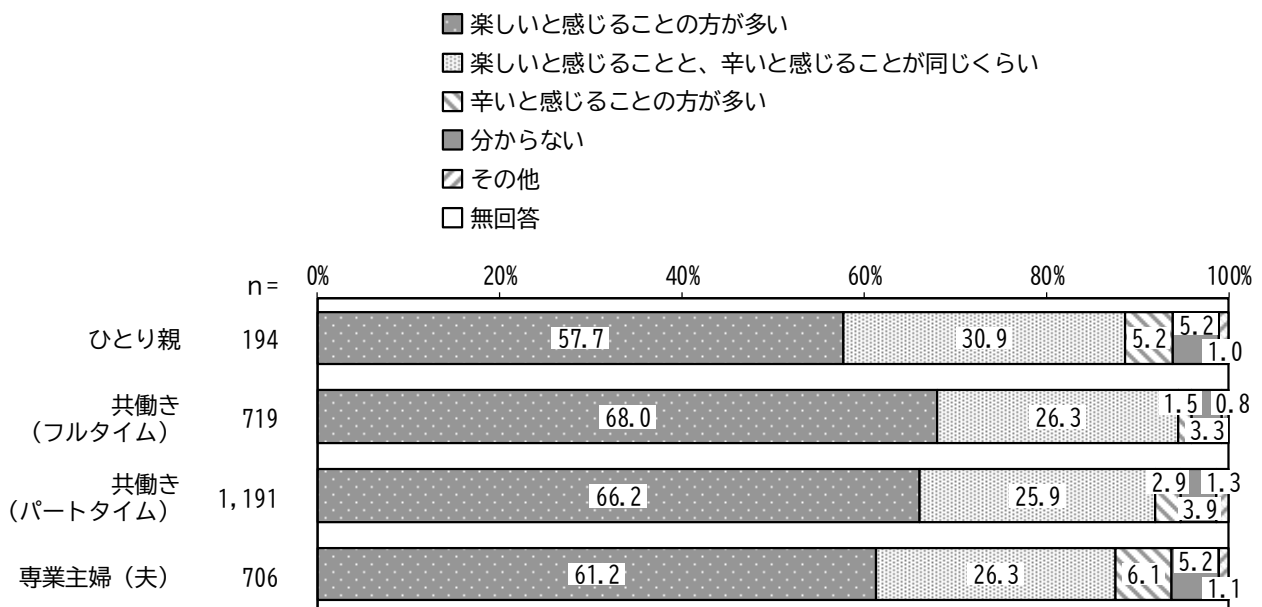


家庭類型別にみると、ひとり親では「楽しいと感じることの方が多い」が他の家庭類型よりも約1～11ポイント低くなっている。

【就学前児童：家庭類型別】



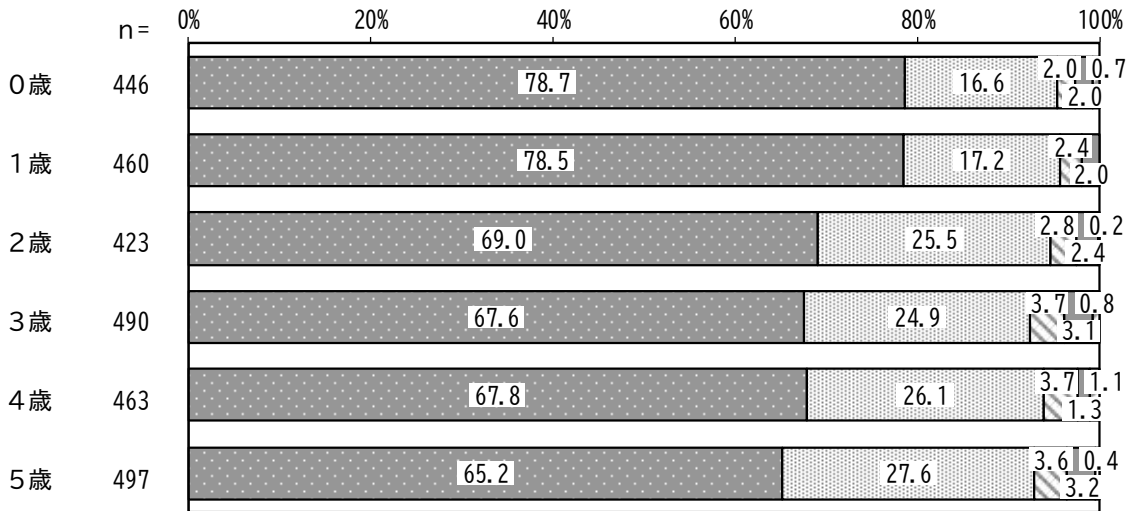
【小学生：家庭類型別】



【就学前児童：年齢別】

年齢別にみると、0歳で「楽しいと感じることの方が多い」の割合が高くなっている。

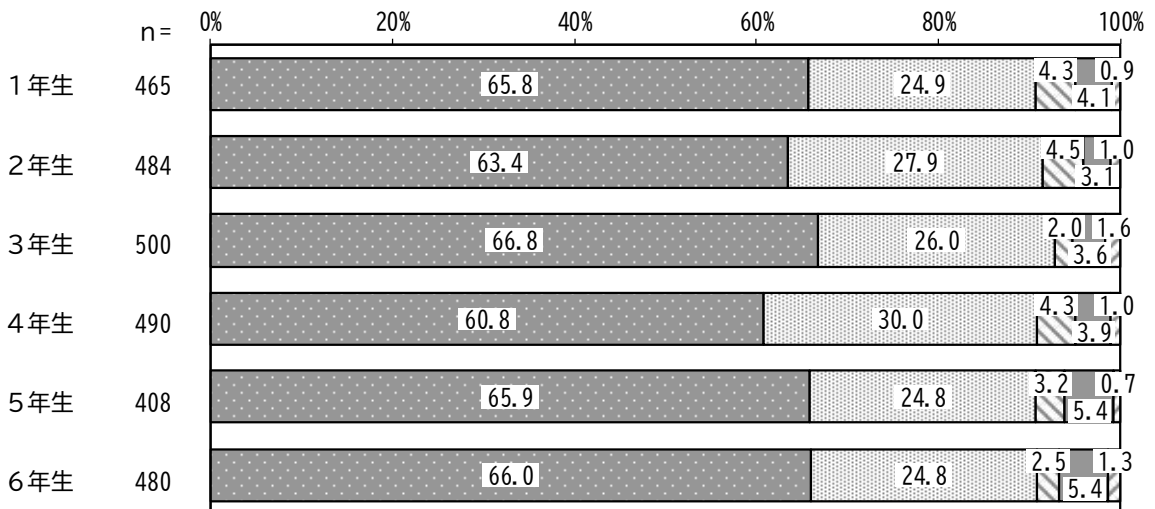
- 楽しいと感じることの方が多い
- ▨ 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい
- ▩ 辛いと感じることの方が多い
- 分からない
- ▨ その他
- 無回答



【小学生：学年別】

学年別にみると、大きな差はみられない。

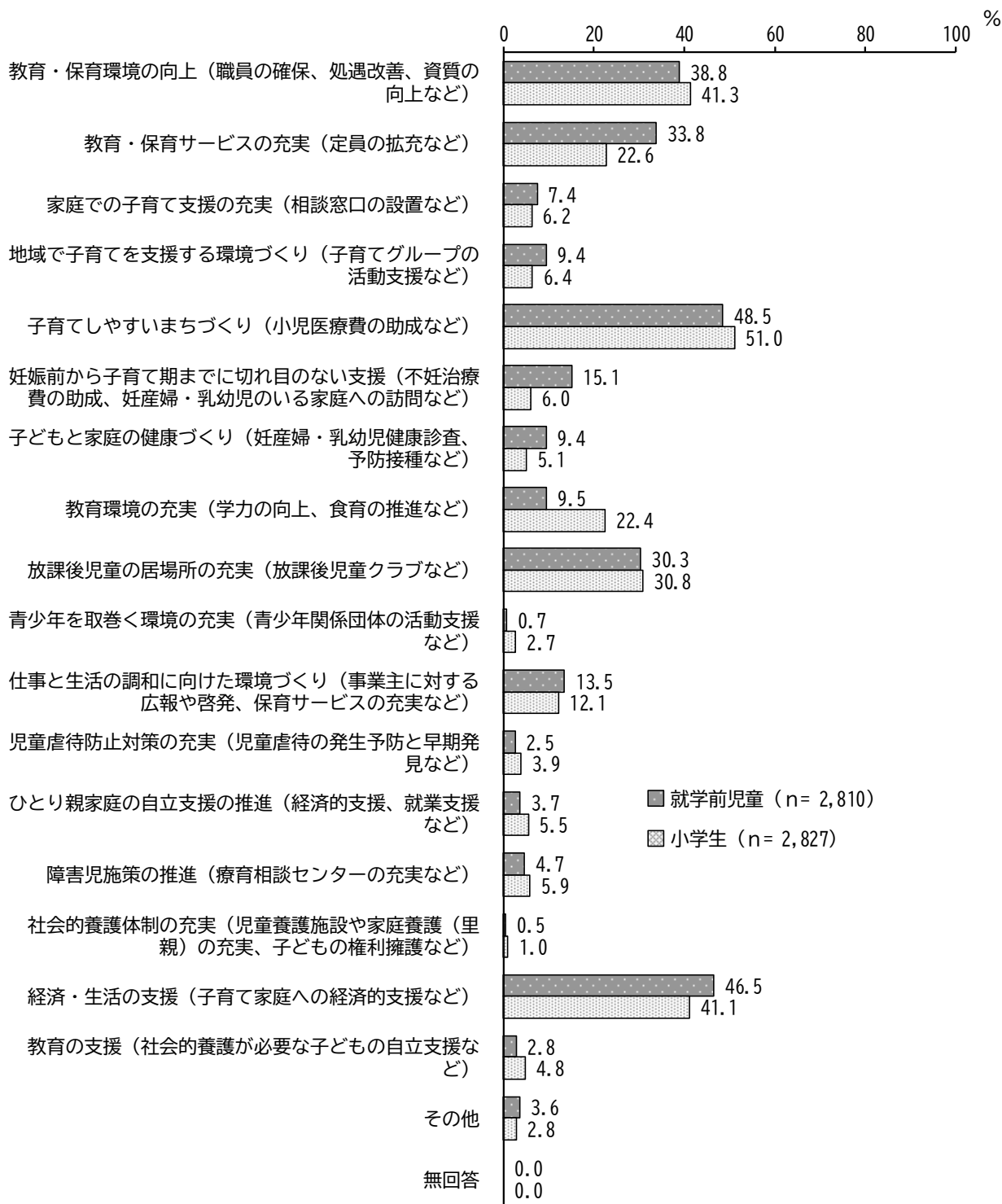
- 楽しいと感じることの方が多い
- ▨ 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい
- ▩ 辛いと感じることの方が多い
- 分からない
- ▨ その他
- 無回答



(5) 子育てにとってどのような支援が有効か

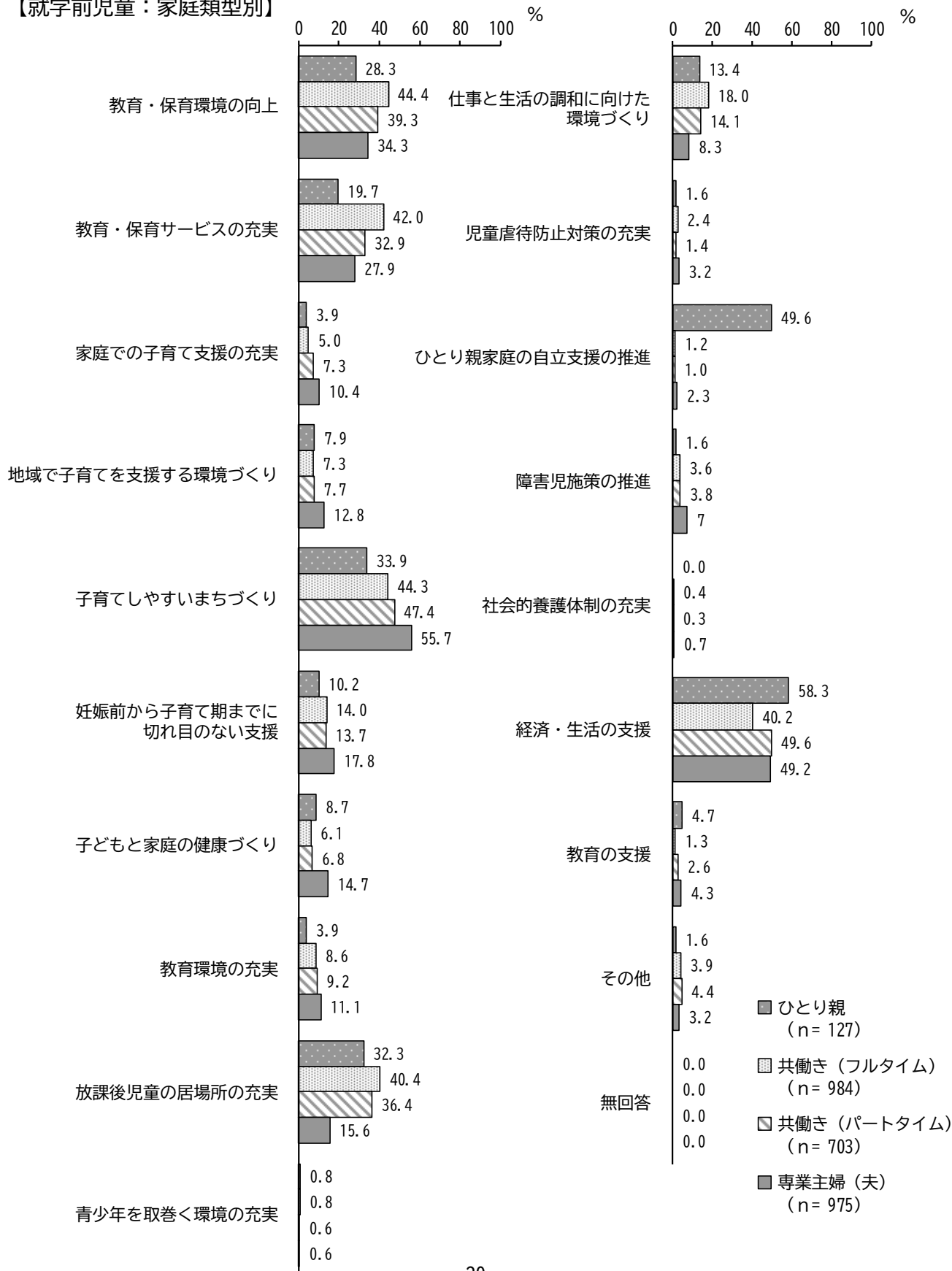
問 子育てをする中で、どのような支援や対策が有効と感じていますか。
(必要なもの3つをお選びください)【就学前児童：問 16、小学生：問 15】

子育てにとってどのような支援が有効かについては、就学前児童では「子育てしやすいまちづくり（小児医療費の助成など）」が48.5%と最も高く、次いで「経済・生活の支援（子育て家庭への経済的支援など）」が46.5%となっている。小学生では「子育てしやすいまちづくり（小児医療費の助成など）」が51.0%と最も高く、次いで「教育・保育環境の向上（職員の確保、処遇改善、資質の向上など）」が41.3%となっている。

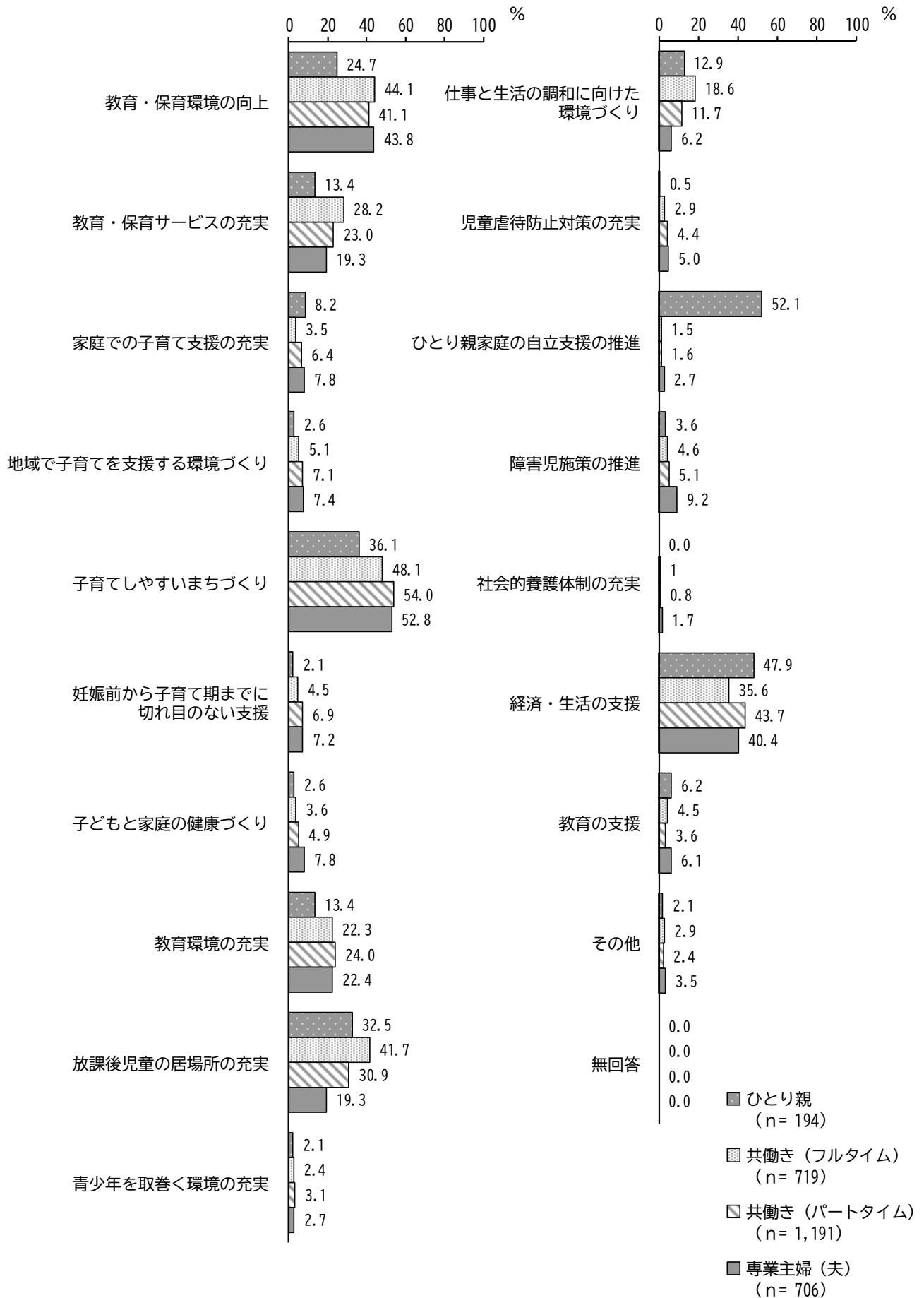


家庭類型別にみると、共働き（フルタイム）では「教育・保育環境の向上」「教育・保育サービスの充実」「放課後児童の居場所の充実」が他の家庭類型よりも高くなっている。また、ひとり親家庭では、「ひとり親家庭の自立支援の推進」「経済・生活の支援」が他の家庭類型よりも高くなっている。

【就学前児童：家庭類型別】



【小学生：家庭類型別】



【就学前児童：年齢別】

年齢別にみると、「経済・生活の支援」や「子育てしやすいまちづくり」など、低年齢ほど支援を必要としている一方、「教育環境の充実」では、3～5歳で高くなっている。

単位：%

区分	n (件)	教育・保育環境の向上（職員の確保、処遇改善、資質の向上など）	教育・保育サービスの充実（定員の拡充など）	家庭での子育て支援の充実（相談窓口の設置など）	地域で子育てを支援する環境づくり（子育てグループの活動支援など）	子育てしやすいまちづくり（小児医療費の助成など）	妊娠前から子育て期までに切れ目のない支援（不妊治療費の助成、妊産婦・乳幼児のいる家庭への訪問など）	子どもと家庭の健康づくり（妊産婦・乳幼児健康診査、予防接種など）	教育環境の充実（学力の向上、食育の推進など）	放課後児童の居場所の充実（放課後児童クラブなど）
全体	2,810	38.8	33.8	7.4	9.4	48.5	15.1	9.4	9.5	30.3
0歳	446	35.0	41.5	8.3	9.6	51.6	22.0	13.9	6.3	20.4
1歳	460	38.0	39.1	9.1	11.3	48.5	19.8	9.8	5.9	20.4
2歳	423	36.4	33.1	9.7	9.9	48.5	17.3	9.7	8.3	24.8
3歳	490	41.4	28.0	5.1	9.4	48.4	13.3	9.0	12.2	33.3
4歳	463	38.0	29.4	6.3	8.9	49.5	10.8	6.9	10.2	37.6
5歳	497	42.7	32.8	6.2	7.4	45.7	9.1	7.6	13.5	42.1

区分	青少年を取巻く環境の充実（青少年関係団体の活動支援など）	仕事と生活の調和に向けた環境づくり（事業主に対する広報や啓発、保育サービスの充実など）	児童虐待防止対策の充実（児童虐待の発生予防と早期発見など）	ひとり親家庭の自立支援の推進（経済的支援、就業支援など）	障害児施策の推進（療育相談センターの充実など）	社会的養護体制の充実（児童養護施設や家庭養護（里親）の充実、子どもの権利擁護など）	経済・生活の支援（子育て家庭への経済的支援など）	教育の支援（社会的養護が必要な子どもの自立支援など）	その他	無回答
全体	0.7	13.5	2.5	3.7	4.7	0.5	46.5	2.8	3.6	—
0歳	0.7	12.3	2.0	2.9	2.0	0.2	48.2	1.6	3.1	—
1歳	0.7	14.1	1.3	2.2	3.5	0.9	51.1	2.2	3.3	—
2歳	0.2	12.3	2.6	3.8	5.9	0.9	50.8	2.4	4.5	—
3歳	0.2	13.7	3.3	4.7	4.3	0.4	42.4	2.9	4.1	—
4歳	0.4	14.9	2.8	4.3	5.8	—	50.5	3.2	3.5	—
5歳	1.8	13.1	2.8	4.2	6.6	0.2	38.2	4.4	3.0	—

【小学生：学年別】

学年別にみると、「放課後児童の居場所の充実（放課後児童クラブなど）」「子育てしやすいまちづくり（小児医療費の助成など）」「教育・保育環境の向上（職員の確保、処遇改善、資質の向上など）」など、低学年ほど支援を必要としている。

単位：％

区分	n (件)	教育・保育環境の向上（職員の確保、処遇改善、資質の向上など）	教育・保育サービスの充実（定員の拡充など）	家庭での子育て支援の充実（相談窓口の設置など）	地域で子育てを支援する環境づくり（子育てグループの活動支援など）	子育てしやすいまちづくり（小児医療費の助成など）	妊娠前から子育て期までに切れ目のない支援（不妊治療費の助成、妊産婦・乳幼児のいる家庭への訪問など）	子どもと家庭の健康づくり（妊産婦・乳幼児健康診査、予防接種など）	教育環境の充実（学力の向上、食育の推進など）	放課後児童の居場所の充実（放課後児童クラブなど）
全 体	2,827	41.3	22.6	6.2	6.4	51.0	6.0	5.1	22.4	30.8
1年生	465	39.1	23.4	4.9	8.4	48.4	7.1	3.9	18.5	41.3
2年生	484	40.3	26.2	6.8	5.8	46.7	7.0	4.8	18.6	39.0
3年生	500	41.0	22.8	6.2	8.4	48.6	6.2	6.0	23.4	36.6
4年生	490	40.6	19.4	6.5	6.7	54.3	5.7	4.9	21.8	26.7
5年生	408	43.9	21.1	4.9	2.9	56.9	4.4	5.4	26.7	22.8
6年生	480	43.1	22.5	7.5	5.4	51.9	5.2	5.6	25.8	17.1

単位：%

区分	青少年を取巻く環境の充実（青少年関係団体の活動支援など）	仕事と生活の調和に向けた環境づくり（事業主に対する広報や啓発、保育サービスの充実など）	児童虐待防止対策の充実（児童虐待の発生予防と早期発見など）	ひとり親家庭の自立支援の推進（経済的支援、就業支援など）	障害児施策の推進（療育相談センターの充実など）	社会的養護体制の充実（児童養護施設や家庭養護（里親）の充実、子どもの権利擁護など）	経済・生活の支援（子育て家庭への経済的支援など）	教育の支援（社会的養護が必要な子どもの自立支援など）	その他	無回答
全 体	2.7	12.1	3.9	5.5	5.9	1.0	41.1	4.8	2.8	—
1年生	2.2	14.0	2.8	4.7	4.1	0.9	39.8	3.0	3.4	—
2年生	2.9	12.0	2.7	3.7	6.2	0.8	44.2	3.3	3.9	—
3年生	3.0	12.0	3.6	5.2	5.0	0.6	36.6	4.6	2.4	—
4年生	2.4	11.0	4.5	5.9	6.9	1.8	43.9	5.9	1.2	—
5年生	2.7	12.0	4.2	7.8	6.6	1.2	41.2	4.9	1.5	—
6年生	3.1	11.9	5.4	5.8	6.5	0.8	41.0	6.9	4.2	—

（前ページの表 続き）

【就学前児童：行政センター別】

単位：%

区分	n (件)	教育・保育環境の向上（職員の確保、 処遇改善、資質の向上など）	教育・保育サービスの充実（定員の拡 充など）	家庭での子育て支援の充実（相談窓口 の設置など）	地域で子育てを支援する環境づくり （子育てグループの活動支援など）	子育てしやすいまちづくり（小児医療 費の助成など）	乳幼児のいる家庭への訪問など）	妊娠前から子育て期までに切れ目の ない支援（不妊治療費の助成、妊産婦・ 乳幼児のいる家庭への訪問など）	子どもと家庭の健康づくり（妊産婦・ 乳幼児健康診査、予防接種など）	教育環境の充実（学力の向上、食育の 推進など）	放課後児童の居場所の充実（放課後児 童クラブなど）
全 体	2,810	38.8	33.8	7.4	9.4	48.5	15.1	9.4	9.5	30.3	
本庁	468	42.3	36.1	8.8	11.5	47.6	16.0	7.9	13.5	27.4	
追浜	260	41.5	35.4	5.0	10.0	46.5	14.6	9.6	11.2	40.4	
田浦	78	38.5	30.8	5.1	5.1	44.9	11.5	12.8	10.3	35.9	
逸見	36	38.9	30.6	5.6	8.3	47.2	8.3	11.1	11.1	30.6	
衣笠	488	35.9	31.4	6.6	7.4	47.1	15.4	12.3	6.1	30.7	
大津	313	40.6	41.2	9.9	8.0	47.3	15.3	9.6	7.7	29.7	
浦賀	233	33.9	30.5	6.0	9.4	46.4	15.9	12.0	7.7	30.0	
久里浜	454	39.2	34.4	7.7	9.7	50.7	15.2	7.0	9.7	31.7	
北下浦	288	37.5	33.3	6.3	9.0	53.8	16.0	8.3	10.1	25.3	
西	192	37.5	25.5	9.4	12.0	50.5	12.0	7.3	9.4	25.5	

単位：%

区分	青少年を取巻く環境の充実(青少年関係団体の活動支援など)	発、保育サービスの充実など)	仕事と生活の調和に向けた環境づくり(事業主に対する広報や啓	児童虐待防止対策の充実(児童虐待の発生予防と早期発見など)	ひとり親家庭の自立支援の推進(経済的支援、就業支援など)	障害児施策の推進(療育相談センターの充実など)	社会的養護体制の充実(児童養護施設や家庭養護(里親)の充実、子どもの権利擁護など)	経済・生活の支援(子育て家庭への経済的支援など)	教育の支援(社会的養護が必要な子どもの自立支援など)	その他	無回答
全 体	0.7	13.5	2.5	3.7	4.7	0.5	46.5	2.8	3.6	—	
本庁	0.4	10.5	2.8	3.4	3.8	0.2	40.4	1.7	2.6	—	
追浜	0.8	16.9	1.2	2.7	5.8	0.8	39.6	3.5	2.3	—	
田浦	—	12.8	3.8	5.1	5.1	1.3	50.0	3.8	3.8	—	
逸見	—	5.6	5.6	8.3	5.6	2.8	58.3	2.8	—	—	
衣笠	1.2	13.7	3.1	3.7	3.3	0.8	52.7	2.0	3.9	—	
大津	0.6	12.5	2.9	2.6	4.8	0.3	40.3	3.8	4.2	—	
浦賀	—	12.0	1.3	5.2	6.9	—	51.9	2.1	5.2	—	
久里浜	0.9	15.0	2.4	3.5	4.8	0.2	46.5	2.9	4.0	—	
北下浦	1.0	14.9	2.8	4.9	6.9	0.3	47.9	3.8	3.1	—	
西	—	14.6	1.0	3.6	2.6	0.5	53.1	3.6	5.2	—	

(前ページの表 続き)

【小学生：行政センター別】

単位：%

区分	n (件)	教育・保育環境の向上（職員の確保、処遇改善、資質の向上など）	教育・保育サービスの充実（定員の拡充など）	家庭での子育て支援の充実（相談窓口の設置など）	地域で子育てを支援する環境づくり（子育てグループの活動支援など）	子育てしやすいまちづくり（小児医療費の助成など）	妊娠前から子育て期までに切れ目のない支援（不妊治療費の助成、妊産婦・乳幼児のいる家庭への訪問など）	子どもと家庭の健康づくり（妊産婦・乳幼児健康診査、予防接種など）	教育環境の充実（学力の向上、食育の推進など）	放課後児童の居場所の充実（放課後児童クラブなど）
全 体	2,827	41.3	22.6	6.2	6.4	51.0	6.0	5.1	22.4	30.8
本庁	445	42.9	25.6	6.3	6.1	48.8	5.8	6.1	24.5	32.8
追浜	139	42.4	22.3	5.8	8.6	51.8	3.6	1.4	26.6	30.2
田浦	104	45.2	22.1	3.8	4.8	48.1	5.8	1.9	18.3	38.5
逸見	47	34.0	14.9	2.1	6.4	68.1	10.6	4.3	29.8	29.8
衣笠	521	37.8	20.5	5.6	7.3	53.4	5.4	5.6	22.8	32.4
大津	340	47.4	24.7	4.7	6.2	48.8	5.9	7.4	23.5	27.6
浦賀	287	42.2	20.6	7.7	7.3	49.8	8.4	2.8	20.2	28.2
久里浜	471	38.4	23.6	7.9	5.3	51.4	6.6	4.9	21.4	30.1
北下浦	256	37.5	23.8	7.8	5.1	52.7	5.9	5.9	19.1	32.8
西	217	45.2	19.4	4.6	6.9	48.8	4.1	5.1	21.7	26.7

単位：%

区分	青少年を取巻く環境の充実(青少年関係団体の活動支援など)	仕事と生活の調和に向けた環境づくり(事業主に対する広報や啓発、保育サービスの充実など)	児童虐待防止対策の充実(児童虐待の発生予防と早期発見など)	ひとり親家庭の自立支援の推進(経済的支援、就業支援など)	障害児施策の推進(療育相談センターの充実など)	社会的養護体制の充実(児童養護施設や家庭養護(里親)の充実、子どもの権利擁護など)	経済・生活の支援(子育て家庭への経済的支援など)	教育の支援(社会的養護が必要な子どもの自立支援など)	その他	無回答
全体	2.7	12.1	3.9	5.5	5.9	1.0	41.1	4.8	2.8	—
本庁	2.7	8.3	3.4	4.9	5.4	1.3	37.3	6.5	2.0	—
追浜	2.2	16.5	1.4	4.3	5.8	—	43.2	6.5	4.3	—
田浦	1.9	10.6	2.9	1.9	12.5	1.0	35.6	3.8	5.8	—
逸見	4.3	10.6	6.4	8.5	8.5	2.1	36.2	2.1	—	—
衣笠	2.7	12.7	3.8	5.8	5.0	0.6	41.1	4.6	3.1	—
大津	3.8	11.2	4.1	5.6	6.8	1.2	38.8	4.1	2.4	—
浦賀	3.5	12.5	4.5	6.3	4.9	0.3	42.5	6.6	1.7	—
久里浜	2.5	13.4	4.2	5.1	5.5	1.7	44.6	3.2	2.8	—
北下浦	1.6	17.6	3.1	7.4	3.9	0.8	42.6	3.5	2.7	—
西	2.3	8.8	5.1	5.1	8.3	1.4	43.8	5.1	4.1	—

(前ページの表 続き)

(6) 理想的な子どもの人数・実際の人数が少ない理由

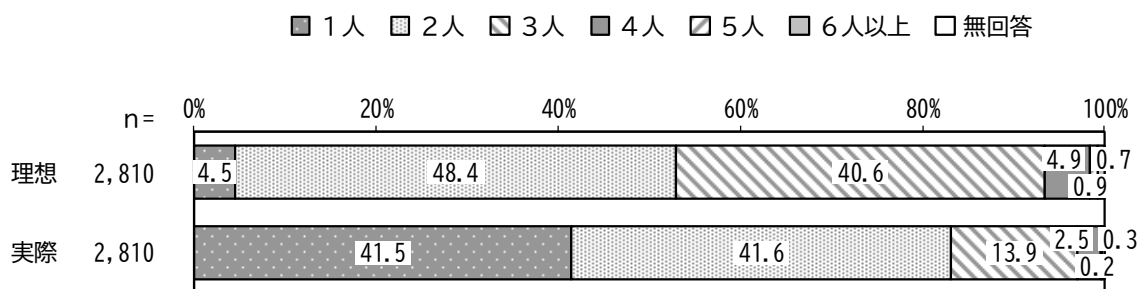
問 あなたにとって理想的なお子さんの人数は何人ですか。

【就学前児童：問 17、小学生：問 16】

【就学前児童】

理想的な子どもの人数については、「2人」が48.4%と最も高く、次いで「3人」が40.6%となっている。

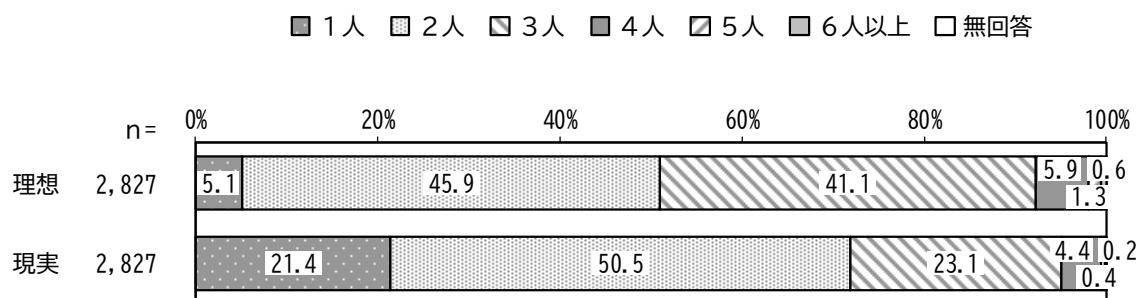
一方で、実際の子どもの人数は「1人」が41.5%、「2人」が41.6%となっていて、「3人」は13.9%にとどまっている。



【小学生】

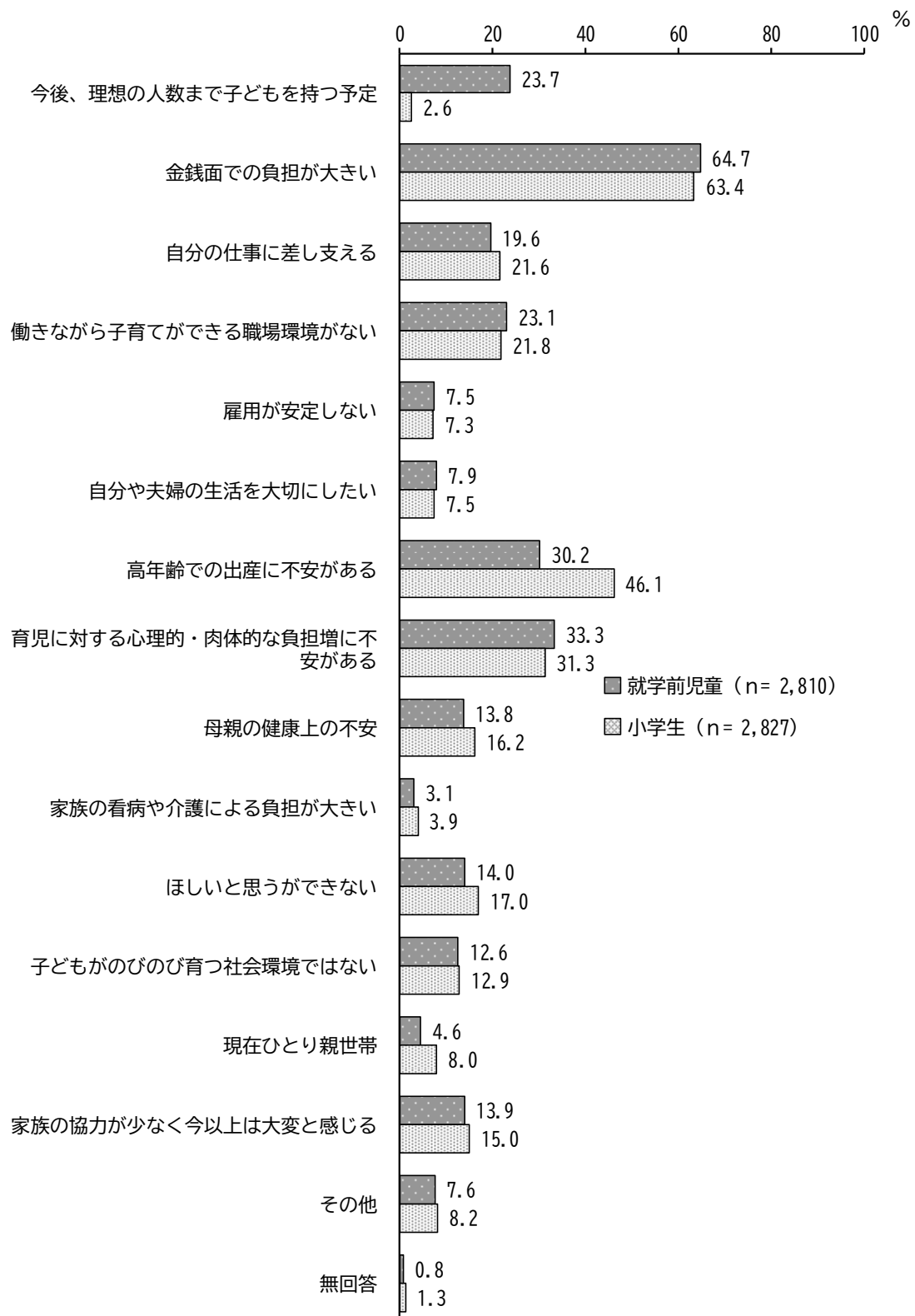
理想的な子どもの人数については、「2人」が45.9%と最も高く、次いで「3人」が41.1%となっている。

一方で、実際の子どもの人数は「1人」が41.5%、「2人」が41.6%となっていて、「3人」は13.9%にとどまっている。



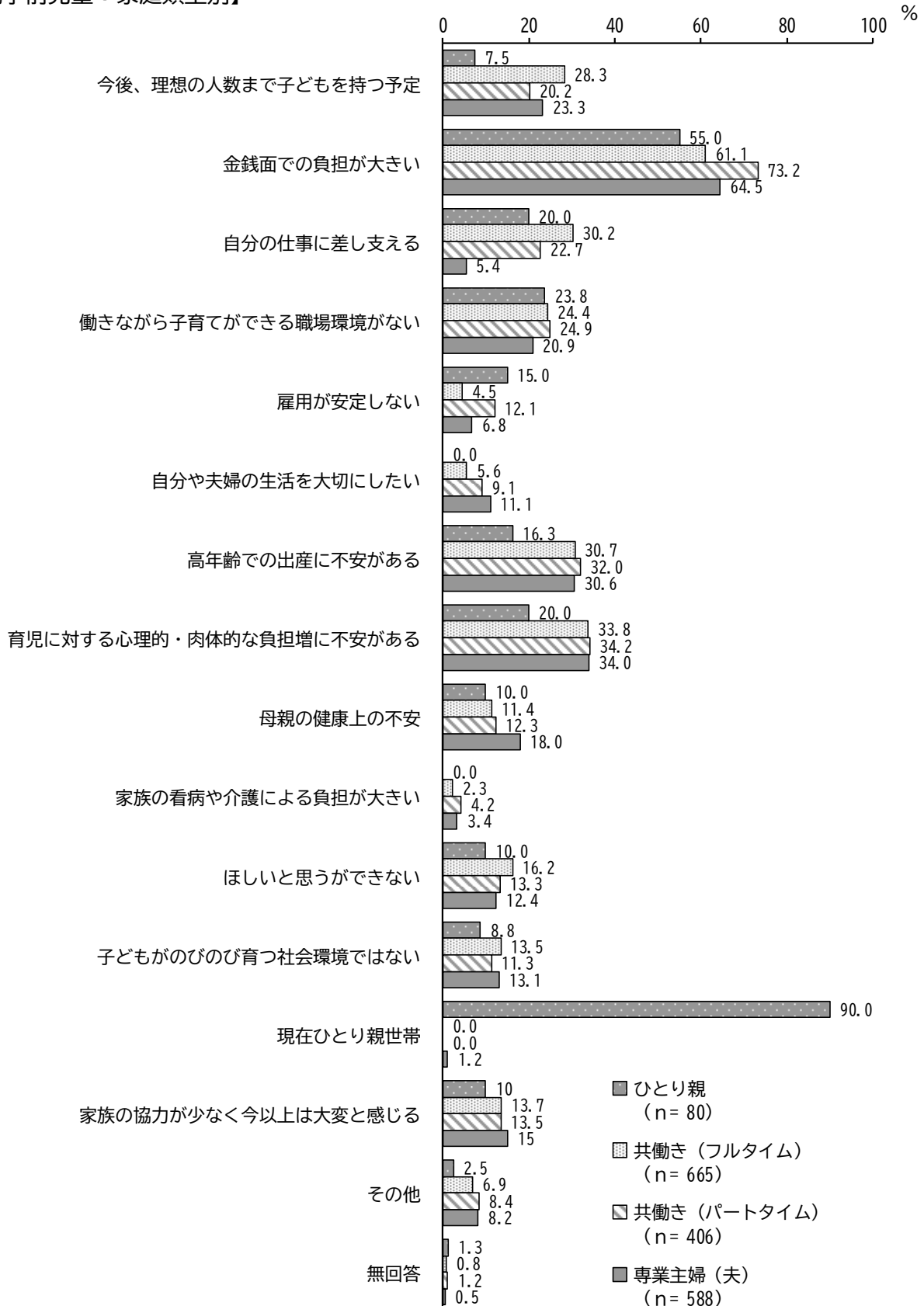
問 前問の人数に比べ、現在のお子さんの人数が少ない方にうかがいます。理想的なお子さんの人数に比べ現在のお子さんの人数が少ない理由についてお答えください。
 (あてはまるものすべてを選択してください。)
 【就学前児童：問 17-1、小学生：問 16-1】

現在の人数が少ない理由については、「金銭面での負担が大きい」が最も高く、就学前児童 64.7%、小学生 63.4%となっており、次いで「育児に対する心理的・肉体的な負担増に不安がある」が就学前児童 33.3%、「高年齢での出産に不安がある」が小学生 46.1%となっている。

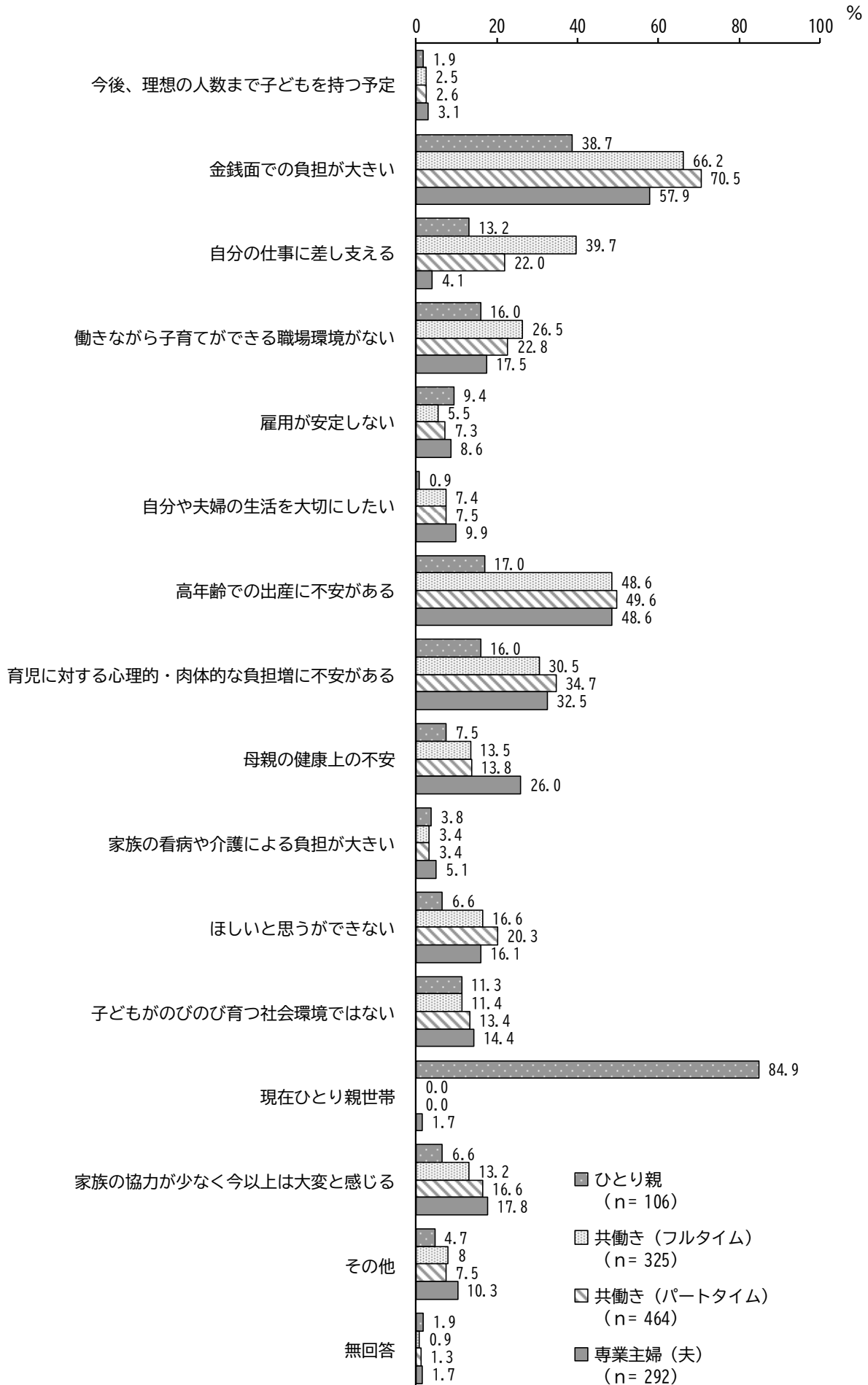


家庭類型別にみると、共働き（パートタイム）では「金銭面での負担が大きい」が他の家庭類型よりも約4～31ポイント高く、また、共働き（フルタイム）では「自分の仕事に差し支える」が他の家庭類型よりも約7～35ポイント高くなっている。

【就学前児童：家庭類型別】



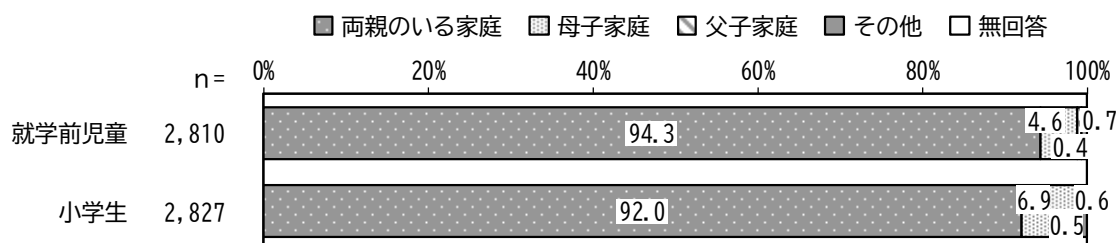
【小学生：家庭類型別】



4 母親、父親の就労状況について 家庭状況

問 あて名のお子さんの家庭状況について、あてはまるものをお答えください。
【就学前児童：問 18、小学生：問 17】

お子さんの家庭状況については、「両親のいる家庭」の割合が就学前児童 94.3%、小学生 92.0%と最も高くなっている。



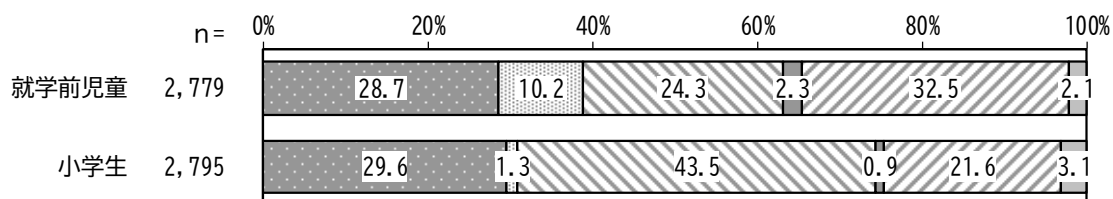
(1) 母親の就労状況

問 母親の就労状況 あてはまるものを1つ選択してください
【就学前児童：問 18-1、小学生：問 17-1】

母親の就労状況については、就学前児童では「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」となっている。

小学生では「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 29.6%となっている。就学前児童と比較すると、小学生の方が就労している世帯の割合が高くなっている。

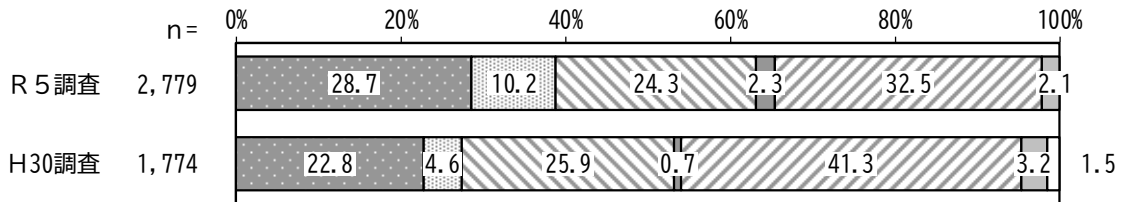
- フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▩ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▨ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



前回調査と比較すると、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」を合わせた就労している母親の割合が、就学前児童では4.3ポイント、小学生では5.6ポイント高くなっている。

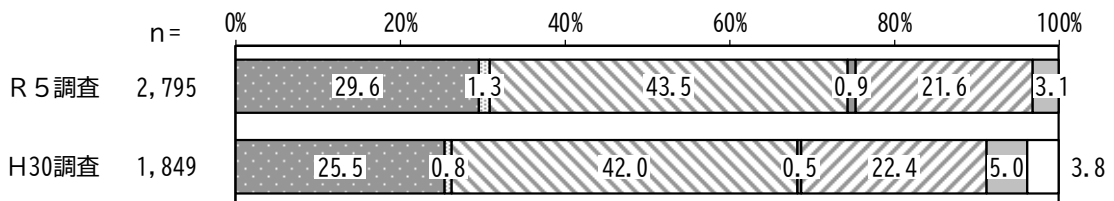
【就学前児童：前回比較】

- フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▩ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▨ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



【小学生：前回比較】

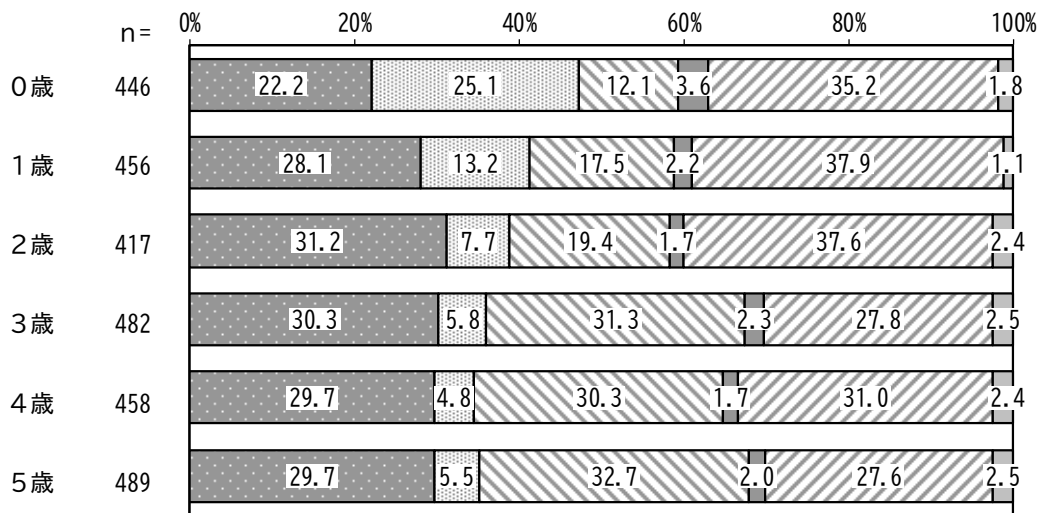
- フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▩ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▨ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



【就学前児童：年齢別】

年齢別にみると、0歳で「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が高くなっている。

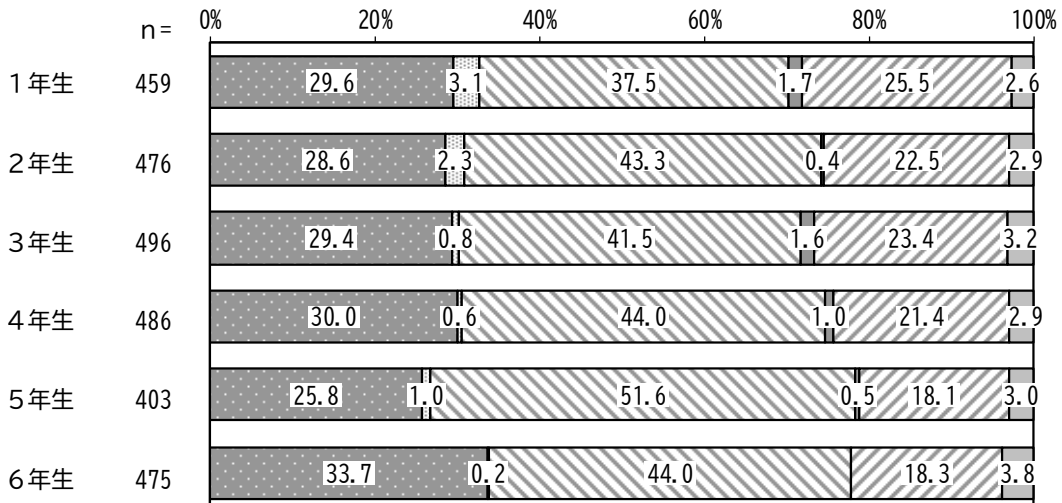
- フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▩ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▨ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



【学年別：小学生】

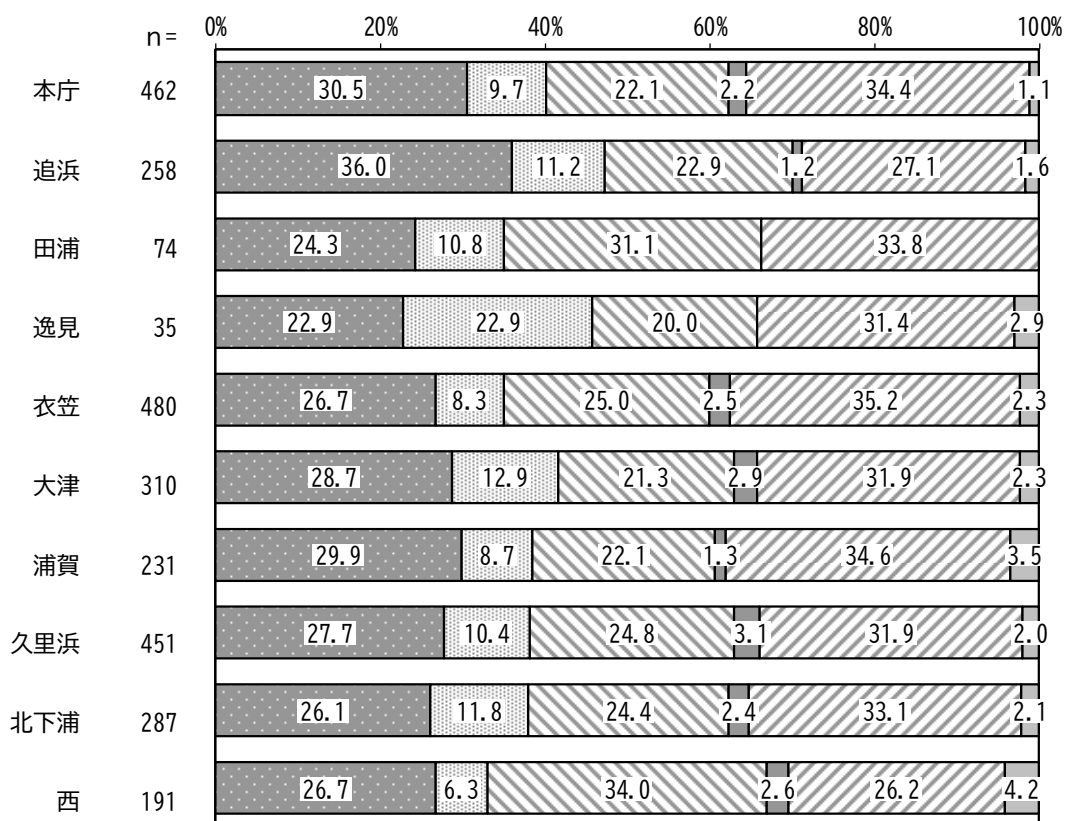
学年別にみると、5年生で「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなっている。

- フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▩ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▨ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



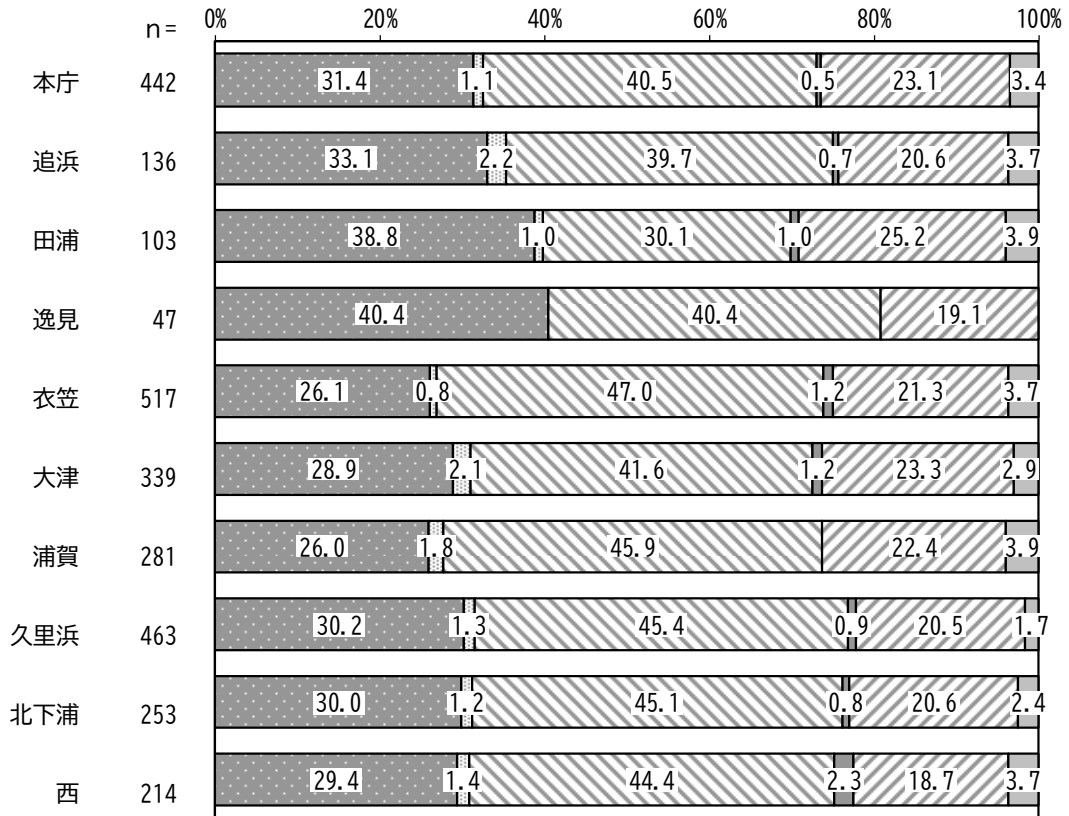
【就学前児童：行政センター別】

- フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▧ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▩ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ◻ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



【小学生：行政センター別】

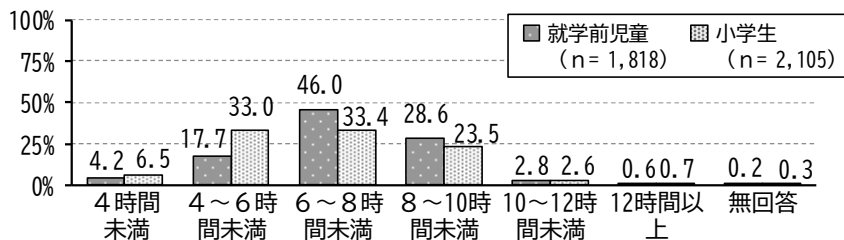
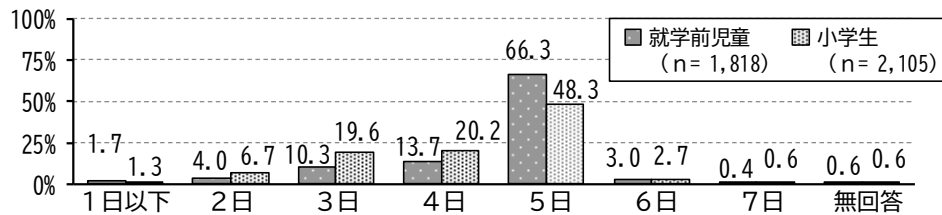
- フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▩ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▧ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▦ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ▤ これまで就労したことがない
- 無回答



問 1. 母親の就労状況で「就労している」を選んだ方にうかがいます。1週あたりの出勤日数を記入してください。【就学前児童：問 18-1-1、小学生：問 17-1-1】

問 2. 1日当たりの就労時間を記入してください。
【就学前児童：問 18-1-1、小学生：問 17-1-1】

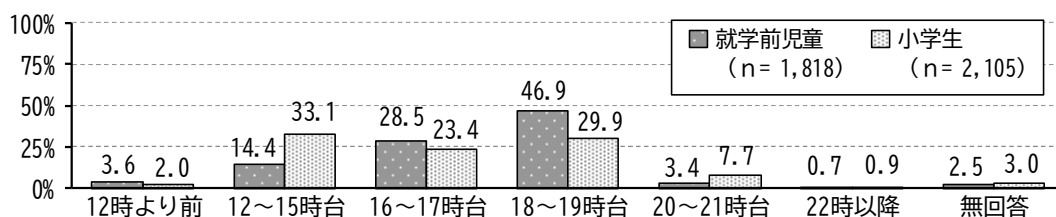
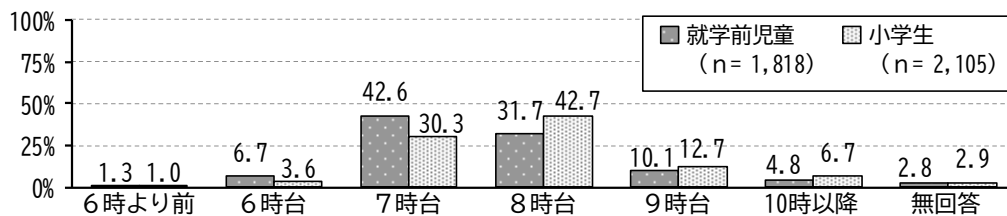
母親の就労日数と就労時間をみると、就学前児童・小学生ともに「5日」（66.3%・48.3%）と「6～8時間未満」（46.0%・33.4%）が最も高くなっている。



問 3. 家を出る時間を記入してください。
【就学前児童：問 18-1-1、小学生：問 17-1-1】

問 4. 帰宅時間を記入してください。
【就学前児童：問 18-1-1、小学生：問 17-1-1】

母親の出勤時間については、就学前児童では「7時台」が 42.6%、小学生では「8時台」が 42.7%と最も高く、また、帰宅時間については、就学前児童では「18～19時台」が 46.9%、小学生では「12～15時台」が 33.1%と最も高くなっている。

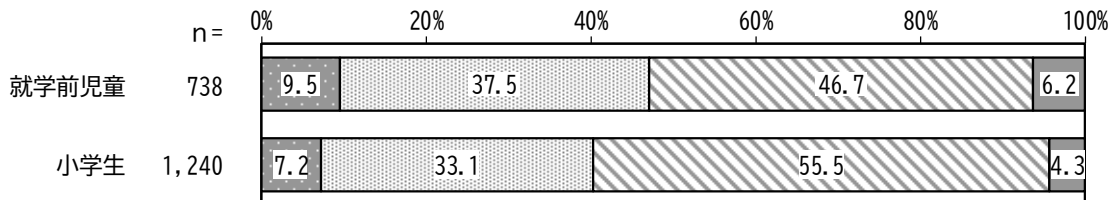


問 母親の就労状況で「(パート・アルバイト等)で就労している」を選んだ方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。

【就学前児童：問 18-1-2、小学生：問 17-1-3】

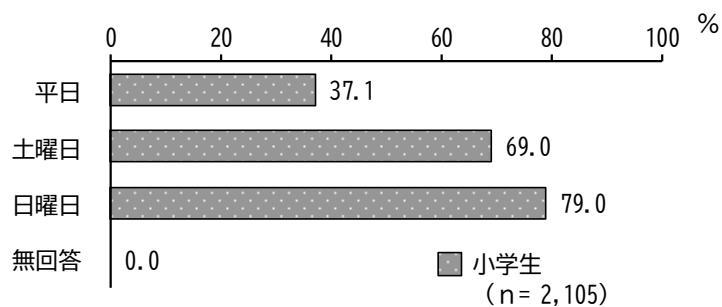
「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせたパートタイムからフルタイムへの転換希望がある母親は、就学前児童で47.0%、小学生で40.3%となっている。

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▨ フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- ▩ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答



問 母親の就労状況で「就労している」を選んだ方にうかがいます。該当する週休日をお答えください。(複数選択可)【小学生：問 17-1-2】

該当する週休日については、「日曜日」の割合が79.0%と最も高く、次いで「土曜日」の割合が69.0%、「平日」の割合が37.1%となっている。

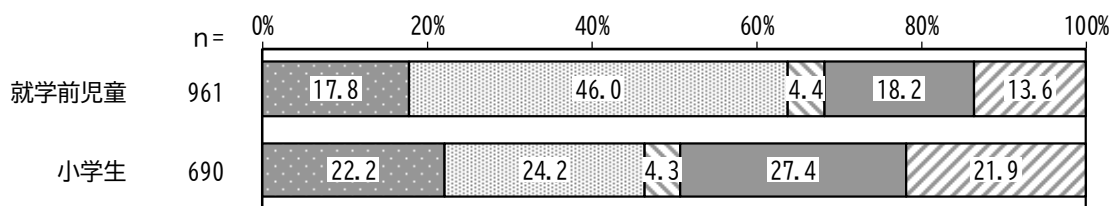


問 母親の就労状況で「就労していない」を選んだ方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。【就学前児童：問 18-1-3、小学生：問 17-1-4】

現在就労していないが今後の就労希望がある就学前児童の母親は 68.6%、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が 46.0%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 22.6%となっており、希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」が 18.2%、「フルタイム」が 4.4%となっている。

現在就労していないが今後の就労希望がある小学生の母親は 55.9%、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が 24.2%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 31.7%となっており、希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」が 27.4%、「フルタイム」が 4.3%となっている。

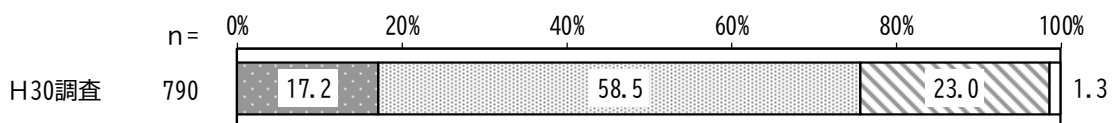
- 子育てや家事などに専念したい（就労の希望はない）
- ▨ 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
- ▩ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい（フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労））
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい（パートタイム・アルバイト等）
- わからない
- 無回答



【就学前児童：前回比較】

※凡例が違うため、参考に掲載

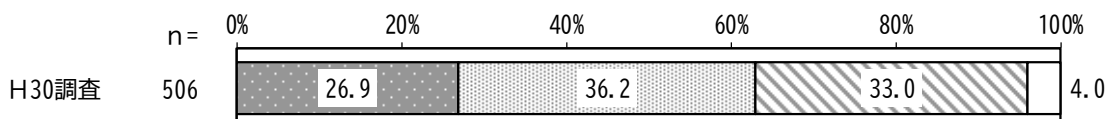
- 子育てや家事などに専念したい（就労の希望はない）
- ▨ 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
- ▩ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答



【小学生：前回比較】

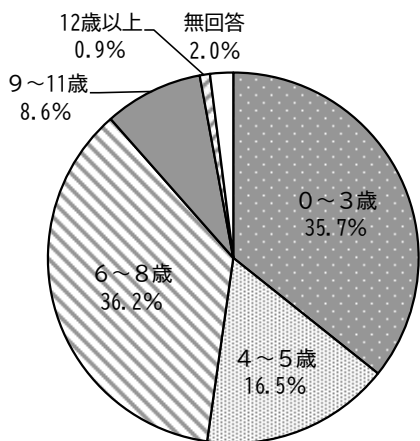
※凡例が違うため、参考に掲載

- 子育てや家事などに専念したい（就労の希望はない）
- ▨ 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
- ▩ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

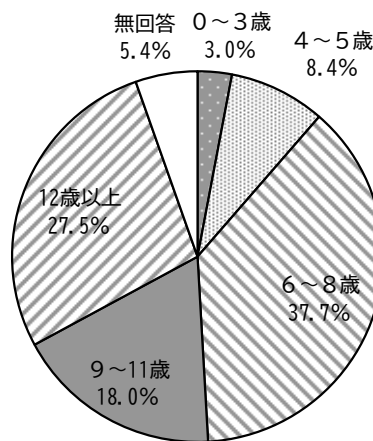


就労希望時の末子の年齢【就学前児童、小学生】

「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」と回答した方のうち、就労したい時期の子どもの年齢は「6～8歳」が最も高く、就学前児童 36.2%、小学生 37.7%となっている。

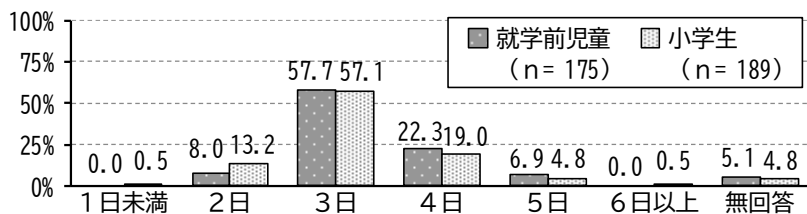


就学前児童
n= 442

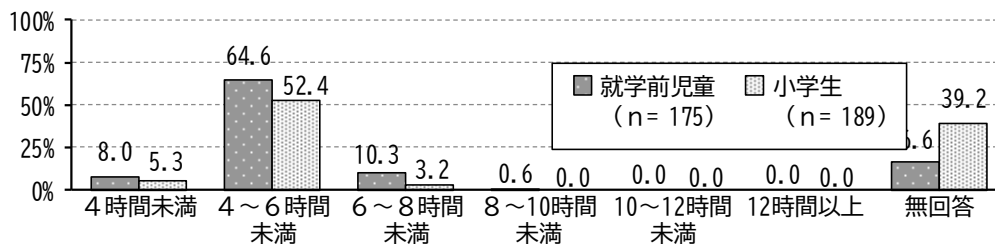


小学生
n= 167

パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労日数（1週当たり）【就学前児童、小学生】
 パートタイム・アルバイト等での就労を希望する母親の希望就労日数は以下の通り。



パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労時間（1日当たり）【就学児童、小学生】
 パートタイム・アルバイト等での就労を希望する母親の希望就労日時間は以下の通り。



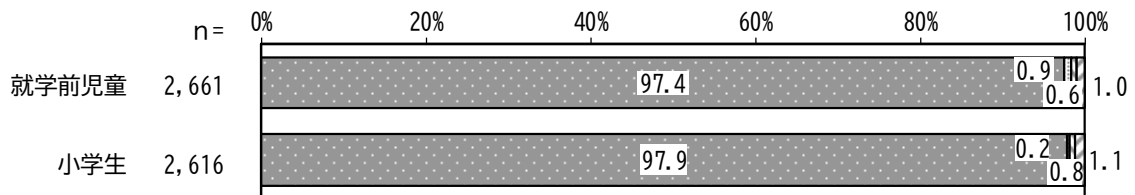
(2) 父親の就労状況

問 父親の就労状況 あてはまるものを1つ選択してください
【就学前児童：問 18-2、小学生：問 17-2】

父親の就労状況については、「フルタイムで就労している」「パート・アルバイト等で就労している」を合わせた現在就労している方は、就学前児童で 98.0%、小学生で 98.7%となっている。

父親の就労日数については、「5日」が最も高く、就学前児童 71.0%、小学生 66.7%、次いで「6日」が就学前児童 22.1%、小学生 19.3%となっている。また、就労時間については、「8～10 時間未満」が最も高く、就学前児童 51.9%、小学生 50.5%、次いで「10～12 時間未満」が就学前児童 18.8%、小学生 17.4%となっている。

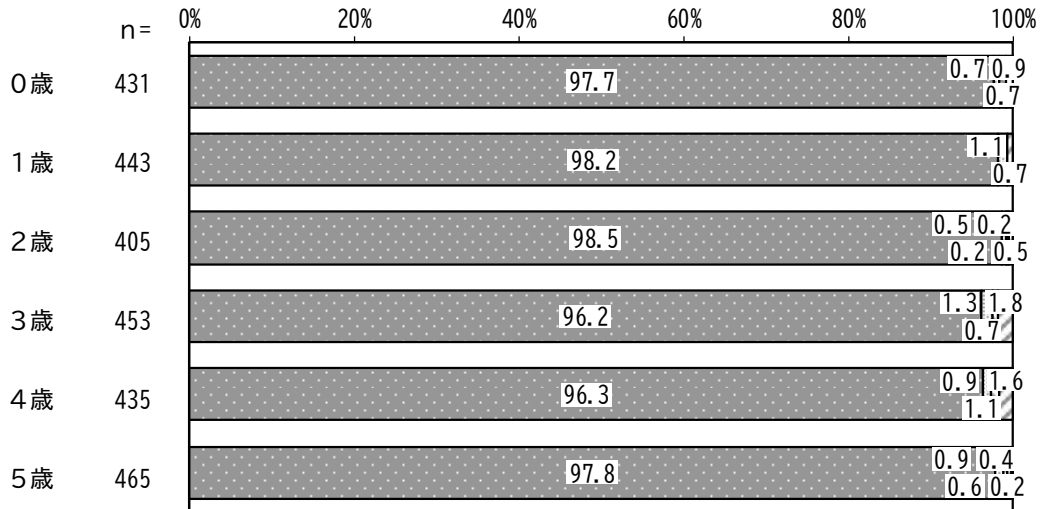
- フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



【就学前児童：年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられない。

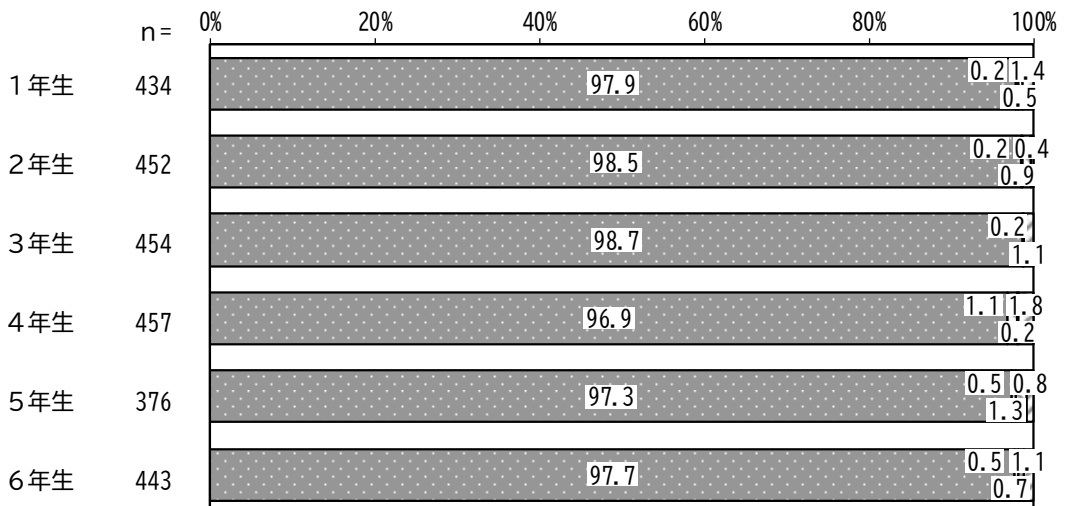
- フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▩ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▨ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



【小学生：学年別】

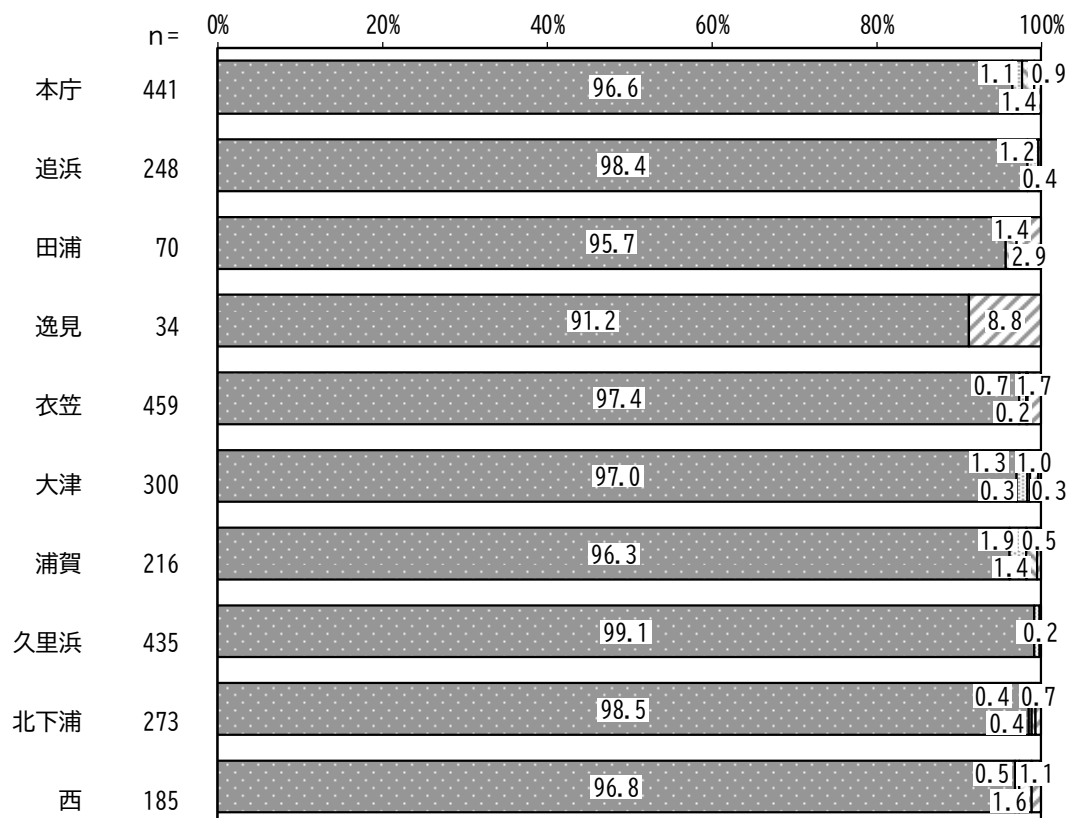
学年別にみると、大きな差はみられない。

- フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▩ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▨ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



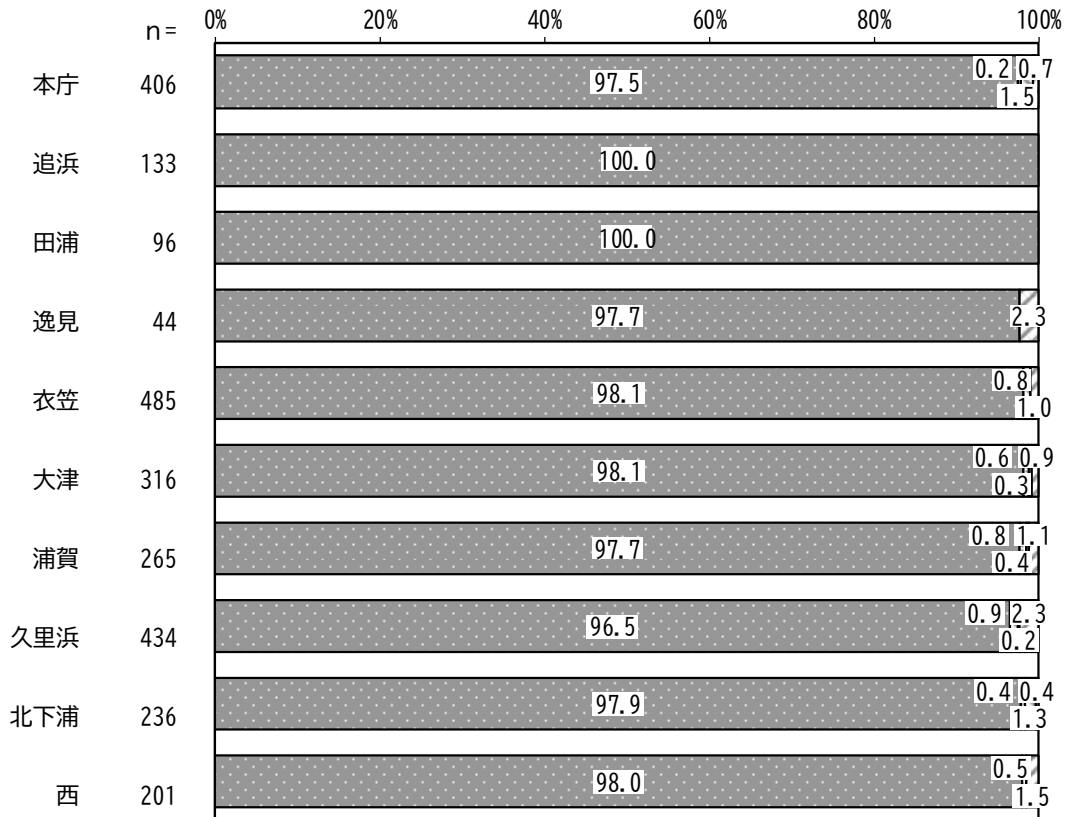
【就学前児童：行政センター別】

- フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▩ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▨ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



【小学生：行政センター別】

- フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▩ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▩ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

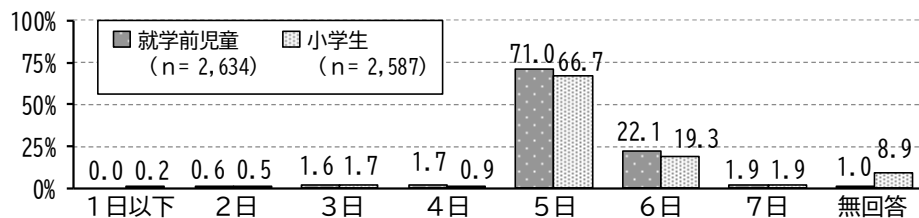


問 父親の就労状況で「就労している」を選んだ方にうかがいます。

1. 1週間あたりの出勤日数を記入してください。

【就学前児童：問 18-2-1、小学生：問 17-2-1】

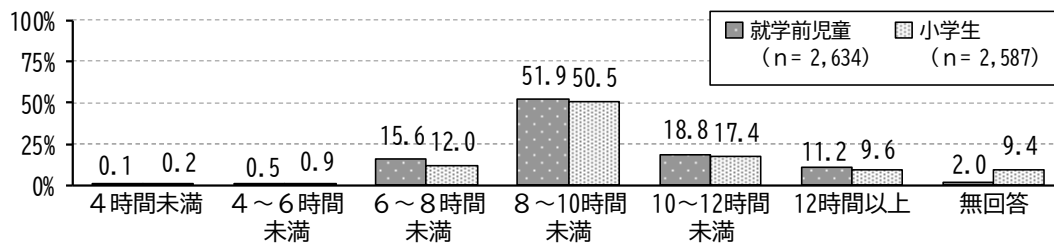
父親の就労日数については、「5日」が最も高く、就学前児童 71.0%、小学生 66.7%、次いで「6日」が就学前児童 22.1%、小学生 19.3%となっている。



問 2. 1日当たりの就労時間を記入してください。

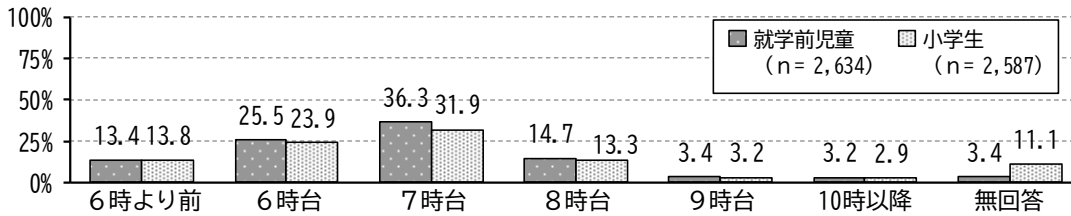
【就学前児童：問 18-2-1、小学生：問 17-2-1】

就労時間については、「8～10時間未満」が最も高く、就学前児童 51.9%、小学生 50.5%、次いで「10～12時間未満」が就学前児童 18.8%、小学生 17.4%となっている。



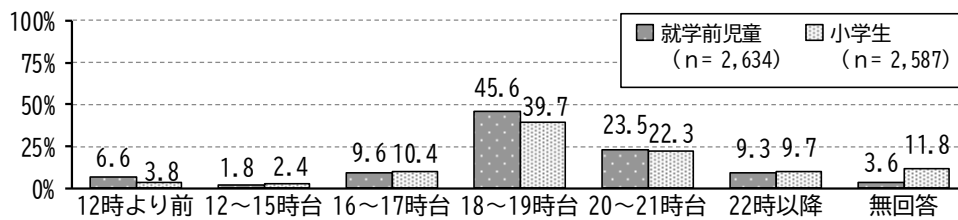
問 3. 家を出る時間を記入してください。
 【就学前児童：問 18-2-1、小学生：問 17-2-1】

父親の出勤時間は、就学前児童・小学生ともに「7時台」(36.3%・31.9%)が最も高くなっている。



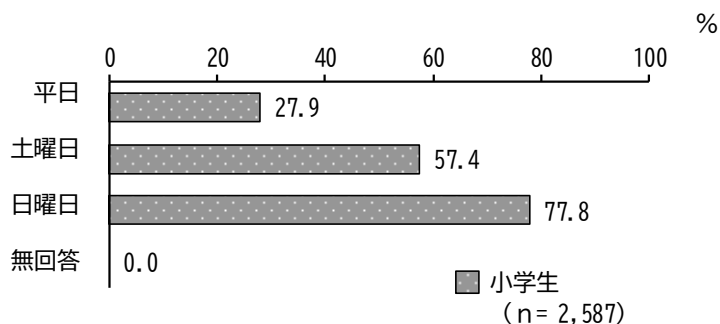
問 4. 帰宅時間を記入してください。
 【就学前児童：問 18-2-1、小学生：問 17-2-1】

帰宅時間は、就学前児童・小学生ともに「18～19時台」(45.6%・39.7%)が最も高くなっている。



問 父親の就労状況で「就労している」を選んだ方にうかがいます。該当する週休日をお答えください。(複数選択可)【小学生：問 17-2-2】

「日曜日」の割合が77.8%と最も高く、次いで「土曜日」の割合が57.4%、「平日」の割合が27.9%となっている。

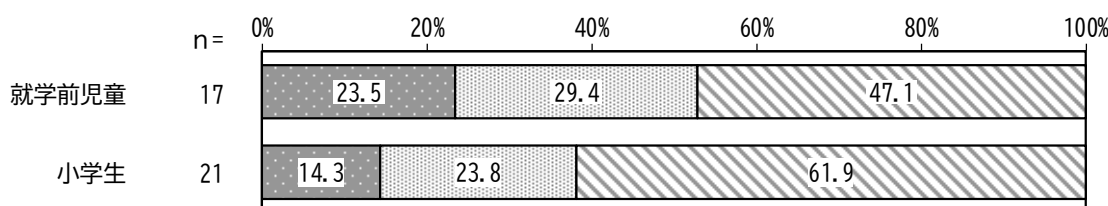


問 父親の就労状況で「(パート・アルバイト等)で就労している」を選んだ方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。

【就学前児童：問 18-2-2、小学生：問 17-2-3】

「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせたパートタイムからフルタイムへの転換希望がある父親は、就学前児童で 52.9%、小学生で 38.1%となっている。

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▨ フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- ▧ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

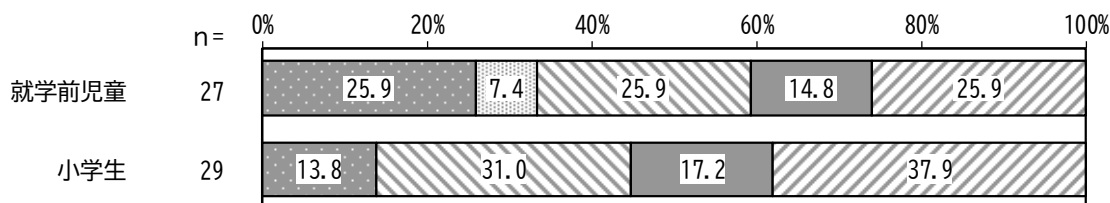


問 父親の就労状況で「就労していない」を選んだ方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。【就学前児童：問 18-2-3、小学生：問 17-2-4】

現在就労していないが今後の就労希望がある就学前児童の父親は 41.8%、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい(口に年齢をご記入ください)」が 7.4%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい(フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労))」が 25.9%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい(パートタイム・アルバイト等)」が 14.8%となっている。また、就労時期となる子どもの年齢としては「0~3歳」、「6~8歳」が最も高く、50.0%となっている。

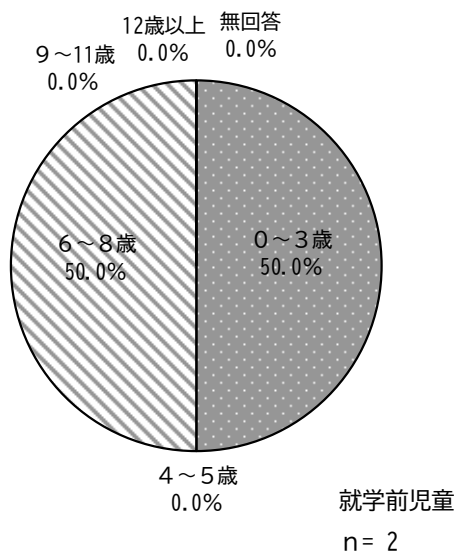
現在就労していないが今後の就労希望がある小学生の父親は 48.2%、その内訳は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい(フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労))」が 31.0%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい(パートタイム・アルバイト等)」が 17.2%となっている。

- 子育てや家事などに専念したい(就労の希望はない)
- ▨ 1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい
- ▧ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい(フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労))
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- わからない
- 無回答



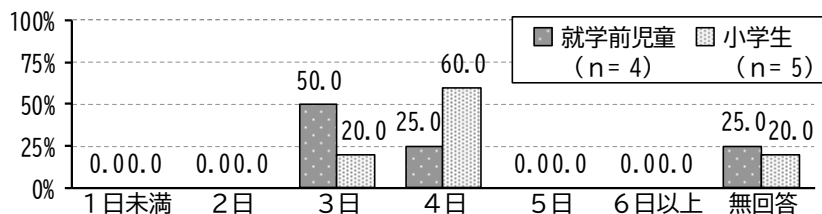
就労希望時の末子の年齢【就学前児童】

就労希望時の末子の年齢については就学前児童で以下の通り。
小学生では有効回答がありませんでした。



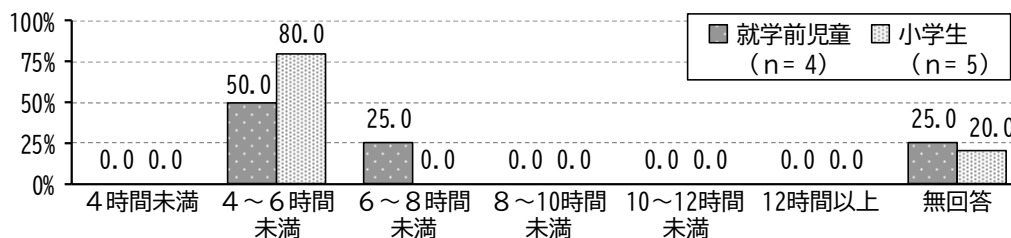
パートタイム・アルバイト等希望の父親の希望就労日数（1週当たり）【就学前児童、小学生】

パートタイム・アルバイト等での就労を希望する父親の希望就労日数は以下の通り。



パートタイム・アルバイト等希望の父親の希望就労時間（1日当たり）【就学前児童、小学生】

パートタイム・アルバイト等での就労を希望する父親の希望就労時間は以下の通り。



5 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望について

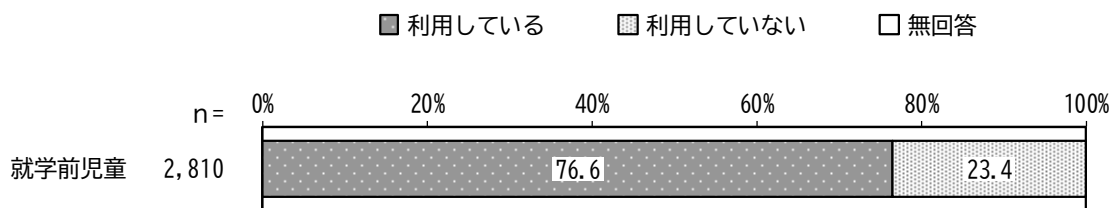
(1) 平日の定期的な教育・保育事業

問 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。【就学前児童：問 19】

定期的な教育・保育事業を「利用している」が76.6%となっている。

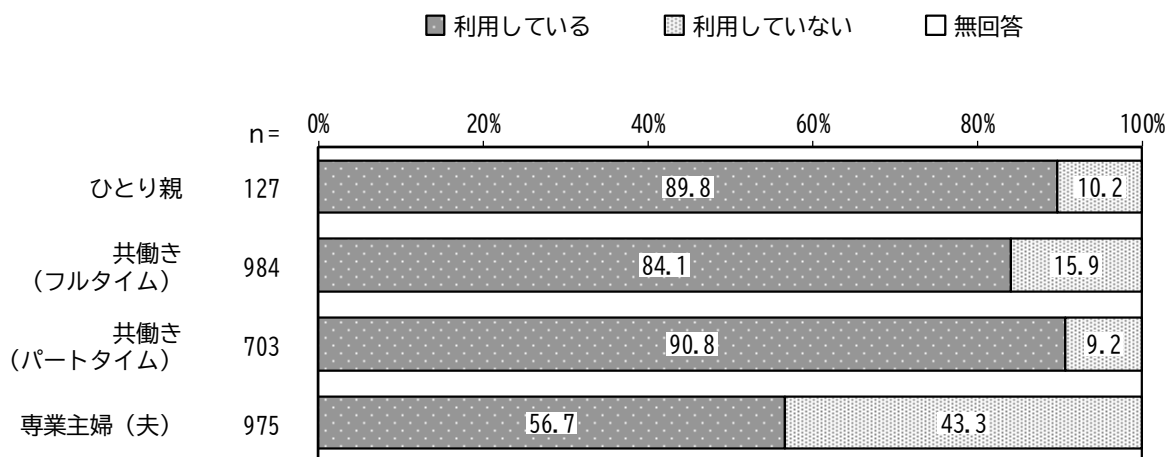
利用中の事業については、「認定こども園」が32.5%、「認可保育所（保育園）」が27.2%となっている。一方、今後の利用希望では「認定こども園」が49.3%と、現状より16.8ポイント高く、また、「認可保育所（保育園）」も36.4%と、現状より9.2ポイント高い。

前回調査と比較すると、利用状況で「認定こども園」が10ポイント以上高くなっている。



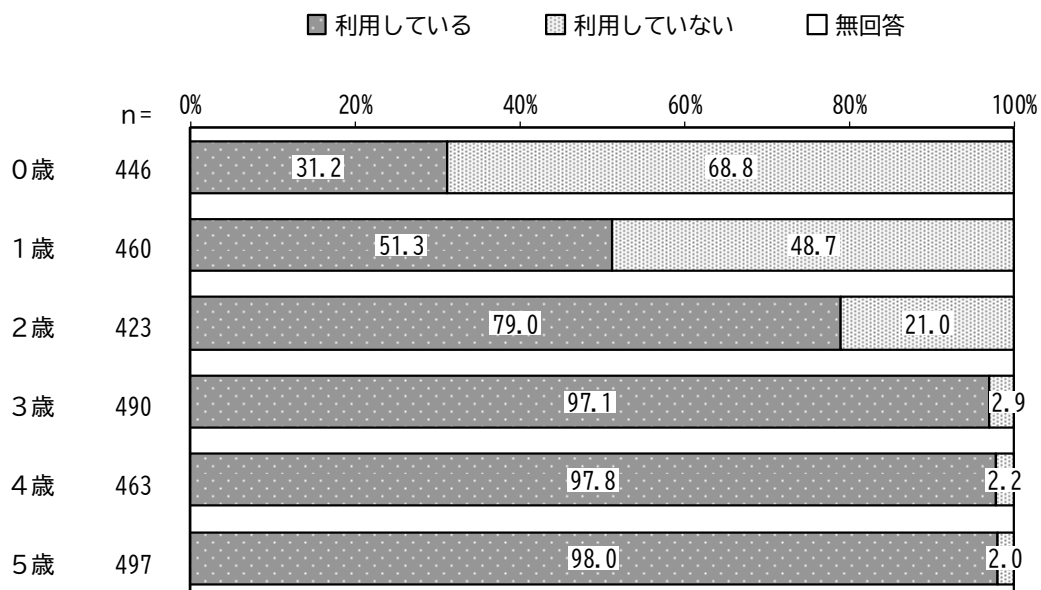
【就学前児童：家庭類型別】

定期的な教育・保育事業の利用状況について家庭類型別にみると、専業主婦（夫）では「利用している」が他の家庭類型よりも約27~34ポイント低くなっている。

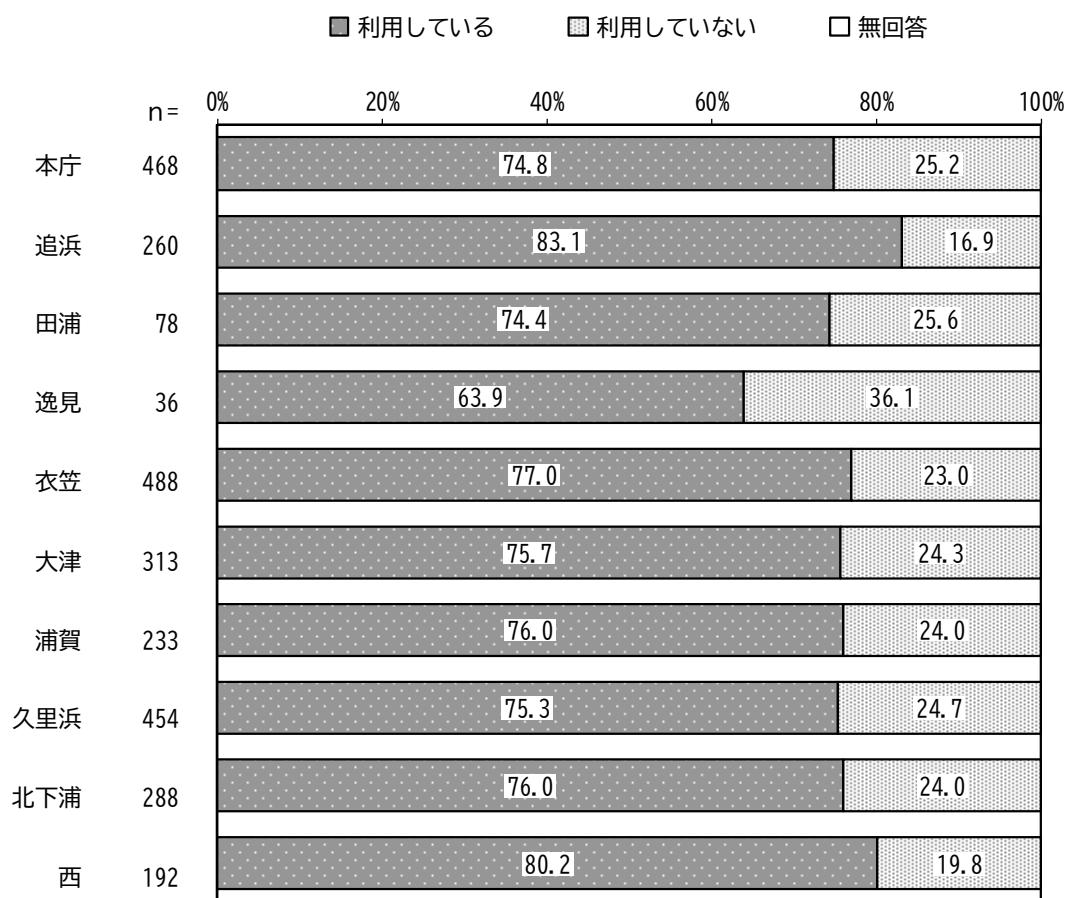


【就学前児童：年齢別】

年齢別にみると、0歳で「利用していない」の割合が高くなっている。

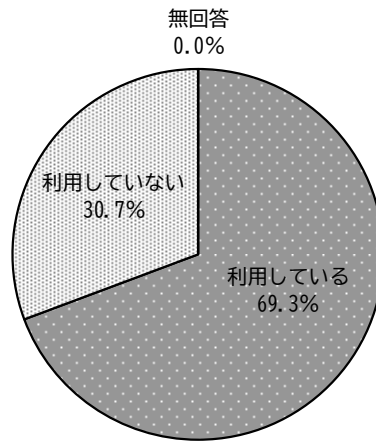


【就学前児童：行政センター別】



問 定期的な教育・保育事業を「利用している」を選んだ方にうかがいます。あて名のお子さんは、年間を通じて平日（定期的に）「幼稚園（通常の就園時間）」を利用していますか。【就学前児童：問 19-1】

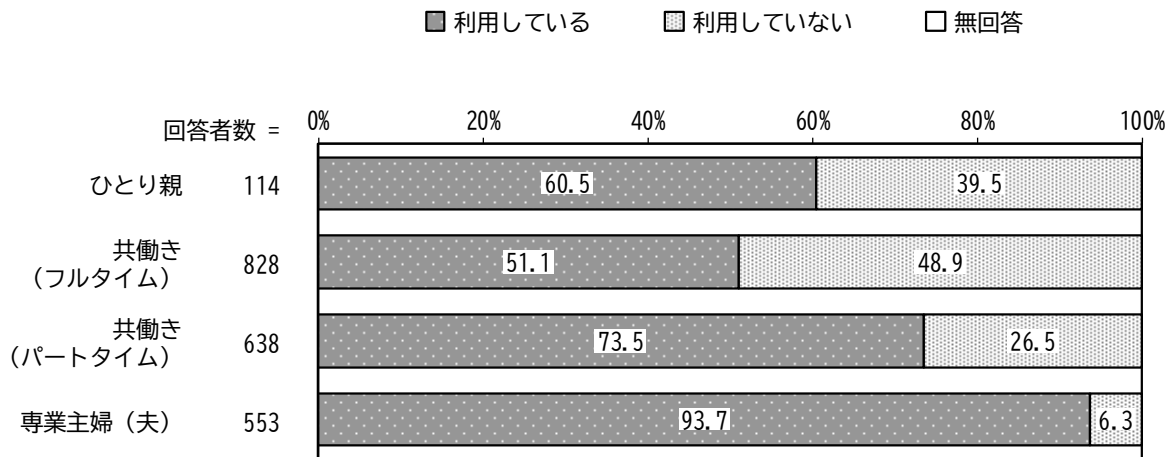
「利用している」の割合が 69.3%、「利用していない」の割合が 30.7%となっている。



就学前児童
n = 2,152

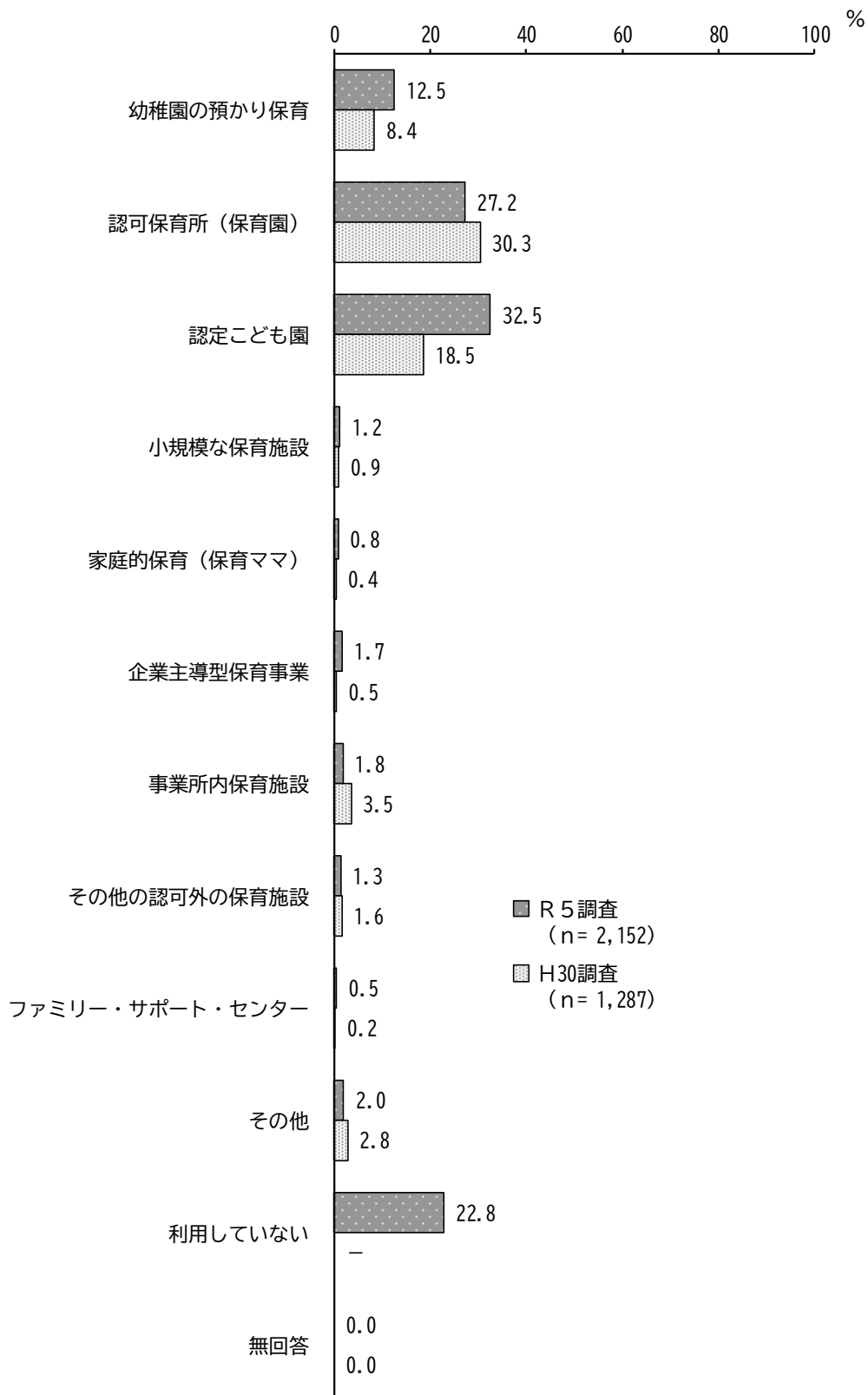
【就学前児童：家庭類型別】

幼稚園（通常の就園時間）の利用状況について家庭類型別にみると、専業主婦（夫）では「利用している」が他の家庭類型よりも約 33~42 ポイント高くなっている。



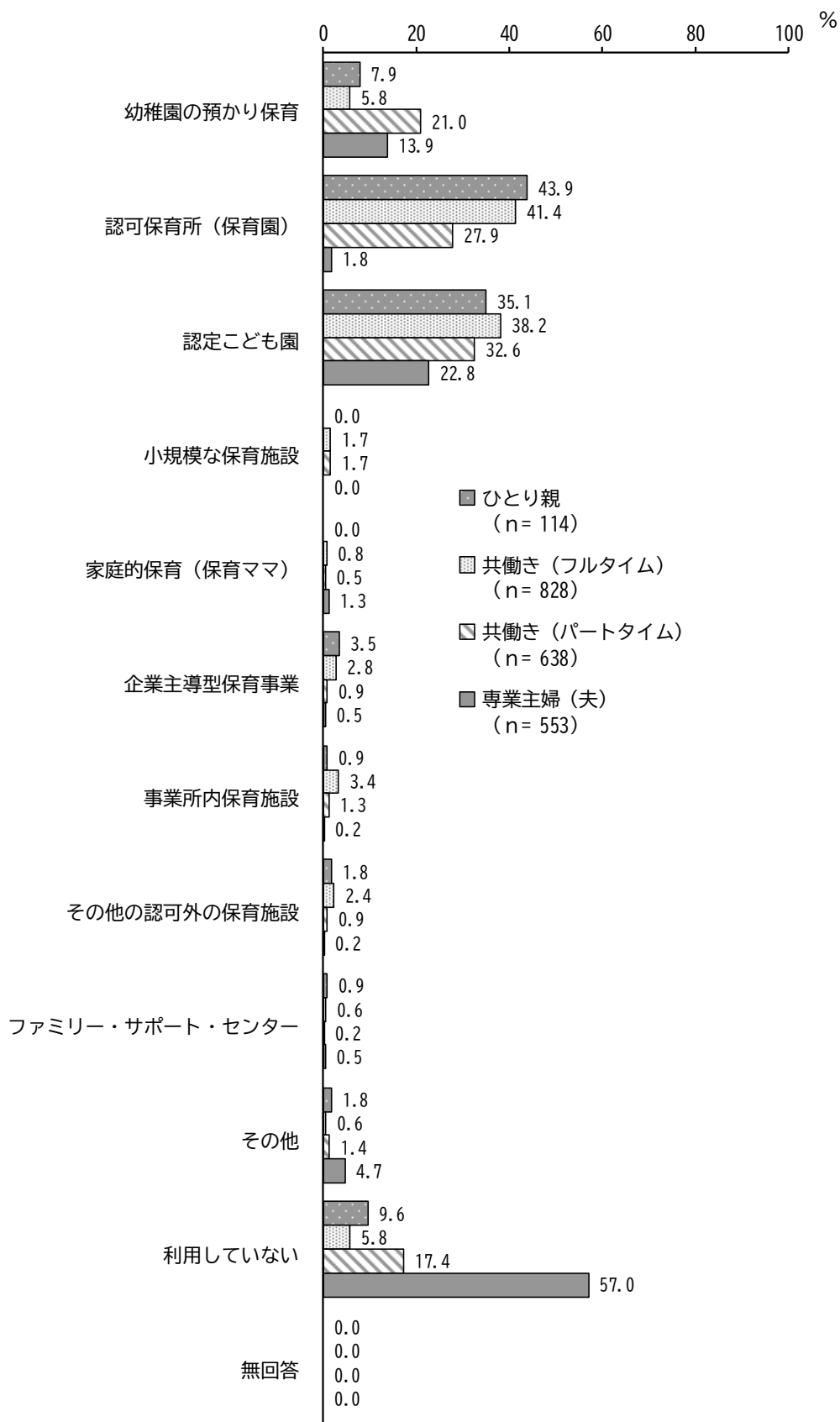
問 定期的な教育・保育事業を「利用している」を選んだ方にうかがいます。あて名のお子さんは、定期的な教育・保育事業を「利用している」でお聞きした「幼稚園（通常の就園時間の利用）」以外で、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてを選択してください）【就学前児童：問 19-1-1】

利用中の事業については、「認定こども園」が32.5%、「認可保育所」が27.2%となっている
 前回調査と比較すると、「認定こども園」が前回より14.0ポイント高くなっている。



【就学前児童：家庭類型別】

利用中の事業について家庭類型別にみると、共働き（パートタイム）では「認可保育所」が共働き（フルタイム）よりも約13ポイント低くなっている。



【就学前児童：年齢別】

年齢別にみると、0歳で「認可保育所（保育園）」の割合が高くなっている。

単位：％

区分	n (件)	幼稚園の預かり保 育	認可保育所（保 育園）	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育（保育マ マ）	企業主導型保育事 業	事業所内保育施設	その他の認可外の 保育施設	ファミリー・サポ ート・センター	その他	利用していない	無回答
全 体	2,152	12.5	27.2	32.5	1.2	0.8	1.7	1.8	1.3	0.5	2.0	22.8	—
0歳	139	3.6	43.9	33.8	5.0	1.4	2.2	5.0	1.4	1.4	—	4.3	—
1歳	236	4.7	41.1	31.8	4.7	1.7	4.7	5.1	3.8	0.8	—	6.4	—
2歳	334	7.2	30.5	35.6	1.5	0.9	2.7	1.5	1.8	0.6	2.7	20.1	—
3歳	476	11.6	23.9	33.4	—	0.4	0.8	0.6	0.8	0.4	1.5	30.5	—
4歳	453	16.3	23.0	33.1	0.2	0.4	0.9	0.9	1.1	0.2	2.0	26.5	—
5歳	487	19.5	19.9	29.0	0.2	0.8	1.0	1.4	0.2	0.2	3.3	27.5	—

【就学前児童：行政センター別】

単位：％

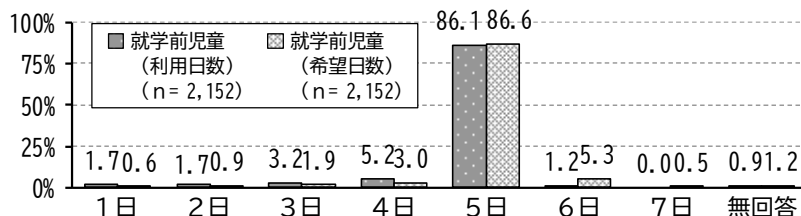
区分	n (件)	幼稚園の預かり保 育	認可保育所（保 育園）	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育（保育マ マ）	企業主導型保育事 業	事業所内保育施設	その他の認可外の 保育施設	ファミリー・サポ ート・センター	その他	利用していない	無回答
全 体	2,152	12.5	27.2	32.5	1.2	0.8	1.7	1.8	1.3	0.5	2.0	22.8	—
本庁	350	12.6	24.6	40.3	0.6	0.9	1.4	1.4	2.0	1.1	1.4	18.9	—
追浜	216	11.1	38.0	19.0	5.1	—	4.2	1.4	0.9	—	0.9	21.8	—
田浦	58	10.3	41.4	31.0	1.7	1.7	—	1.7	—	—	1.7	17.2	—
逸見	23	34.8	34.8	17.4	—	—	—	—	—	—	4.3	13.0	—
衣笠	376	10.4	28.7	34.3	0.8	1.1	1.9	2.4	1.3	—	1.6	22.1	—
大津	237	13.1	22.4	35.0	—	1.3	3.4	2.5	1.7	0.8	3.0	21.1	—
浦賀	177	15.3	27.7	38.4	0.6	0.6	2.3	1.1	1.7	1.1	2.8	15.8	—
久里浜	342	14.0	28.7	21.1	1.8	0.9	0.6	2.0	1.8	0.3	2.0	30.4	—
北下浦	219	11.9	21.9	31.5	—	0.9	—	1.8	0.9	0.5	3.2	28.8	—
西	154	9.7	18.8	48.1	0.6	—	0.6	0.6	—	—	0.6	24.0	—

平日に定期的に利用している教育・保育の事業についてうかがいます。

問 1. 1週当たりの日数

【就学前児童(利用日数)：問 19-2-1、就学前児童(希望日数)：問 19-2-2】

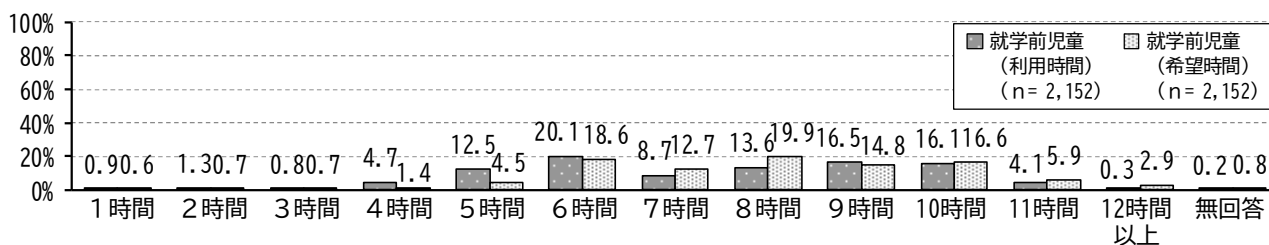
定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数については、利用・希望ともに「5日」が最も高く、利用 86.1%・希望 86.6%となっている。



問 2. 1日当たりの時間

【就学前児童(利用時間)：問 19-2-1、就学前児童(希望時間)：問 19-2-2】

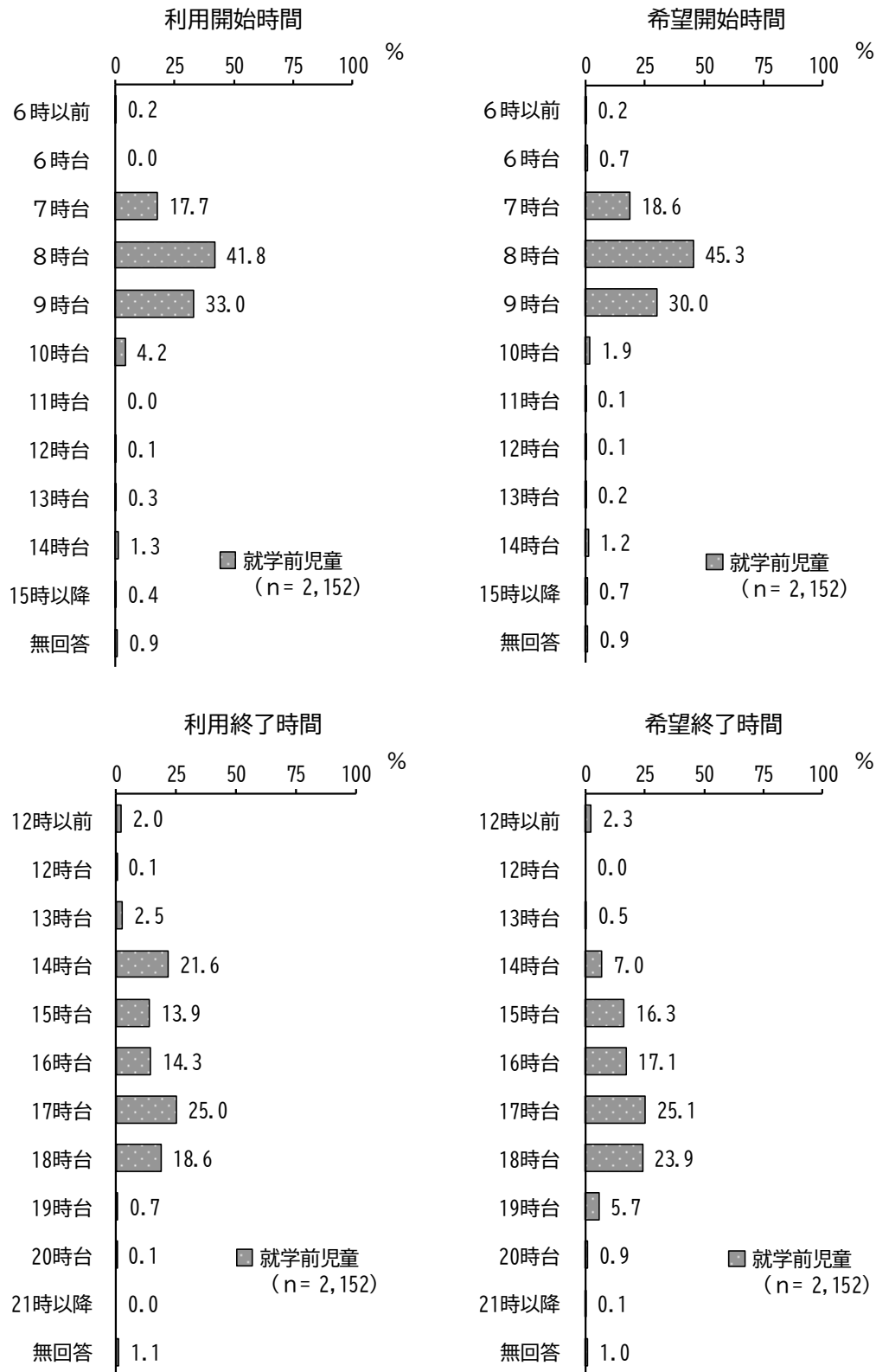
利用時間と希望時間についてみると、いずれも「6時間」が最も高く、利用 20.1%・希望 18.6%となっている。



問 3. 利用開始・終了時間、(希望)利用開始時間・利用終了時間
 【就学前児童：問 19-2-1】

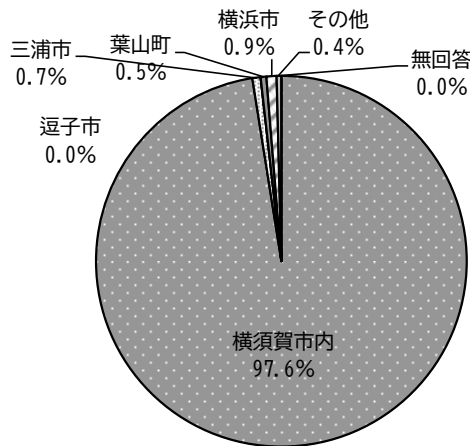
利用開始時間・希望開始時間ともに「8時台」「9時台」が高くなっている。

利用終了時間は、「14時台」から「18時台」が高く、希望終了時間は「15時台」から「18時台」が高くなっている。



問 「定期的な教育・保育の事業」を利用しているかで、教育・保育事業を「利用している」を選んだ方にうかがいます。現在、利用されている教育・保育事業の実施場所についてお答えください。【就学前児童：問 19-3】

現在利用している教育・保育事業の実施場所については、「横須賀市内」が 97.6%となっている。

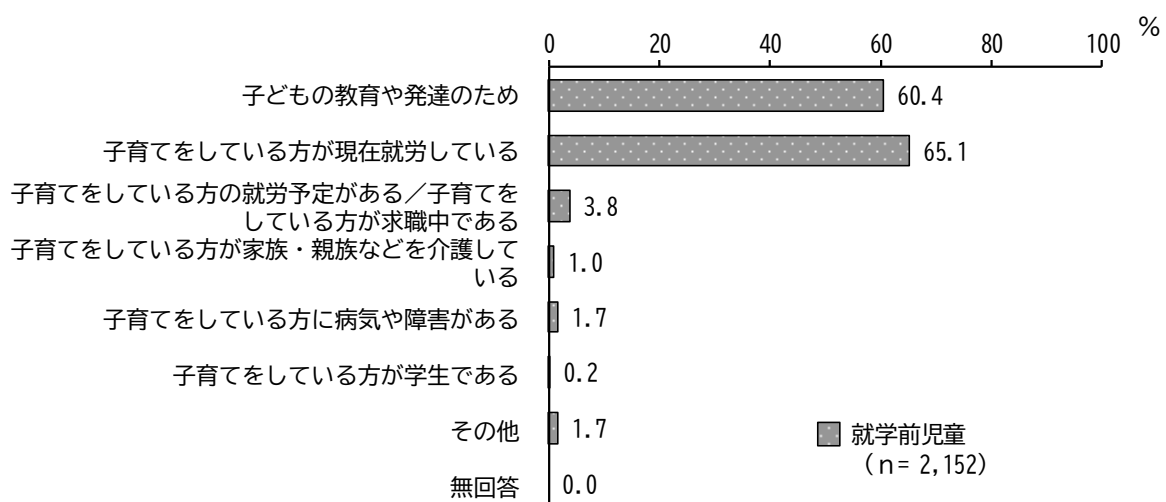


就学前児童
n = 2,152

(2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由

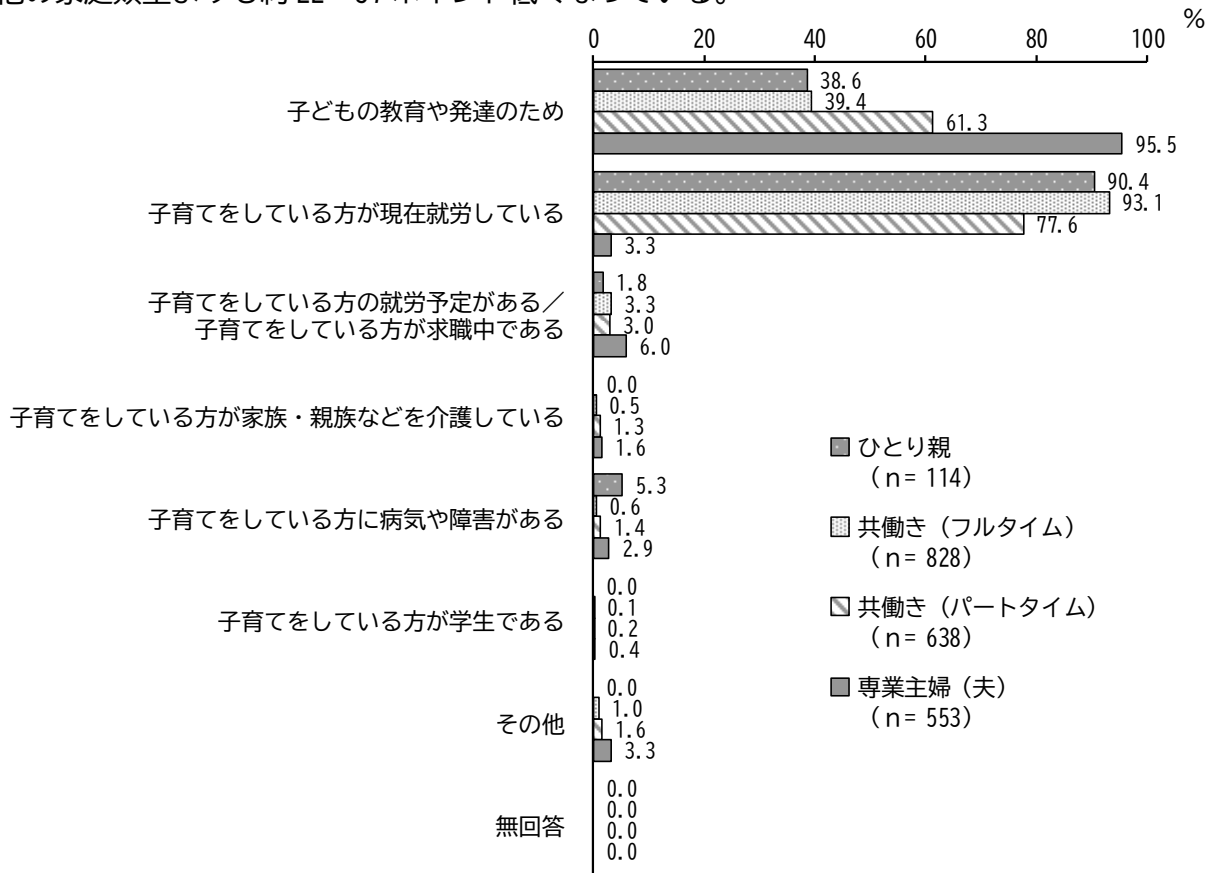
問 「定期的な教育・保育の事業」を利用しているかで、教育・保育事業を「利用している」を選んだ方にうかがいます。平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてお選びください) 【就学前児童：問 19-4】

平日に教育・保育事業を利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が 65.1%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 60.4%となっている。



【就学前児童：家庭類型別】

家庭類型別にみると、ひとり親や共働き（フルタイム）では「子どもの教育や発達のため」が他の家庭類型よりも約22～57ポイント低くなっている。



【就学前児童：年齢別】

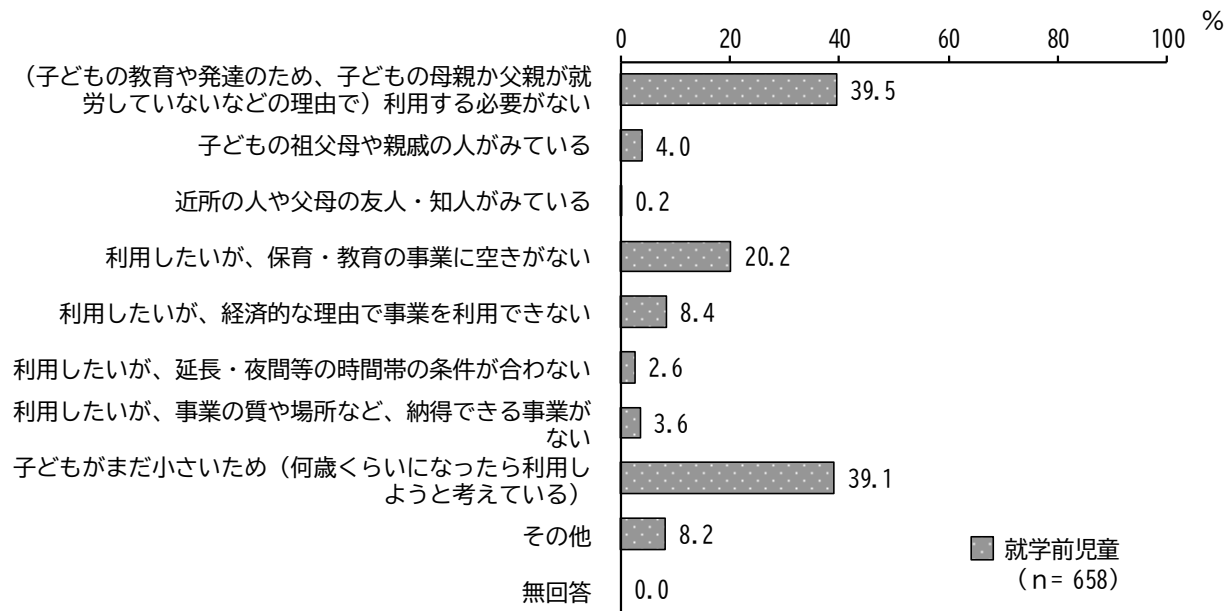
年齢別にみると、1歳で「子育てをしている方が現在就労している」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	n(件)	子どもの教育や発達のため	子育てをしている方が現在就労している	子育てをしている方の就労予定がある／子育てをしている方が求職中である	子育てをしている方が家族・親族などを介護している	子育てをしている方に病気や障害がある	子育てをしている方が学生である	その他	無回答
全体	2,152	60.4	65.1	3.8	1.0	1.7	0.2	1.7	—
0歳	139	30.2	87.8	6.5	—	1.4	0.7	2.2	—
1歳	236	41.1	88.1	2.1	1.3	2.1	0.8	3.0	—
2歳	334	60.8	64.4	4.8	0.6	1.5	—	2.4	—
3歳	476	64.3	61.1	3.4	1.1	1.3	—	1.3	—
4歳	453	68.2	56.1	4.0	0.7	2.2	0.2	0.9	—
5歳	487	67.8	59.3	3.5	1.4	1.6	—	1.8	—

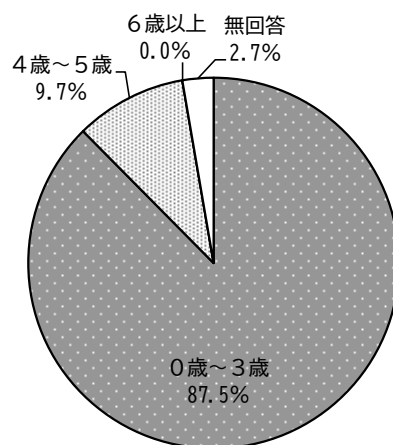
問 「定期的な教育・保育の事業」を利用しているかで、教育・保育事業を「利用していない」を選んだ方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。
 (あてはまるものすべてお選びください)【就学前児童：問 19-5】

利用していない理由は、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が 39.5%と最も高く、次いで、「子どもがまだ小さいため(何歳くらいになったら利用しようと考えている)」が 39.1%となっている。



利用を希望する子どもの年齢

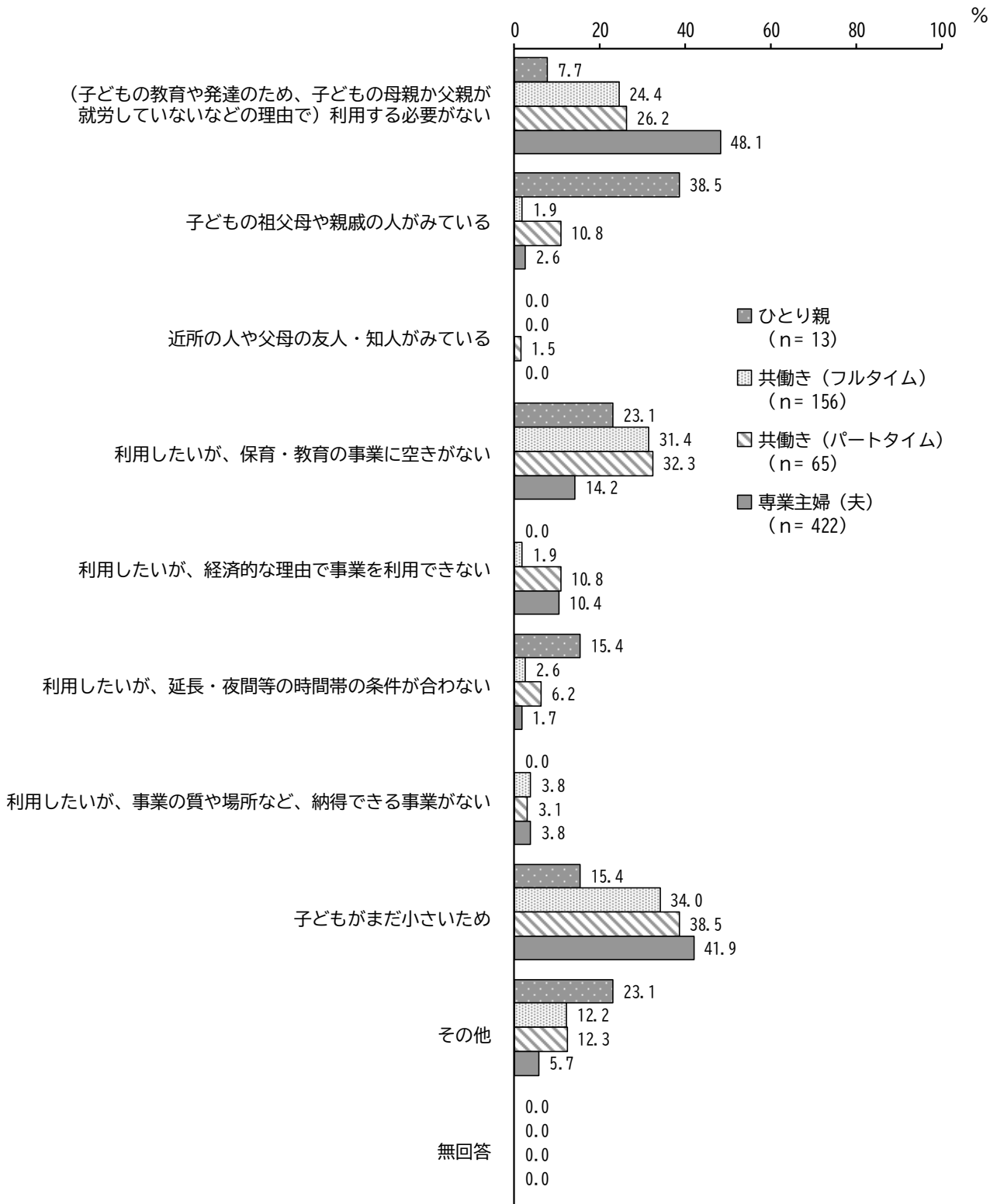
「子どもがまだ小さいため(何歳くらいになったら利用しようと考えている)」と回答した方が、教育・保育事業の利用を希望する子供の年齢は、「0歳～3歳」が 87.5%となっている。



就学前児童
n = 257

【就学前児童：家庭類型別】

家庭類型別にみると、ひとり親では「利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない」が他の家庭類型よりも約9～14ポイント高く、また、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が他の家庭類型よりも約27～36ポイント高くなっている。



【就学前児童：行政センター別】

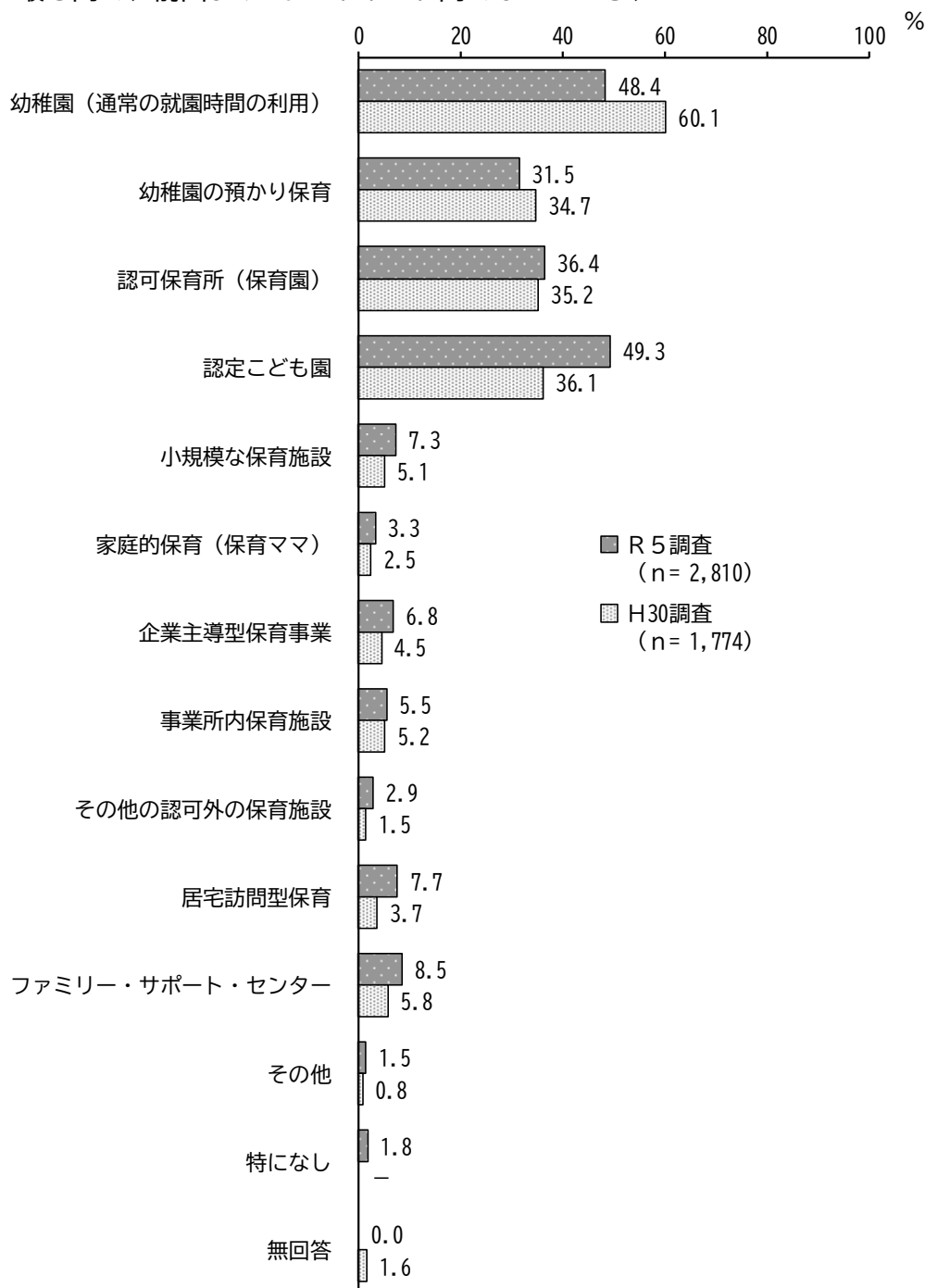
単位：％

区分	n (件)	(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため(何歳くらいになったら利用しようと考えている)	その他	無回答
全 体	658	39.5	4.0	0.2	20.2	8.4	2.6	3.6	39.1	8.2	—
本庁	118	41.5	5.1	—	22.9	9.3	1.7	4.2	37.3	6.8	—
追浜	44	36.4	6.8	—	29.5	4.5	—	6.8	36.4	6.8	—
田浦	20	40.0	5.0	—	15.0	—	5.0	—	45.0	15.0	—
逸見	13	23.1	—	—	23.1	—	—	7.7	46.2	15.4	—
衣笠	112	42.9	6.3	—	16.1	10.7	2.7	3.6	39.3	5.4	—
大津	76	46.1	—	—	19.7	6.6	2.6	2.6	38.2	10.5	—
浦賀	56	37.5	1.8	—	14.3	7.1	1.8	—	48.2	3.6	—
久里浜	112	42.9	4.5	0.9	20.5	12.5	6.3	5.4	33.9	8.9	—
北下浦	69	29.0	4.3	—	27.5	5.8	—	1.4	42.0	8.7	—
西	38	31.6	—	—	10.5	7.9	2.6	5.3	39.5	15.8	—

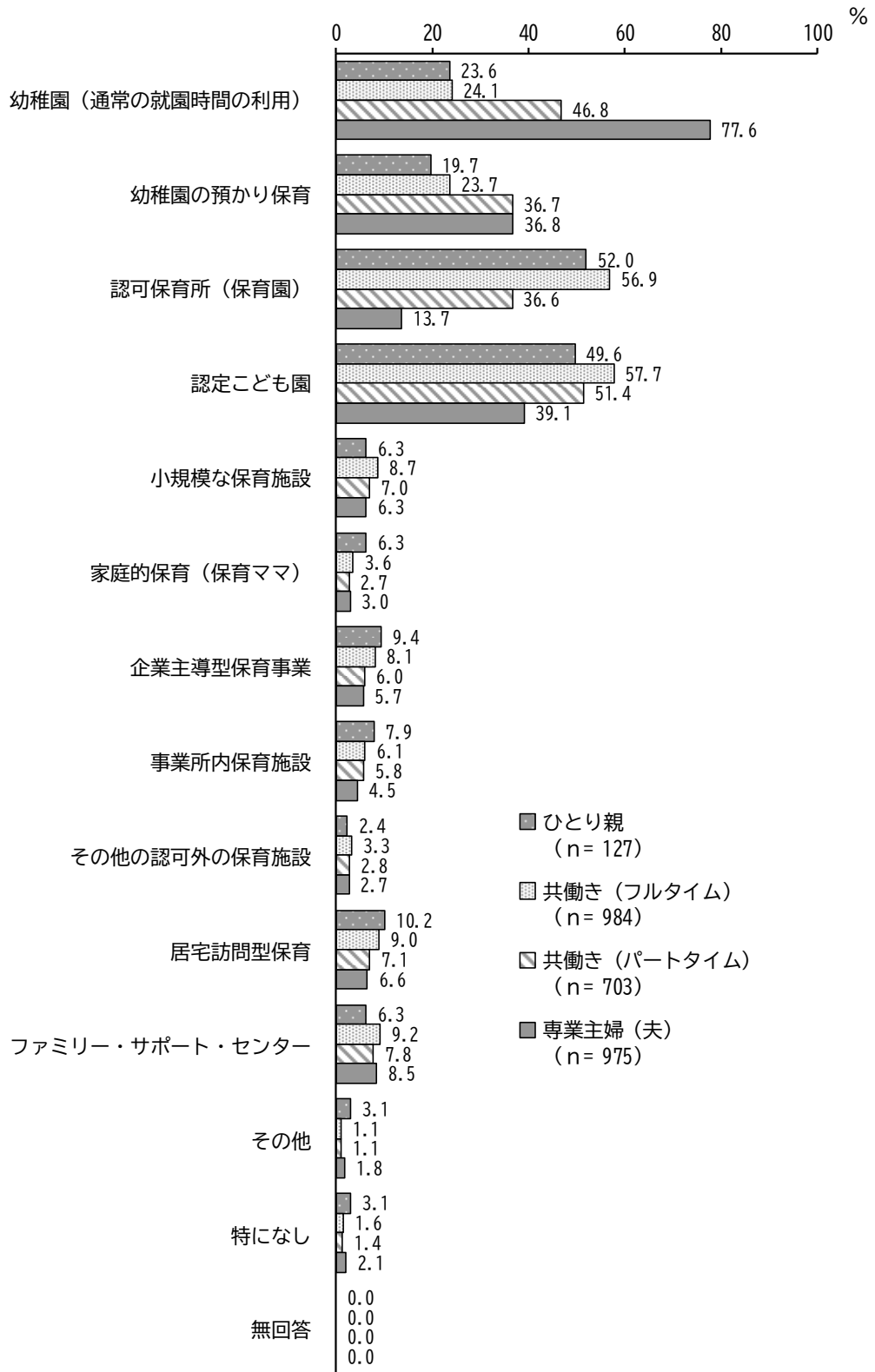
問 すべての方にかがいます。現在、教育・保育事業を利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。
 (あてはまるものすべてを選択してください)【就学前児童：問 20】

定期的な教育・保育事業の利用希望では「認定こども園」が49.3%、「幼稚園」が48.4%となっている。

前回調査と比較すると、「幼稚園」が10ポイント以上低くなっているが、「認定こども園」が49.3%と最も高く、前回より13.2ポイント高くなっている、



【就学前児童：家庭類型別】



【就学前児童：年齢別】

年齢別にみると、0歳で「認可保育所（保育園）」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	n (件)	幼稚園 (通常の就園時間の利用)	幼稚園の預かり保育	認可保育所 (保育園)	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育 (保育ママ)	企業主導型保育事業
全 体	2,810	48.4	31.5	36.4	49.3	7.3	3.3	6.8
0歳	446	45.5	28.3	44.2	53.6	12.1	2.7	6.7
1歳	460	48.0	30.2	43.3	55.9	11.1	4.3	7.4
2歳	423	47.0	29.3	36.2	52.5	4.3	2.6	7.3
3歳	490	46.1	29.6	34.5	46.3	4.7	2.4	6.7
4歳	463	50.8	35.6	30.7	45.4	5.8	3.0	6.0
5歳	497	52.7	35.4	29.6	43.9	6.0	4.2	6.6

区分	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	特になし	無回答
全 体	5.5	2.9	7.7	8.5	1.5	1.8	—
0歳	5.2	3.4	7.8	6.7	0.9	1.8	—
1歳	6.1	3.5	10.0	10.0	0.7	1.7	—
2歳	6.6	2.1	5.7	7.8	2.8	0.9	—
3歳	4.5	3.1	7.3	8.2	1.6	1.6	—
4歳	4.8	2.8	9.3	8.4	1.5	2.2	—
5歳	6.0	2.0	6.4	9.9	1.2	2.4	—

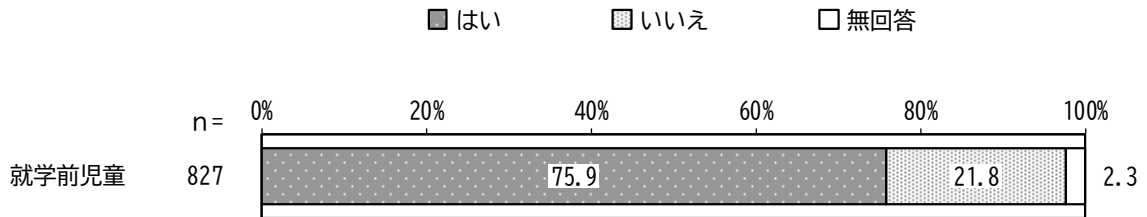
【就学前児童：行政センター別】

単位：％

区分	n (件)	幼稚園(通常の就園時間の利用)	幼稚園の預かり保育	認可保育所(保育園)	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育(保育ママ)	企業主導型保育事業	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	特になし	無回答
全 体	2,810	48.4	31.5	36.4	49.3	7.3	3.3	6.8	5.5	2.9	7.7	8.5	1.5	1.8	—
本庁	468	48.9	30.3	35.3	51.9	8.1	4.1	6.6	5.3	2.6	8.1	10.0	0.4	1.5	—
追浜	260	44.6	32.3	45.8	46.9	11.9	2.3	8.8	6.2	2.7	9.2	9.6	1.2	0.8	—
田浦	78	46.2	26.9	42.3	47.4	11.5	3.8	3.8	2.6	2.6	6.4	11.5	1.3	2.6	—
逸見	36	50.0	41.7	30.6	36.1	5.6	5.6	8.3	5.6	2.8	8.3	2.8	11.1	2.8	—
衣笠	488	46.7	30.5	37.1	50.4	5.1	3.7	6.8	4.9	2.5	6.6	8.8	2.0	2.0	—
大津	313	47.0	37.1	38.0	58.5	8.9	3.8	7.7	7.0	3.5	8.9	6.7	0.6	1.3	—
浦賀	233	42.1	27.5	32.2	53.6	5.6	2.6	6.9	5.2	3.9	8.2	6.9	1.7	2.1	—
久里浜	454	51.3	32.6	37.9	40.7	6.8	2.4	6.2	4.6	2.9	6.6	9.0	1.3	2.4	—
北下浦	288	55.2	34.4	33.0	46.9	6.3	2.8	4.9	6.3	2.4	6.6	7.6	2.4	2.1	—
西	192	50.5	24.0	27.1	50.0	5.2	3.6	8.3	6.8	3.6	9.9	7.3	1.6	1.6	—

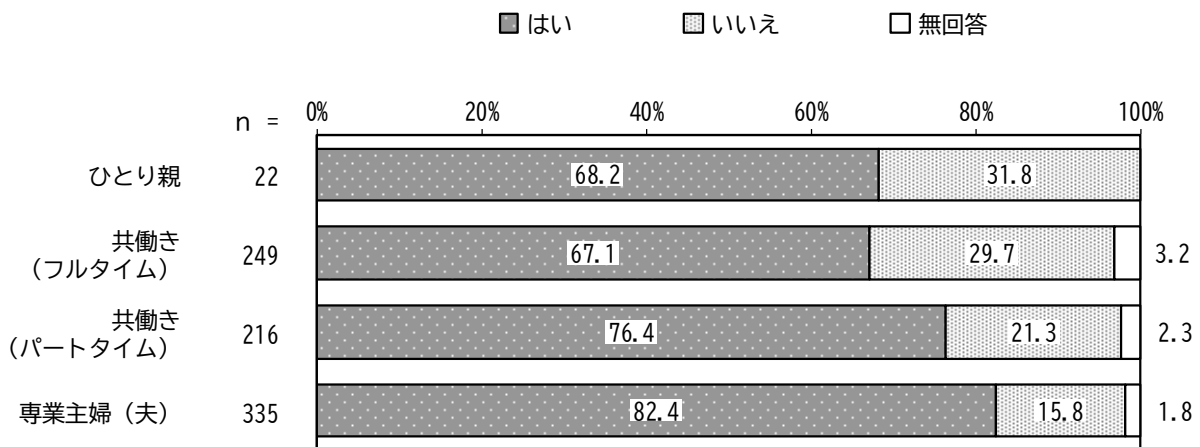
問 「定期的に」利用したいと考える事業で「幼稚園または幼稚園の預かり保育」（幼稚園を利用）を選び、かつ「認可保育所～その他」を選んだ方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。【就学前児童：問 20-1】

平日に教育・保育事業を定期的に利用したいと希望した方の中で、特に幼稚園の利用を強く希望している方は 75.9%となっている。



【就学前児童：家庭類型別】

家庭類型別にみると、共働き（パートタイム）や専業主婦（夫）では「はい」が他の家庭類型よりも約8～15ポイント高くなっている。

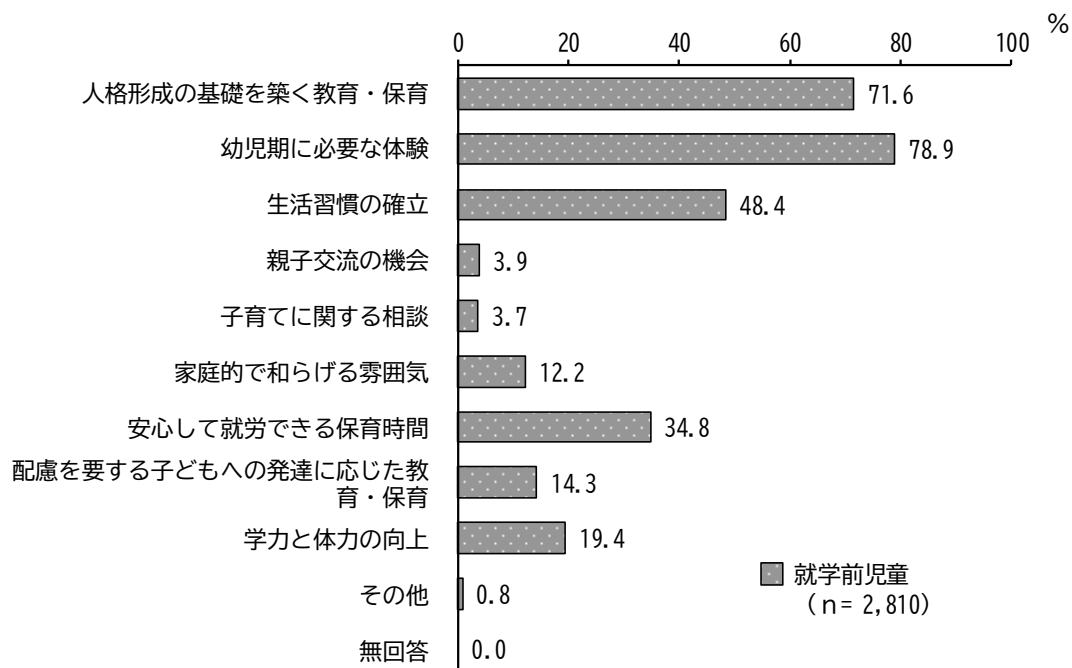


(3) 定期的な教育・保育事業として望むもの

問 「定期的に」利用する教育・保育の事業として、どのような教育や保育を望まれますか。あて名のお子さんについてお答えください。
(望まれるものを3つまで選択してください)【就学前児童：問 21】

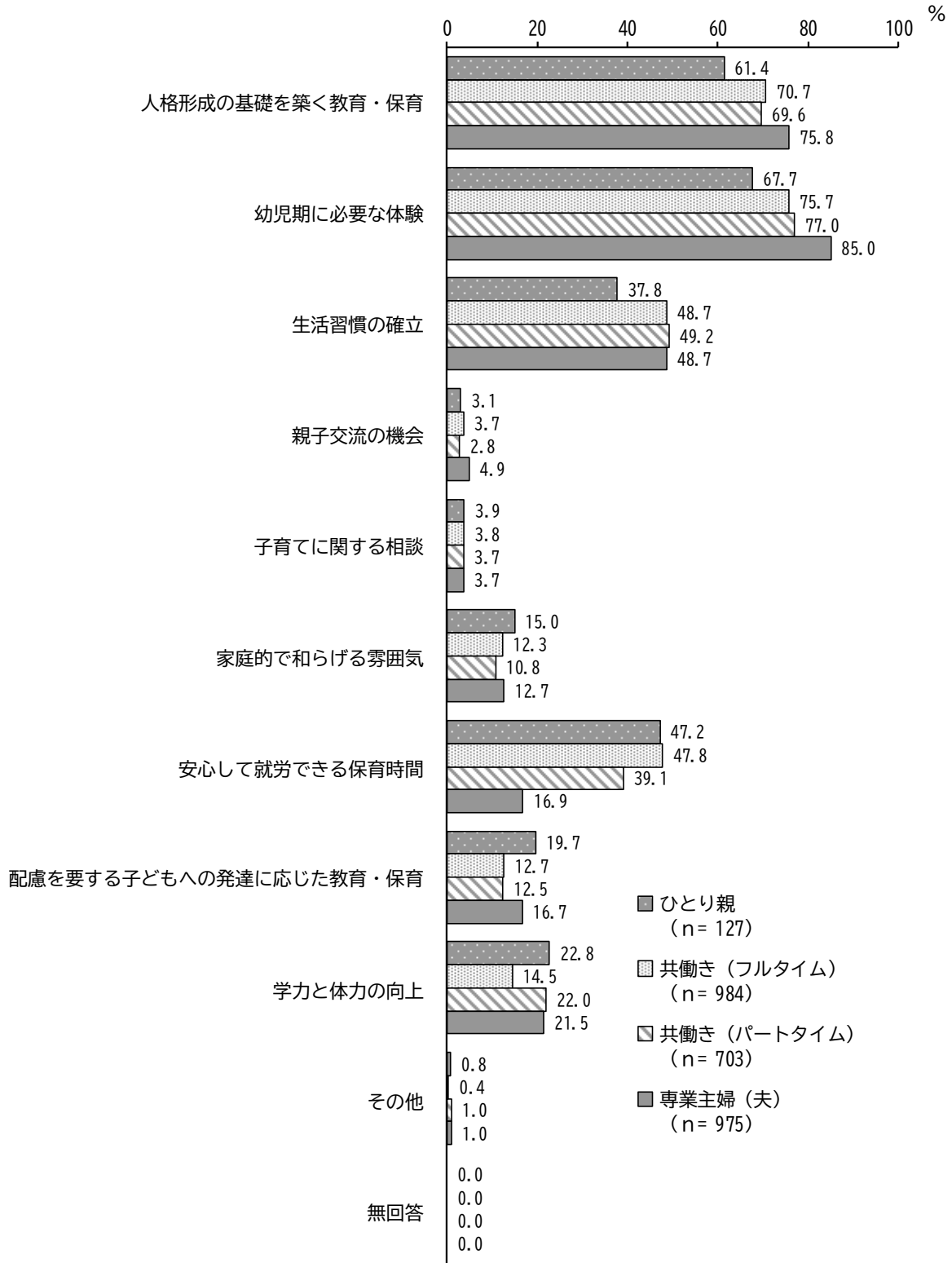
定期的な教育・保育事業として望むものについては、「幼児期に必要な体験」が78.9%と最も高く、次いで「人格形成の基礎を築く教育・保育」が71.6%となっている。

定期的な教育・保育事業として望む環境・設備については、「子どもがのびのびと運動ができる園庭」が59.2%と最も高く、次いで「給食の提供」が58.9%となっている。



【就学前児童：家庭類型別】

定期的な教育・保育事業として望むものについて家庭類型別にみると、専業主婦（夫）では「人格形成の基礎を築く教育・保育」「幼児期に必要な体験」が他の家庭類型よりも高くなっている。一方で、ひとり親や共働きでは「安心して就労できる保育時間」が専業主婦（夫）よりも高くなっている。



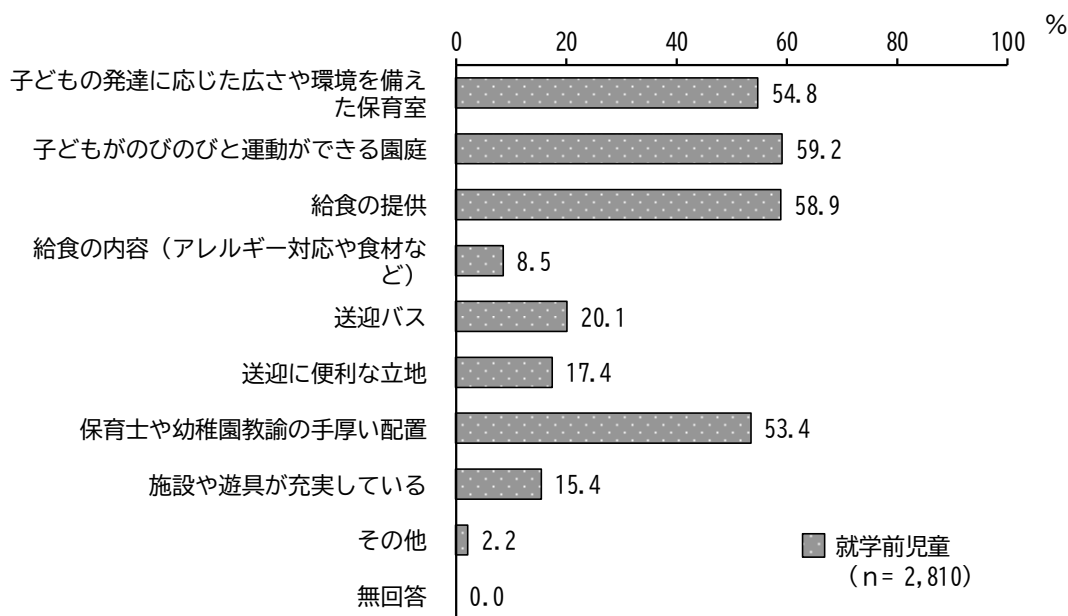
【就学前児童：年齢別】

年齢別にみると、2歳で「生活習慣の確立」の割合が高くなっている。

単位：%

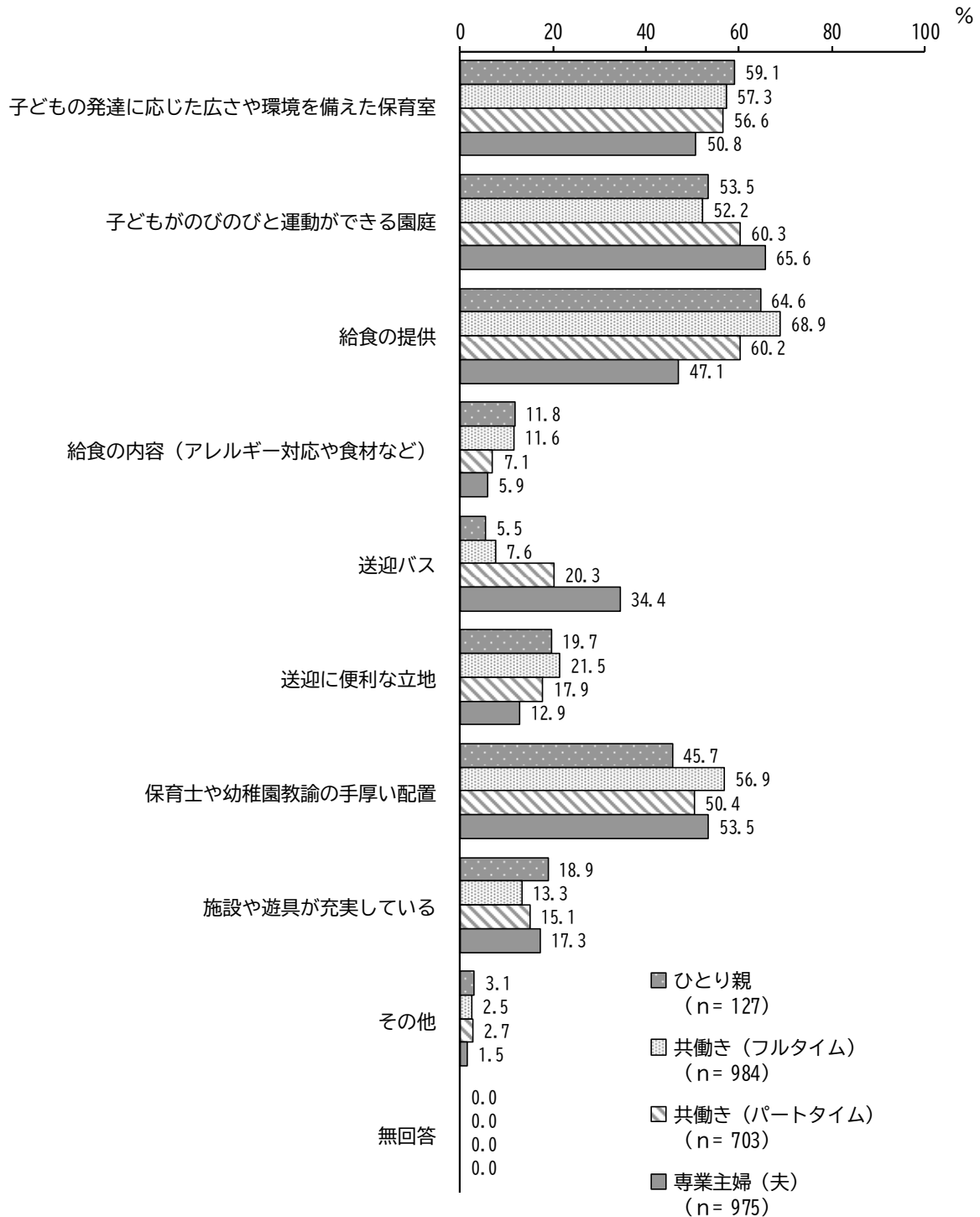
区分	n (件)	育 人 格 形 成 の 基 礎 を 築 く 教 育 ・ 保 育	幼 児 期 に 必 要 な 体 験	生 活 習 慣 の 確 立	親 子 交 流 の 機 会	子 育 て に 関 する 相 談	家 庭 的 で 和 ら げ る 雰 囲 気	時 間 安 心 し て 就 労 で き る 保 育	配 慮 を 要 す る 子 ど も へ の 発 達 に 応 じ た 教 育 ・ 保 育	学 力 と 体 力 の 向 上	そ の 他	無 回 答
全 体	2,810	71.6	78.9	48.4	3.9	3.7	12.2	34.8	14.3	19.4	0.8	—
0歳	446	72.9	79.4	48.7	4.5	3.4	12.1	37.2	14.3	15.2	0.4	—
1歳	460	70.2	78.0	49.8	4.1	3.0	15.9	31.7	15.4	19.3	0.2	—
2歳	423	70.0	76.6	53.7	3.1	3.8	12.3	34.5	14.9	18.0	0.9	—
3歳	490	71.8	82.2	50.2	3.5	4.5	10.2	33.7	12.7	19.0	0.8	—
4歳	463	73.9	76.2	43.4	4.3	4.5	11.9	35.4	14.5	21.4	1.7	—
5歳	497	70.8	80.5	45.9	3.8	3.4	11.5	35.6	14.1	22.9	0.8	—

問 「定期的に」利用する教育・保育の事業として、どのような教育や保育の環境や設備を望めますか。あて名のお子さんについてお答えください。
(望まれるものを3つまで選択してください)【就学前児童：問 22】



【就学前児童：家庭類型別】

定期的な教育・保育事業として望む環境・設備について家庭類型別にみると、ひとり親や共働きでは「給食の提供」が専業主婦（夫）よりも高い。また、共働き（パート）や専業主婦（夫）では「送迎バス」が他の家庭類型よりも高い。



【就学前児童：年齢別】

年齢別にみると、5歳で「子どもがのびのびと運動ができる園庭」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	n(件)	子どもの発達に応じた広さや環境を備えた保育室	子どもがのびのびと運動ができる園庭	給食の提供	給食の内容(アレルギー対応や食材など)	送迎バス	送迎に便利な立地	保育士や幼稚園教諭の手厚い配置	施設や遊具が充実している	その他	無回答
全体	2,810	54.8	59.2	58.9	8.5	20.1	17.4	53.4	15.4	2.2	—
0歳	446	59.2	55.6	50.4	13.5	15.9	22.4	56.1	16.1	2.0	—
1歳	460	60.2	57.0	57.8	8.0	17.2	17.6	54.8	16.5	1.1	—
2歳	423	51.8	56.7	59.3	8.7	19.4	18.2	56.0	14.7	4.0	—
3歳	490	54.3	61.2	60.4	8.2	23.1	15.1	50.8	15.5	2.0	—
4歳	463	49.7	59.2	62.4	7.3	21.4	18.4	52.1	16.4	1.9	—
5歳	497	53.7	65.2	62.0	5.4	22.5	13.7	51.9	13.7	2.4	—

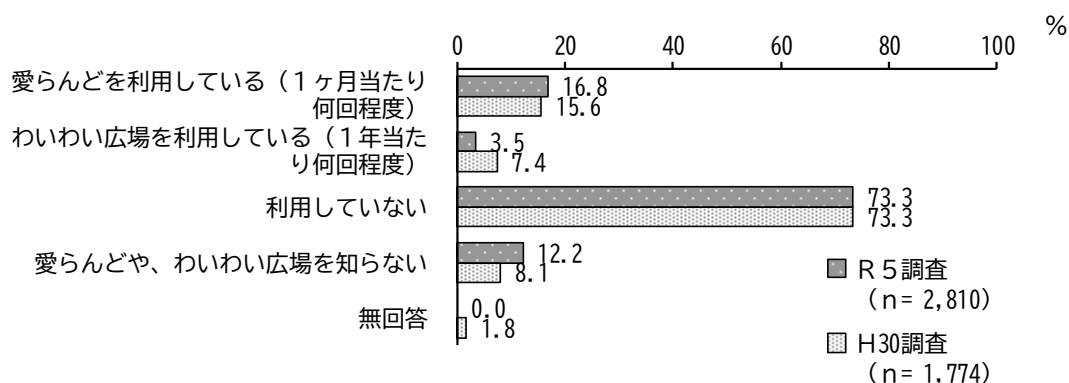
6 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用希望について

(1) 愛らんど・わいわい広場の利用状況

問 あて名のお子さんは、「愛らんど」や「わいわい広場」を利用していますか。
(あてはまるものすべてお選びください)【就学前児童：問 23】

愛らんど・わいわい広場の利用状況については、「愛らんどを利用している」は16.8%、「わいわい広場を利用している」は3.5%、「利用していない」は73.3%となっている。

前回調査と比較すると、愛らんど・わいわい広場ともに、利用状況にあまり差はみられない。



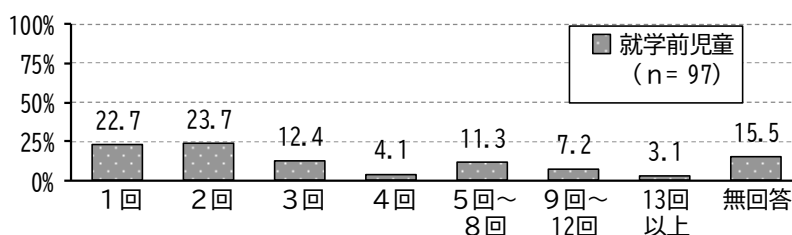
愛らんどの利用回数 (1ヶ月当たり)【就学前児童】

「愛らんど」利用者の1ヶ月当たりの利用回数については、「1回」が25.6%となっている。



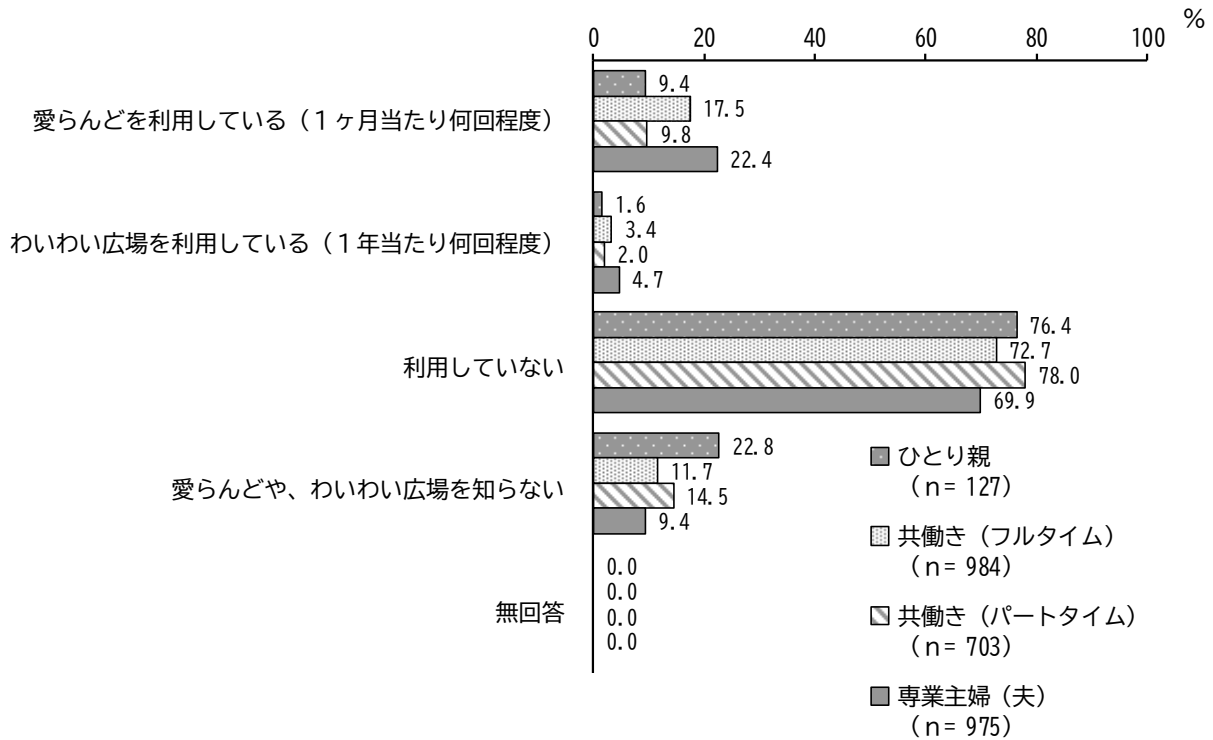
わいわい広場の利用回数 (1年当たり)【就学前児童】

「わいわい広場」利用者の1年当たりの利用回数については「1回」が22.7%、「2回」が23.7%、「3回」が12.4%となっている。



【就学前児童：家庭類型別】

家庭類型別にみると、専業主婦（夫）では「愛らんどを利用している」が他の家庭類型よりも約5～13ポイント高くなっている。



【就学前児童：年齢別】

年齢別にみると、0歳で「愛らんどを利用している (1ヶ月当たり何回程度)」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	n (件)	愛らんどを利用している (1ヶ月当たり何回程度)	わいわい広場を利用している (1年当たり何回程度)	利用していない	愛らんどや、わいわい広場を知らない	無回答
全体	2,810	16.8	3.5	73.3	12.2	—
0歳	446	37.9	6.5	50.2	13.2	—
1歳	460	30.7	7.2	58.7	11.5	—
2歳	423	18.9	3.1	73.5	9.5	—
3歳	490	7.1	1.8	83.1	13.7	—
4歳	463	4.8	1.5	85.1	12.1	—
5歳	497	4.4	1.0	85.9	12.7	—

【就学前児童：行政センター別】

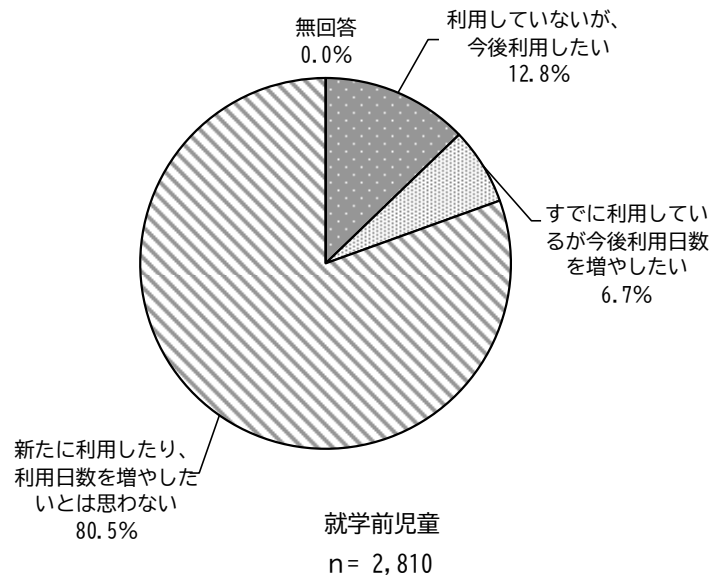
単位：%

区分	n (件)	愛らんどを利 用している(1ヶ 月当たり何回 程度)	愛らんどを利 用している(1年 当たり何回程 度)	利用して いない	愛らんどや、わ いわい広場を 知らない	無 回 答
全 体	2,810	16.8	3.5	73.3	12.2	—
本庁	468	19.7	2.4	68.4	14.1	—
追浜	260	28.1	—	69.6	3.1	—
田浦	78	30.8	2.6	61.5	10.3	—
逸見	36	19.4	5.6	61.1	25.0	—
衣笠	488	11.9	5.3	73.0	15.8	—
大津	313	14.1	4.8	75.7	12.1	—
浦賀	233	12.0	4.3	73.4	21.0	—
久里浜	454	15.9	2.0	77.3	10.6	—
北下浦	288	14.6	5.2	78.1	7.6	—
西	192	16.7	3.6	77.1	8.9	—

(2) 今後の利用意向

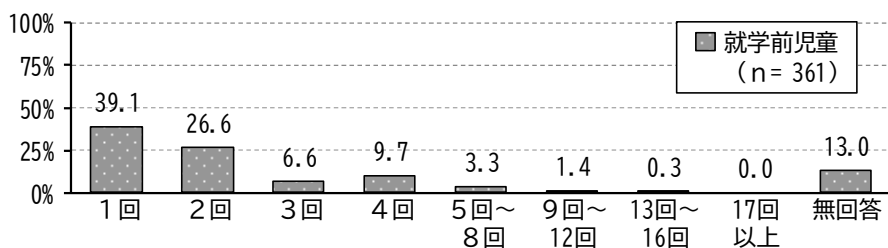
問 「愛らんど」や「わいわい広場」のような事業について、利用日数を増やしたいと思いますか。「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用している今後利用日数を増やしたい」を選んだ場合は、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。【就学前児童：問24】

愛らんど・わいわい広場の今後の利用意向については、「利用していないが、今後利用したい」は12.8%、「すでに利用しているが今後利用日数を増やしたい」は6.7%となっている。一方、約8割が「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」と回答している。



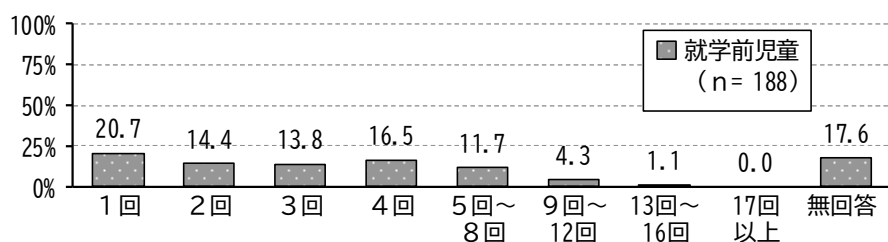
未利用者の今後の利用希望回数（1ヶ月当たり）【就学前児童】

未利用者の今後の利用希望回数は、「1回」が39.1%、「2回」26.6%となっている。



既利用者の今後増やしたい利用回数（1ヶ月当たり）【就学前児童】

既利用者の今後の利用希望回数は以下の通り。



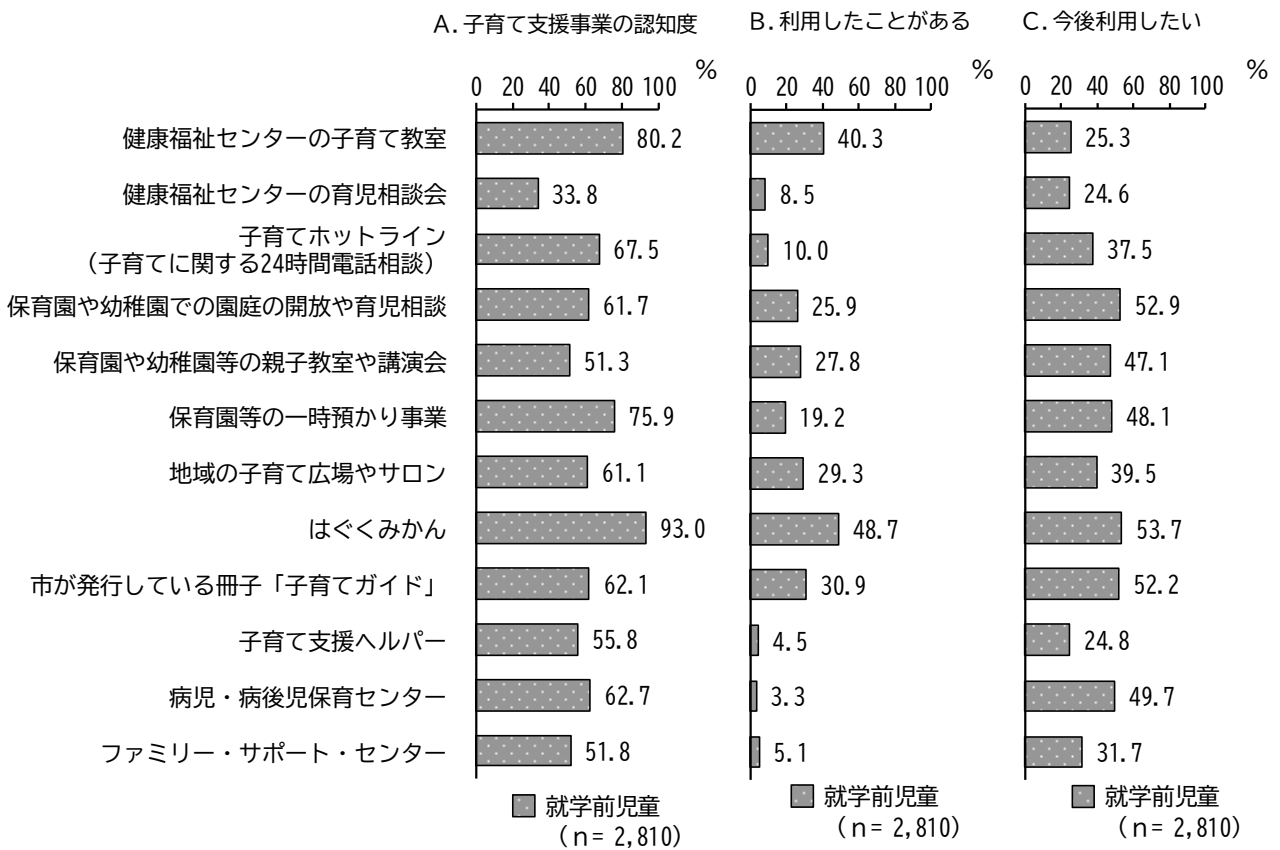
(3) 子育て支援事業の認知度・利用状況と今後の利用意向

問 次の事業で知っているものや、これまでに利用した事があるもの、今後利用したいと思うものをお答え下さい。【就学前児童:問 25、小学生:問 25】

就学前児童の子育て支援事業の認知度については、「はぐくみかん」が 93.0%と最も高く、次いで「健康福祉センターの子育て教室」が 80.2%、「保育園等の一時預かり事業」が 75.9%となっている一方、「ファミリー・サポート・センター」が 51.8%、「健康福祉センターの育児相談会」は 33.8%となっている。

利用したことがある事業については、「はぐくみかん」が 48.7%と最も高く、次いで「健康福祉センターの子育て教室」が 40.3%となっている。

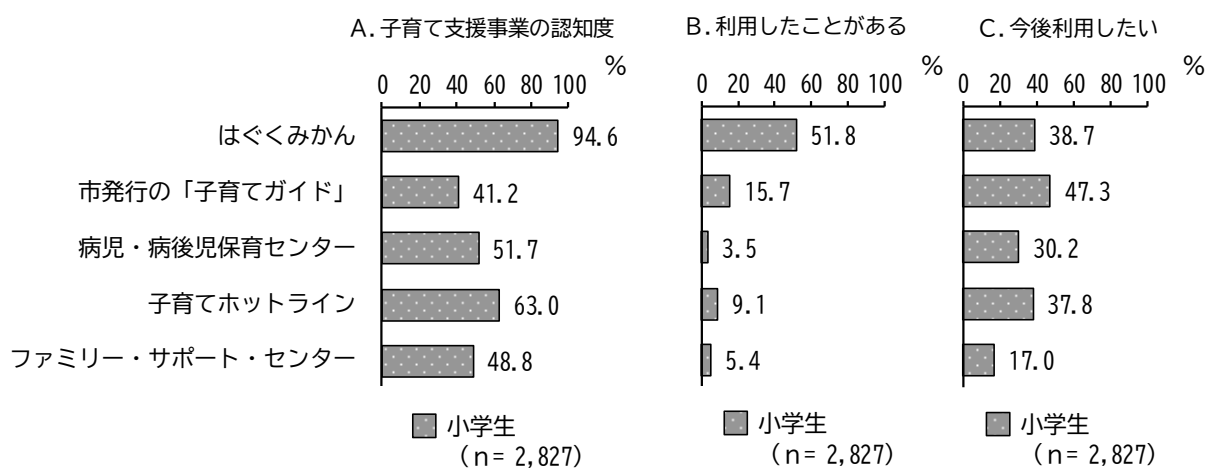
今後の利用希望については、「はぐくみかん」が 53.7%と最も高く、次いで「保育園や幼稚園での園庭の開放や育児相談」が 52.9%となっている。



小学生の子育て支援事業の認知度については、「はぐくみかん」が94.6%と最も高く、次いで「子育てホットライン」が63.0%、「病児・病後児保育センター」が51.7%となっている。

利用したことがある事業については、「はぐくみかん」が51.8%となっているが、「病児・病後児保育センター」「子育てホットライン」「ファミリー・サポート・センター」は、約10%未満となっている。

今後の利用希望については、「市発行の「子育てガイド」」が47.3%と最も高く、次いで「はぐくみかん」が38.7%となっている。



7 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について (1) 土曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

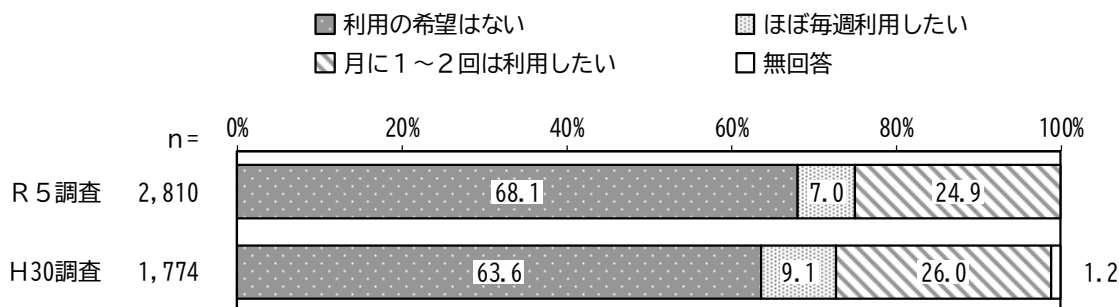
問 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育園などの定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。
【就学前児童：問 26】

問 土曜日
「ほぼ毎週利用したい」または「月に1～2回は利用したい」を選んだ場合は、利用したい時間帯を、(例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください。
【就学前児童：問 26-1】

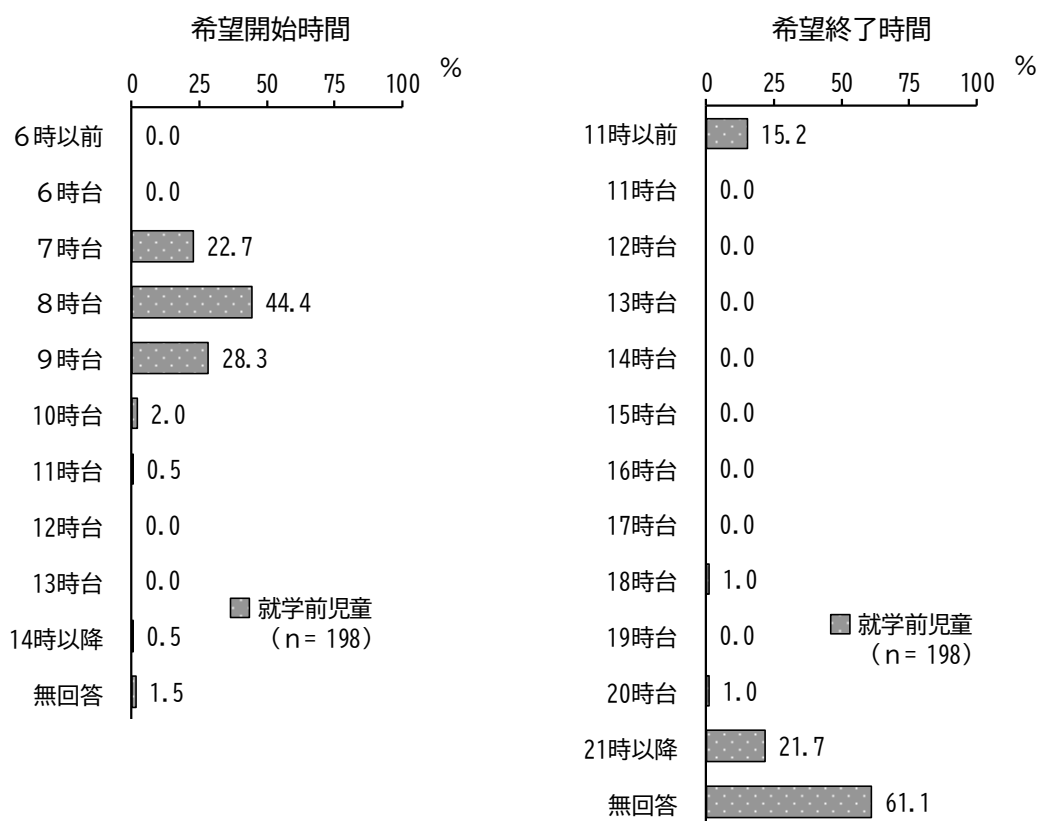
土曜日の教育・保育事業の利用意向については、「ほぼ毎週利用したい」が7.0%、「月に1～2回は利用したい」が24.9%となっている。

開始時間については「8時台」が44.4%、「9時台」が28.3%となっており、終了時間は「21時以降」が21.7%、「11時以前」が15.2%となっている。

前回調査と比較すると、あまり差はみられない。

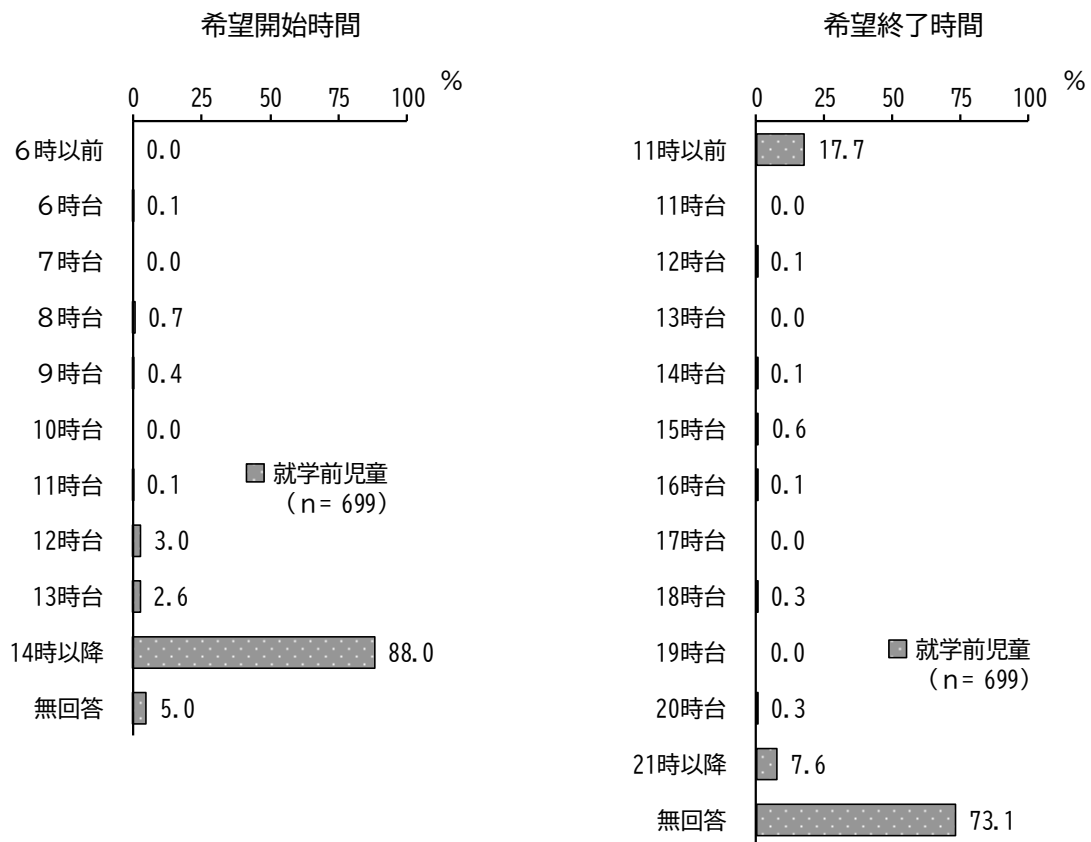


ほぼ毎週利用したい 希望開始・終了時間【就学前児童】



月に1～2回は利用したい 希望開始・終了時間【就学前児童】

開始時間については「14時以降」が88.0%、終了時間は「11時以前」が17.7%となっている。



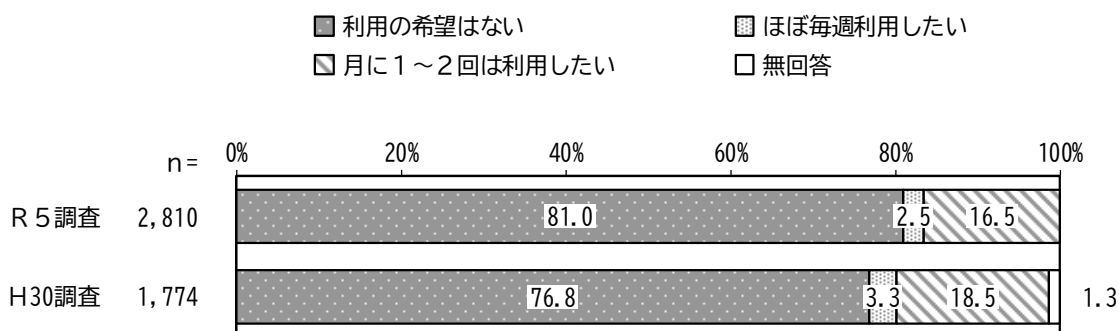
問 日曜・祝日

幼稚園や保育園などの定期的な教育・保育の事業を「ほぼ毎週利用したい」または「月に1～2回は利用したい」を選んだ場合は、利用したい時間帯を、(例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください。

【就学前児童：問26-2】

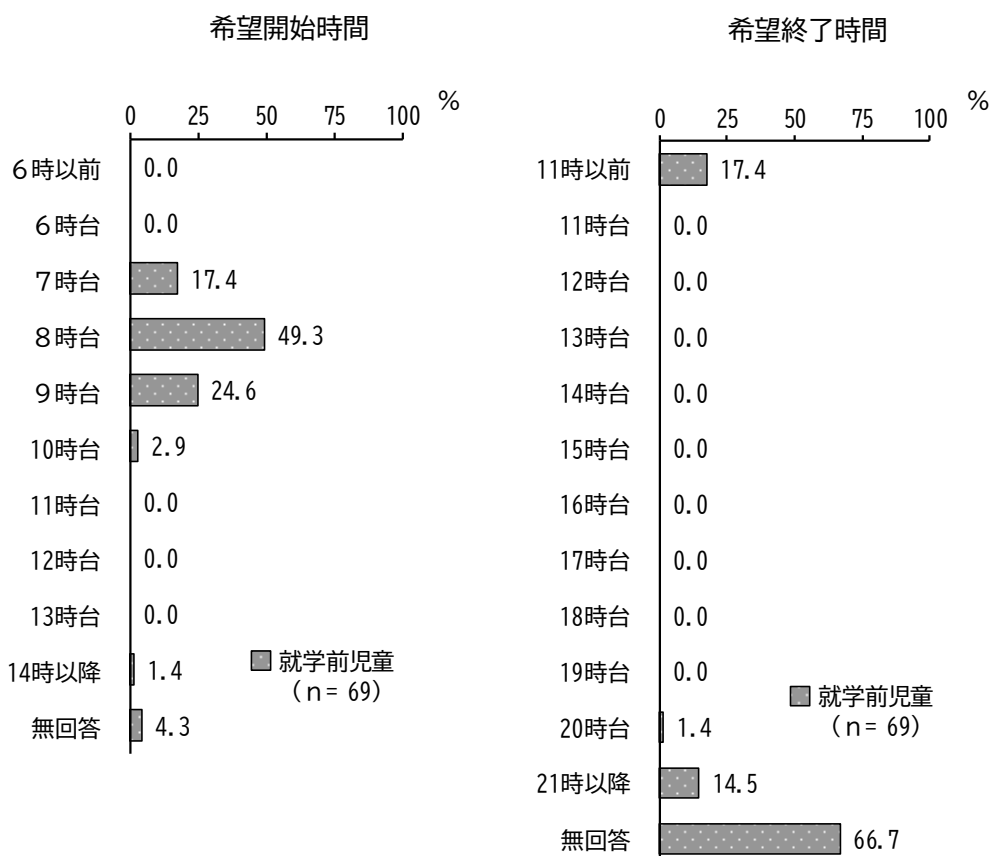
日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望をみると、「利用の希望はない」が81.0%となっているものの、「ほぼ毎週利用したい」が2.5%、「月に1～2回は利用したい」が16.5%と、あわせて約2割が利用を希望している。

前回調査と比較すると、あまり差はみられない。



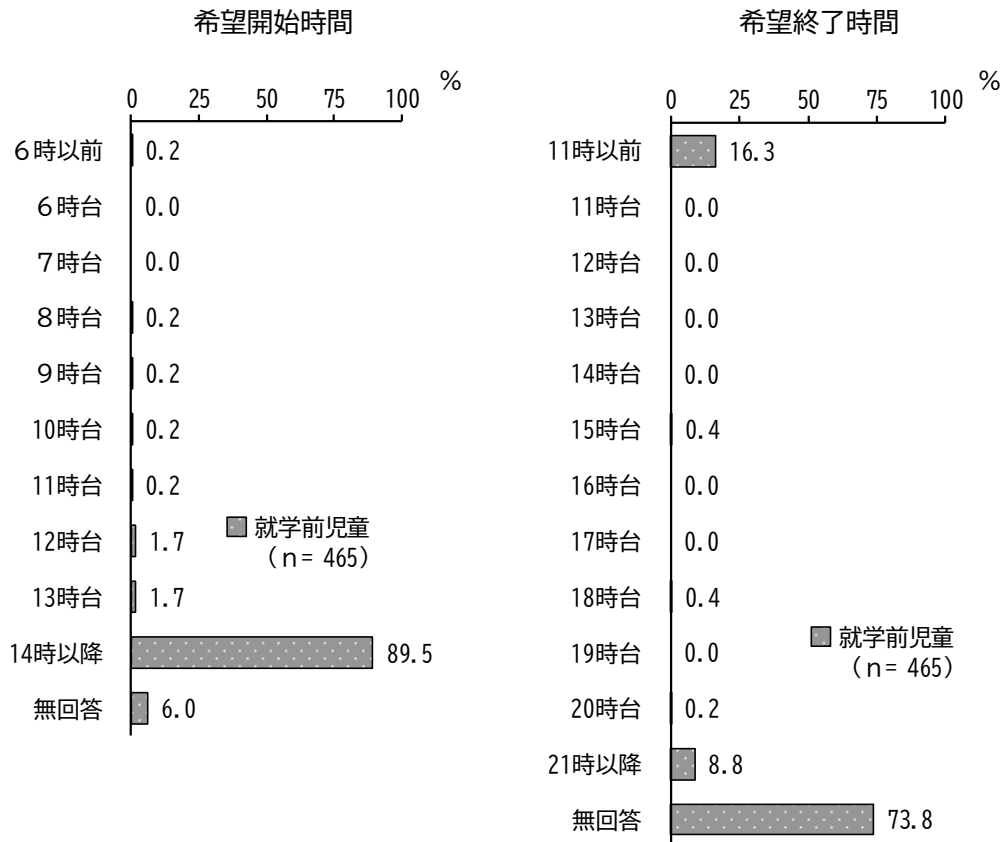
ほぼ毎週利用したい 希望開始・終了時間【就学前児童】

開始時間については「8時台」が49.3%、「9時台」が24.6%となっており、終了時間は「11時以前」が17.4%、「21時以降」が14.5%となっている。



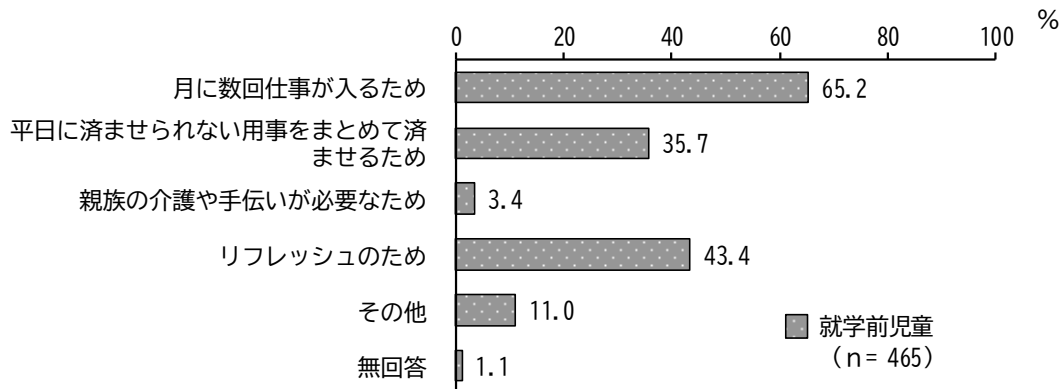
月に1～2回は利用したい 希望開始・終了時間【就学前児童】

開始時間については「14時以降」が89.5%、終了時間は「11時以前」が16.3%となっている。



問 幼稚園や保育園などの定期的な教育・保育の事業を土曜日または日曜・祝日で、「月に1～2回は利用したい」を選んだ方にうかがいます。
 教育・保育事業を毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。
 (あてはまる番号すべてお選びください)【就学前児童：問26-3】

土曜日、日曜・祝日に「月に1～2回は利用したい」理由については、「月に数回仕事が入るため」が65.2%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」が43.4%となっている。

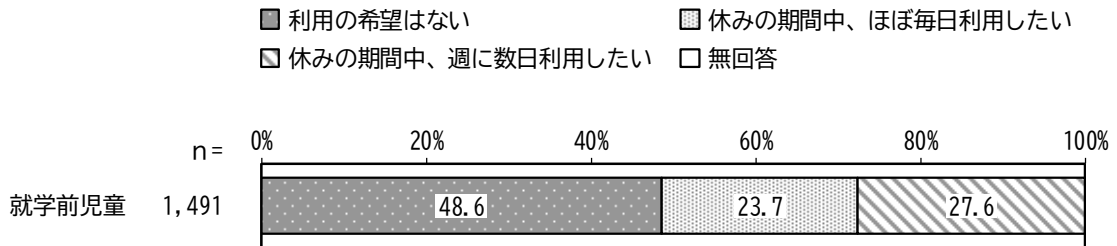


(2) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

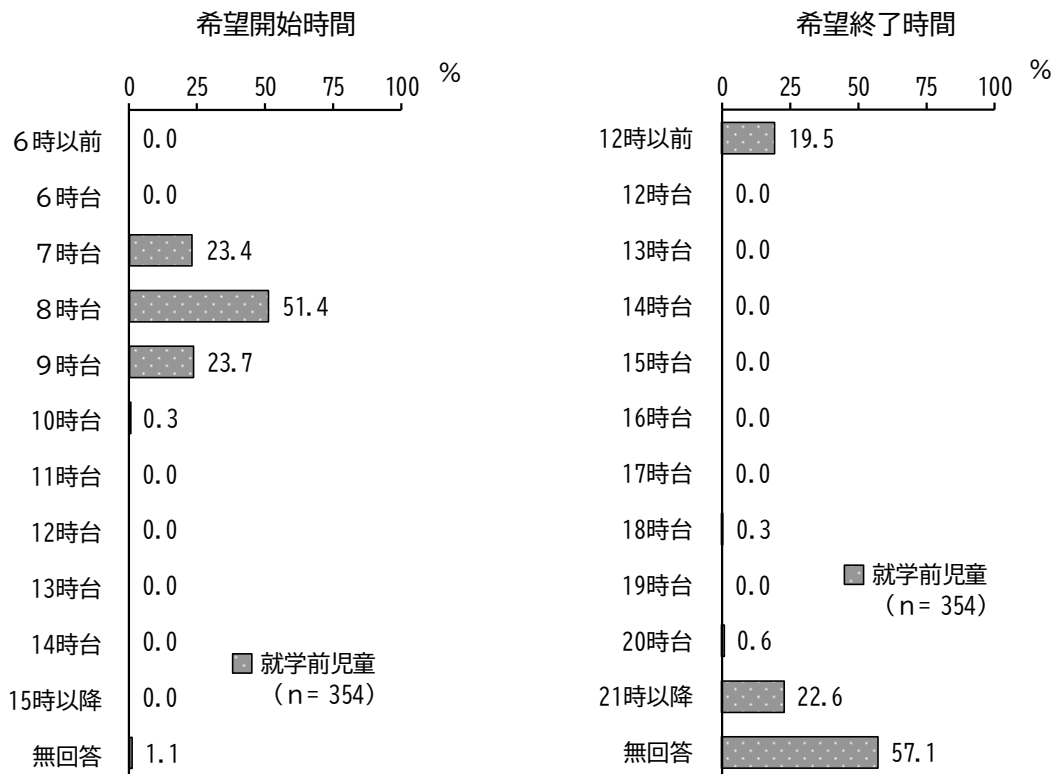
問 定期的な教育・保育事業で幼稚園を「利用している」を選んだ方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください。【就学前児童：問27】

長期休暇中の教育・保育事業の利用意向については、「利用の希望はない」が48.6%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が27.6%となっている。

開始時間については「8時台」が51.4%、「9時台」が23.7%となっており、終了時間は「21時以降」が22.6%、「12時以前」が19.5%となっている。

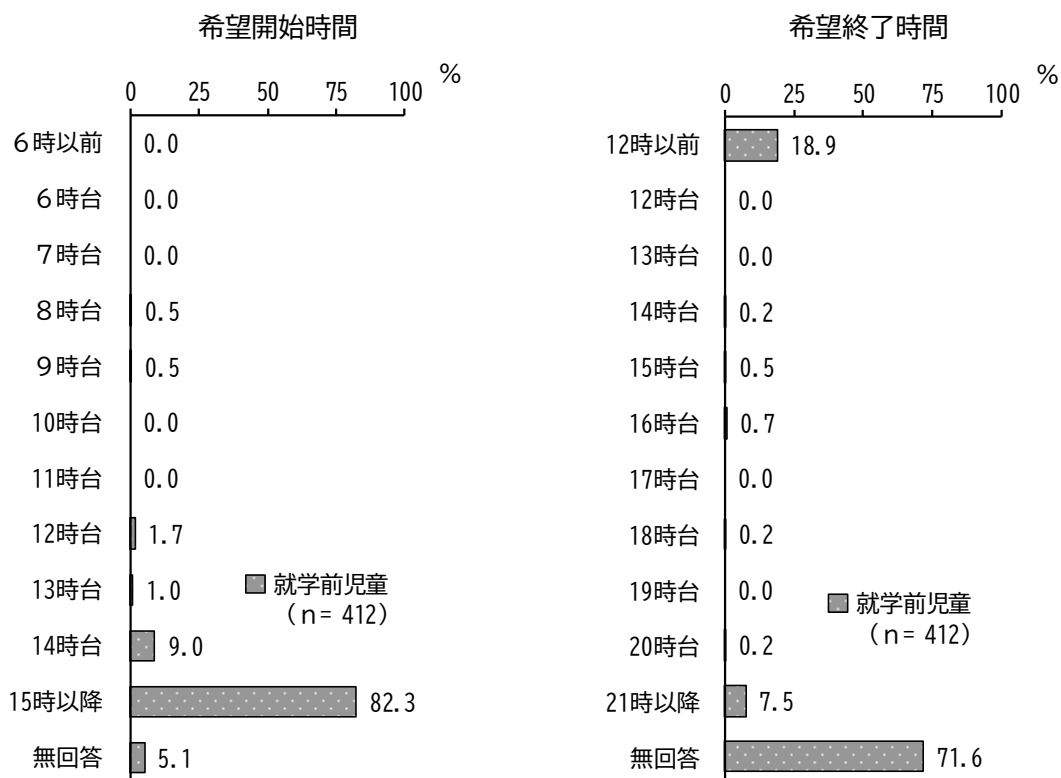


休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 希望開始・終了時間【就学前児童】



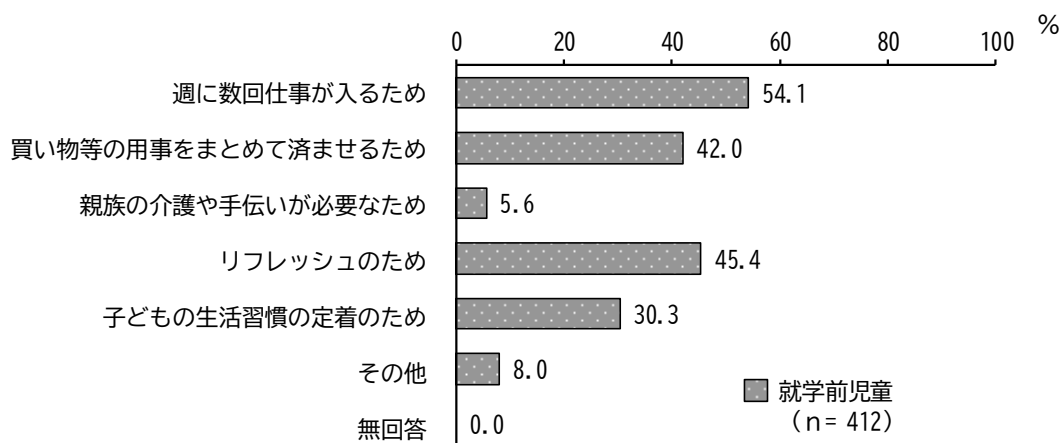
休みの期間中、週に数日利用したい 希望開始・終了時間【就学前児童】

開始時間については「15時以降」が82.3%「14時台」が9.0%となっており、終了時間は「12時以前」が18.9%、「21時以降」が7.5%となっている。



問 定期的な教育・保育事業で幼稚園を「利用している」で、「週に数日利用したい」を選んだ方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由としてあてはまるものをすべて選択してください【就学前児童：問27-1】

長期休暇中に「週に数日利用したい」理由については、「週に数回仕事が入るため」が54.1%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」が45.4%となっている。



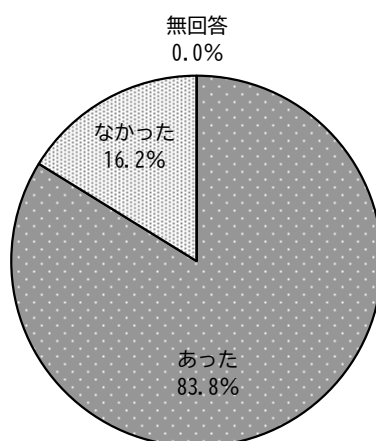
8 病児・病後児保育事業の潜在ニーズについて

(平日の教育・保育を利用している方のみ)

(1) 病気やケガで保育所や幼稚園などが利用できない時の対応

問 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた方にうかがいます。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。【就学前児童：問 28】

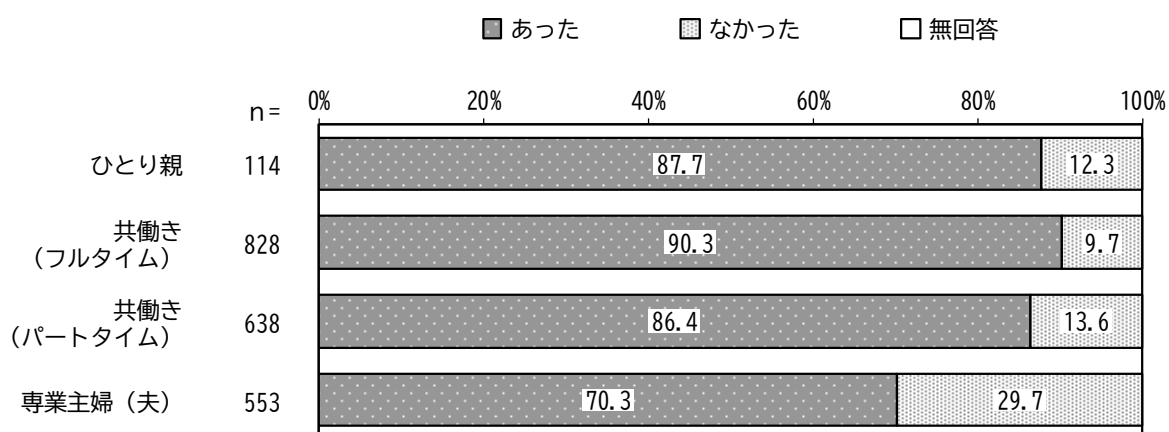
病気やケガで教育・保育の事業などが利用できなかったことが「あった」方は83.3%となっている。



就学前児童
n = 2,152

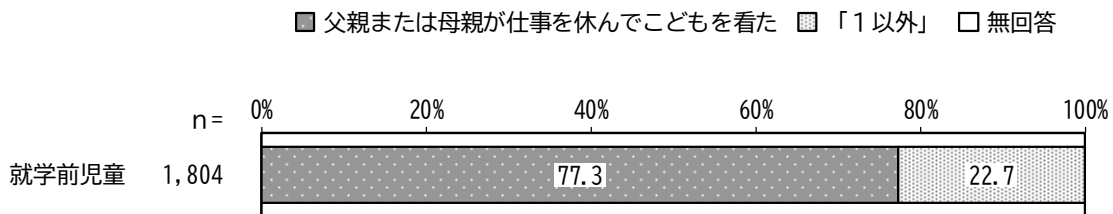
【就学前児童：家庭類型別】

病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことについて家庭類型別にみると、共働き（フルタイム）では「あった」が他の家庭類型よりも約2～16ポイント高くなっている。



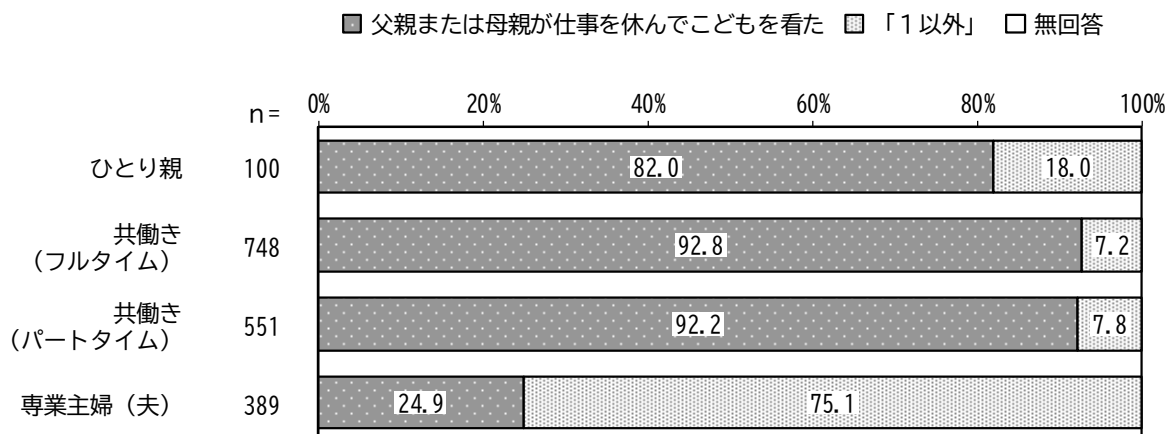
問 前問で「あった」とお答えした方にうかがいます。あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまるものをお答えください。
【就学前児童：問 28-1】

教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法については、「父親または母親が仕事を休んで子どもを見た」が77.3%、「それ以外」が22.7%となっています。



【就学前児童：家庭類型別】

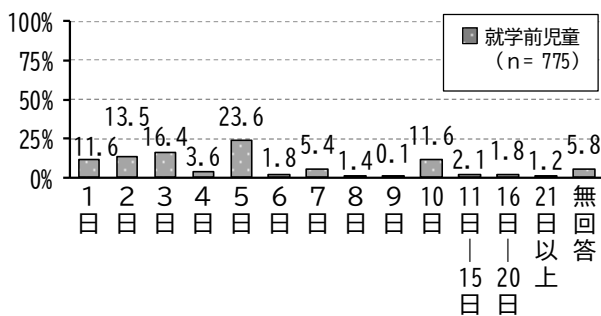
その対処方法については、共働き（フルタイム）や共働き（パートタイム）では「父親または母親が仕事を休んで子どもを見た」が他の家庭類型よりも約10～68ポイント高くなっている。



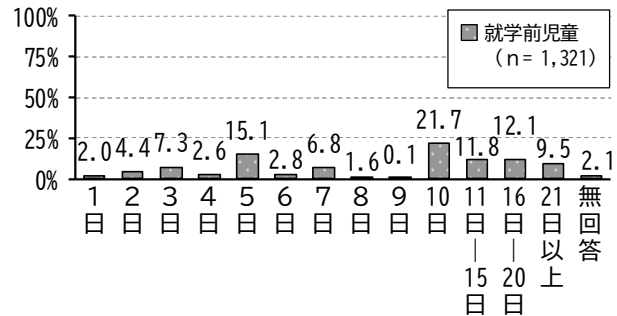
問 前問で「父親または母親が仕事を休んで子どもを見た」を選んだ方にうかがいます。それは、この1年間でどれくらいの日数ありましたか。父親と母親それぞれの日数を口内に数字でご記入ください。
 (半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)
 【就学前児童：問28-1-1】

この1年間の対処方法別の日数については、『父親が仕事を休んだ日数』は「5日」が23.6%、「3日」が16.4%となっており、『母親が仕事を休んだ日数』は「10日」が21.7%、「5日」が15.1%となっている。

1. 父親が仕事を休んだ日数

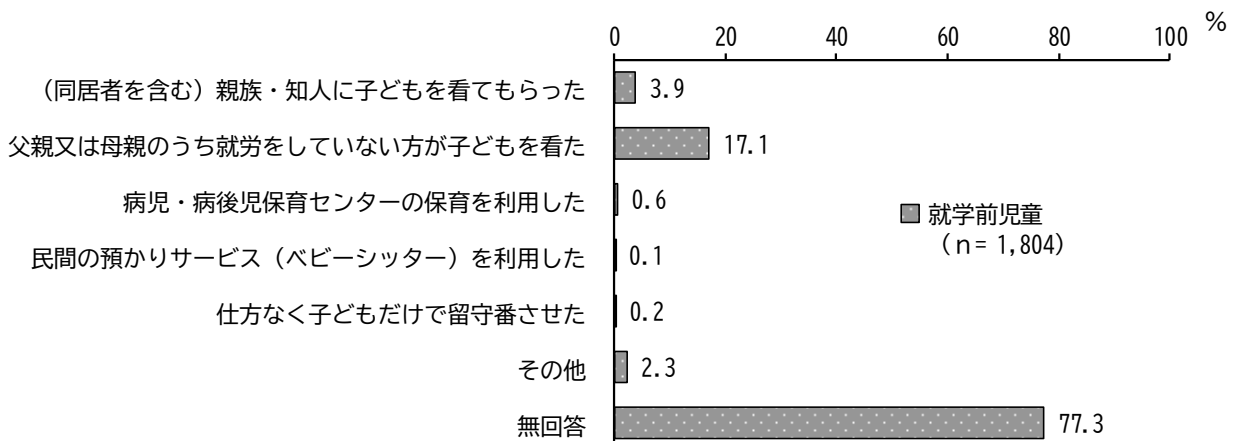


2. 母親が仕事を休んだ日数

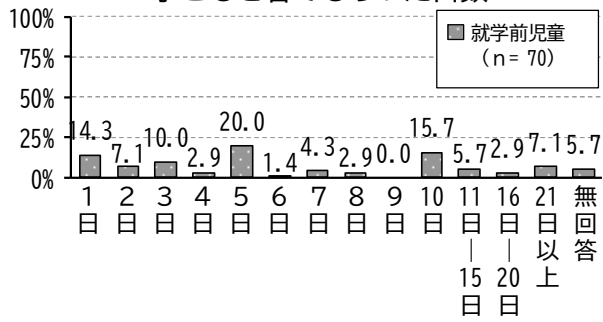


問 お子さんが病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかったことが「あった」を選んだ方にうかがいます。あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、問28-1の「父親または母親が仕事を休んで子どもをみた」以外で、この1年間に行った対処方法としてあてはまるものをすべて選び、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)
 【就学前児童：問28-1-2】

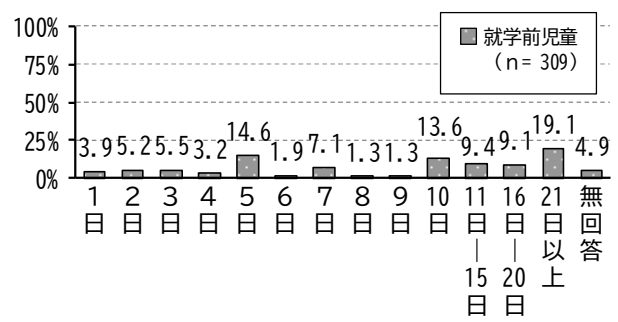
教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法のうち、「父親または母親が仕事を休んで子どもをみた」以外については、「父親又は母親のうち就労をしていない方が子どもを見た」が17.1%と最も高くなっている。



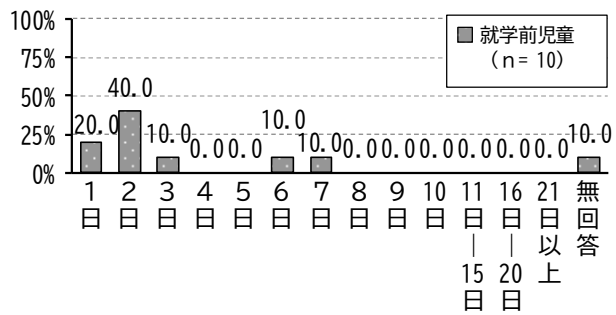
1. (同居者を含む) 親族・知人に
子どもを看てもらった日数



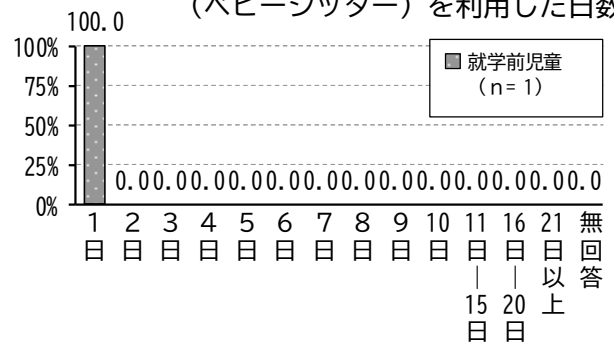
2. 父親又は母親のうち就労をしていない
方が子どもを看た日数



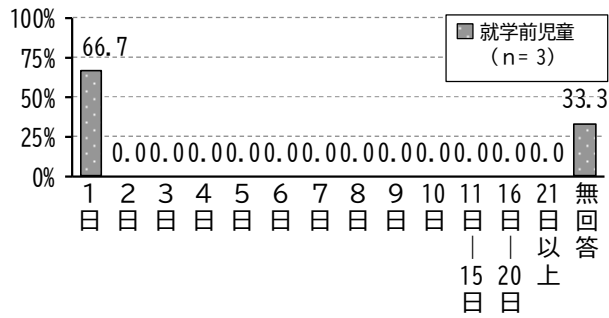
3. 病児・病後児保育センターの
保育を利用した日数



4. 民間の預かりサービス
(ベビーシッター) を利用した日数

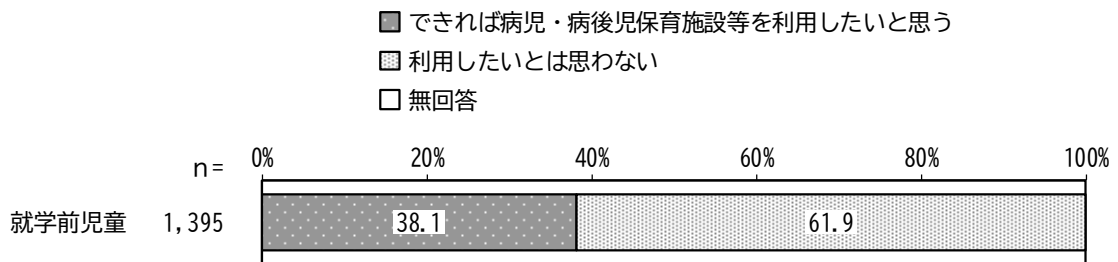


5. 仕方なく子どもだけで留守番させた日数



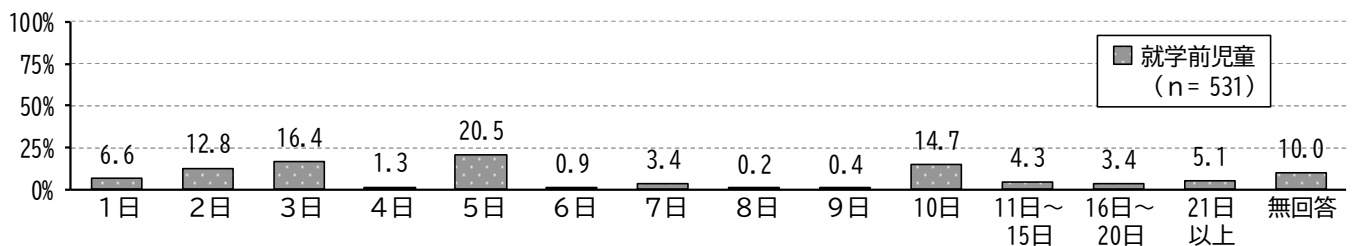
問 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった時の対処方法について「父親または母親が仕事を休んで子どもを看た」を選んだ方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つ選び日数についても口内に数字でご記入ください。【就学前児童：問 28-2】

病児・病後児保育施設等の利用有無については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思う」が 38.1%となっている。



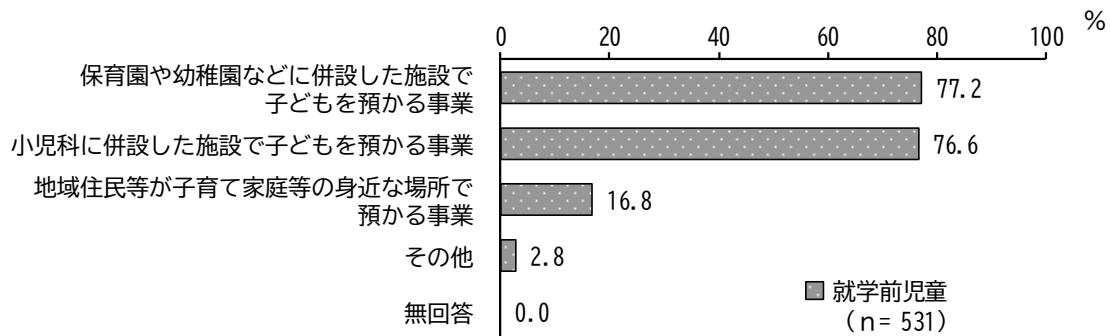
できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思う日数

できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思う日数については「5日」が 20.5%と最も高く、次いで「3日」が 16.4%、「10日」が 14.7%となっている。



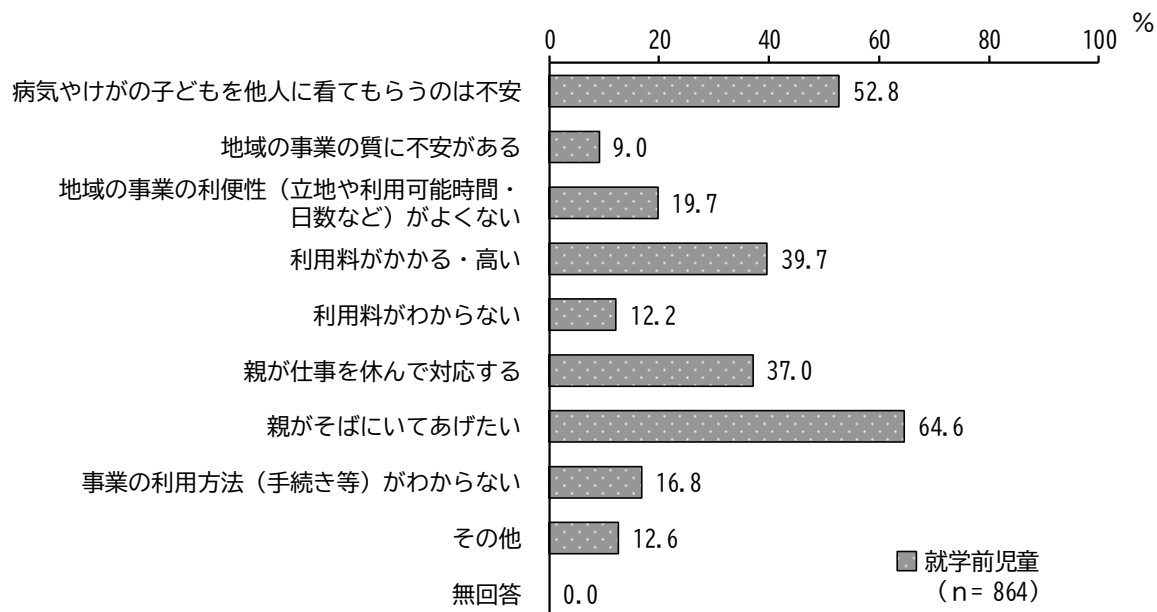
問 前問で、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方いかがいます。病気やけがで子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまるものすべてをお選びください)【就学前児童：問 28-3】

子どもを預ける場合の望ましい事業形態については、「保育園や幼稚園などに併設した施設で子どもを預かる事業」が77.2%と最も高く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを預かる事業」が76.6%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で預かる事業」が16.8%となっている。



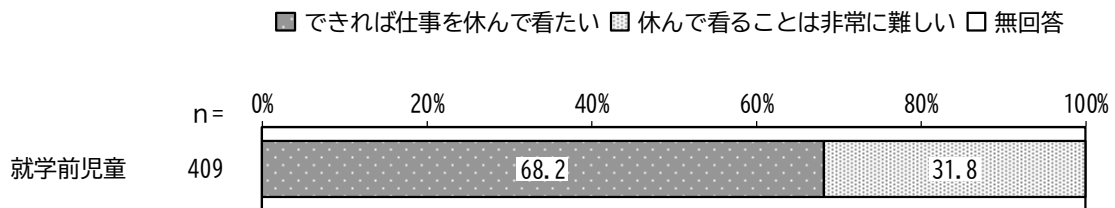
問 病児・病後児保育施設等を「利用したいとは思わない」を選んだ方いかがいます。そう思われる理由は何ですか。病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由として、あてはまるものすべてをお選びください。【就学前児童：問 28-4】

病児・病後児保育施設等の利用を希望しない理由については、「親がそばにいてあげたい」が64.6%と最も高く、次いで「病気やけがの子どもを他人に看てもらうのは不安」が52.8%となっている。



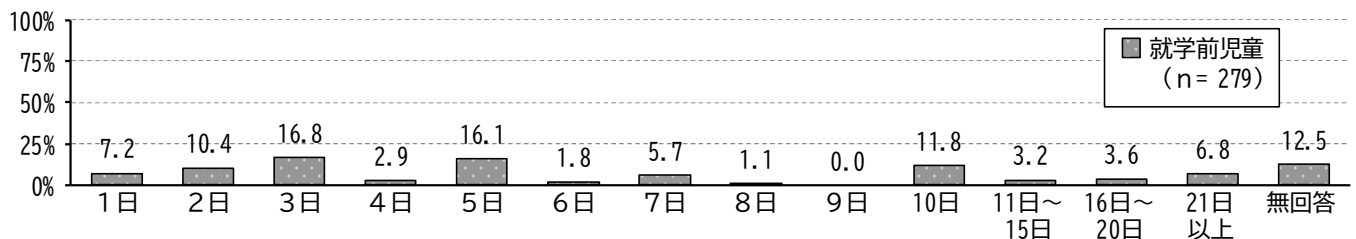
問 お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった時の対処方法について「父親または母親が仕事を休んで子どもをみた」以外のいずれかを選んだ方にうかがいます。あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった時、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号1つ選び、仕事を休んで見たかった日数についても□内に数字でご記入ください。【就学前児童：問 28-5】

父母が休む以外の対処方法を選んだ方のうち、「できれば仕事を休んで看たい」が 68.2%となっている。



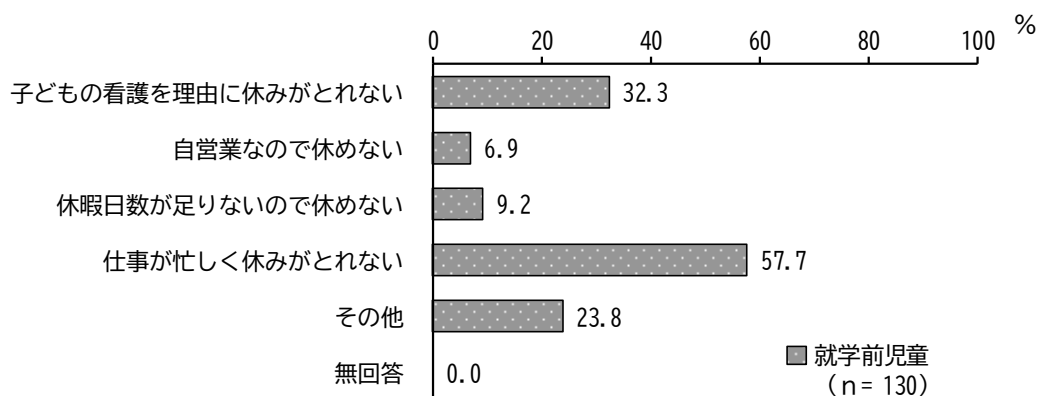
できれば仕事を休んで看たい希望日数

「できれば仕事を休んで看たい」年間希望日数は、「3日」が 16.8%と最も高く、次いで「5日」が 16.1%、「10日」が 11.8%となっている。



問 前問で「休んで看することは非常に難しい」と思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてをお選びください)【就学前児童：問 28-6】

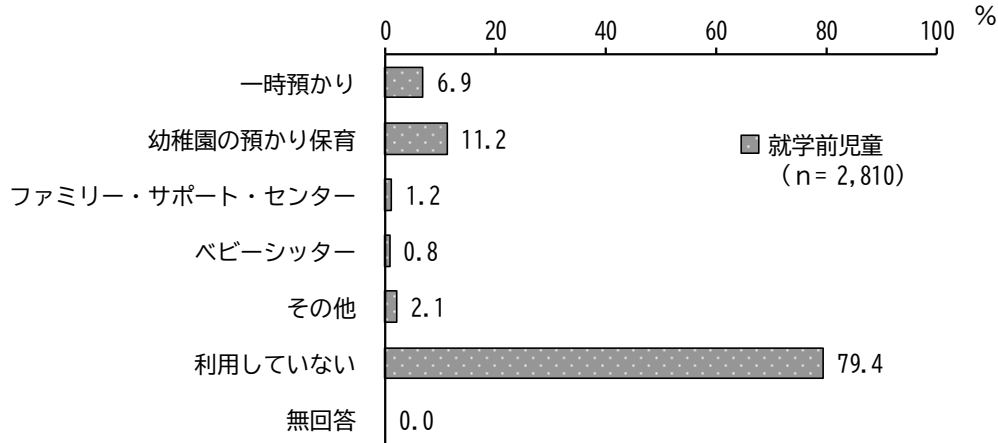
「休んで看することは非常に難しい」理由については、「仕事が忙しく休みがとれない」が 57.7%となっている。



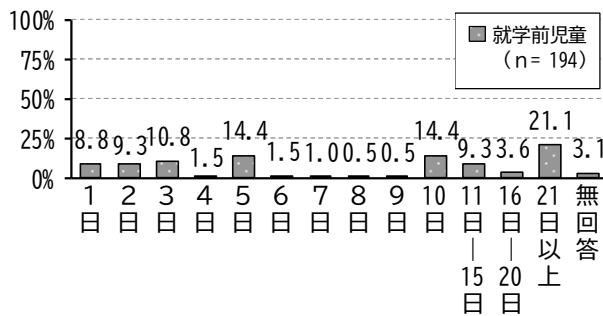
9 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について (1) 不定期的に利用している教育・保育事業の状況

問 あて名のお子さんについて、現在利用している事業を教えてください。
【就学前児童：問 29】

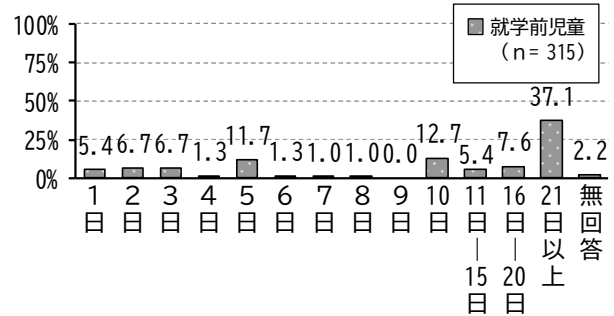
不定期的に利用している教育・保育事業については、「幼稚園の預かり保育」が11.2%、「一時預かり」が6.9%となっているが、「利用していない」が79.4%となっている。



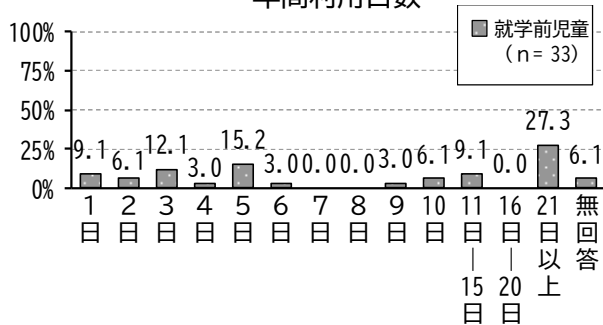
1. 「一時預かり」年間利用日数



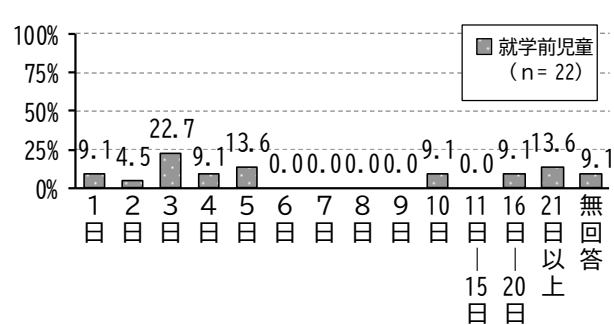
2. 「幼稚園の預かり保育」年間利用日数



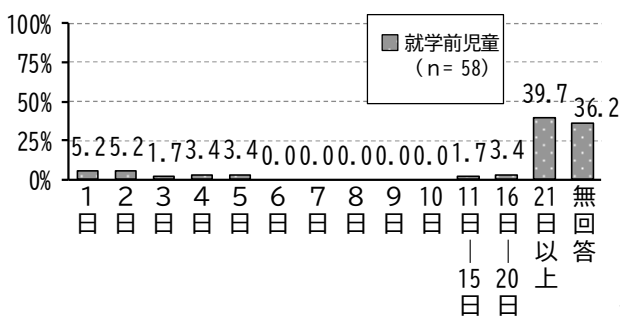
3. 「ファミリー・サポート・センター」年間利用日数



4. 「ベビーシッター」年間利用日数

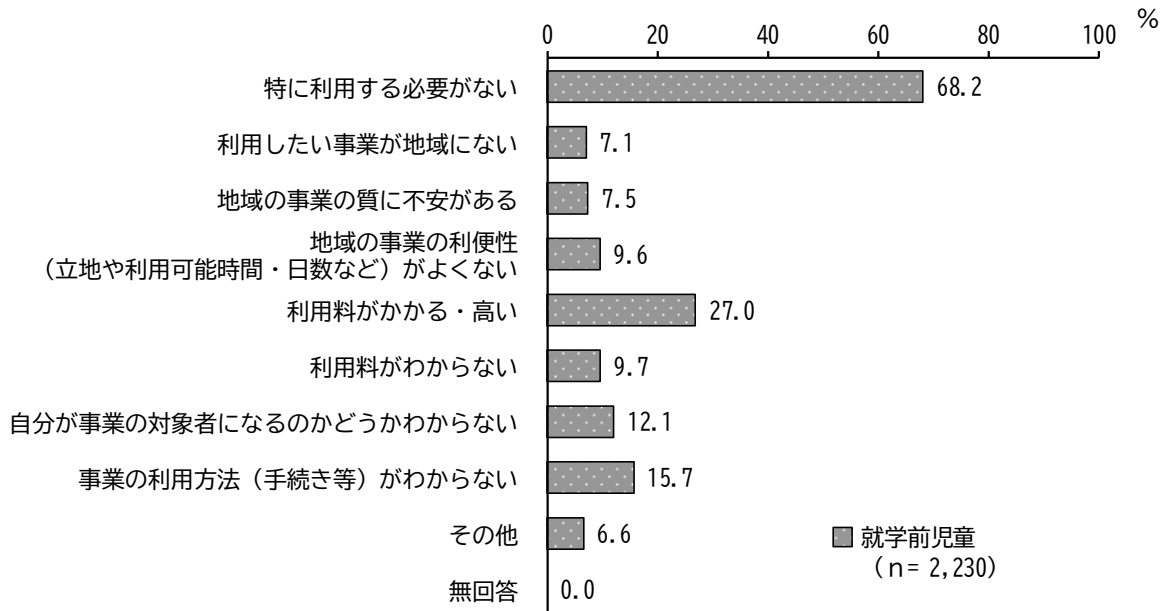


4. 「その他」年間利用日数



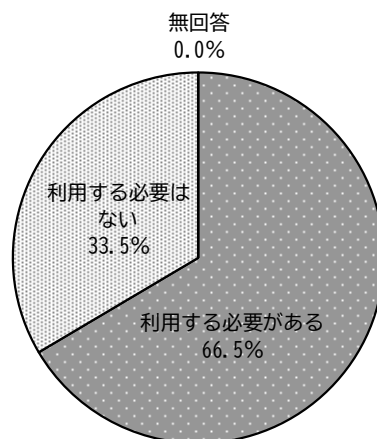
問 前問で、「利用していない」を選んだ方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてを選択してください)【就学前児童：問 29-1】

「利用していない」理由としては、「特に利用する必要がない」が 68.2%となっており、それ以外の理由としては、「利用料がかかる・高い」が 27.0%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 15.7%となっている。



問 保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、教育・保育事業等を利用する必要があると思いますか【就学前児童：問 30】

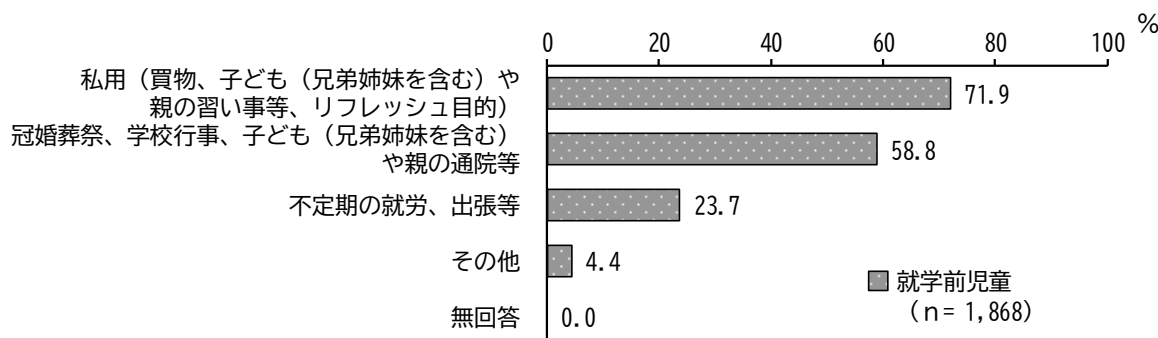
一時預かり等の事業の利用希望については、「利用する必要がある」の割合が 66.5%、「利用する必要はない」の割合が 33.5%となっている。



就学前児童
n = 2,810

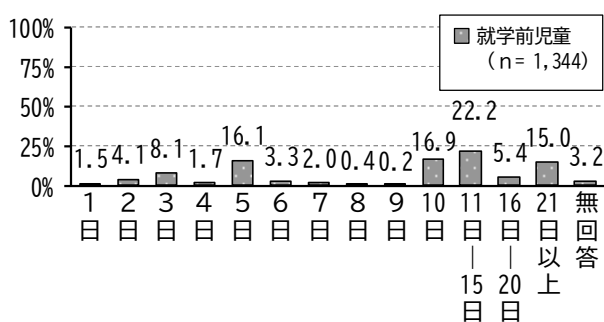
問 前問で、「利用する必要がある」を選んだ方にかがいます。
 あて名のお子さんに関して、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまるものすべて選び、□内に必要な日数をご記入ください。
 【就学前児童：問 30-1】

「利用する」目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」の割合が 71.9%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 58.8%、「不定期の就労、出張等」の割合が 23.7%となっている。

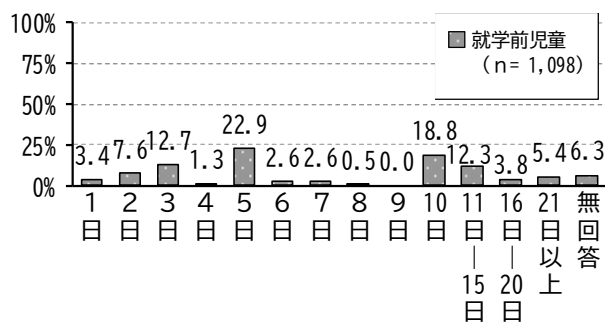


目的ごとの年間利用希望日数は、『私用、リフレッシュ目的』では「11～15日」が 22.2%、『冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等』では「5日」が 22.9%、『不定期の就労、出張等』では「21日以上」が 21.9%と、最も高くなっている。

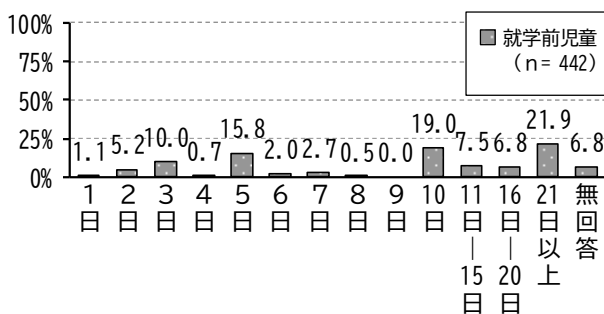
1. 私用、リフレッシュ目的



2. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等

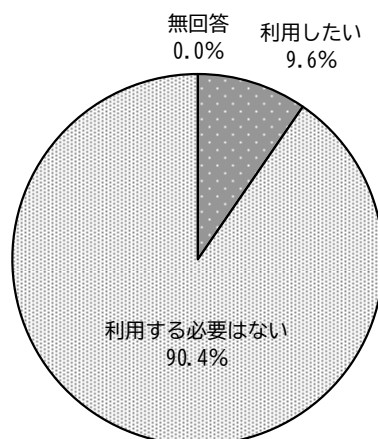


3. 不定期の就労、出張等



問 保護者の用事により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があるとおもいますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてお答えください。
【就学前児童：問 31】

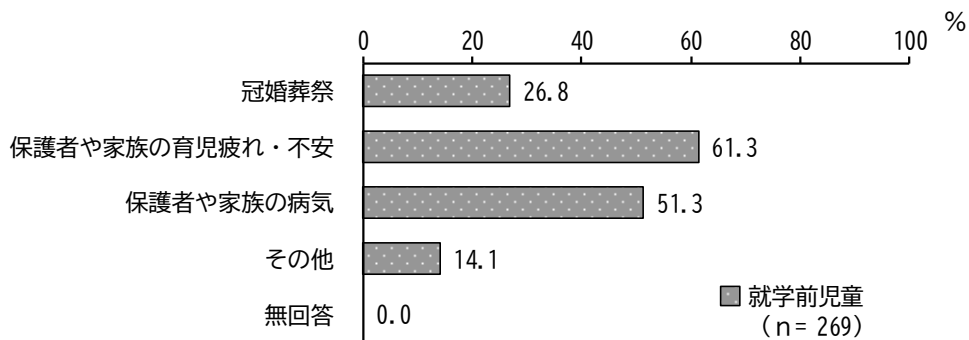
年間の利用希望日数の合計は、「利用したい」の割合が 9.6%、「利用する必要はない」の割合が 90.4%となっている。



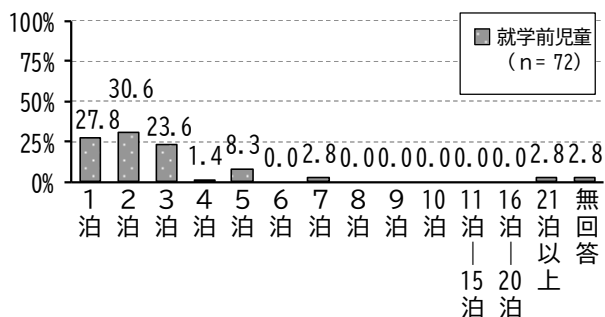
就学前児童
n = 2,810

問 問31で、「1. 利用したい」を選んだ方にかがいます。どんな場面で利用したいですか。当てはまるものをすべて選び、口内に必要な泊数をご記入ください。
【就学前児童：問31-1】

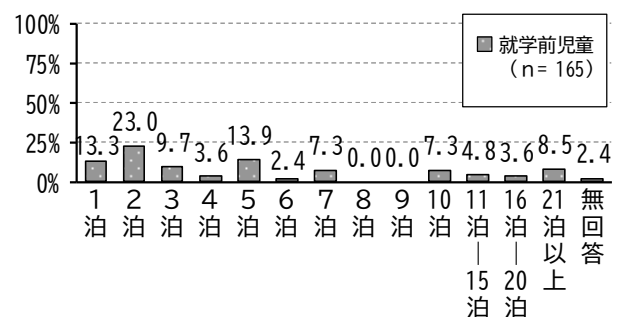
目的ごとの年間利用希望日数は、「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が61.3%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」の割合が51.3%、「冠婚葬祭」の割合が26.8%となっている。



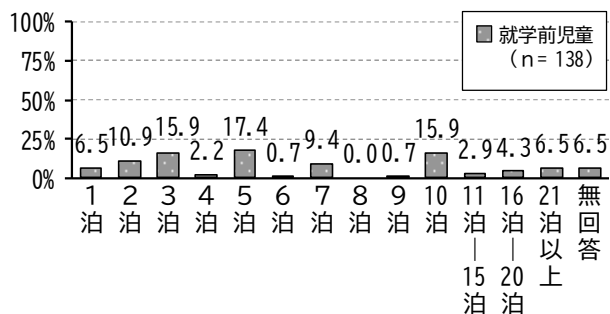
1. 冠婚葬祭



2. 保護者や家族の育児疲れ・不安



3. 保護者や家族の病気



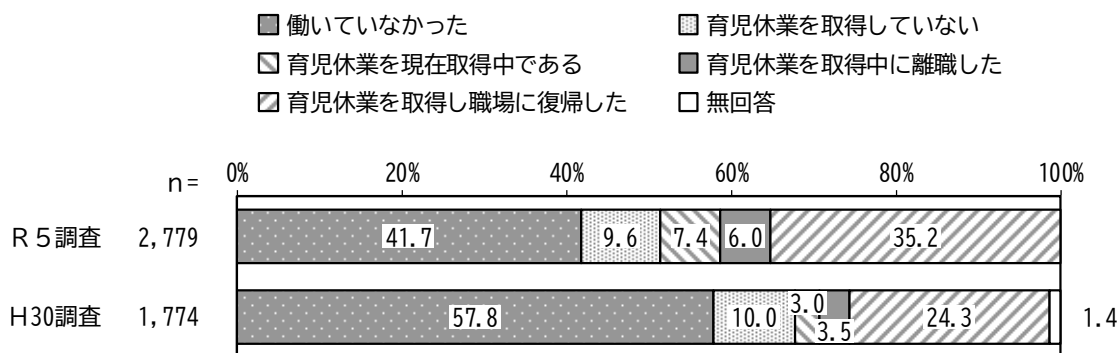
10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 育児休業制度の利用状況

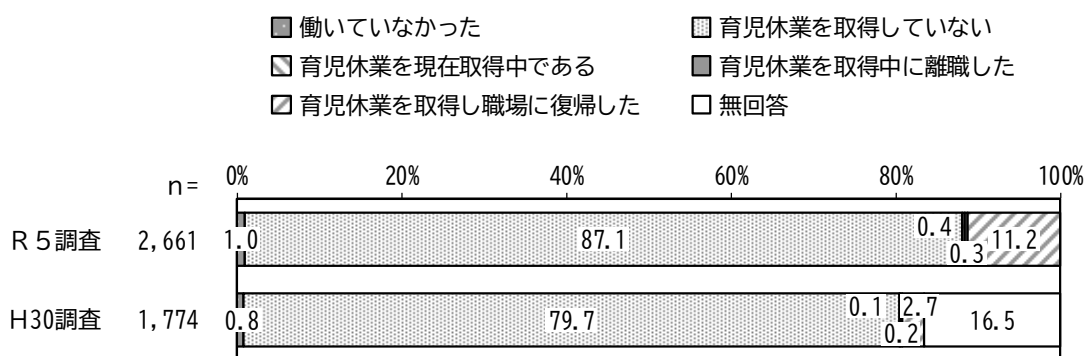
問 あて名のお子さんが生まれた時、母親は育児休業を取得しましたか。また、育児休業取得後、職場に復帰しましたか。
 (あてはまるものを1つお選びください)
 【問 32-1 : 就学前児童(母親)、問 32-2 : 就学前児童(父親)】

育児休業制度の利用状況については、母親では「育児休業を取得し職場に復帰した」が35.2%と、前回調査の24.3%から10.9ポイント上昇し、「育児休業を現在取得中である」が7.4%と、前回調査の3.0%から4.4ポイント上昇している。一方、父親では、「育児休業を取得し職場に復帰した」11.2%、「育児休業を現在取得中である」が0.4%となっている。

【就学前児童：母親】

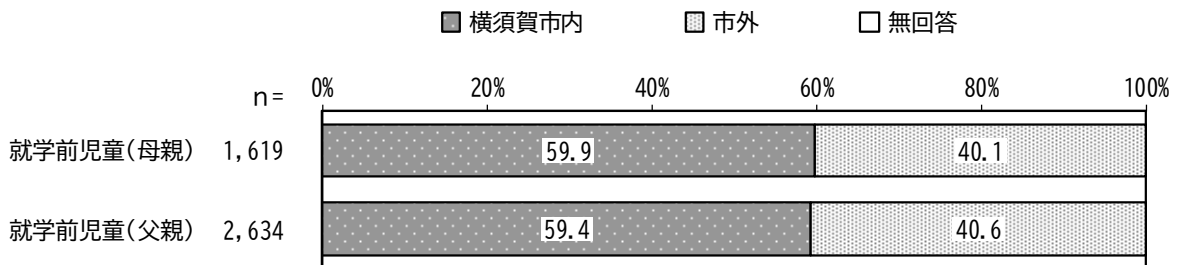


【就学前児童：父親】



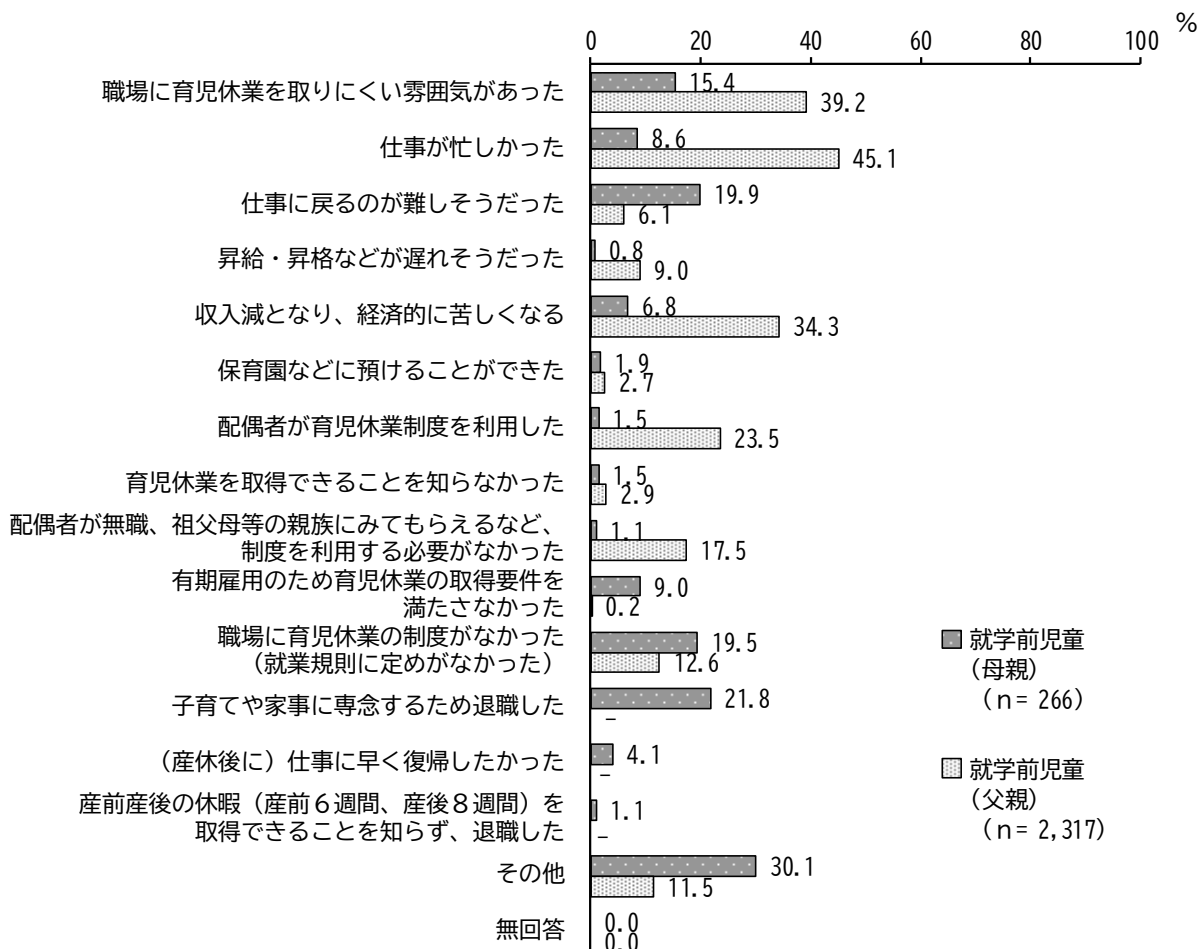
問 育児休業の取得について「育児休業を取得していない」～「育児休業を取得し職場に復帰した」を選んだ方にうかがいます。勤務先の所在地は横須賀市内ですか。
【問 32-1-1：就学前児童(母親)、問 32-2-1：就学前児童(父親)】

勤務先の所在地については、「横須賀市内」が母親で 59.9%、父親で 59.4%となっている。



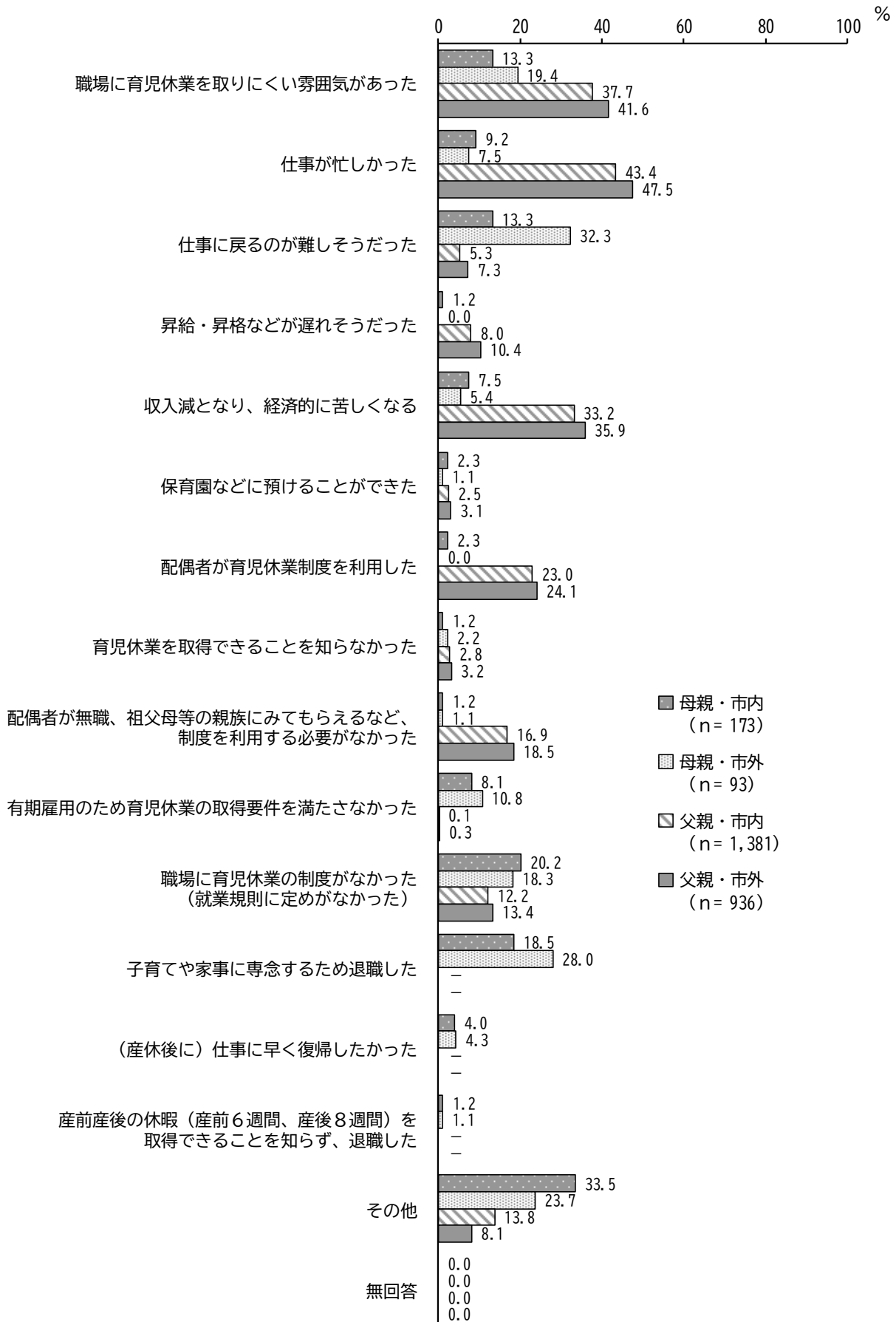
問 育児休業の取得について「育児休業を取得していない」を選んだ方にうかがいます。育児休業を取得していない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてをお選びください)
【問 32-1-2：就学前児童(母親)、問 32-2-2：就学前児童(父親)】

育児休業を取得していない理由については、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が 21.8%と最も高く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」が 19.9%となっている。父親では「仕事が忙しかった」が 45.1%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 39.2%となっている。



【就学前児童：勤務先の所在地別】

勤務先の所在地別にみると、勤務先が市外の父親で「仕事が忙しかった」の割合が高くなっている。

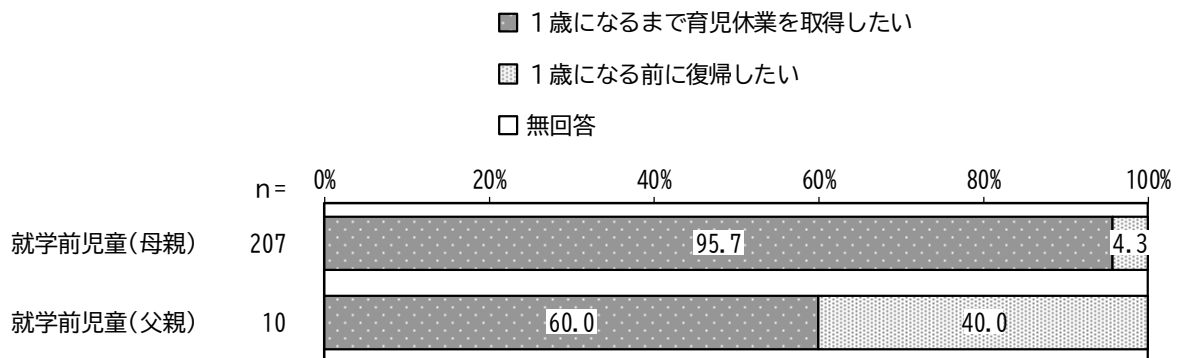


(2) 育児休業と保育園

問 育児休業の取得について「育児休業を現在取得中である」を選んだ方にうかがいます。あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育園などがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる保育園などがあっても1歳になる前に復帰しますか。

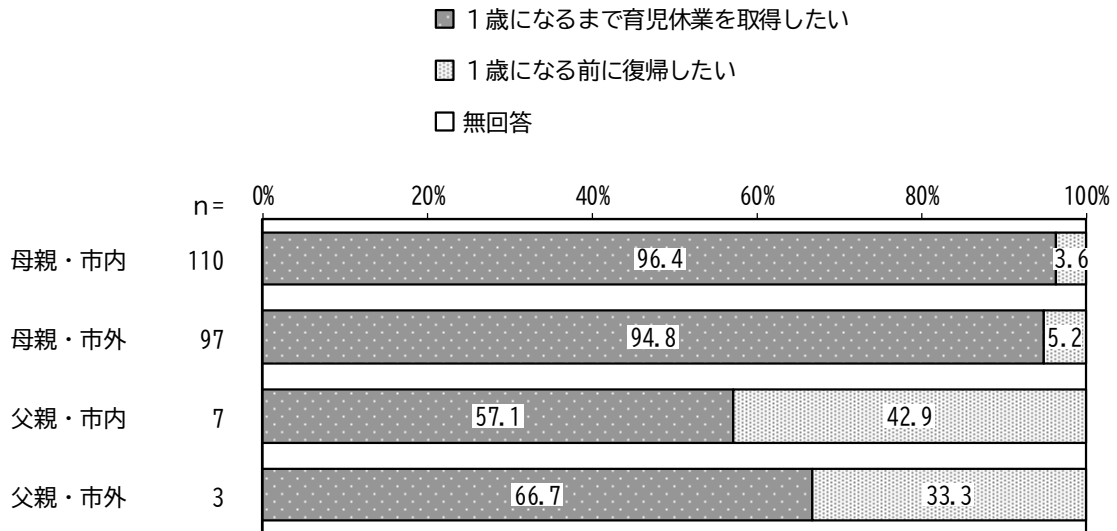
【問 32-1-3：就学前児童(母親)、問 32-2-3：就学前児童(父親)】

育児休業を現在取得中の方が1歳で必ず利用できる保育園があれば1歳まで育児休業を取得するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が母親で95.7%、父親で60.0%となっている。



【就学前児童：勤務先の所在地別】

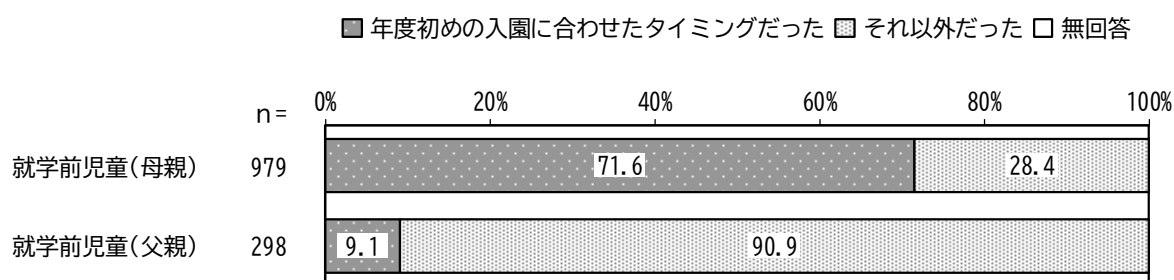
勤務先の所在地別にみると、大きな差はみられない。



(3) 職場復帰の状況

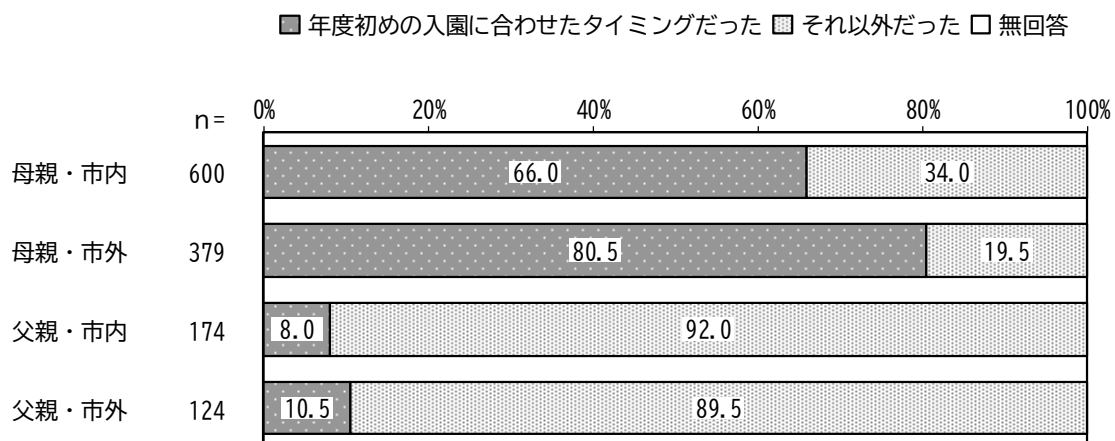
問 育児休業の取得について「育児休業を取得し職場に復帰した」を選んだ方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したタイミングについてお答えください。
 【就学前児童(母親)：問 32-1-4、就学前児童(父親)：問 32-2-4】

育児休業を取得し職場に復帰した方が育児休業取得後に職場へ復帰した時期については、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が71.6%、「それ以外だった」が28.4%となっている。父親では「それ以外だった」が90.9%となっており、母親は保育園入所時に、父親は保育所入所とは別の時期に職場復帰している傾向がみられる。



【就学前児童：勤務先の所在地別】

勤務先の所在地別にみると、勤務地が市外の母親で「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」の割合が高くなっている。

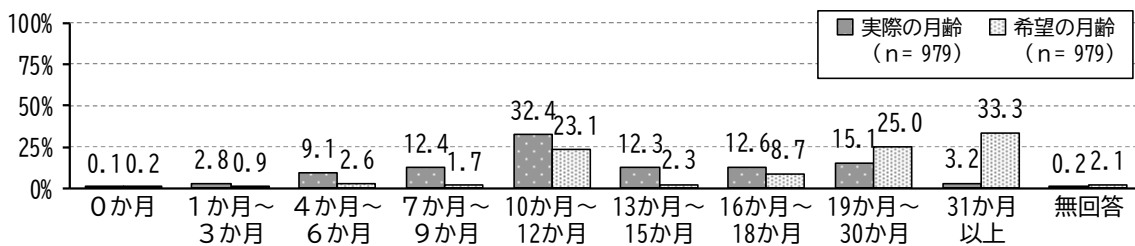


問 育児休業の取得について「育児休業を取得し職場に復帰した」を選んだ方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。具体的な数字を口内にご記入ください。

【就学前児童(母親)：問 32-1-5、就学前児童(父親)：問 32-2-5】

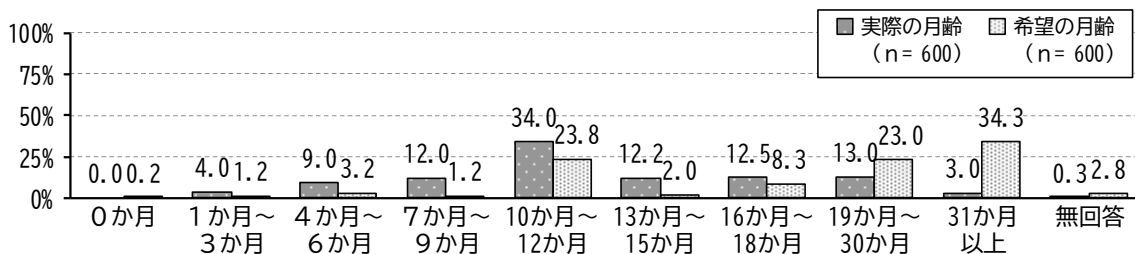
1. 「実際」と「希望」の復帰時期【母親】

母親が育児休業から復帰したときの子どもの月齢については、希望としては「31 か月以上」が 33.3%と最も高く、13 か月以上があわせて 60%を超えているが、実際には「10~12 か月」が 32.4%と最も高く、12 か月以下があわせて約 60%となっている。



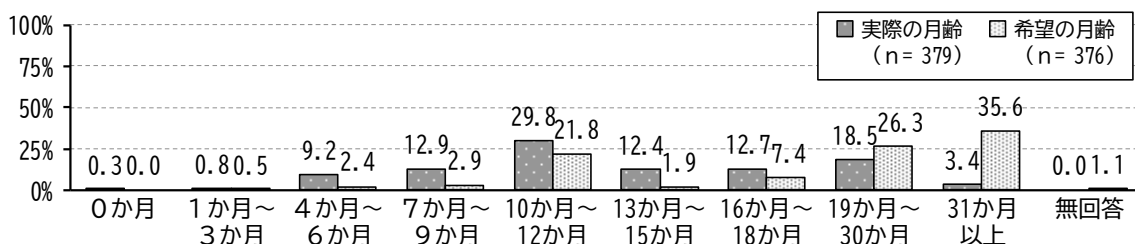
【就学前児童：勤務先が市内の母親】

勤務先が市内の母親が育児休業から復帰したときの子どもの月齢については、希望としては「31 か月以上」が 34.3%と最も高く、13 か月以上があわせて 60%を超えているが、実際には「10~12 か月」が 34.0%と最も高く、12 か月以下があわせて約 60%となっている。



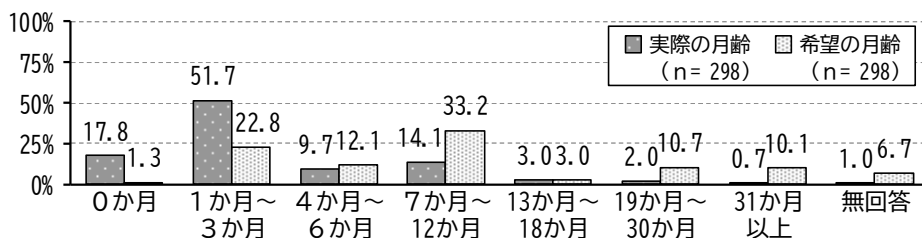
【就学前児童：勤務先が市外の母親】

勤務先が市外の母親が育児休業から復帰したときの子どもの月齢については、希望としては「31 か月以上」が 35.6%と最も高く、13 か月以上があわせて 70%を超えているが、実際には「10~12 か月」が 29.8%と最も高く、12 か月以下があわせて約 50%となっている。



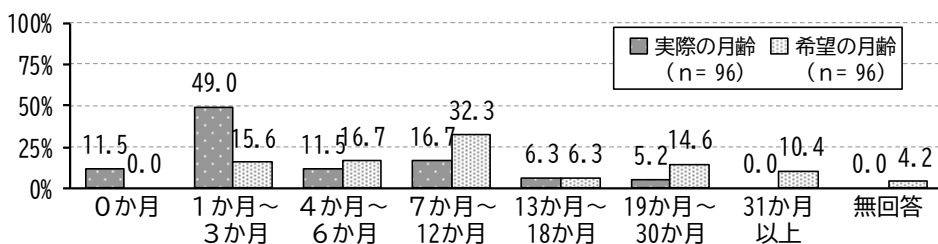
2. 「実際」と「希望」の復帰時期【父親】

父親が育児休業から復帰したときの子どもの月齢については、希望としては「7～12か月」が33.2%と最も高いものの、実際よりも19.1ポイント高くなっており、次いで「1～3か月」が22.8%、「4～6ヶ月」が12.1%となっているが、実際には「1～3か月」が51.7%と最も高く、次いで「0か月」が17.8%、「7～12か月」がともに14.1%となっている。



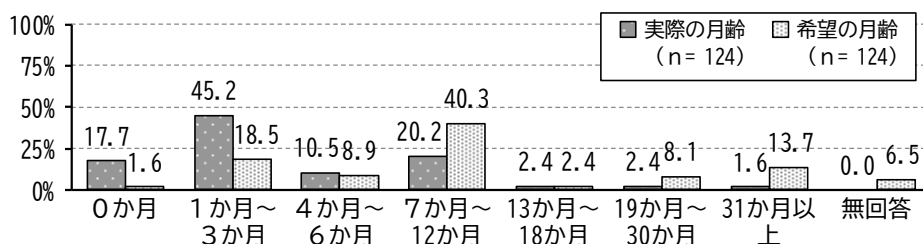
【就学前児童：勤務先が市内の父親】

勤務先が市内の父親が育児休業から復帰したときの子どもの月齢については、希望としては「7～12か月」が32.3%と最も高いものの、実際よりも15.6ポイント高くなっており、次いで「4～6か月」が16.7%、「1～3か月」が15.6%となっているが、実際には「1～3か月」が49.0%と最も高く、次いで「4～6か月」が16.7%、「13～18か月」が6.3%となっている。



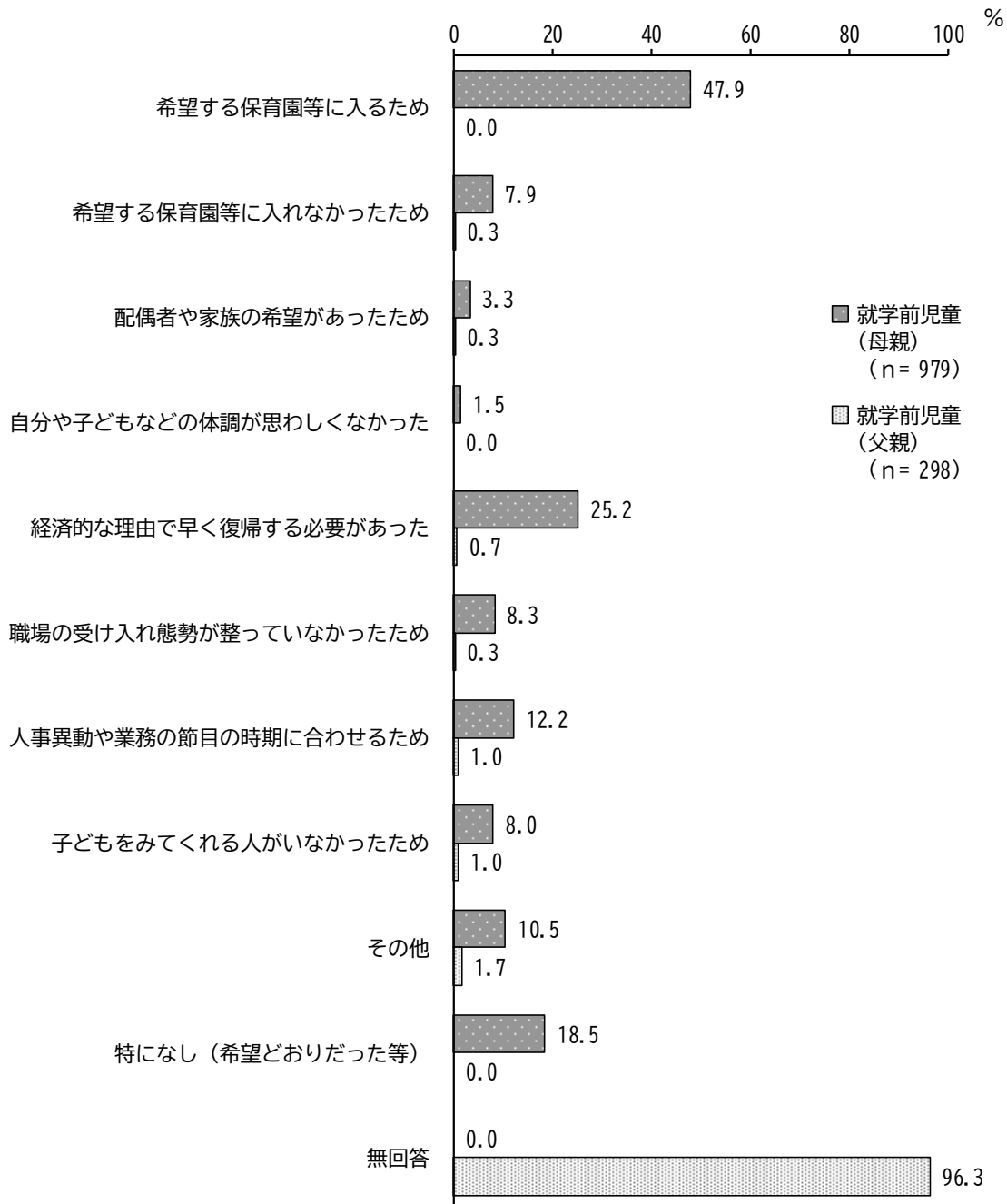
【就学前児童：勤務先が市外の父親】

勤務先が市外の父親が育児休業から復帰したときの子どもの月齢については、希望としては「7～12か月」が40.3%と最も高いものの、実際よりも20.1ポイント高くなっており、次いで「1～3か月」が18.5%、「31ヶ月以上」が13.7%となっているが、実際には「1～3か月」が45.2%と最も高く、次いで「7～12か月」が20.2%、「0か月」が17.7%となっている。



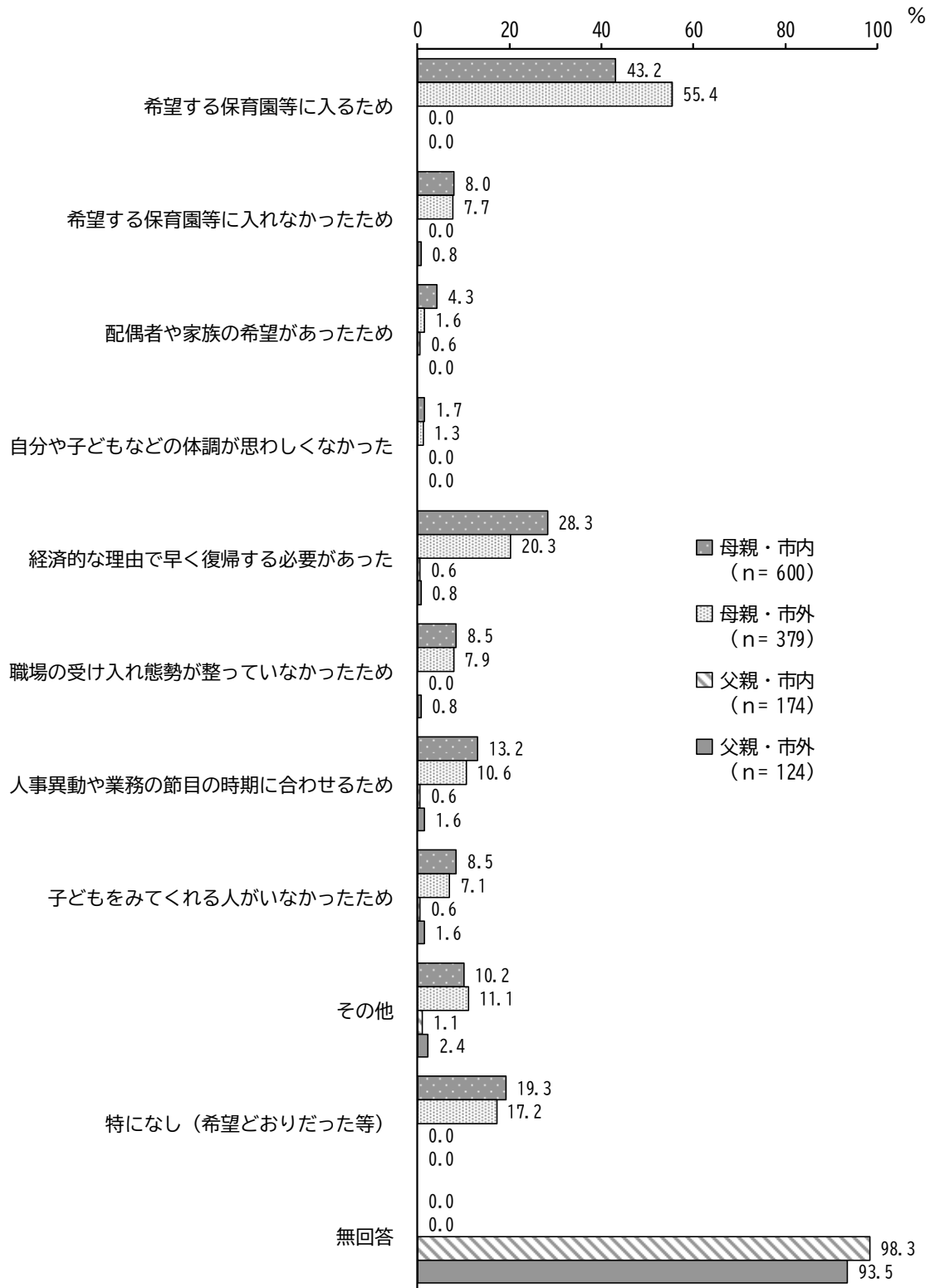
問 育児休業の取得について「育児休業を取得し職場に復帰した」を選んだ方にうかがいます。実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてを選択してください)
 【就学前児童(母親)：問 32-1-6、就学前児童(父親)：問 32-2-6】

育児休業から「希望の時期」とは異なる時期に職場復帰した理由については、母親では「希望する保育園等に入るため」が47.9%と最も高く、父親では「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が25.2%と最も高くなっている。



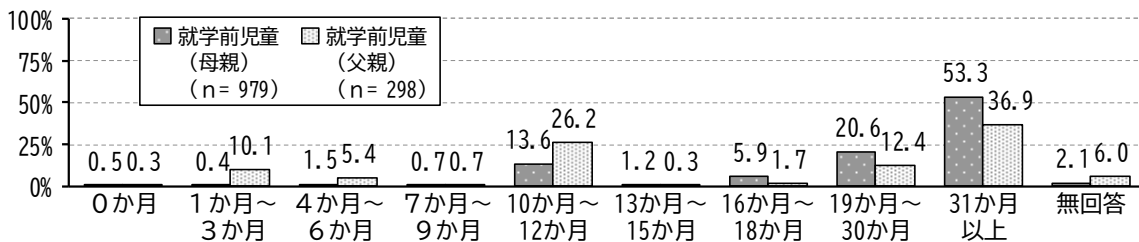
【就学前児童：勤務先の所在地別】

勤務先の所在地別にみると、勤務先が市内の母親で「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が、勤務先が市外の母親で「希望する保育園等に入るため」の割合が高くなっている。



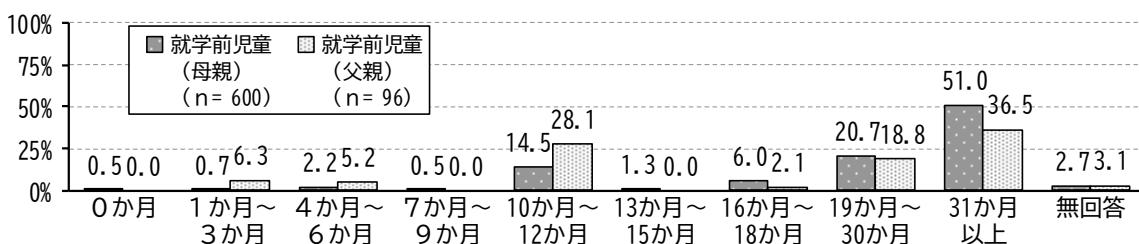
問 育児休業の取得について「育児休業を取得し職場に復帰した」を選んだ方にうかがいます。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。
【就学前児童(母親):問 32-1-7、就学前児童(父親):問 32-2-7】

3歳までの育児休業制度があった場合に取得を希望する子どもの月齢については、「31 か月以上」が最も高く、母親は53.3%、父親は36.9%となっている。



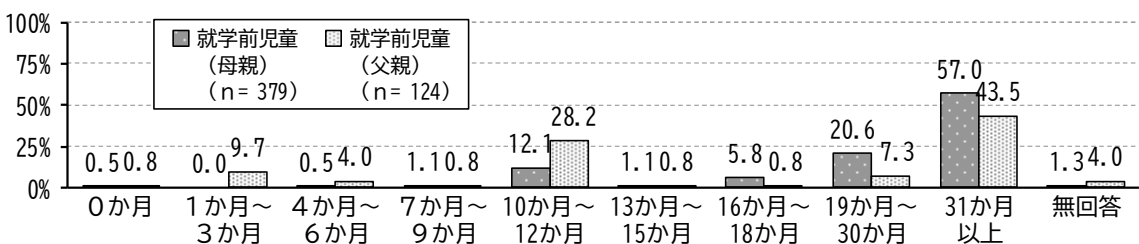
【就学前児童：勤務先が市内の保護者】

勤務先が市内の保護者が3歳までの育児休業制度があった場合に取得を希望する子どもの月齢については、「31 か月以上」が最も高く、母親は51.0%、父親は36.5%となっている。



【就学前児童：勤務先が市外の保護者】

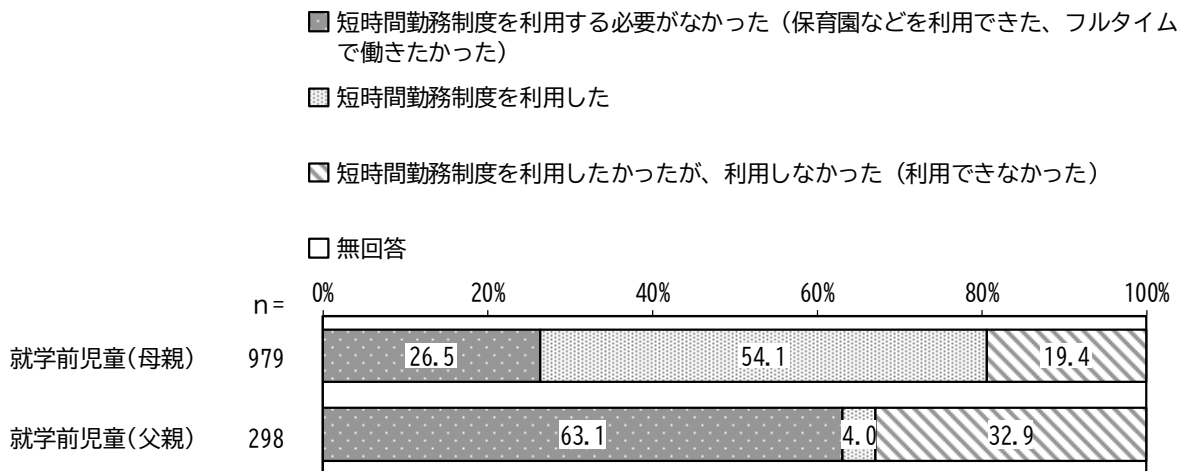
勤務先が市外の保護者が3歳までの育児休業制度があった場合に取得を希望する子どもの月齢については、「31 か月以上」が最も高く、母親は57.0%、父親は43.5%となっている。



(4) 短時間勤務制度の利用状況

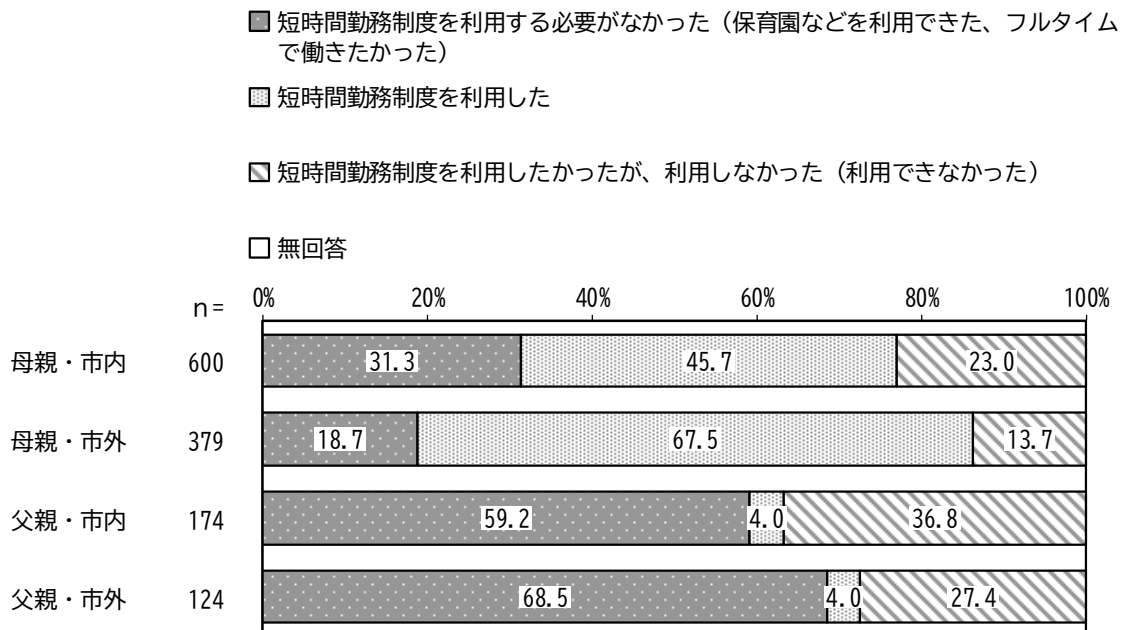
問 育児休業の取得について「育児休業を取得し、職場に復帰した」を選んだ方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。
【就学前児童(母親)：問 33-1、就学前児童(父親)：問 33-2】

育児休業を取得し、職場に復帰した方の職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況については、母親では「短時間勤務制度を利用した」の割合が54.1%と最も高く、次いで「短時間勤務制度を利用する必要がなかった(保育園などを利用できた、フルタイムで働きたかった)」の割合が26.5%となっている。父親では「短時間勤務制度を利用する必要がなかった(保育園などを利用できた、フルタイムで働きたかった)」の割合が63.1%と最も高く、次いで「短時間勤務制度を利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が32.9%となっている。



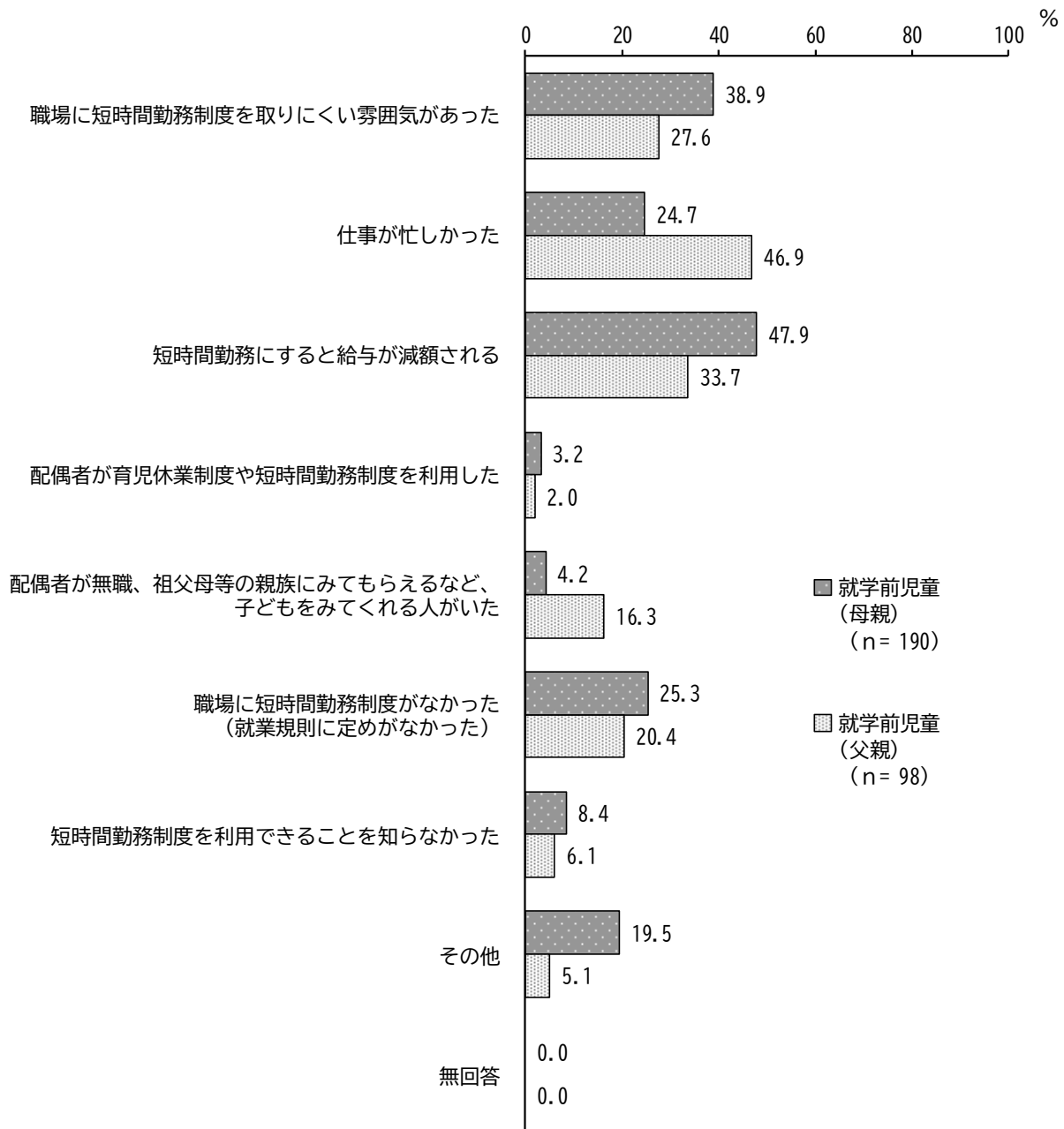
【就学前児童：勤務先の所在地別】

勤務先の所在地別にみると、勤務先が市外の父親で「短時間勤務制度を利用する必要がなかった(保育園などを利用できた、フルタイムで働きたかった)」の割合が、勤務先が市外の母親で「短時間勤務制度を利用した」の割合が、勤務先が市内の父親で「短時間勤務制度を利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が高くなっている。



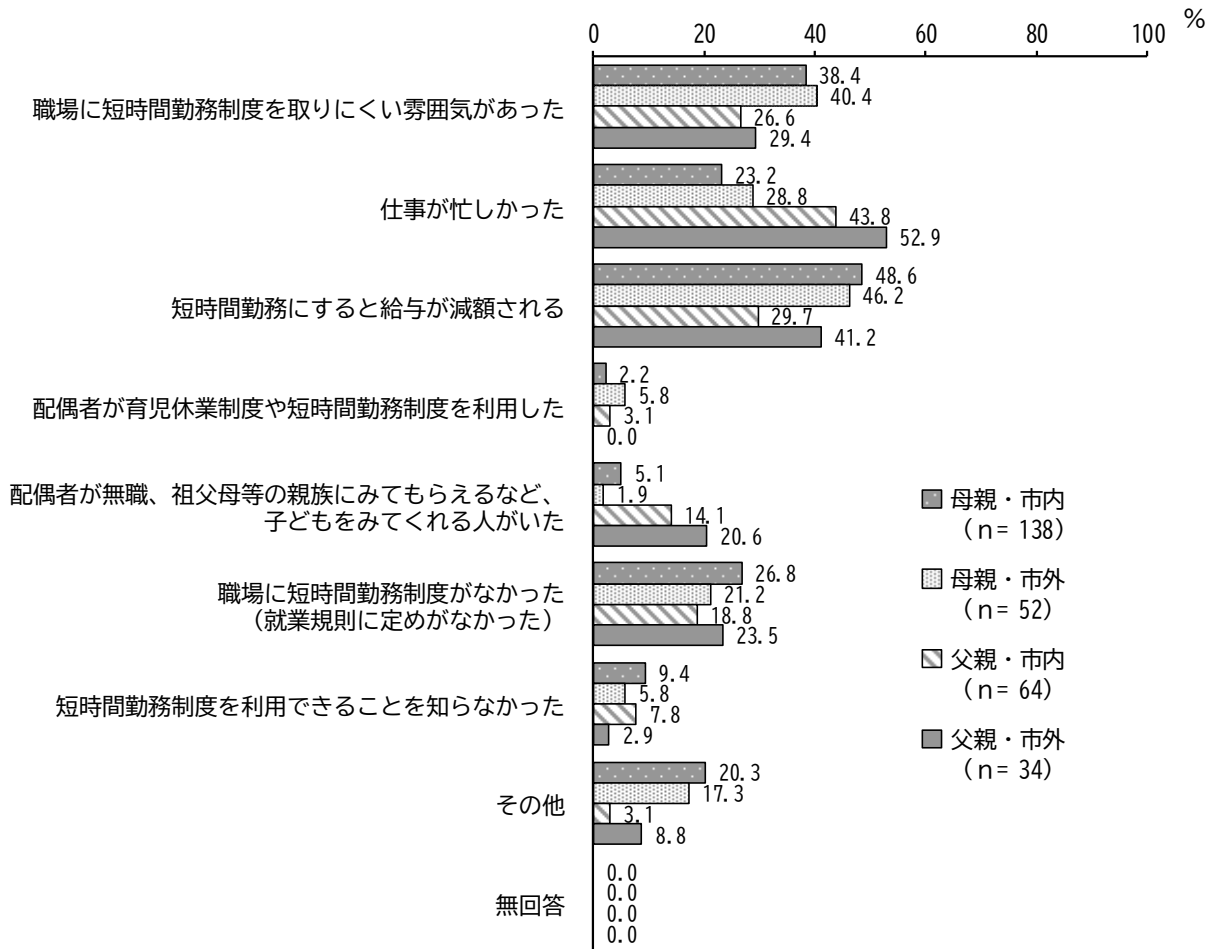
問 前問で「短時間勤務制度を利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を選んだ方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。（あてはまる理由すべてにお選びください）
 【就学前児童(母親)：問 33-1-1、就学児童(父親)：問 33-2-1】

職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由については、母親では「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が47.9%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が38.9%となっている。父親では「仕事が忙しかった」の割合が46.9%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が33.7%となっている。



【就学前児童：勤務先の所在地別】

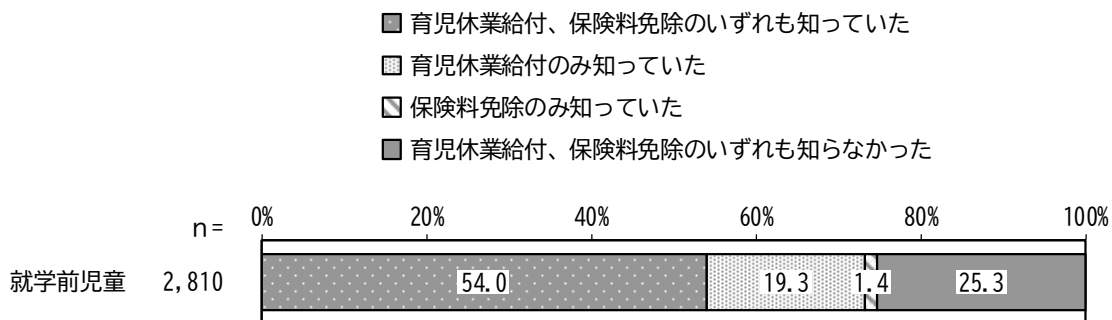
勤務先の所在地別にみると、勤務先が市外の父親で「仕事が忙しかった」の割合が高くなっている。



(5) 育児休業給付や保険料免除の認知度

問 子どもが原則1歳になるまでの、育児休業に関する仕組みについてうかがいます。子どもが原則1歳になるまでの、育児休業給付が支給される仕組みや、育児休業等の期間について健康保険料及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。【就学前児童：問 34】

育児休業給付や保険料免除の認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が54.0%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が25.3%となっている。



11 放課後の過ごし方について

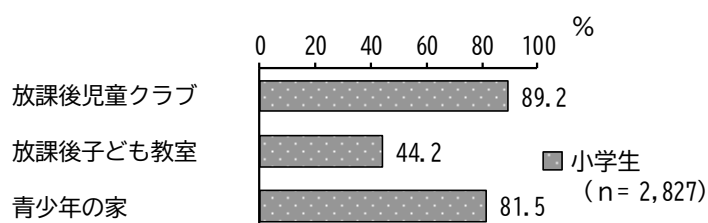
(1) 放課後の居場所

問 放課後（平日の小学校終了後）の居場所として、「放課後児童クラブ（学童クラブ）」、「放課後子ども教室」、「青少年の家（みんなの家）」がありますが、それぞれを知っていましたか。また、これまでに利用したことはありますか。「はい」、「いいえ」のどちらかをお答えください。【小学生：問 18】

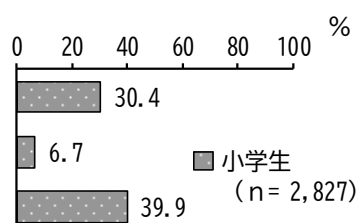
放課後の居場所の認知度については、「放課後児童クラブ」が 89.2%、「青少年の家」が 81.5% と高くなっている。

放課後の居場所を利用したことがあるかについては、「青少年の家」が 39.9%、「放課後児童クラブ」が 30.4%となっている。

A. 放課後の居場所の認知度



B. 利用したことがある



【小学生：A. 放課後の居場所の認知度(行政センター別)】

単位：%

区分	n (件)	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	青少年の家	無回答
全体	2,827	89.2	44.2	81.5	2.4
本庁	445	89.9	49.0	79.3	2.7
追浜	139	90.6	35.3	81.3	2.9
田浦	104	90.4	29.8	58.7	4.8
逸見	47	83.0	38.3	89.4	2.1
衣笠	521	86.4	44.3	91.4	2.1
大津	340	91.2	35.6	78.5	2.1
浦賀	287	89.9	42.5	90.2	0.7
久里浜	471	90.0	45.4	82.4	2.1
北下浦	256	91.0	50.8	75.0	3.1
西	217	86.6	53.5	71.0	3.2

【小学生：B. 利用したことがある(行政センター別)】

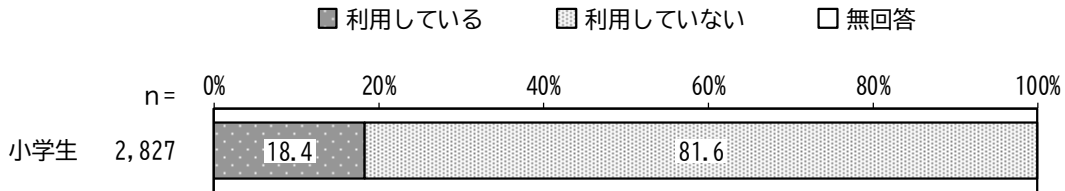
単位：%

区分	n (件)	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	青少年の家	無回答
全 体	2,827	30.4	6.7	39.9	37.5
本庁	445	33.0	11.9	42.5	32.8
追浜	139	36.0	13.7	45.3	26.6
田浦	104	30.8	1.9	22.1	52.9
逸見	47	34.0	2.1	51.1	34.0
衣笠	521	24.6	6.7	55.5	30.9
大津	340	34.7	3.8	35.3	41.5
浦賀	287	22.0	0.3	54.0	34.1
久里浜	471	30.6	2.8	26.3	48.4
北下浦	256	34.4	10.9	28.1	39.5
西	217	34.1	11.1	31.8	35.0

(2) 小学生の平日の放課後の状況

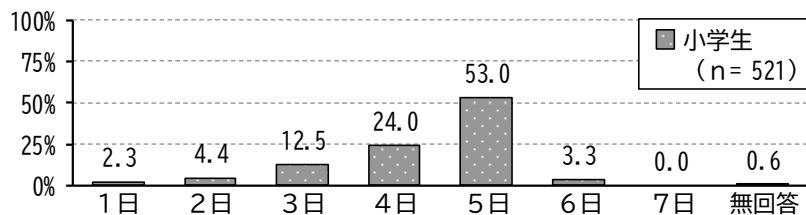
問 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごす場所として、放課後児童クラブ（学童クラブ）を利用していますか。【小学生：問 19】

放課後児童クラブの利用有無については、「利用している」の割合が 18.4%、「利用していない」の割合が 81.6%となっている。



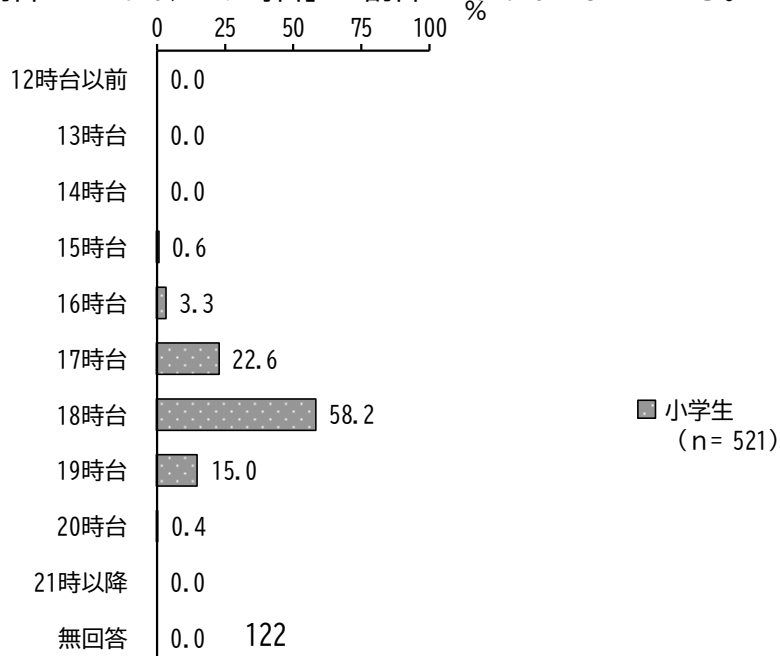
問 前問で放課後児童クラブ（学童クラブ）を「利用している」と回答した方にうかがいます。放課後児童クラブ（学童クラブ）利用頻度はどのくらいですか。【小学生：問 19-1】

放課後児童クラブ（学童クラブ）利用頻度については「5日」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が 24.0%、「3日」の割合が 12.5%となっている。



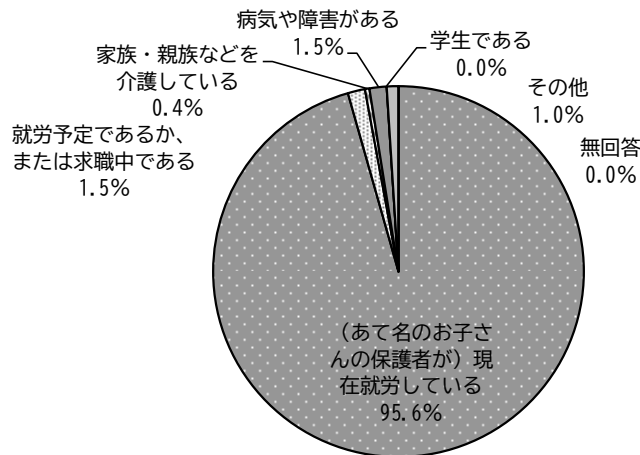
問 放課後児童クラブ（学童クラブ）を「利用している」と回答した方にうかがいます。放課後児童クラブ（学童クラブ）の利用時間はどのくらいですか。【小学生：問 19-2】

放課後児童クラブ（学童クラブ）の利用時間については「18 時台」の割合が 58.2%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 22.6%、「19 時台」の割合が 15.0%となっている。



問 放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごす場所として、放課後児童クラブ（学童クラブ）を「利用している」と回答した方にうかがいます。学童クラブを利用している理由は何ですか。（もっともあてはまるものを1つお答えください）
【小学生：問 19-3】

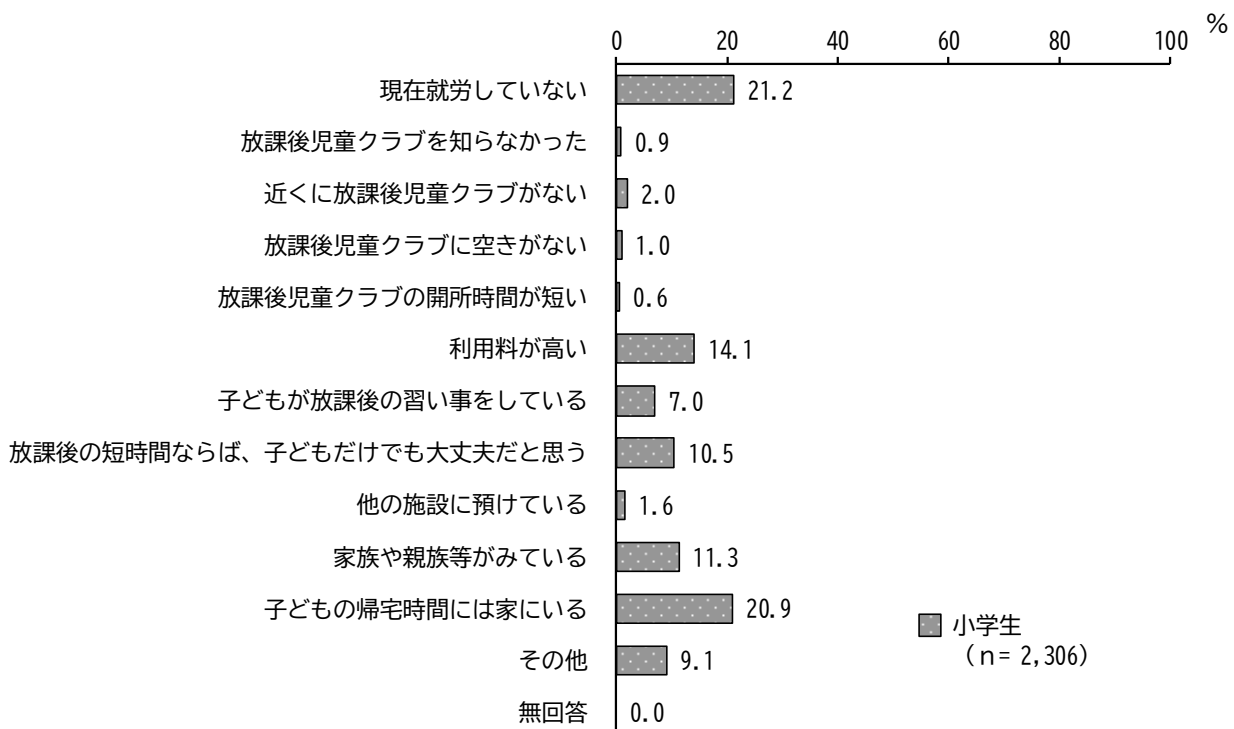
放課後児童クラブを利用している理由については、「現在就労している」が 95.6%となっている。



小学生
n = 521

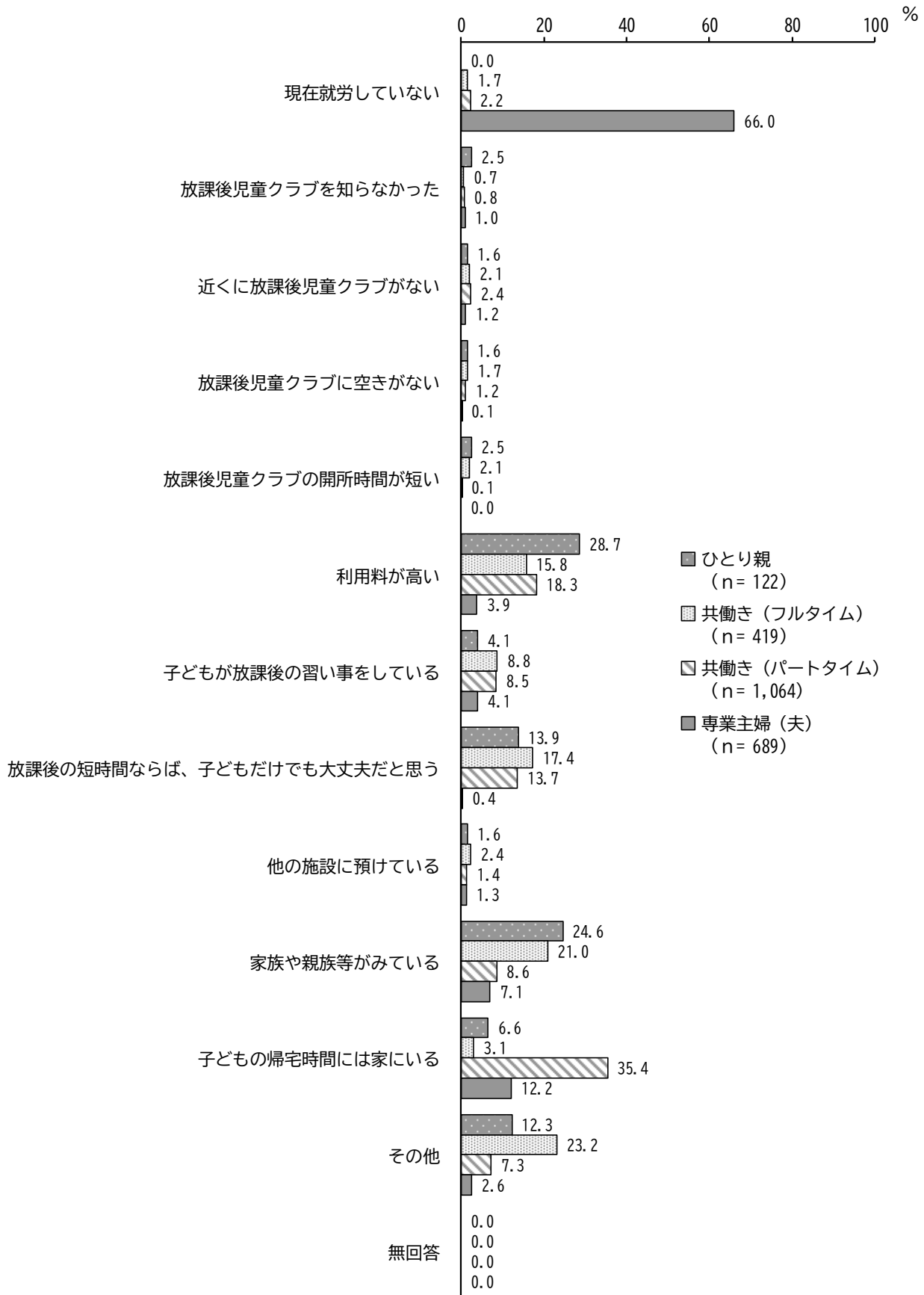
問 放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごす場所として、放課後児童クラブ（学童クラブ）を「利用していない」と回答した方にうかがいます。放課後児童クラブ（学童クラブ）を利用していない理由は何ですか。（もっともあてはまるものを1つお答えください）【小学生：問 21】

放課後児童クラブ（学童クラブ）を利用していない理由については、「現在就労していない」が 21.2%、「子どもの帰宅時には家にいる」が 20.9%、「利用料が高い」が 14.1%となっている。



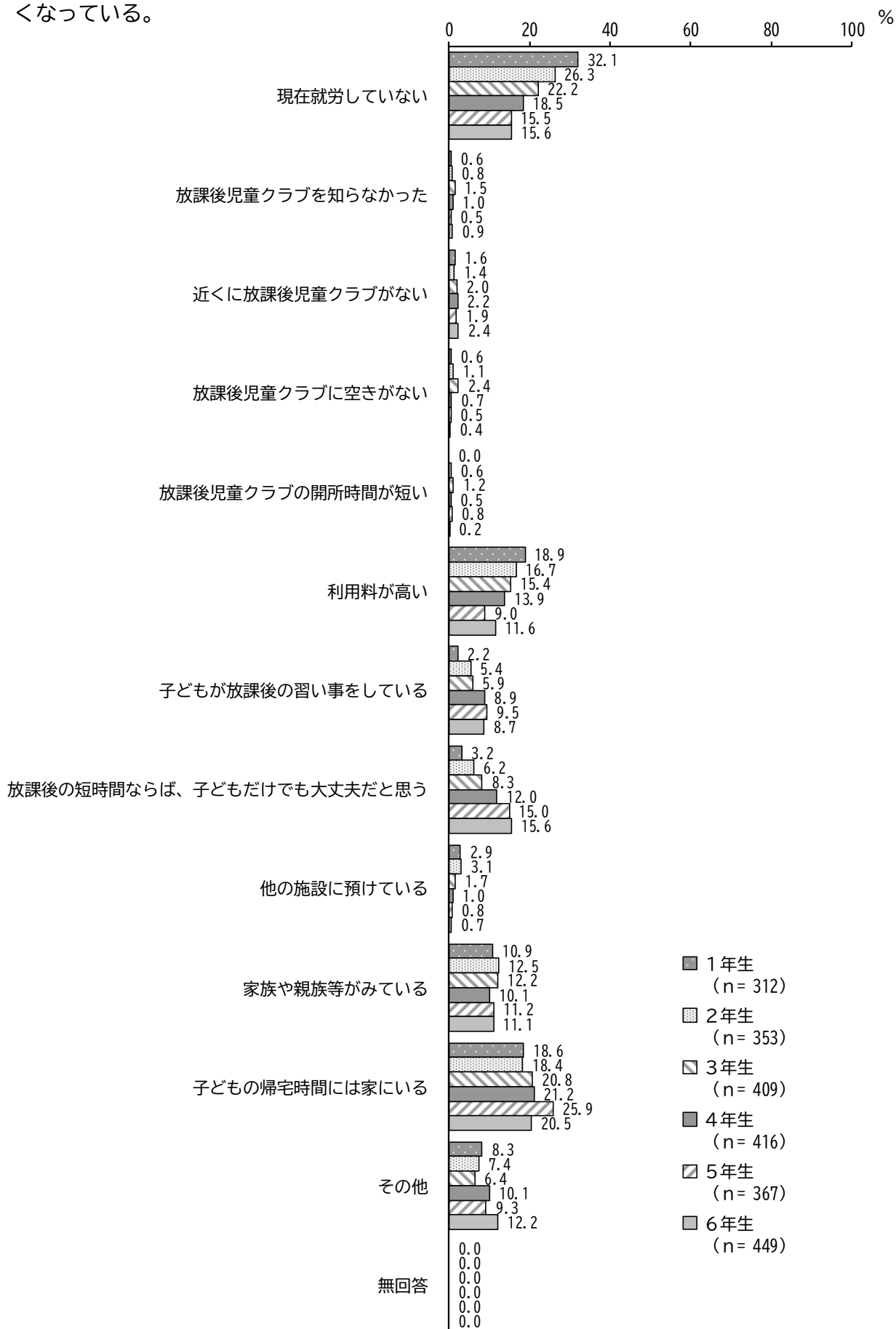
【小学生：家庭類型別】

家庭類型別にみると、ひとり親では「利用料が高い」が共働き（フルタイム）よりも約13ポイント高くなっている。



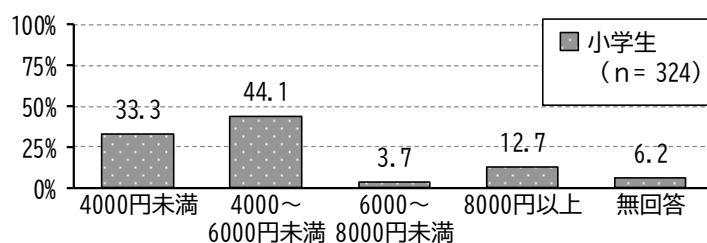
【小学生：学年別】

学年別にみると、1年生で「(あて名のお子さんの保護者が) 現在就労していない」の割合が高くなっている。



問 放課後児童クラブ（学童クラブ）を利用していない理由で「利用料金が高い」を選んだ方にうかがいます。放課後児童クラブの利用料がいくら程度であれば利用しますか。（月額 円くらい）【小学生：問 21-1】

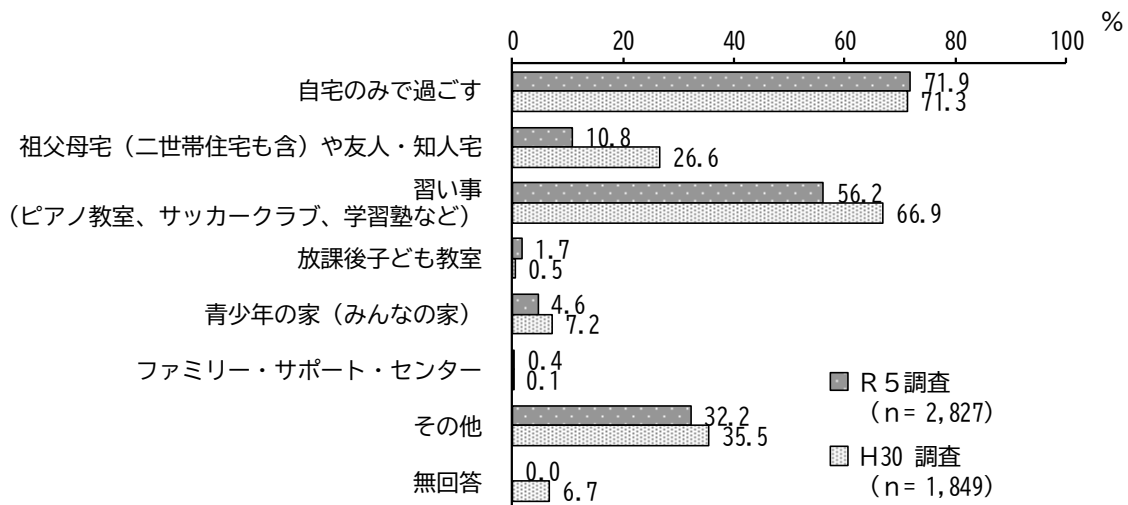
放課後児童クラブの希望利用料については、「4000～6000円未満」の割合が44.1%と最も高く、次いで「4000円未満」の割合が33.3%、「8000円以上」の割合が12.7%となっている。



問 学童クラブ以外で放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。あてはまるものをすべて選択し、それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。また、放課後子ども教室、青少年の家（みんなの家）を利用している方は、利用時間も口内に数字でご記入ください。【小学生：問 19-4】

平日の放課後の過ごし方については「自宅」が71.9%と最も高く、次いで「習い事」が56.2%となっている。

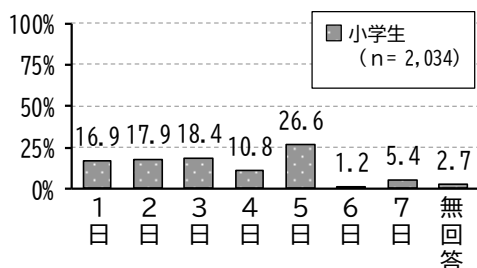
前回調査と比較すると、「祖父母宅（二世帯住宅も含）や友人・知人宅」が15.8ポイント低くなっており、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」も10.7ポイント低くなっている。



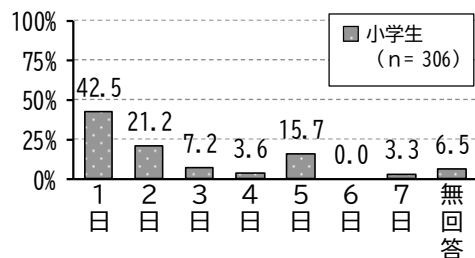
1週間当たりの利用日数は、「祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」、「習い事」では「1日」と「2日」、「青少年の家」では「1日」、が高くなっている。

【利用日数（1週間当たり）】

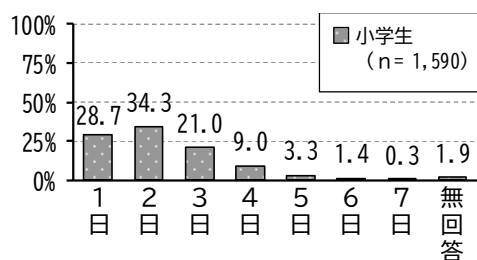
<自宅>



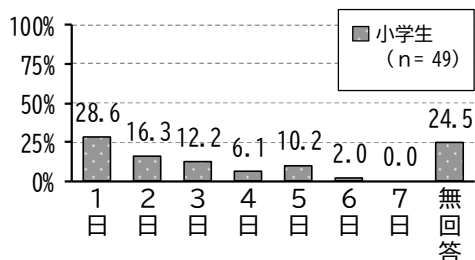
<祖父母宅や友人・知人宅>



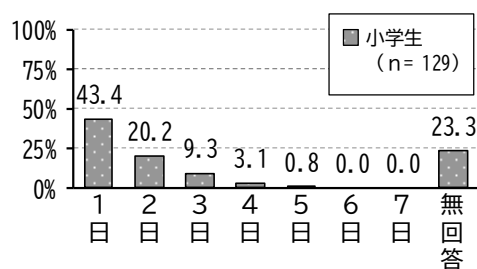
<習い事>



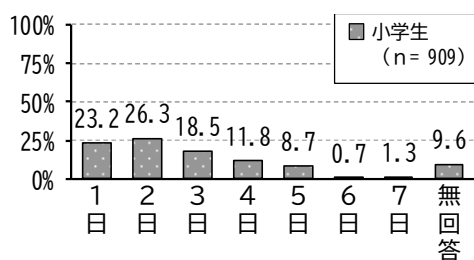
<放課後子ども教室>



<青少年の家>

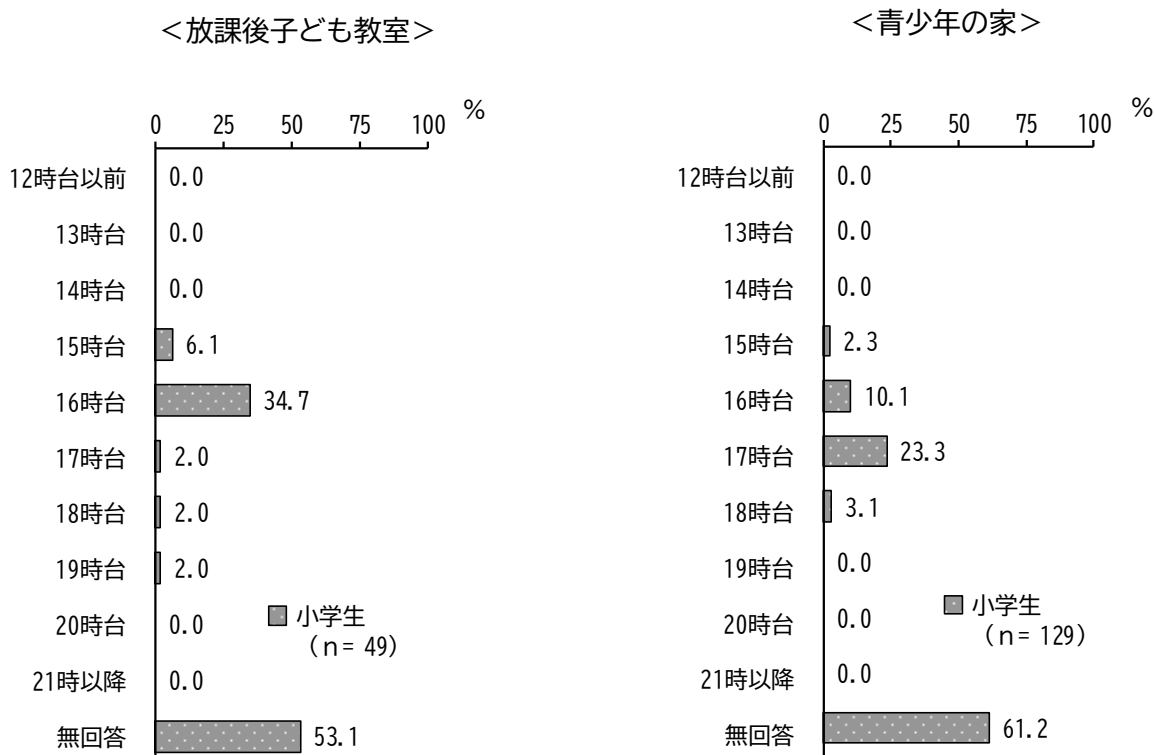


<その他（図書館・公園等）>



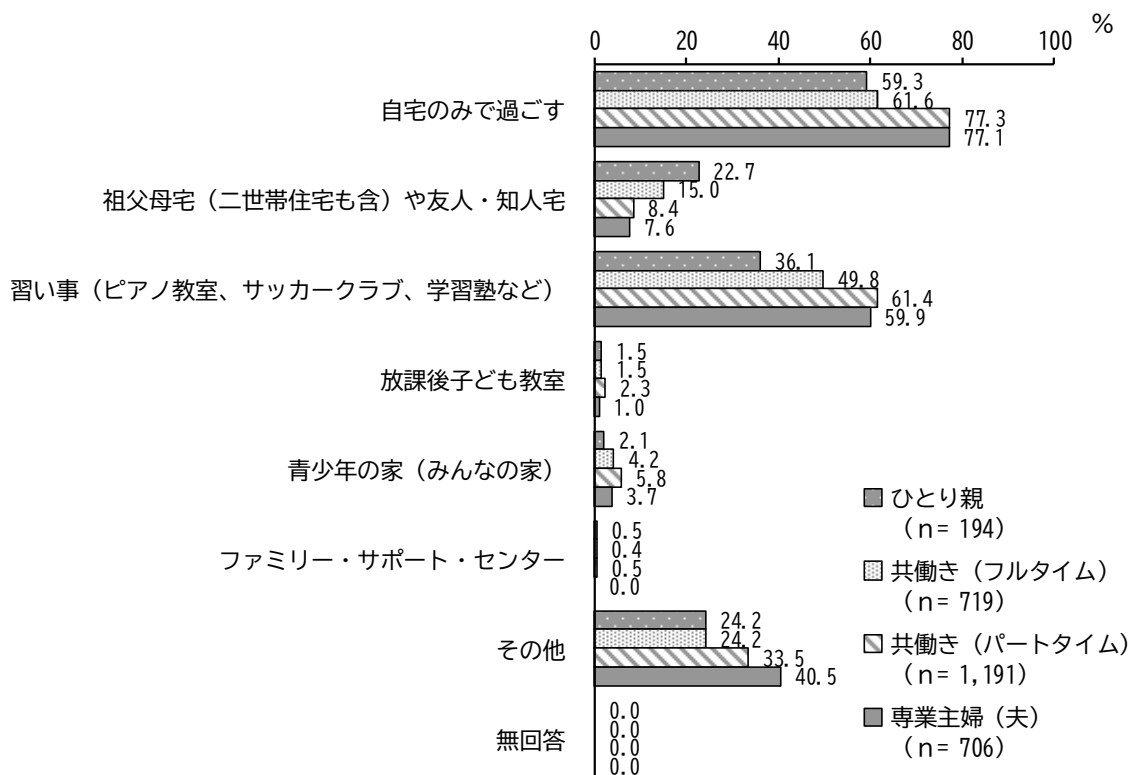
終了時間については、「放課後子ども教室」では「16 時台」、「青少年の家」では「16 時台」「17 時台」が高くなっている。

【終了時間】



【小学生：家庭類型別】

家庭類型別にみると、共働き（パートタイム）や専業主婦（夫）では「自宅のみで過ごす」が他の家庭類型よりも約16～18ポイント高くなっている。



【小学生：学年別】

学年別にみると、5年生、6年生で「自宅のみで過ごす」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	n (件)	自宅のみで過ごす	祖父母宅(二世帯住宅も含)や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	放課後子ども教室	青少年の家(みんなの家)	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体	2,827	71.9	10.8	56.2	1.7	4.6	0.4	32.2	—
1年生	465	64.9	13.5	46.7	4.1	4.9	0.4	34.4	—
2年生	484	66.1	11.2	54.5	2.5	6.2	0.4	37.2	—
3年生	500	69.4	12.2	59.6	1.4	4.4	0.4	37.0	—
4年生	490	73.5	10.0	62.0	1.4	4.9	0.2	29.0	—
5年生	408	78.9	7.6	56.9	0.5	2.9	0.2	29.2	—
6年生	480	79.8	10.0	57.3	0.4	3.8	0.4	25.6	—

【小学生：行政センター別】

単位：%

区分	n (件)	自宅のみで過ごす	祖父母宅(二世帯住宅も含)や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	放課後子ども教室	青少年の家(みんなの家)	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体	2,827	71.9	10.8	56.2	1.7	4.6	0.4	32.2	—
本庁	445	71.2	12.8	57.5	2.9	6.7	0.7	31.9	—
追浜	139	69.8	6.5	61.9	2.2	1.4	—	33.8	—
田浦	104	72.1	16.3	51.0	—	—	—	37.5	—
逸見	47	72.3	23.4	61.7	4.3	10.6	2.1	42.6	—
衣笠	521	75.2	11.1	54.1	0.4	7.7	—	30.5	—
大津	340	73.2	9.1	58.8	0.9	2.6	0.3	33.2	—
浦賀	287	71.4	9.8	55.7	0.7	7.7	—	34.5	—
久里浜	471	73.0	10.4	49.5	2.3	1.1	0.4	31.4	—
北下浦	256	65.2	8.6	65.2	1.6	1.2	1.2	30.9	—
西	217	71.0	11.1	57.1	4.1	6.0	—	29.0	—

(3) 放課後児童クラブの利用状況

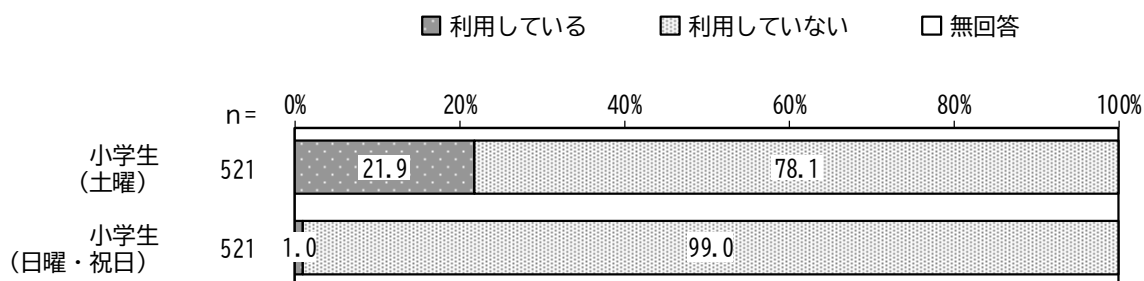
①土曜日・日曜日・祝日の利用状況

前問で放課後児童クラブ（学童クラブ）を「利用している」と回答した方にうかがいます。

問 お子さんは、「土曜日」放課後児童クラブ（学童クラブ）を利用していますか。
【小学生：問 20-1】

問 お子さんは、「日曜日・祝日」放課後児童クラブ（学童クラブ）を利用していますか。【小学生：問 20-2】

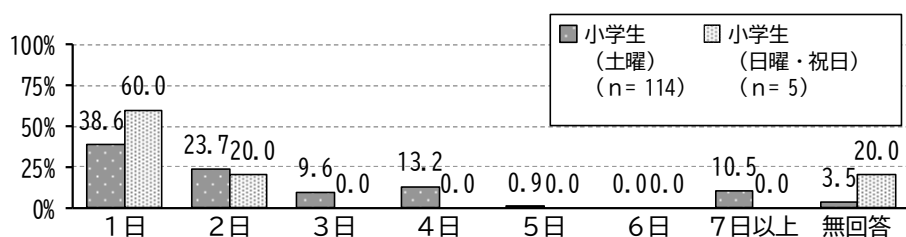
放課後児童クラブを利用している小学生のうち、土曜日の利用は21.9%、日曜・祝日は1.0%となっている。



問 「土曜日」放課後児童クラブ（学童クラブ）を「利用している」を選んだ方にうかがいます。あて名のお子さんは、土曜日に放課後児童クラブ（学童クラブ）をおおむね1か月当たり何日利用しているかを、□内に数字でお答えください。
【小学生：問 20-1-1】

問 「日曜日・祝日」放課後児童クラブ（学童クラブ）を「利用している」を選んだ方にうかがいます。あて名のお子さんは、日曜日・祝日に放課後児童クラブ（学童クラブ）をおおむね1か月当たり何日利用しているかを、□内に数字でお答えください。【小学生：問 20-2-1】

放課後児童クラブ利用日数は、土曜、日曜・祝日ともに「1日」「2日」が高くなっている。

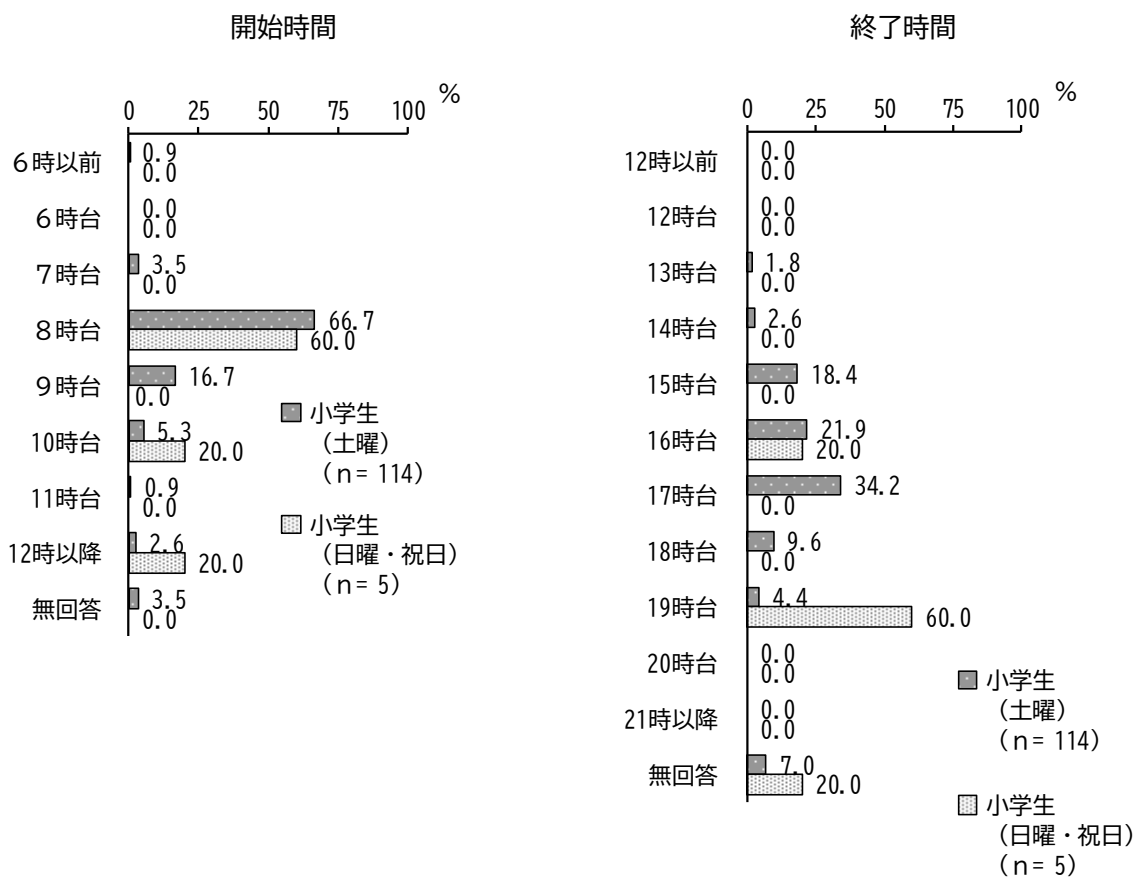


問 「土曜日」放課後児童クラブ（学童クラブ）を「利用している」を選んだ方にうかがいます。あて名のお子さんは、土曜日に放課後児童クラブ（学童クラブ）を何時から何時まで利用しているかを、□内に数字でお答えください。【小学生：問 20-1-2】

問 「日曜日・祝日」放課後児童クラブ（学童クラブ）を「利用している」を選んだ方にうかがいます。あて名のお子さんは、日曜日・祝日に放課後児童クラブ（学童クラブ）を何時から何時まで利用しているかを、□内に数字でお答えください。【小学生：問 20-2-2】

放課後児童クラブ利用の開始時間は、土曜では「8時台」が最も高く、日曜・祝日では「8時台」「10時台」「12時台」が高くなっている。

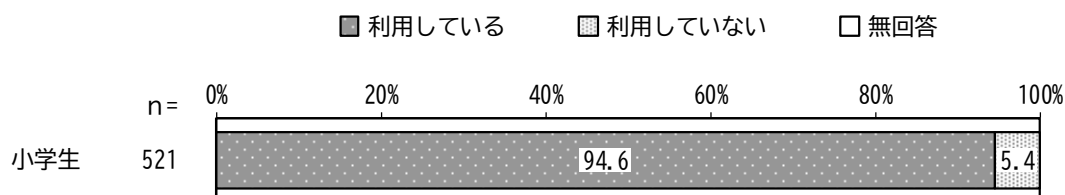
終了時間は、土曜は「15時台」～「17時台」、日曜・祝日は「19時台」が高くなっている。



②長期休暇期間中の利用状況

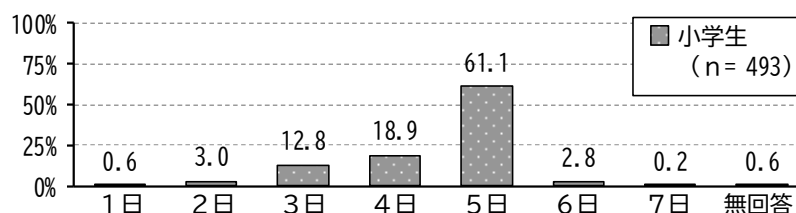
問 お子さんは、「長期の休暇期間中」放課後児童クラブ（学童クラブ）を利用していますか。【小学生：問 20-3】

放課後児童クラブを利用している小学生のうち、長期休暇期間中の利用は 94.6%となっている。



問 「長期の休暇期間中」放課後児童クラブ（学童クラブ）を「利用している」を選んだ方にうかがいます。あて名のお子さんは、長期の休暇期間中に放課後児童クラブ（学童クラブ）をおおむね1週当たり何日利用しているかを、□内に数字でお答えください。【小学生：問 20-3-1】

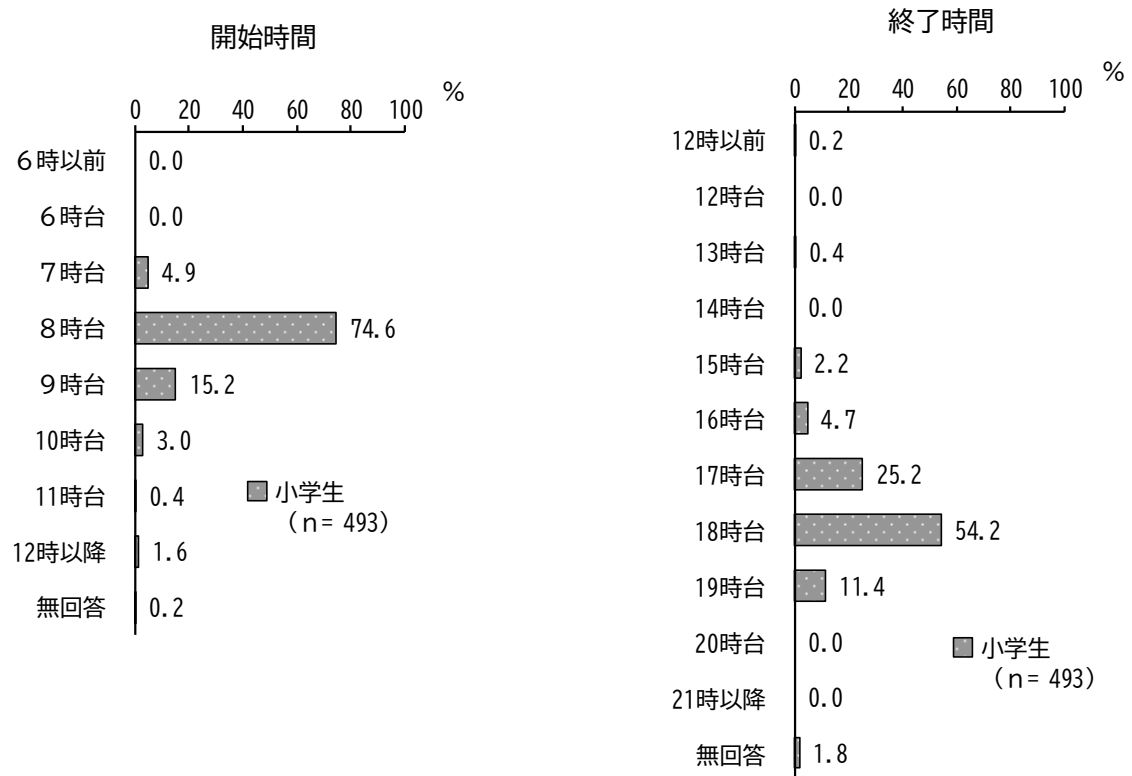
放課後児童クラブ利用日数は、「5日」が最も高くなっている。



問 「長期の休暇期間中」放課後児童クラブ（学童クラブ）を「利用している」を選んだ方にうかがいます。あて名のお子さんは、長期の休暇期間中に放課後児童クラブ（学童クラブ）を何時から何時まで利用しているかを、□内に数字でお答えください。【小学生：問 20-3-2】

放課後児童クラブ利用の開始時間は、「8時台」が74.6%となっている。

終了時間は、「18時台」が54.2%、「17時台」が25.2%となっている。

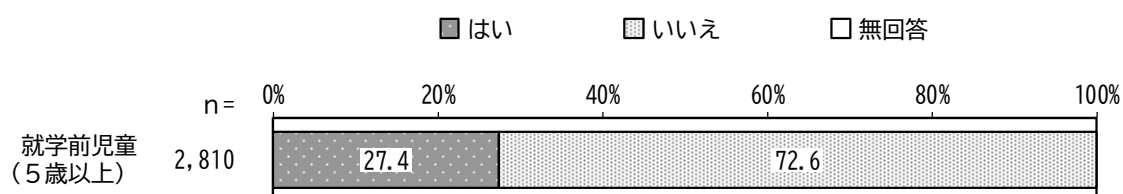


(4) 平日の放課後の利用希望

①就学前児童（5歳以上）の小学校就学後の利用希望

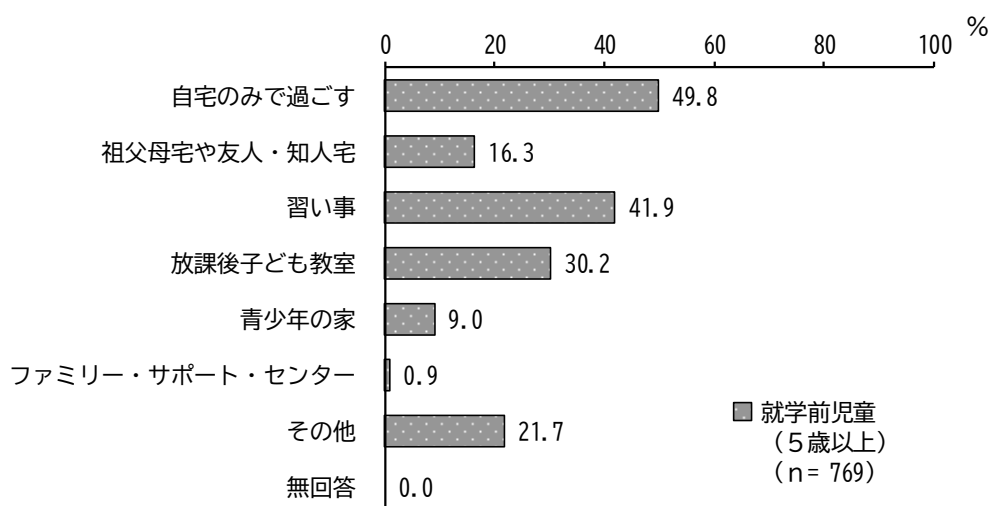
問 あて名のお子さんの年齢は現在（9月30日時点で）5歳以上ですか。
【就学前児童：問37】

就学前児童のお子さんの年齢については、5歳以上の割合が27.4%となっている。



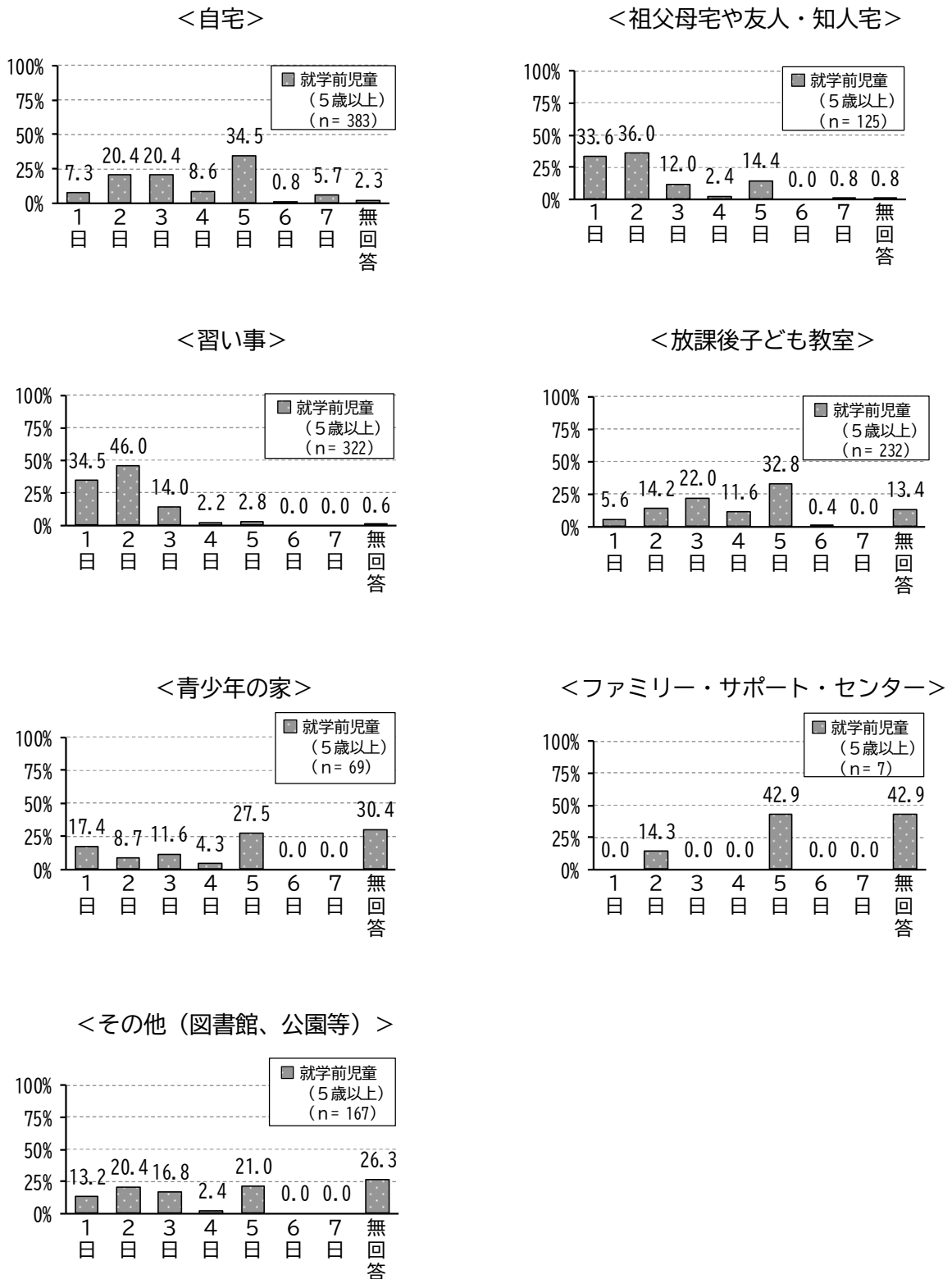
問 あて名のお子さんが小学校就学後、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてを選び、それぞれ希望する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。また、「放課後子ども教室」「青少年の家（みんなの家）」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。
【就学前児童：問38】

平日の放課後の過ごし方の希望については「自宅のみで過ごす」が49.8%と最も高く、次いで「習い事」が41.9%となっている。



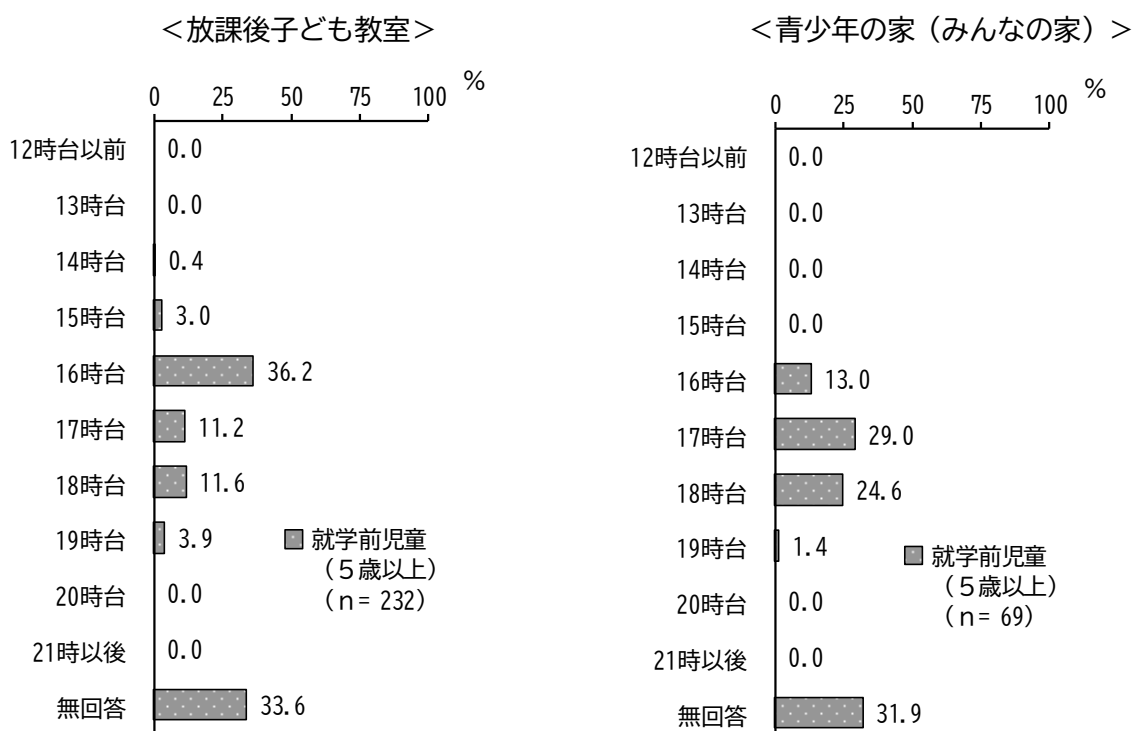
1週間当たりの利用日数は、「習い事」では「2日」、「放課後子ども教室」では「5日」が高くなっている。

【利用日数（1週間当たり）】



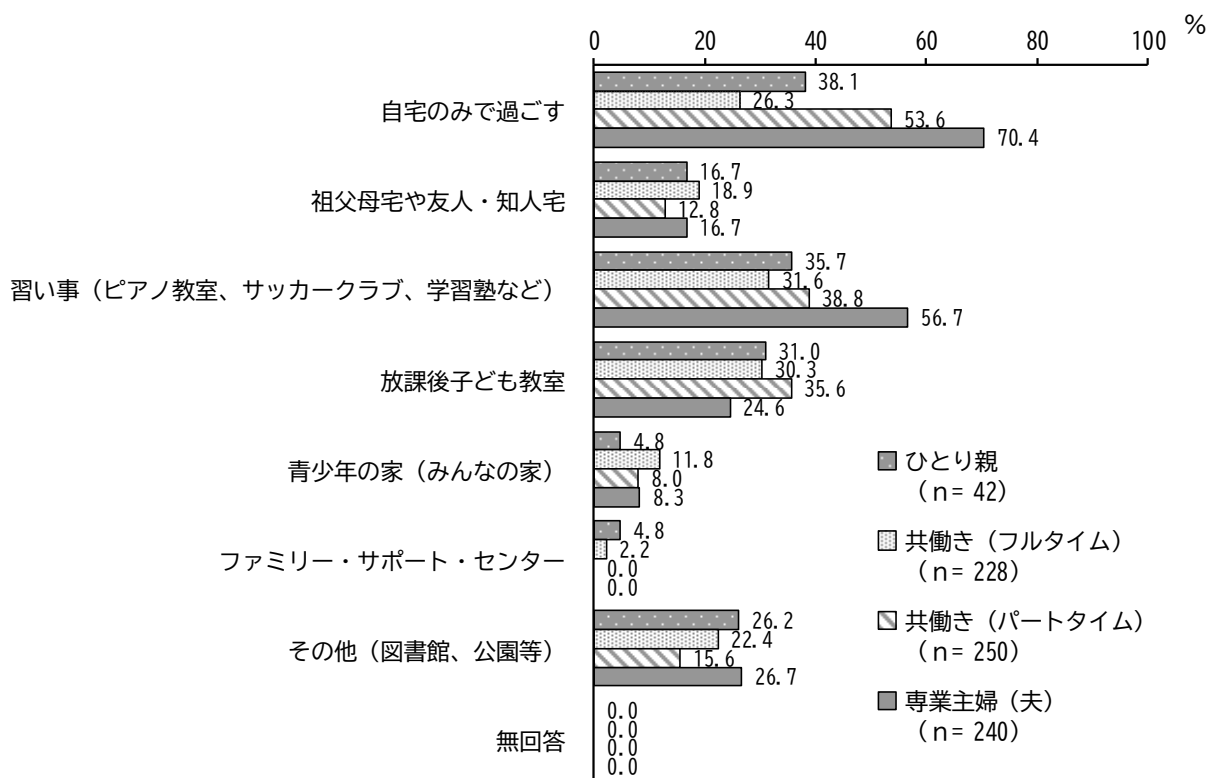
終了希望時間については、「放課後児童クラブ」では「16時台」が最も高く、「青少年の家」では「16時台」～「18時台」が高くなっている。

【終了希望時間】



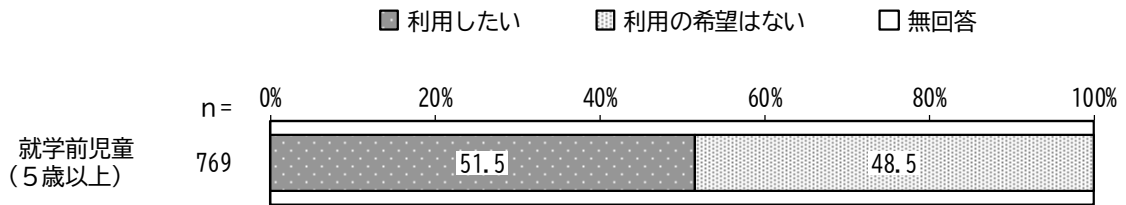
【就学前児童：家庭類型別】

家庭類型別にみると、専業主婦（夫）では「自宅のみで過ごす」が他の家庭類型よりも約16～44ポイント高くなっている。



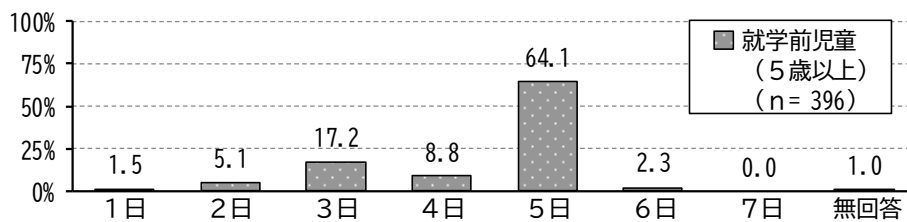
問 前問の回答のほか、放課後児童クラブ（学童クラブ）も利用したいと思いませんか。
【就学前児童：問 38-1】

放課後児童クラブの利用希望については、「利用したい」の割合が 51.5%となっている。



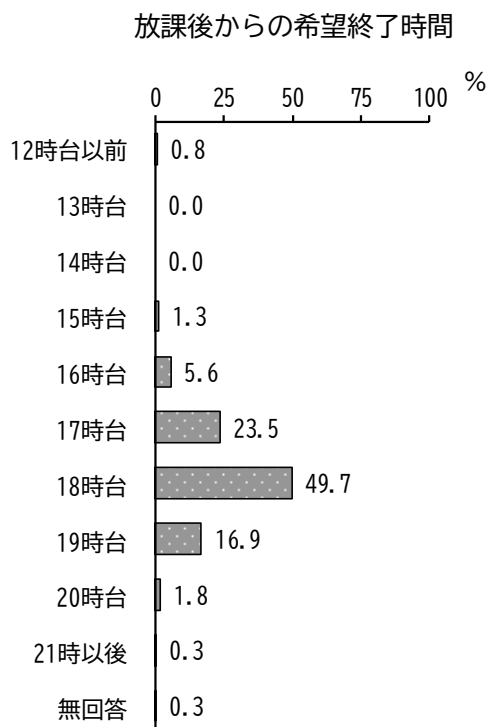
問 前問で放課後児童クラブを「利用したい」と回答した方にうかがいます。放課後児童クラブ（学童クラブ）について、希望する週当たりの日数を数字で□内にご記入ください。【就学前児童：問 38-1-1】

放課後児童クラブを希望する日数については、「5日」の割合が 64.1%と最も高く、次いで「3日」の割合が 17.2%となっている。



問 放課後児童クラブを「利用したい」と回答した方にうかがいます。放課後児童クラブ（学童クラブ）について、利用を希望する時間を口内に数字（24 時間制）でご記入ください。【就学前児童：問 38-1-2】

放課後児童クラブの希望終了時間については、「17 時台」～「19 時台」が高くなっており、「18 時台」で 49.7%と最も高くなっている。

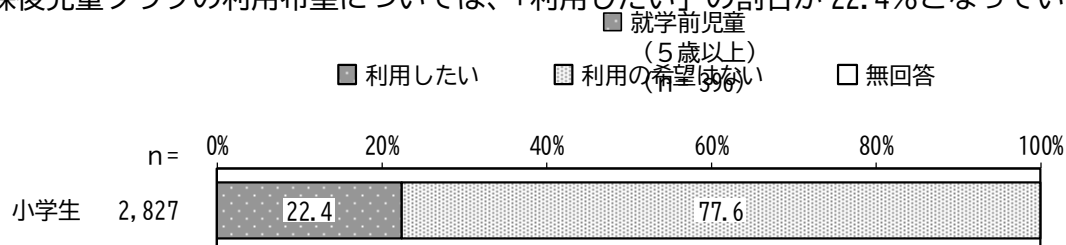


②小学生の利用希望

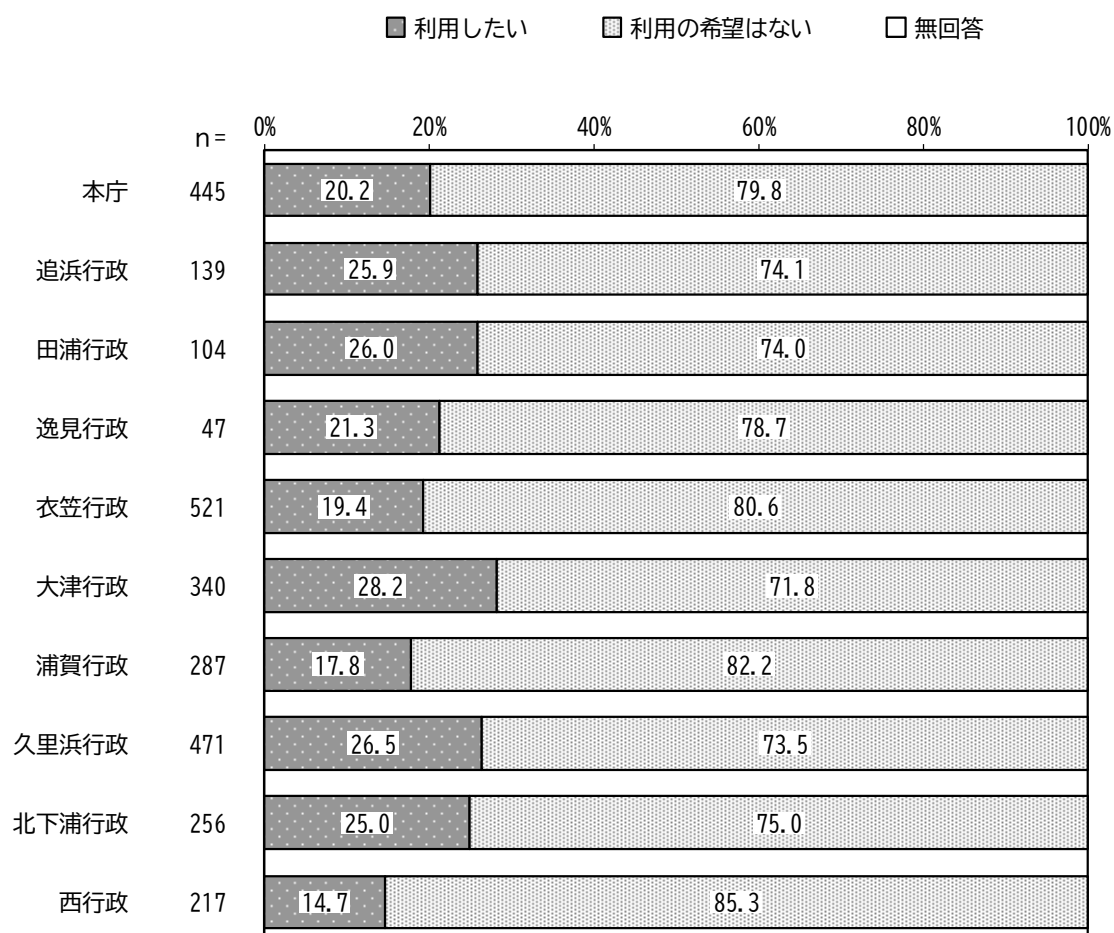
問 お子さんの放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。お子さんの放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごす場所として、「放課後児童クラブ（学童クラブ）」を利用したいと思いますか。

【小学生：問 22】

放課後児童クラブの利用希望については、「利用したい」の割合が 22.4%となっている。

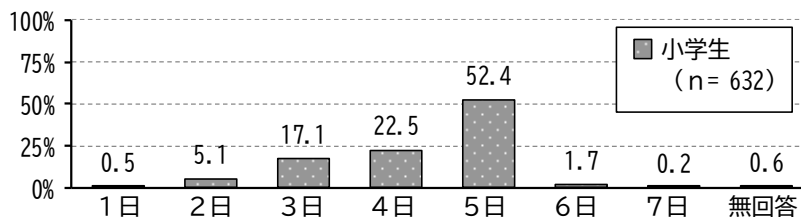


【小学生：行政センター別】



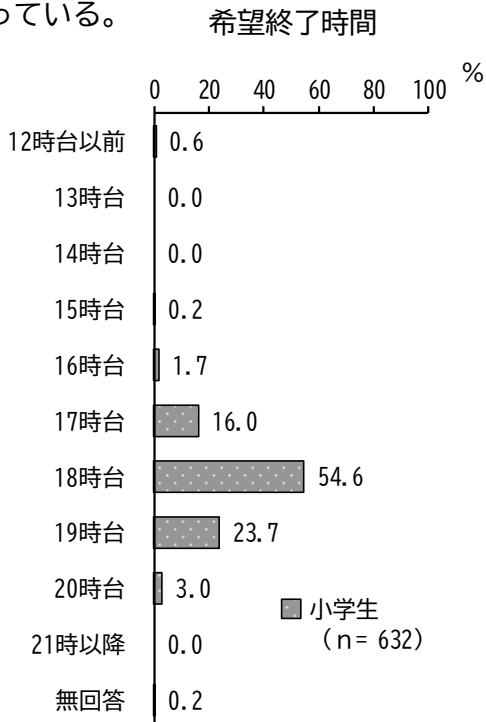
利用希望 <放課後児童クラブ> 利用日数（1週間当たり）【小学生：問 22-1】

放課後児童クラブを希望する日数については、「5日」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「4日」の割合が 22.5%となっている。



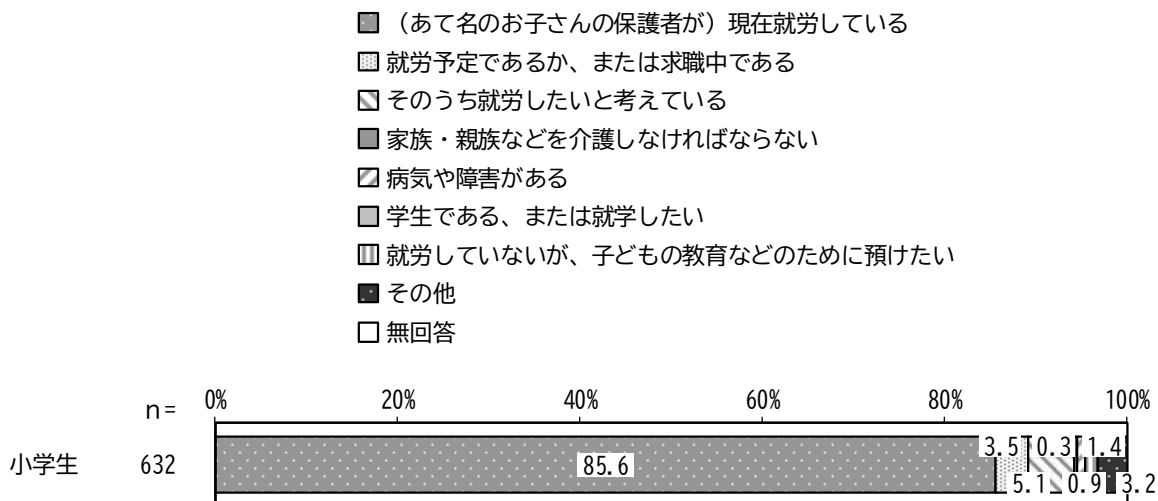
利用希望 <放課後児童クラブ> 終了時間【小学生：問 22-2】

放課後児童クラブの希望終了時間については、「17時台」～「19時台」が高くなっており、「18時台」で 54.6%と最も高くなっている。



問 問 22 で放課後児童クラブ（学童クラブ）を「利用したい」を選んだ方にうかがいます。放課後児童クラブ（学童クラブ）を利用したい理由は何ですか。（もっともあてはまるものを1つお答えください）【小学生：問 22-3】

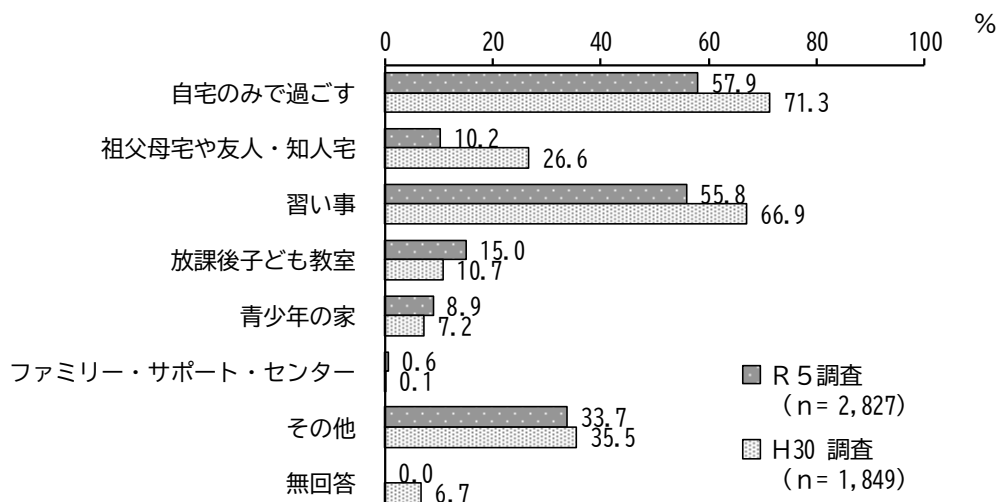
放課後児童クラブを利用したい理由については、「（あて名のお子さんの保護者が）現在就労している」となっている。



問 学童クラブ以外で放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あてはまるものをすべて選択し、それぞれ該当する週あたり日数を口内に数字でご記入ください。また、放課後子ども教室、青少年の家（みんなの家）を利用したい方は、利用時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）「18時まで」のように24時間制でご記入ください。【小学生：問 22-4】

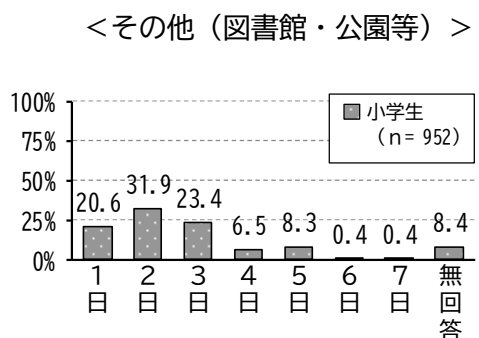
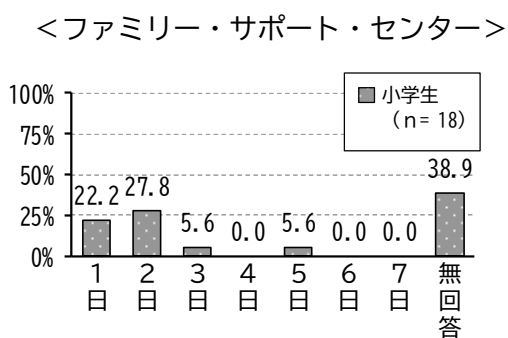
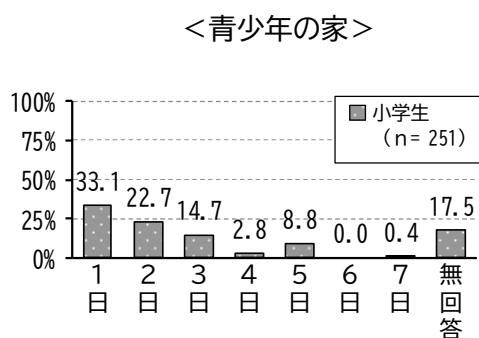
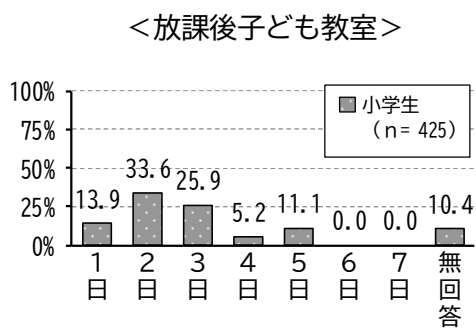
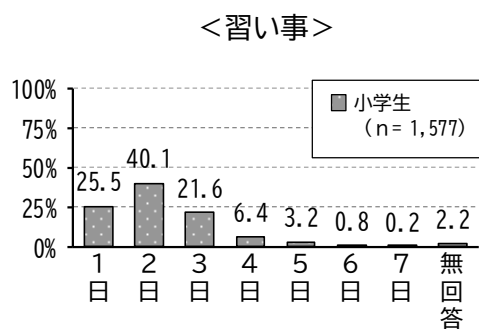
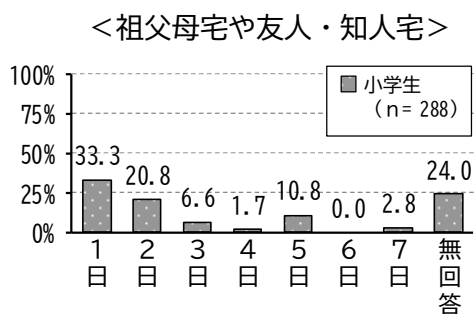
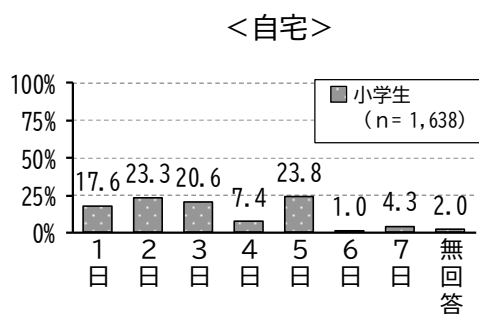
「自宅のみで過ごす」の割合が57.9%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が55.8%、「その他（図書館、公園等）」の割合が33.7%となっています。

前回調査と比較すると、「祖父母宅（二世帯住宅も含）や友人・知人宅」が17.1ポイント低くなっており、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」も10.9ポイント低くなっている。



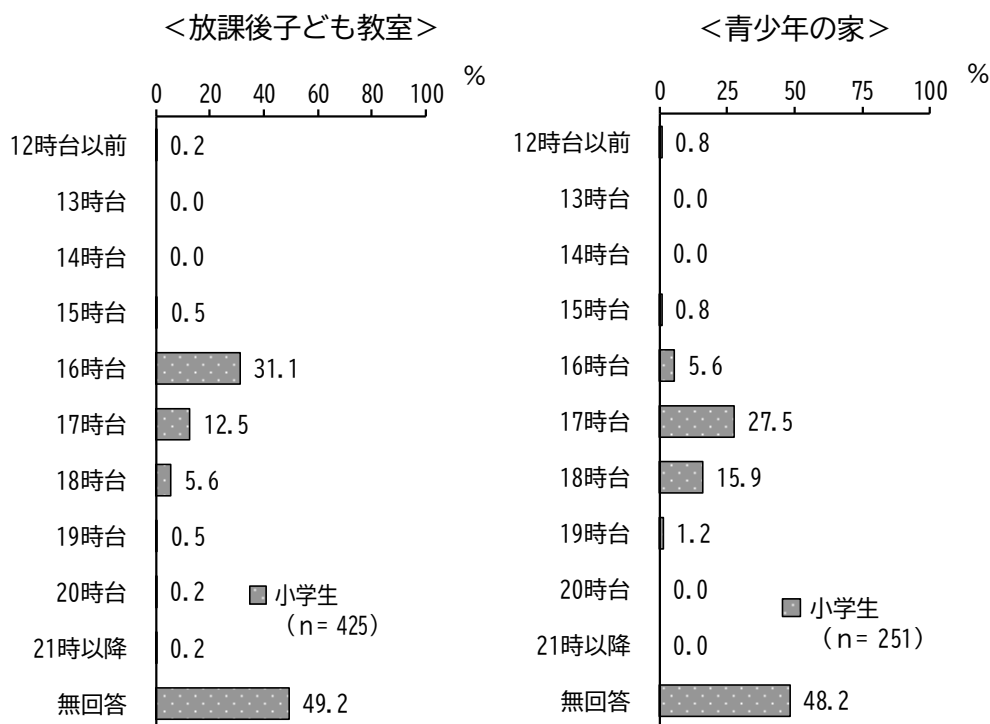
1週間当たりの利用日数は、「習い事」「青少年の家」では「1日」と「2日」、「放課後子ども教室」では「2日」と「3日」が高くなっている。

【利用日数（1週間当たり）】



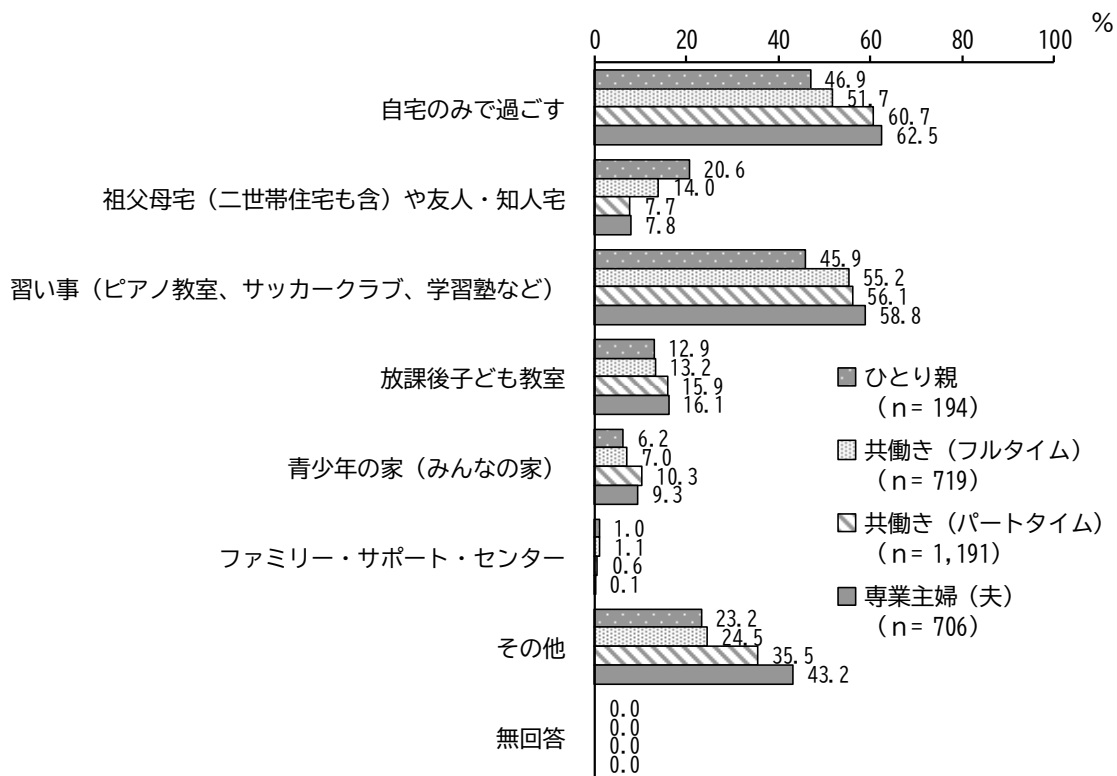
下校時間からの利用希望時間については、「放課後子ども教室」「青少年の家」で「16時台」～「18時台」が高くなっている。

【終了希望時間】



【小学生：家庭類型別】

家庭類型別にみると、専業主婦（夫）では「自宅のみで過ごす」が他の家庭類型よりも約1～15ポイント高くなっている。



【小学生：学年別】

学年別にみると、6年生で「自宅のみで過ごす」の割合が高くなっている。

単位：％

区分	n(件)	自宅のみで過ごす	祖父祖母宅(二世帯住宅も含)や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	放課後子ども教室	青少年の家(みんなの家)	ファミリー・サポート・センター	その他(図書館、公園等)	無回答
全体	2,827	57.9	10.2	55.8	15.0	8.9	0.6	33.7	—
1年生	465	50.3	11.2	52.9	22.6	8.6	0.4	36.3	—
2年生	484	52.3	10.3	56.2	22.5	10.7	0.8	36.4	—
3年生	500	55.0	10.2	57.2	18.4	8.8	1.2	35.0	—
4年生	490	59.6	9.2	60.0	10.4	8.4	0.4	33.7	—
5年生	408	63.7	9.1	52.2	8.8	9.1	0.2	31.6	—
6年生	480	67.5	11.0	55.4	6.7	7.7	0.6	28.8	—

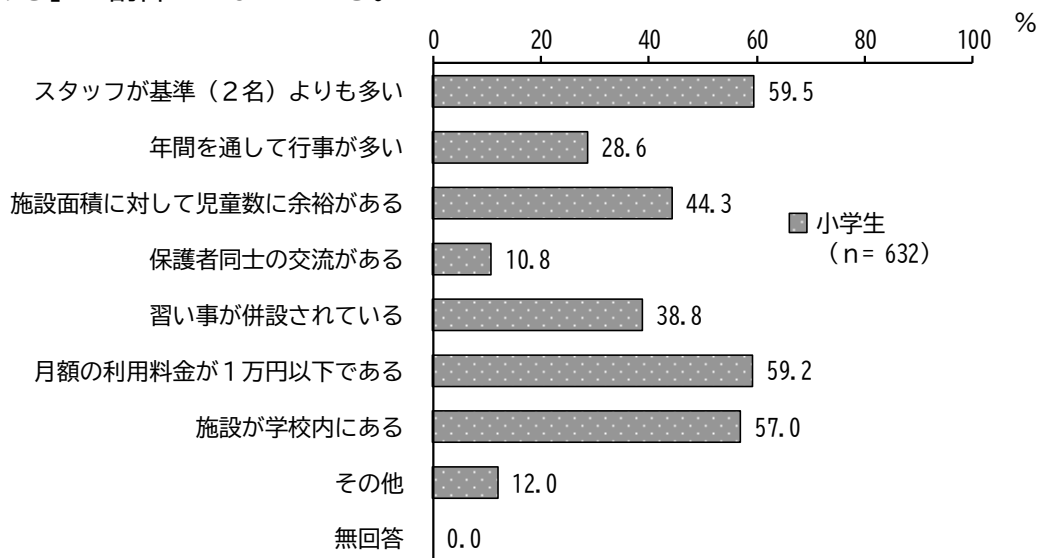
【小学生：行政センター別】

単位：％

区分	n(件)	自宅のみで過ごす	祖父祖母宅(二世帯住宅も含)や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	放課後子ども教室	青少年の家(みんなの家)	ファミリー・サポート・センター	その他(図書館、公園等)	無回答
全体	2,827	57.9	10.2	55.8	15.0	8.9	0.6	33.7	—
本庁	445	54.6	12.8	54.8	15.5	10.3	0.4	36.0	—
追浜	139	55.4	7.2	61.2	18.0	6.5	—	39.6	—
田浦	104	55.8	11.5	52.9	26.0	9.6	1.0	37.5	—
逸見	47	57.4	14.9	63.8	14.9	12.8	2.1	34.0	—
衣笠	521	59.9	10.7	54.7	12.3	11.3	0.8	31.5	—
大津	340	57.6	8.8	57.6	12.4	7.4	0.6	34.1	—
浦賀	287	56.4	10.5	54.7	11.5	13.2	0.3	37.3	—
久里浜	471	61.8	10.0	52.2	16.3	4.5	1.1	31.0	—
北下浦	256	57.0	8.6	64.5	18.8	6.3	0.4	28.5	—
西	217	58.1	7.8	52.5	15.2	9.7	0.5	35.0	—

問 お子さんの放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごす場所として、放課後児童クラブ（学童クラブ）を「利用したい」と回答した方にうかがいます。放課後児童クラブ（学童クラブ）に求めるものはどのような内容ですか。（あてはまるものすべてを選択してください）【小学生：問 22-5】

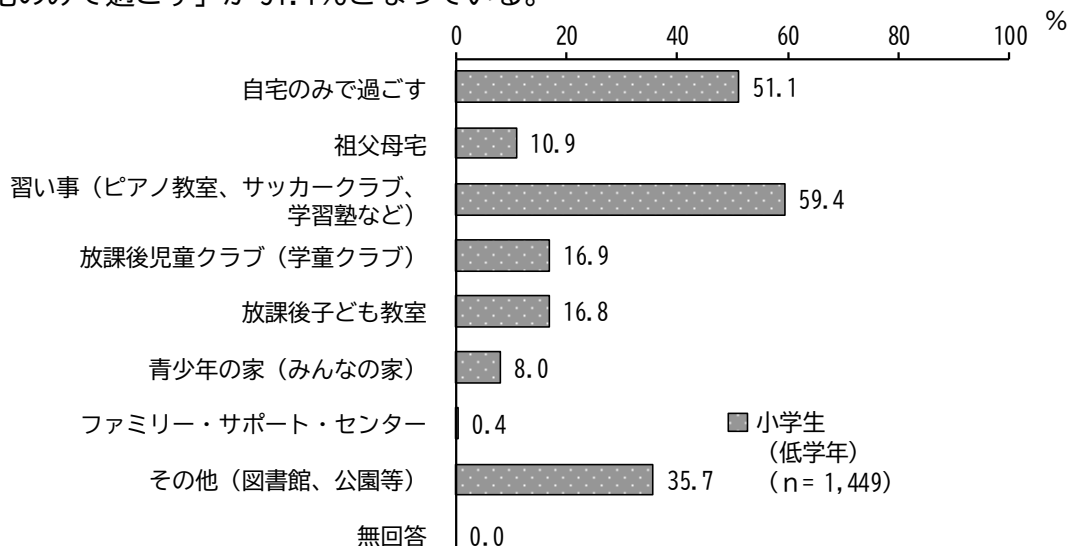
放課後児童クラブに求める内容については、「スタッフが基準（2名）よりも多い」の割合が59.5%と最も高く、次いで「月額の利用料金が1万円以下である」の割合が59.2%、「施設が学校内にある」の割合となっている。



③小学校低学年児童の高学年時の利用希望

問 あて名のお子さんが小学校1～3年生の方にうかがいます。あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてを選び、□内に週当たりの利用希望日数をご記入ください。放課後児童クラブ（学童クラブ）、放課後子ども教室、青少年の家（みんなの家）を利用したい方は、利用時間を□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）「18時」のように24時間制でご記入ください。【小学生：問 24】

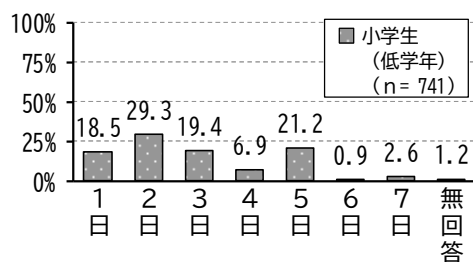
高学年時の平日の放課後の過ごし方の希望については「習い事」が59.4%と最も高く、次いで「自宅のみで過ごす」が51.1%となっている。



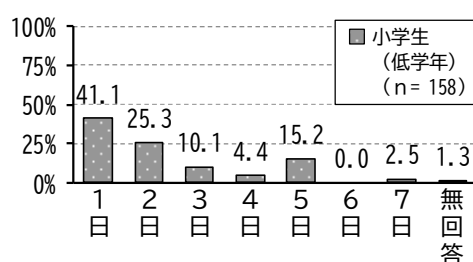
1週間当たりの利用日数は、「放課後子ども教室」「青少年の家」では「1日」と「2日」、「放課後児童クラブ」では「5日」が高くなっている。

【利用日数（1週間当たり）】

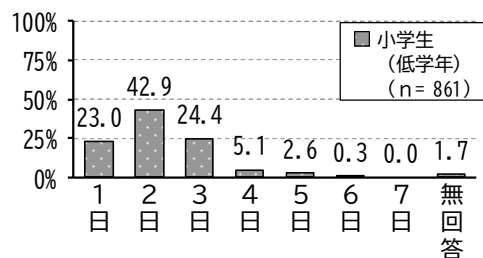
<自宅>



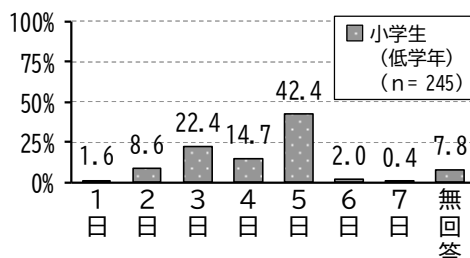
<祖父母宅や友人・知人宅>



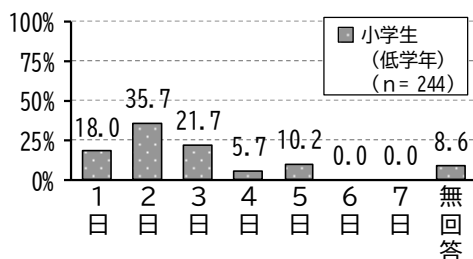
<習い事>



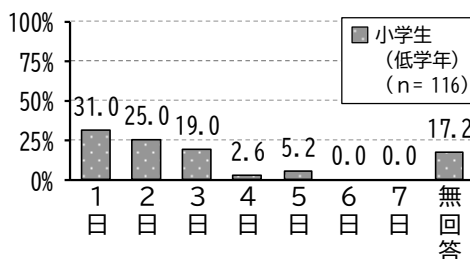
<放課後児童クラブ>



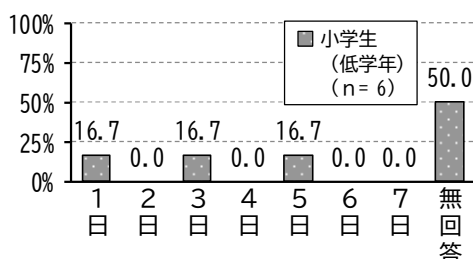
<放課後子ども教室>



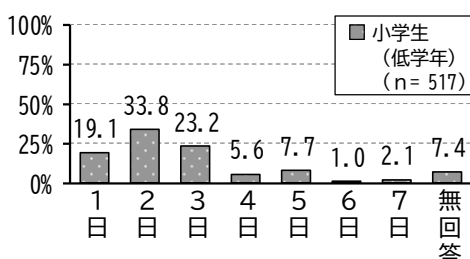
<青少年の家>



<ファミリー・サポート・センター>

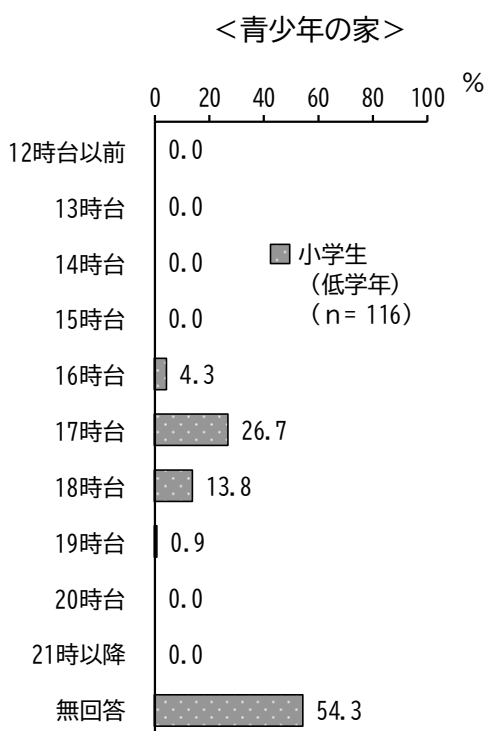
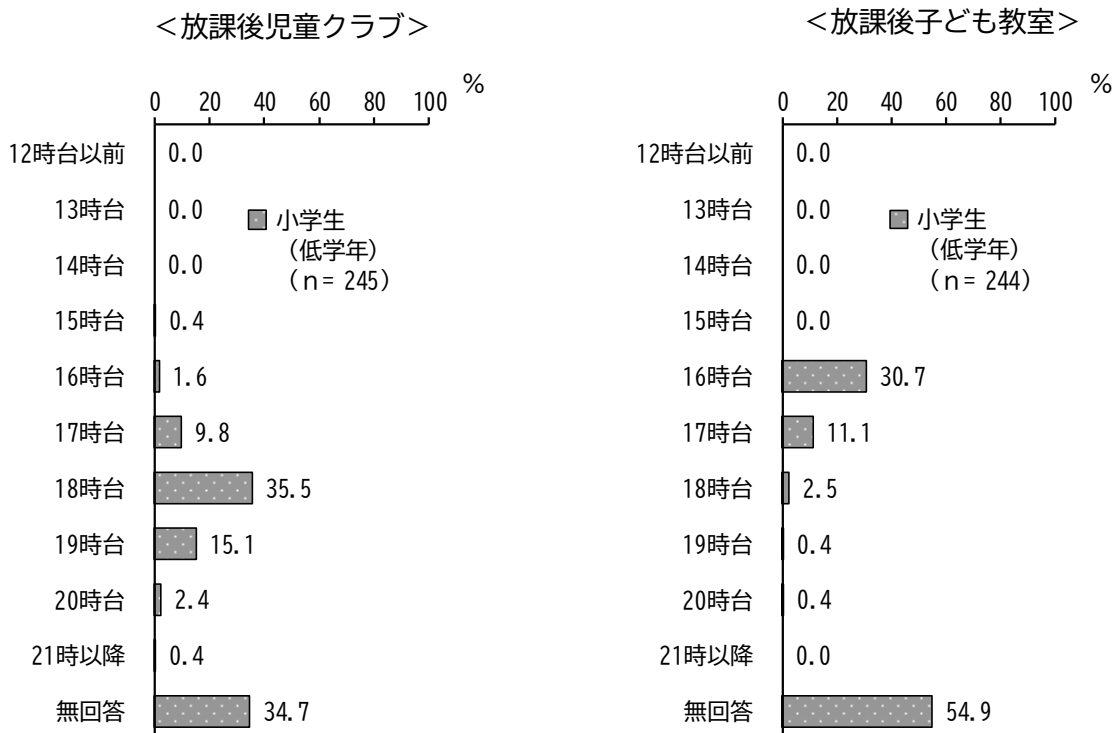


<その他（図書館・公園等）>



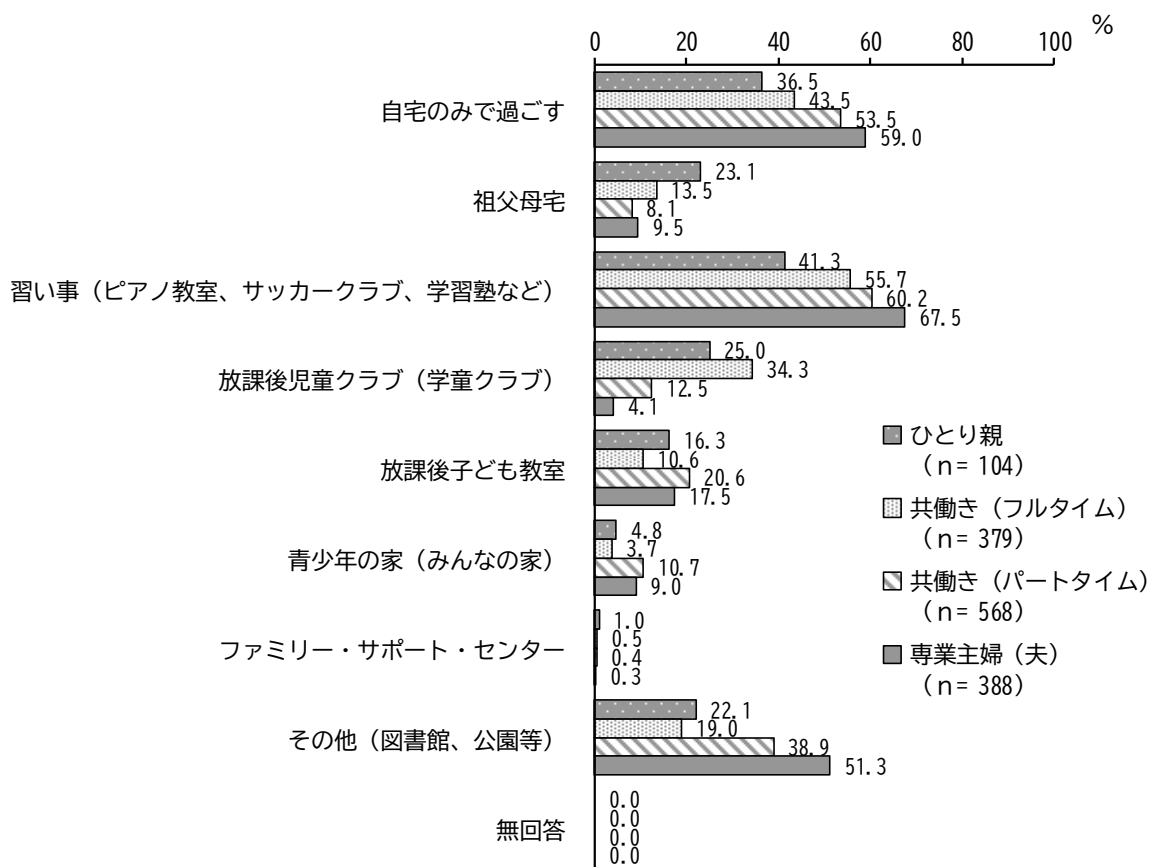
下校時間からの利用希望時間については、「放課後児童クラブ」では「17時台」～「19時台」、
「放課後子ども教室」では「16時台」～「17時台」、「青少年の家」では「17時台」～「18時台」
が高くなっている。

【終了希望時間】



【小学生：家庭類型別】

家庭類型別にみると、共働き（フルタイム）では「放課後児童クラブ」が他の家庭類型よりも約9～30ポイント高くなっている。



【小学生：学年別】

学年別にみると、大きな差はみられない。

単位：%

区分	n (件)	自宅のみで過ごす	祖父母宅	習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	放課後児童クラブ (学童クラブ)	放課後子ども教室	青少年の家 (みんなの家)	ファミリー・サポート・センター	その他 (図書館、公園等)	無回答
全体	1,449	51.1	10.9	59.4	16.9	16.8	8.0	0.4	35.7	—
1年生	465	49.0	11.0	60.4	19.8	18.7	8.6	0.2	36.1	—
2年生	484	48.8	11.2	57.9	16.9	18.4	8.7	0.6	35.3	—
3年生	500	55.4	10.6	60.0	14.2	13.6	6.8	0.4	35.6	—
4年生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5年生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6年生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(5) 放課後児童クラブの利用希望

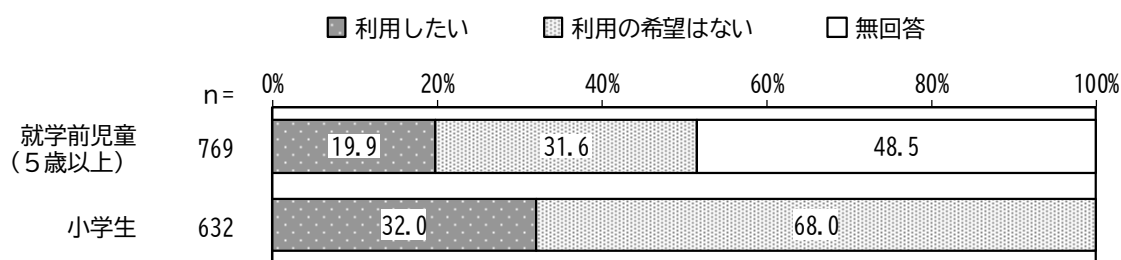
①土曜日の利用希望

問 放課後児童クラブ（学童クラブ）の利用についてうかがいます。

問 「土曜日」に放課後児童クラブ（学童クラブ）の利用を希望しますか。

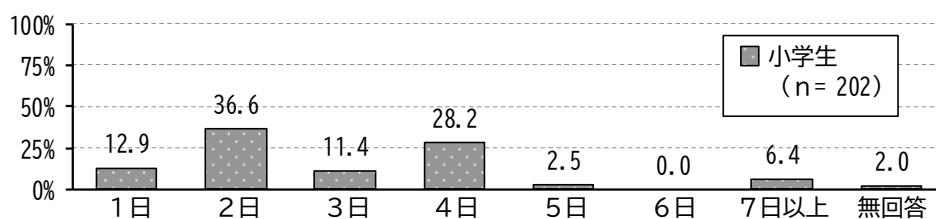
【就学前児童：問 39-1、小学生：問 23-1】

放課後児童クラブを利用希望のうち、土曜日の希望は就学前児童（5歳以上）19.9%、小学生32.0%となっている。



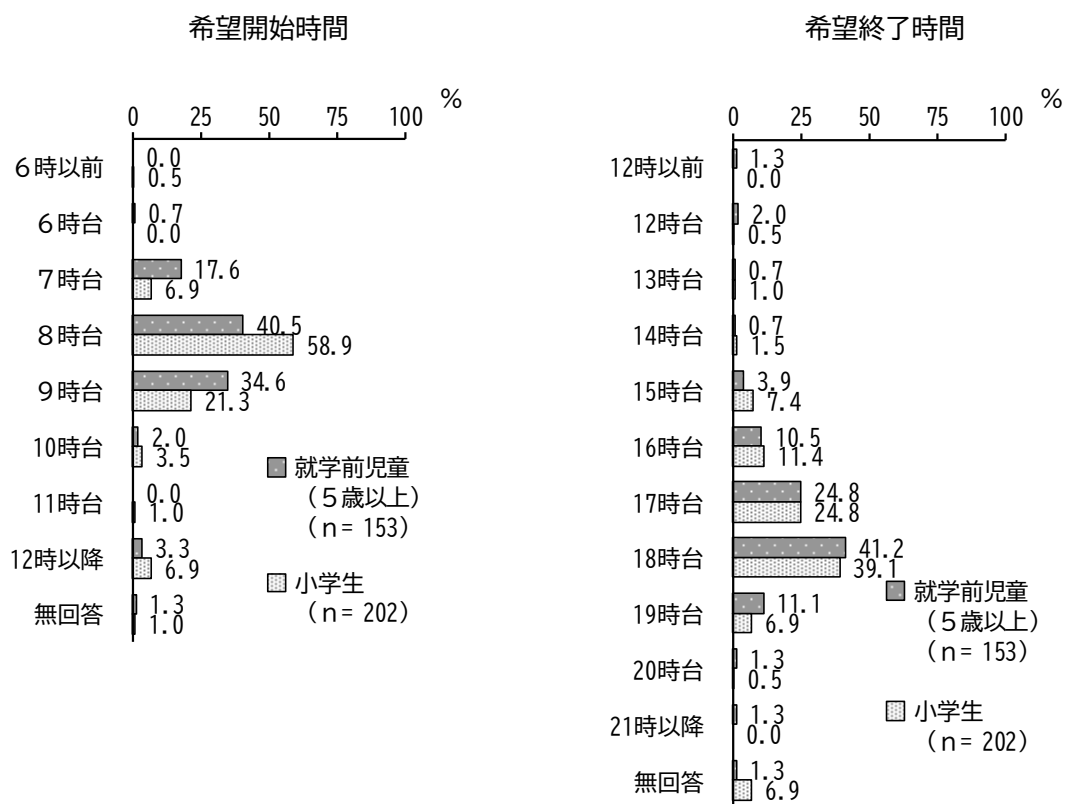
放課後児童クラブ利用希望者の土曜日の利用希望日数（1か月当たり）【小学生：問 23-1-1】

土曜日の利用希望日数については、就学前児童（5歳以上）で「2日」の割合が36.6%と最も高く、次いで「4日」の割合が28.2%、「1日」の割合が12.9%となっている。



放課後児童クラブ利用の土曜日の希望開始時間は、ともに「8時台」～「9時台」が高くなっている。

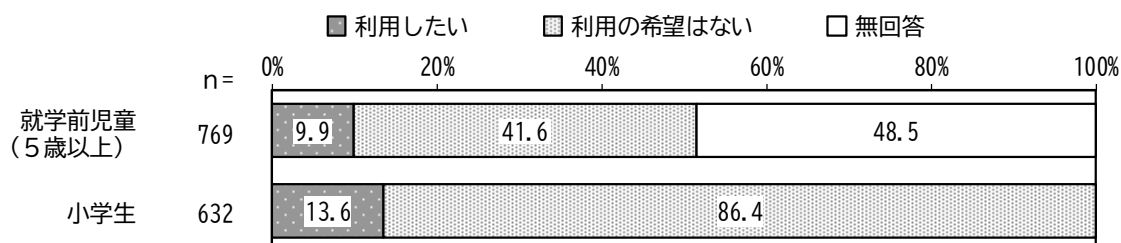
希望終了時間は、「15時台」～「19時台」が高くなっている。



②日曜日の利用希望

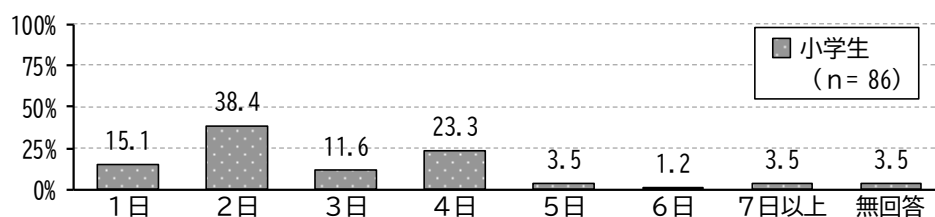
問 「日曜・祝日」に放課後児童クラブ（学童クラブ）の利用を希望しますか。
【就学前児童：問 39-2、小学生：問 23-2】

放課後児童クラブの利用希望のうち、日曜日の希望は就学前児童（5歳以上）9.9%、小学生13.6%となっている。



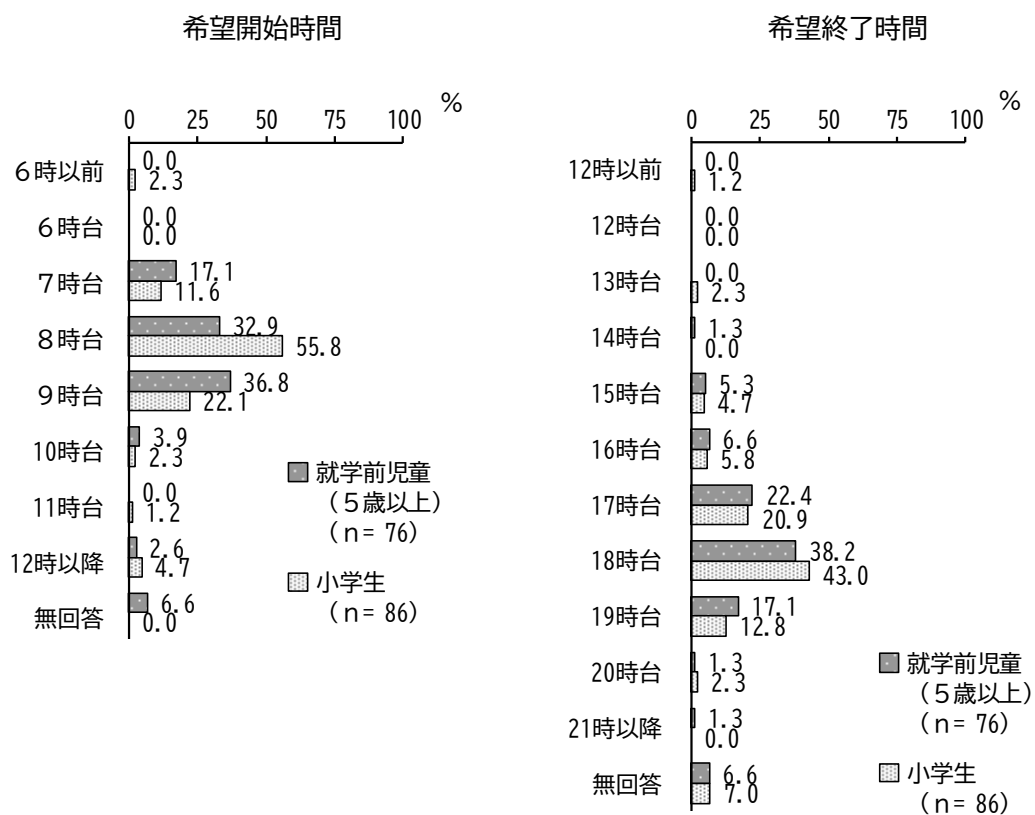
放課後児童クラブ利用希望者の日曜日・祝日の利用希望日数（1か月当たり）【小学生：問 23-2-1】

日曜日・祝日の利用希望日数については、就学前児童で「2日」の割合が38.4%と最も高く、次いで「4日」の割合が23.3%、「1日」の割合が15.1%となっている。



放課後児童クラブ利用の日曜日の希望開始時間は、ともに「7時台」～「9時台」が高くなっている。

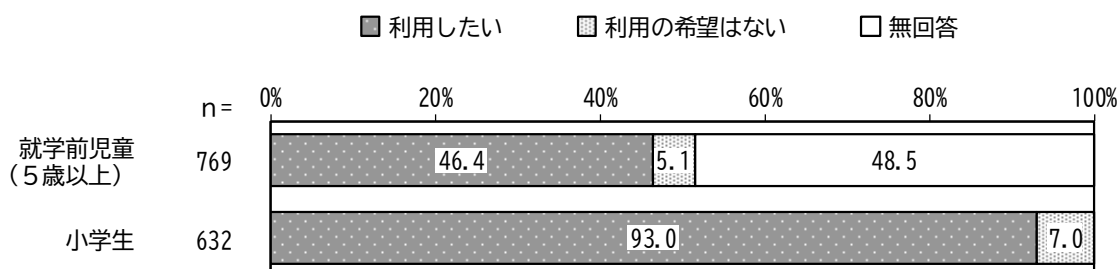
希望終了時間は、「17時台」～「19時台」が高くなっている。



③長期休暇期間中の利用希望

問 「長期の休暇期間中」に放課後児童クラブ（学童クラブ）の利用を希望しますか。
【就学前児童：問 39-3、小学生：問 23-3】

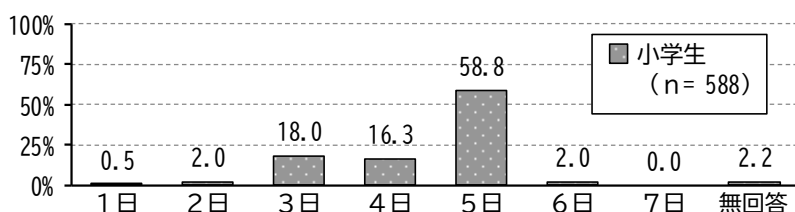
放課後児童クラブを利用希望のうち、長期休暇期間中の希望は就学前児童（5歳以上）46.4%、小学生 93.0%となっている。



放課後児童クラブ利用希望者の長期休暇期間中の利用希望日数（1週間あたり）

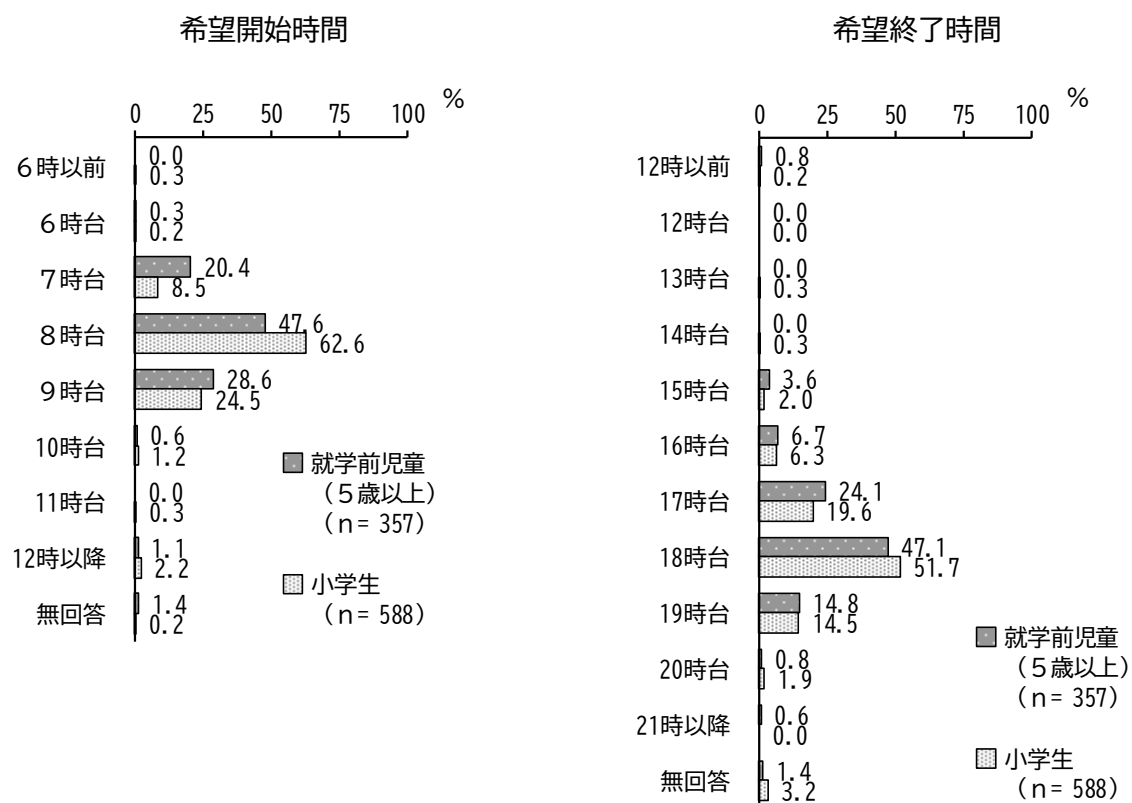
【小学生：問 23-3-1】

長期休暇期間中の利用希望日数については、就学前児童で「5日」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が 18.0%、「4日」の割合が 16.3%となっている。



放課後児童クラブ利用の長期休暇期間中の希望開始時間は、ともに「8時台」～「9時台」が高くなっている。

希望終了時間は、「17時台」～「19時台」が高くなっている。

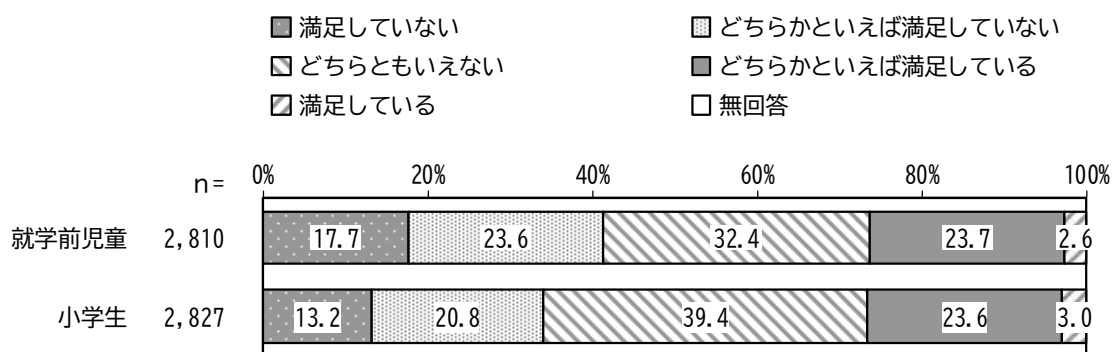


12 子育ての環境や支援への満足度について

問 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。
【就学児童：問 35、小学生：問 26】

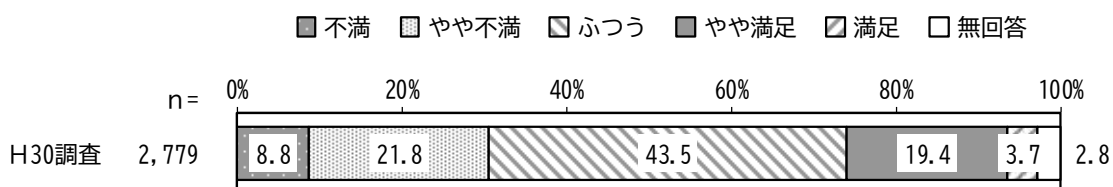
「どちらともいえない」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」の割合が 23.7%、「どちらかといえば満足していない」の割合が 23.6%となっています。

「どちらともいえない」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」の割合が 23.6%、「どちらかといえば満足していない」の割合が 20.8%となっています。



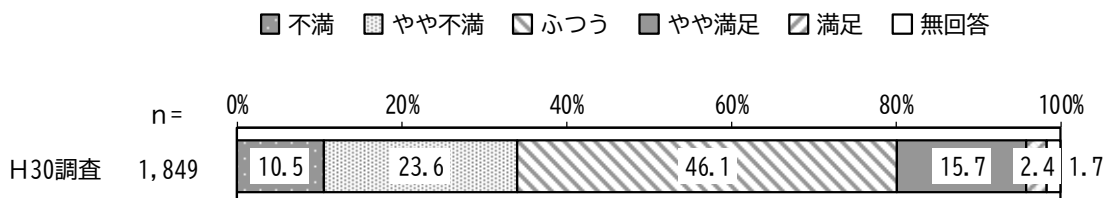
【就学前児童：前回比較】

※凡例が異なるため、参考に掲載



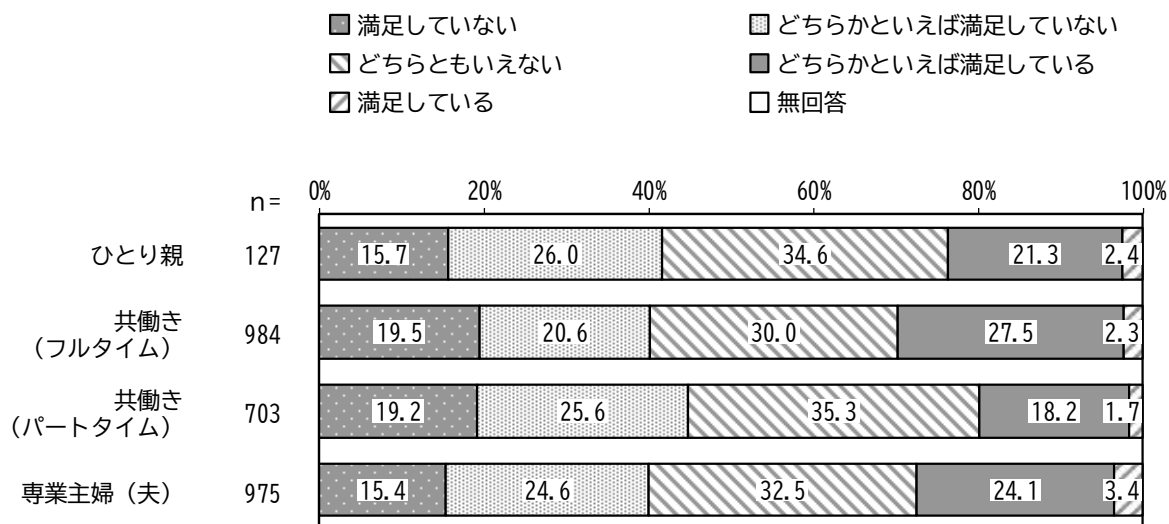
【小学生：前回比較】

※凡例が異なるため、参考に掲載

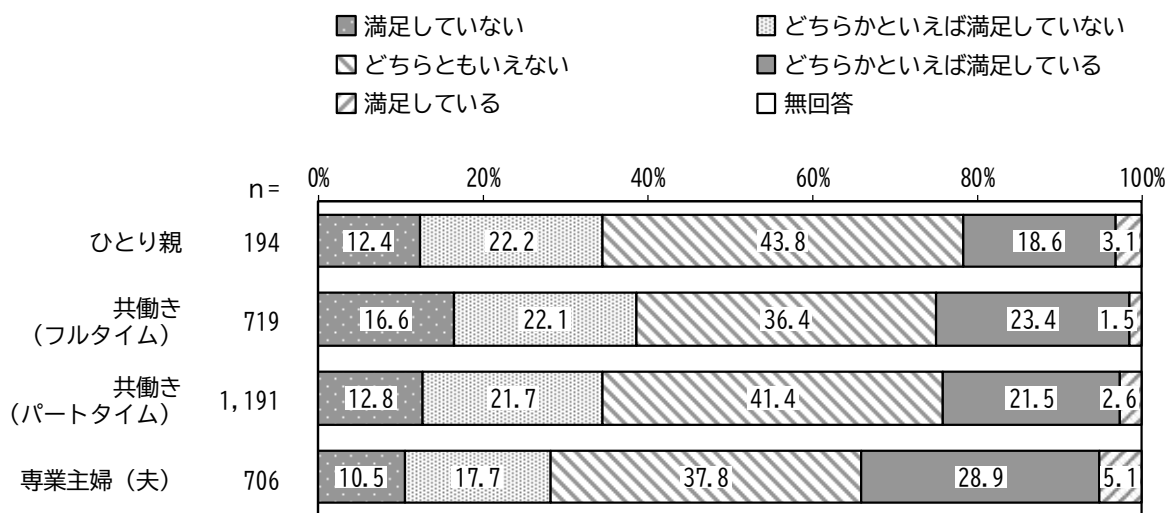


家庭類型別にみると、就学前児童の共働き（フルタイム）では「どちらかといえば満足している」が他の家庭類型よりも約3～9ポイント高くなっている。また、小学生の専業主婦（夫）では「満足している」が他の家庭類型よりも約2～4ポイント高くなっている。

【就学前児童：家庭類型別】

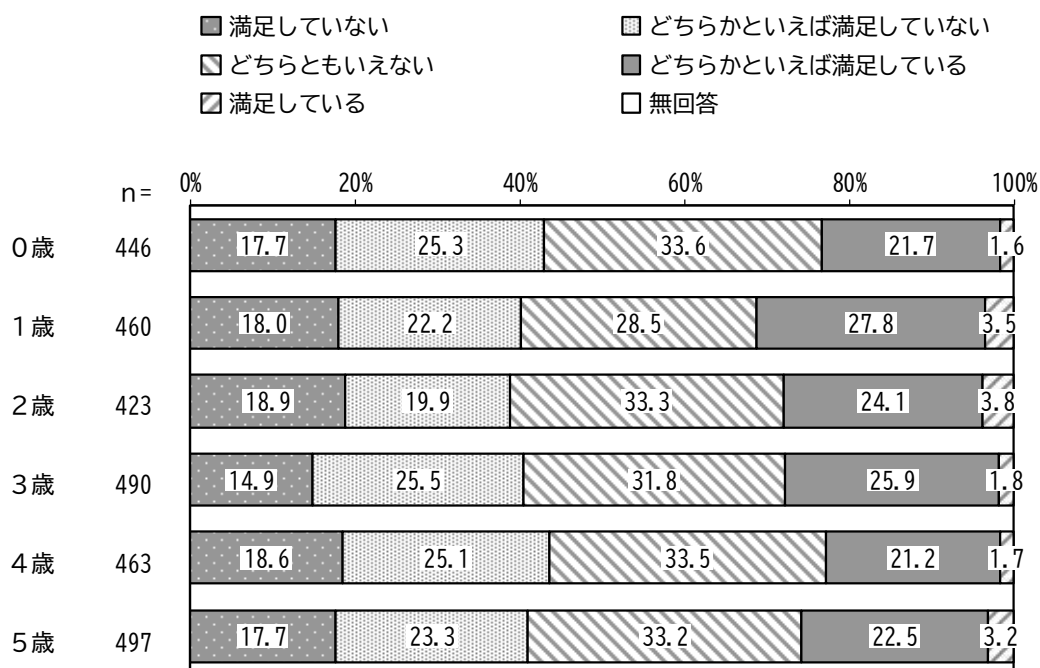


【小学生：家庭類型別】



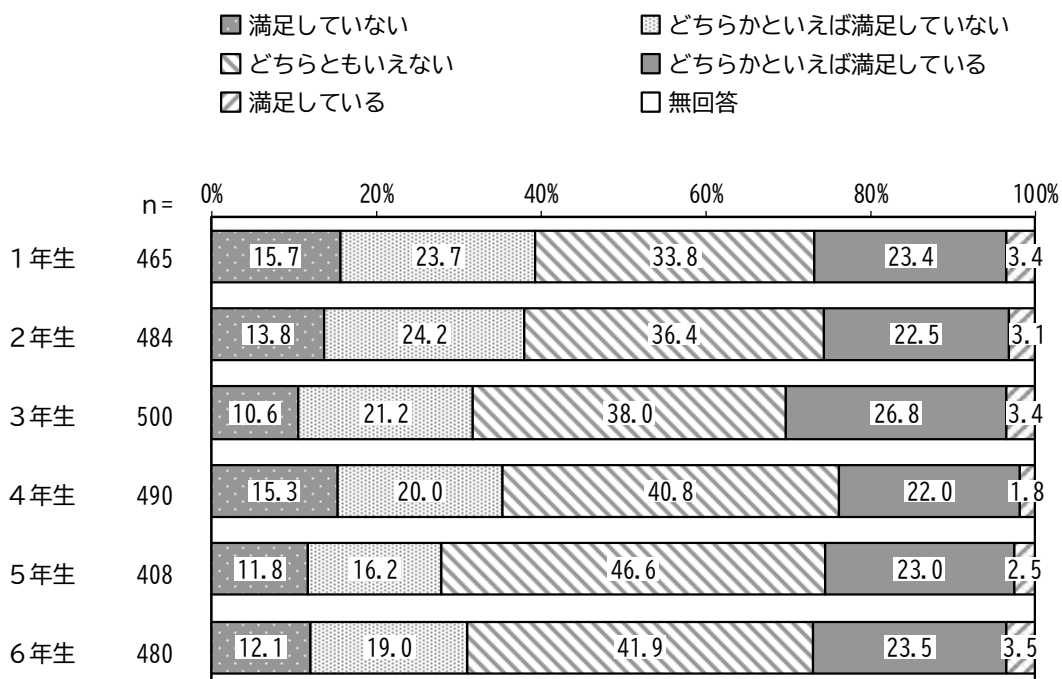
【就学前児童：年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられない。



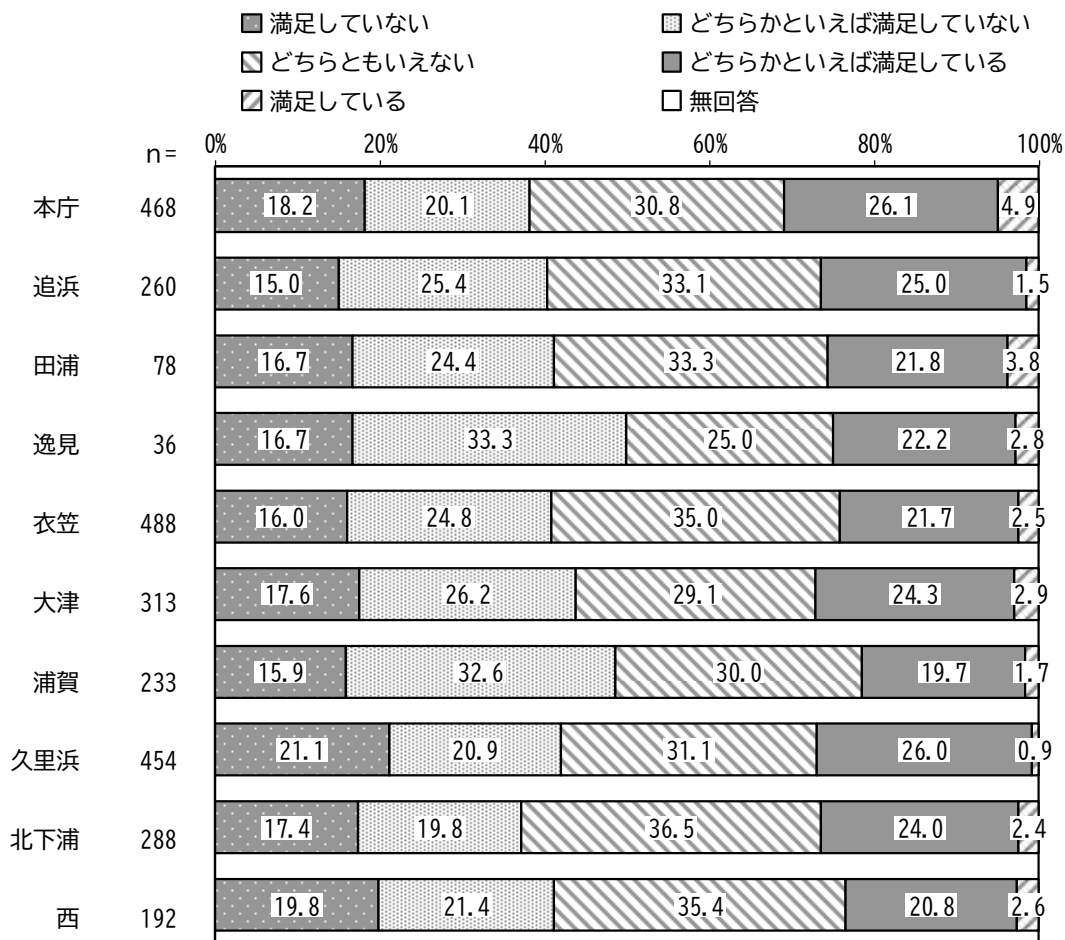
【小学生：学年別】

学年別にみると、5年生で「どちらともいえない」の割合が高くなっている。



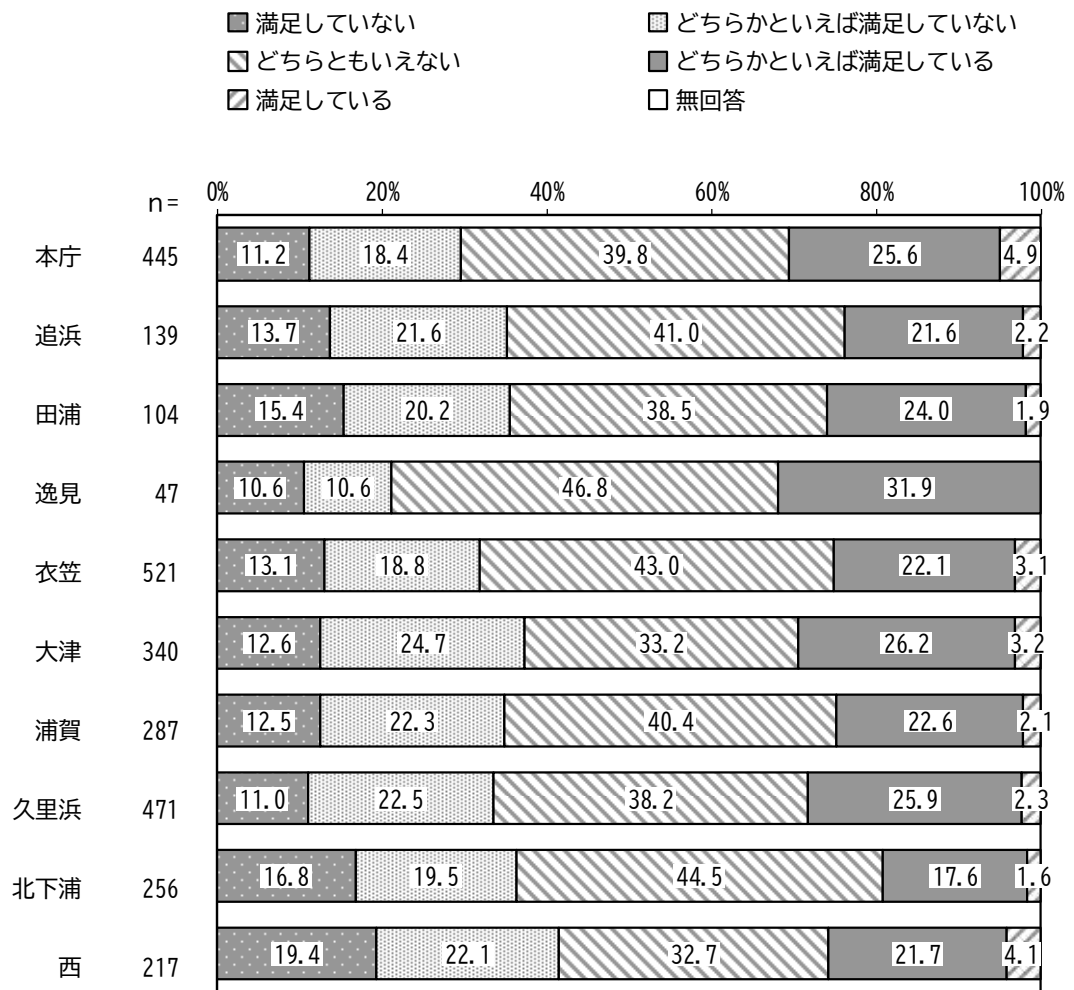
【就学前児童：行政センター別】

行政センター別にみると、逸見行政センターで「どちらかといえば満足していない」の割合が高くなっている。



【小学生：行政センター別】

行政センター別にみると、逸見行政センターで「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっている。



13 自由意見

問 子育てに関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。
【就学前児童：問 36】

有効回答 2,810 人中 1,467 人 2,406 件の意見が寄せられた。「経済的な援助」に関するご意見が 11.6%と最も多く、次いで、「公園等、屋外の居場所・遊び場」が 9.1%、「放課後児童クラブを含む放課後の居場所」が 9.0%となっている。

	件数	割合
経済的な支援について		
医療費の助成	44	1.8%
経済的な援助（保育料・給付金・ひとり親の支援、習い事への支援等）	278	11.6%
子育てを支える環境づくりについて		
子どもの居場所・遊び場全般	99	4.1%
屋外の居場所・遊び場（公園・プール等）	220	9.1%
屋内の居場所・遊び場（児童館等）	153	6.4%
子育て講座、イベント・教室の開催	56	2.3%
子育てに関する情報の提供	33	1.4%
子育てに関する保護者の交流の場	18	0.7%
子育て・家庭の悩みの相談	53	2.2%
保育士等の処遇改善	50	2.1%
小児科・産婦人科等、医療の充実（病院の対応）	45	1.9%
障害のあるお子さん（自閉症や発達障害等）の支援・理解・情報提供	45	1.9%
検診・予防接種に関する内容	9	0.4%
外国人に配慮した対応	2	0.1%
その他行政への要望・意見	86	3.6%
子ども・子育て支援事業について		
保育所	178	7.4%
放課後児童クラブを含む放課後の居場所	217	9.0%
幼稚園	42	1.7%
子育て支援センター（地域子育て支援拠点）	74	3.1%
一時預かり	120	5.0%
認定こども園	19	0.8%
病児・病後児保育	62	2.6%
ファミリー・サポート・センター（子育て援助活動支援）	15	0.6%
乳幼児健診、妊婦健診、予防接種	10	0.4%
医療的ケア児	2	0.1%
延長保育	6	0.2%
家庭的保育	1	0.0%
子育て支援全般	33	1.4%
子育て支援ヘルパー	9	0.4%
子育てホットライン	5	0.2%
こんにちは赤ちゃん訪問	8	0.3%
産後ケア	15	0.6%
ショートステイ	5	0.2%
認可外保育施設	5	0.2%
ベビーシッター	7	0.3%
母子手帳	1	0.0%

	件数	割合
その他		
働きながら子どもを産み育てやすい社会・職場 (仕事と子育ての両立、男性の育休取得の推進等)	110	4.6%
子ども・子育て世帯にやさしい社会・町・人	30	1.2%
市域(近所)の人とのかかわり・見守り	7	0.3%
小学生の預け先(短時間)	2	0.1%
学力の向上・習い事	7	0.3%
給食に関する要望・意見	17	0.7%
小・中・高に関する要望・意見	48	2.0%
不登校児等への支援	1	0.0%
道路の整備等・安全	34	1.4%
交通機関の充実	18	0.7%
商業施設への要望・設置(レストラン・大型施設・カフェ)	73	3.0%
住まい	2	0.1%
その他	25	1.0%
特になし	7	0.3%
全体	2,406	

問 子育て環境の充実等、子育てに関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。【小学生：問 27】

有効回答 2,827 人中 1,560 人から、2,234 件の意見が寄せられた。「放課後児童クラブ」に関する意見が 13.6%と最も多く、次いで、「子育ての経済的な負担、経済的な支援」が 11.6%、「公園等、屋外の居場所・遊び場」が 9.8%となっている。回答 2,810 人中 1,467 人 2,406 件の意見が寄せられた。「経済的な援助」に関するご意見が 11.6%と最も多く、次いで、「公園等、屋外の居場所・遊び場」が 9.1%、「放課後児童クラブを含む放課後の居場所」が 9.0%となっている。

	件数	割合
子どもの居場所について		
放課後の居場所全般	65	2.9%
放課後児童クラブ	304	13.6%
放課後子どもの教室	93	4.2%
青少年の家	64	2.9%
子どもの居場所・遊び場全般	75	3.4%
屋外の居場所・遊び場(公園、ボール遊び、トイレの設置等)	220	9.8%
屋内の居場所・遊び場(児童図書館、プール、雨の日の居場所等)	71	3.2%
土日、長期休暇期間中の子どもの居場所	87	3.9%
経済的な支援について		
医療費、予防接種の助成	37	1.7%
子育ての経済的な負担、経済的な支援(奨学金含む)	260	11.6%
ひとり親に対する支援	29	1.3%
養育費の支援	2	0.1%

	件数	割合
小学校に関する要望について		
先生の質、数、研修等、教員に関すること	44	2.0%
学校教育（学力低下、教育格差、グローバル教育、オンライン教育等）	75	3.4%
学校施設の充実（水道、トイレ、耐震、教室内カメラ等）	8	0.4%
クラスの児童数の縮小	6	0.3%
学校の合併	13	0.6%
その他の小学校に関する要望（ICT端末の持ち帰り等）	59	2.6%
学校校庭解放時間の延長	6	0.3%
防犯パトロール・登下校（集団下校・見守りサポート等）	29	1.3%
いじめ・不登校児に関すること（居場所、相談・サポート）	28	1.3%
保護者の役員の負担	4	0.2%
相談窓口の充実（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー）	5	0.2%
子育てを支える環境・事業について		
子育て支援全般	34	1.5%
子育てに関する情報の提供	20	0.9%
保育所	34	1.5%
幼稚園	7	0.3%
一時預かり	8	0.4%
認定こども園	2	0.1%
病児・病後児保育	38	1.7%
ファミリー・サポート・センター	14	0.6%
乳幼児健診、妊婦健診、予防接種	7	0.3%
医療的ケア児	3	0.1%
急な日中の預かり・夜間までの預かり	19	0.9%
療育相談センター	9	0.4%
特別支援教室、発達支援・障害児支援	53	2.4%
子育ての悩みの相談	20	0.9%
子ども向けの講座、イベントの開催（米軍基地との交流、障害児対応）	21	0.9%
保護者向け勉強会の開催（児童心理や健康、医療）	4	0.2%
医療機関の充実（小児科、障害児の歯科等）	22	1.0%
商業施設・交通機関の充実	20	0.9%
子育て（妊婦や不妊治療）に理解のある社会・町・人	17	0.8%
障害・不登校児等を持つ親のサポート（自閉症等の子を持つ親へ等）	3	0.1%
その他の行政への要望・意見	65	2.9%
その他		
給食（給食費の無償化、アレルギー食の提供、オーガニック化等）	35	1.6%
中学校に関する要望・意見（学区の見直し、選択制）	17	0.8%
高校に関する要望・意見（高校が少ない、義務教育化等）	5	0.2%
中高一貫校・中高の学習面	5	0.2%
習い事（市内に施設が少ない、遠い）	11	0.5%
仕事・労働環境（希望する職種や就職先が見つからない、仕事探しのサポート、両立が難しい、男性の育休推進等）	41	1.8%
道路等の整備、安全	29	1.3%
町内会活動（地域の見守り）	9	0.4%
防災チャイムの時間	2	0.1%
その他	57	2.6%
特になし	19	0.9%
全体	2,234	

